

石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

7	とい	<p>この仕様</p> <p>※配管用鋼管 ○鋼強化ビニル管 ・排水用リサイクル鋼強化ビニル管 (R E P O U)</p> <p>鋼管製との防露</p> <p>・次の箇所を行わない ()</p> <p>ロックワール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外 ・第三種</p> <p>挿 入 口 ※有り ・無し</p> <p>縦どい受け金物の取付け</p> <p>※図示 ・標準13.5.3 (4) (2) による</p>																																																																							
8	アルミニウム製金属	<p>種類</p> <p>呼称肉厚 (mm)</p> <p>表面処理</p> <p>固定間隔</p> <p>備 考</p> <p>・250形 1.6以上</p> <p>・300形 1.8以上</p> <p>・350形 2.0以上</p> <p>・100形 ()</p> <p>・ ()</p> <p>※A-1又は固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</p> <p>※B-1種</p> <p>※B-2種</p> <p>※ ()</p> <p>※鋼板及び突出り部等の取物は本建築設計の仕様による。</p> <p>※図示 (13.3.2-3) (表13.2.1)</p>																																																																							
9	新機軸	<p>形 式 ※変形形 ・はげれ形 ・かみ合形</p> <p>形状 (mm) 山高 () 山ピッチ () 標準 ※0.6</p> <p>材 料 ※変形鋼55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼管 (CGLCCR-20-AZ150)</p> <p>規格等</p> <p>鮮光戸板 ※有り ・無し</p> <p>断 熱 材 ※有り (種別) フォンエース</p> <p>耐火性能 ※30分耐火 ・無し</p>																																																																							
4	外壁改修工事 共通事項	<p>調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 ○外壁全面 基礎面 外装面</p> <p>調査内容</p> <p>ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び腐蝕の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状や寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び浮き部分を壁面に表示する。</p> <p>塗仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及び浮きを壁面に表示する。また、既存塗膜と新設塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存材料 (外壁全面) を撤去後、構造用板の裏面が釘のゆるみ、腐れ、劣化を確認</p> <p>調査報告書の枚数 ※2部</p> <p>・既存適合モルタル</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位面積質量 (kg/㎡)</th> <th>弾着強さ (N/㎡²)</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/㎡²)</th> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>1.80程度</td> <td>0.60以上</td> <td>0.40以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <table border="1"> <tr> <th>初期硬化性 (標準)</th> <th>弾着強さ (標準)</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> <th>硬化収縮率</th> </tr> <tr> <td>2.0N/㎡以上</td> <td>6.0N/㎡以上</td> <td>0.40以上</td> <td>30.0N/㎡以上</td> <td>3.0 (%) 以下</td> </tr> </table> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>b. 対象とする接着体を壊さず、かつ、表面を汚損しないこと。</p> <p>c. 常温・常温 (温度5℃~35℃、湿度45%~85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <table border="1"> <tr> <th>性 能</th> <th>常温物性</th> <th>低温性</th> <th>加熱硬化</th> <th>引張接着性</th> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>最大引張応力 1.0N/㎡以上</td> </tr> <tr> <td>伸び</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>破断時の伸び 10%以上</td> </tr> </table> <p>比重 表示値±0.10</p> <p>押出し性 60秒以下</p> <p>スランプ 3mm以下</p> <p>加熱減量 5%以下</p> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>b. 対象とする接着体を壊さず、かつ、表面を汚損しないこと。</p> <p>c. 常温・常温 (温度5℃~35℃、湿度45%~85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・タイル部分張替え工法用材料</p> <table border="1"> <tr> <th>弾着強さ</th> <th>標準</th> <th>低温硬化</th> <th>アルカリ温水</th> <th>熱水中浸漬後</th> <th>熱劣化</th> </tr> <tr> <td>強度 (N/㎡²)</td> <td>0.60以上</td> <td>0.40以上</td> <td>0.40以上</td> <td>0.40以上</td> <td>0.40以上</td> </tr> <tr> <td>脱落破壊率 (%)</td> <td>75以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> </tr> </table> <p>皮膚刺激性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化</p> <table border="1"> <tr> <th>引張強さ (N/㎡²)</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> </tr> <tr> <th>伸び (%)</th> <th>30以上</th> <th>30以上</th> <th>30以上</th> <th>30以上</th> <th>20以上</th> </tr> </table> <p>野風安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。</p> <p>耐熱性 J I S A 5 5 4 8 に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nもありで安定していること。</p> <p>a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>b. タイル、石材、下地等を壊すものでないこと。</p> <p>c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。</p> <p>d. 常温・常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6か月間保存しても上記の品質性能に適合していること。</p> <p>e. ずれ抵抗性があること。</p> <p>f. 濃練時結核の確認が容易なように色が明確であること。</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <table border="1"> <tr> <th>弾着強さ</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> </tr> <tr> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>20.0N/㎡以上</td> <td>10.0N/㎡以上</td> </tr> </table> <p>a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。</p> <p>b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。</p> <p>d. 形状に異常がなく、だれが生じないこと。</p> <p>e. 常温・常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6か月間保存しても上記の品質性能に適合していること。</p>	保水率 (%)	単位面積質量 (kg/㎡)	弾着強さ (N/㎡ ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/㎡ ²)	70以上	1.80程度	0.60以上	0.40以下	4.0以上	初期硬化性 (標準)	弾着強さ (標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/㎡以上	6.0N/㎡以上	0.40以上	30.0N/㎡以上	3.0 (%) 以下	性 能	常温物性	低温性	加熱硬化	引張接着性	引張強さ	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	最大引張応力 1.0N/㎡以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10%以上	弾着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	熱水中浸漬後	熱劣化	強度 (N/㎡ ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	脱落破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	引張強さ (N/㎡ ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	伸び (%)	30以上	30以上	30以上	30以上	20以上	弾着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/㎡以上	20.0N/㎡以上	10.0N/㎡以上
保水率 (%)	単位面積質量 (kg/㎡)	弾着強さ (N/㎡ ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/㎡ ²)																																																																					
70以上	1.80程度	0.60以上	0.40以下	4.0以上																																																																					
初期硬化性 (標準)	弾着強さ (標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率																																																																					
2.0N/㎡以上	6.0N/㎡以上	0.40以上	30.0N/㎡以上	3.0 (%) 以下																																																																					
性 能	常温物性	低温性	加熱硬化	引張接着性																																																																					
引張強さ	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	最大引張応力 1.0N/㎡以上																																																																					
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10%以上																																																																					
弾着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	熱水中浸漬後	熱劣化																																																																				
強度 (N/㎡ ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																				
脱落破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																				
引張強さ (N/㎡ ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																				
伸び (%)	30以上	30以上	30以上	30以上	20以上																																																																				
弾着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ																																																																							
1.0N/㎡以上	20.0N/㎡以上	10.0N/㎡以上																																																																							

4	外壁改修工事 共通事項	<p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>改修工法の種類</p> <p>ポリマーセメントモルタルの種類</p> <p>合成ゴム系、アクリル系、エポキシ樹脂系等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">弾着強さ (N/㎡²)</th> <th colspan="4">弾着強さ (N/㎡²)</th> </tr> <tr> <th>圧縮強さ</th> <th>弾着強さ</th> <th>弾着強さ</th> <th>弾着強さ</th> </tr> <tr> <td>6.0以上</td> <td>20以上</td> <td>1.0以上</td> <td>0.8以上</td> <td>0.5以上</td> </tr> </table> <p>表面状態 だれの下り量は5mm以内とし、ひび割れが発生しないこと。</p> <p>透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。</p> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">広がり速度 (cm/s)</th> <th rowspan="2">長さ変化率 (収縮)</th> <th rowspan="2">引張接着性 (材齢28日)</th> <th rowspan="2">曲げ性能 (材齢28日)</th> <th rowspan="2">吸水性 (72時間)</th> <th rowspan="2">耐久性 (劣化曲げ強さ)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3%以下</td> <td>0.5N/㎡²以上</td> <td>5.0N/㎡²以上</td> <td>15%以下</td> <td>5.0N/㎡²以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘着係数 0.50~1.00</p> <p>・吸水性調整材</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>全量割合 (%)</th> <th>吸水性 (g)</th> <th>弾着強さ (N/㎡²)</th> <th>界面破壊率 (%)</th> </tr> <tr> <td>品質・性能</td> <td>表示値±1%以内</td> <td>30分以内</td> <td>0.98以上</td> <td>50%以下</td> </tr> </table> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p>	弾着強さ (N/㎡ ²)	弾着強さ (N/㎡ ²)				圧縮強さ	弾着強さ	弾着強さ	弾着強さ	6.0以上	20以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)	3以上	3%以下	0.5N/㎡ ² 以上	5.0N/㎡ ² 以上	15%以下	5.0N/㎡ ² 以上	項目	全量割合 (%)	吸水性 (g)	弾着強さ (N/㎡ ²)	界面破壊率 (%)	品質・性能	表示値±1%以内	30分以内	0.98以上	50%以下					
弾着強さ (N/㎡ ²)	弾着強さ (N/㎡ ²)																																										
	圧縮強さ	弾着強さ	弾着強さ	弾着強さ																																							
6.0以上	20以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上																																							
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)																																						
						3以上	3%以下	0.5N/㎡ ² 以上	5.0N/㎡ ² 以上	15%以下	5.0N/㎡ ² 以上																																
項目	全量割合 (%)	吸水性 (g)	弾着強さ (N/㎡ ²)	界面破壊率 (%)																																							
品質・性能	表示値±1%以内	30分以内	0.98以上	50%以下																																							
4-1	外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	<p>① ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.3.4~6]</p> <table border="1"> <tr> <th>注工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注用量 (ml/m)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>※100~200</td> <td>※70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>注工法用材料</p> <p>※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査 (コア採取) ※行わない</p> <p>・行方 (採取部の補修方法:)</p> <p>・リカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>充てん材料</th> <th>品質・規格等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・シーリング用材料</td> <td>※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材</td> <td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行方</td> </tr> </table> <p>・可とう性エポキシ樹脂 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]</p> <p>・シール工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]</p> <p>※充てん工法</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p>	注工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注用量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※		樹脂注入工法	-	-	-		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40		注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130		注入工法	-	-	-		充てん材料	品質・規格等	備 考	・シーリング用材料	※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行方
注工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注用量 (ml/m)	備 考																																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※																																								
樹脂注入工法	-	-	-																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40																																								
注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130																																								
注入工法	-	-	-																																								
充てん材料	品質・規格等	備 考																																									
・シーリング用材料	※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行方																																									
4-2	外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	<p>① 既存モルタル塗りの除去</p> <p>② ひび割れ部改修工法</p> <p>・行方 (・全面 ・図示の範囲)</p> <p>・既存モルタル除去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)</p> <p>※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.5]</p> <p>(※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)</p> <table border="1"> <tr> <th>注工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注用量 (ml/m)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>※100~200</td> <td>※70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>注工法用材料</p> <p>※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査 (コア採取) ※行わない</p> <p>・行方 (採取部の補修方法:)</p> <p>・リカットシール材充てん工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>充てん材料</th> <th>品質・規格等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・シーリング用材料</td> <td>※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材</td> <td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方</td> </tr> </table> <p>・可とう性エポキシ樹脂 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.7]</p> <p>・シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) [4.1.4] [4.2.2] [4.4.7]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・既存塗り仕上げ材の除去及び補修 [4.4.2] [4.6.3]</p> <p>(※シール工法の範囲:)</p>	注工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注用量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※		樹脂注入工法	-	-	-		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40		注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130		注入工法	-	-	-		充てん材料	品質・規格等	備 考	・シーリング用材料	※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方
注工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注用量 (ml/m)	備 考																																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※																																								
樹脂注入工法	-	-	-																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40																																								
注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130																																								
注入工法	-	-	-																																								
充てん材料	品質・規格等	備 考																																									
・シーリング用材料	※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ○行方																																									

5	外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	<p>① 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.4.8~9]</p> <table border="1"> <tr> <th>改修工法の種類</th> <th>材 料</th> <th>品質・規格等</th> </tr> <tr> <td>・充てん工法</td> <td>・ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>改修標準4.2.2 (a) による</td> <td>塗り厚25mmを超える場合の補修 ※行方 ・行わない ・図示</td> </tr> </table> <p>既設自他材 ・適用する (形状 ※図示:) [4.2.2]</p> <p>[4.1.4] [4.5.9~15] 4.(脚~4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m²)</th> <th rowspan="2">充てん量</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50ml</td> </tr> </table> <p>アンカーピン</p> <p>材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>材質 ※ステンレス SUS304、呼び径6mm</p>	改修工法の種類	材 料	品質・規格等	・充てん工法	・ポリマーセメントモルタル		・モルタル塗替え工法	改修標準4.2.2 (a) による	塗り厚25mmを超える場合の補修 ※行方 ・行わない ・図示	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充てん量	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml																																																		
改修工法の種類	材 料	品質・規格等																																																																																																									
・充てん工法	・ポリマーセメントモルタル																																																																																																										
・モルタル塗替え工法	改修標準4.2.2 (a) による	塗り厚25mmを超える場合の補修 ※行方 ・行わない ・図示																																																																																																									
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充てん量																																																																																																						
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																							
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25ml																																																																																																						
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml																																																																																																						
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25ml																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml																																																																																																						
4-3	外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	<p>① 既存タイル張りの撤去</p> <p>・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲</p> <p>撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張り面</p> <p>・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)</p> <p>※樹脂注入工法 [4.1.4] [4.3.4] [4.5.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>注工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注用量 (ml/m)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>※50~100</td> <td>※40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>※100~200</td> <td>※70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>※150~250</td> <td>※130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>注工法用材料</p> <p>※建築補修用注入エポキシ樹脂 (J I S A 6 0 2 4 低粘度型又は中粘度型)</p> <p>検査 (コア採取) ※行わない</p> <p>・行方 (採取部の補修方法:)</p> <p>・リカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面) [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5~6]</p> <table border="1"> <tr> <th>充てん材料</th> <th>品質・規格等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・シーリング用材料</td> <td>※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材</td> <td>ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行方</td> </tr> </table> <p>・可とう性エポキシ樹脂 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.6]</p> <p>② タイル部分張替え工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">接着材の種類</th> <th colspan="2">品質・規格等</th> </tr> <tr> <td>※ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・タイル部分張替え工法用接着剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官庁技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1であり監督職員の承認するもの又は特記による。</p> <p>・タイル張替え工法 [4.1.4] [4.5.8]</p> <p>伸縮調整目地及び、ひび割れ発生目地 [4.5.8] (表4.5.1)</p> <p>位置 ※改修標準表4.5.1による ・図示</p> <p>[4.1.4] [4.5.9~15] (表4.4.3~4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m²)</th> <th rowspan="2">充てん量</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50ml</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50ml</td> </tr> </table> <p>アンカーピン</p> <p>材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピン</p> <p>材質 ※ステンレス SUS304、呼び径6mm</p>	注工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注用量 (ml/m)	備 考	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※		樹脂注入工法	-	-	-		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40		注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130		注入工法	-	-	-		充てん材料	品質・規格等	備 考	・シーリング用材料	※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行方	接着材の種類		品質・規格等		※ポリマーセメントモルタル				・タイル部分張替え工法用接着剤				改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充てん量	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml	・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml	・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml
注工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注用量 (ml/m)	備 考																																																																																																							
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	※																																																																																																								
樹脂注入工法	-	-	-																																																																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40																																																																																																								
注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70																																																																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	※150~250	※130																																																																																																								
注入工法	-	-	-																																																																																																								
充てん材料	品質・規格等	備 考																																																																																																									
・シーリング用材料	※1成分型又は2成分型 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行方																																																																																																									
接着材の種類		品質・規格等																																																																																																									
※ポリマーセメントモルタル																																																																																																											
・タイル部分張替え工法用接着剤																																																																																																											
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数 (本/m ²)		注入口の箇所数 (箇所/m ²)		充てん量																																																																																																						
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																							
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25ml																																																																																																						
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25ml																																																																																																						
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50ml																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25ml																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25ml																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50ml																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9	※16	※9	※16	※50ml																																																																																																						
5	目地改修工法	<p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.16]</p> <p>・伸縮目地改修工法 [4.1.4] [4.5.16]</p> <p>シーリング用材料 [3.7.2] (表3.7.1)</p> <p>種類 ※改修標準表3.7.11による</p>																																																																																																									

4-3	外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	<p>① 既存塗膜等の除去</p> <p>既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.4.3] [表4.2~5]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工 法</th> <th colspan="2">処理範囲</th> <th rowspan="2">下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>※サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体</td> <td>・ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※300程度</td> <td>※既存仕上げ面全体</td> <td>・浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※300程度</td> <td>※300程度</td> <td>・欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剥離工法</td> <td></td> <td>※既存仕上げ面全体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td></td> <td>※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体</td> <td></td> </tr> </table> <p>塗膜はく離剥離 [4.2.2]</p> <p>② 下地調整材</p> <p>※下地調整材 ○C-1 ・C-2 () [4.2.2] [4.6.4]</p> <p>・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・防水材仕上げ塗材主材を使用</p> <p>③ 仕上げ塗材仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類、仕上げの形状、工法</th> <th colspan="2">呼び名</th> <th colspan="2">仕上げの形状</th> </tr> <tr> <td>・両面仕上げ塗材</td> <td>・外装塗材S</td> <td>・可とう形外装塗材S I</td> <td>・砂壁状</td> <td>・着色砂壁状</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外装塗材R</td> <td>・可とう形外装塗材R</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形外装塗材E</td> <td>・防水形外装塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形外装塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・両面仕上げ塗材</td> <td>・両面塗材C E</td> <td>・可とう形両面塗材C E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・両面塗材S I</td> <td>・両面塗材S I</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・両面塗材R E</td> <td>・両面塗材R E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・両面塗材R S</td> <td>・両面塗材R S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形両面塗材C E</td> <td>・防水形両面塗材C E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形両面塗材E</td> <td>・防水形両面塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形両面塗材R E</td> <td>・防水形両面塗材R E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防水形両面塗材R S</td> <td>・防水形両面塗材R S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材</td> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材E</td> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材R E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材C E</td> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材C E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> <td>・砂壁状</td> </tr> </table> <p>防火材料の指定が必要な場合 [4.2.2] (15.5.2)</p> <p>※建築基準法に基づき認定を受けた材料とする。</p>	工 法	処理範囲		下地面の補修	※サンダー工法	※既存仕上げ面全体	・ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法	※300程度	※既存仕上げ面全体	・浮き部改修工法	・高圧水洗工法	※300程度	※300程度	・欠損部改修工法	・塗膜はく離剥離工法		※既存仕上げ面全体		・水洗い工法		※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体		種類、仕上げの形状、工法		呼び名		仕上げの形状		・両面仕上げ塗材	・外装塗材S	・可とう形外装塗材S I	・砂壁状	・着色砂壁状			・外装塗材R	・可とう形外装塗材R	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・防水形外装塗材E	・防水形外装塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・防水形外装塗材S	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状	・両面仕上げ塗材	・両面塗材C E	・可とう形両面塗材C E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・両面塗材S I	・両面塗材S I	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・両面塗材R E	・両面塗材R E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・両面塗材R S	・両面塗材R S	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・防水形両面塗材C E	・防水形両面塗材C E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・防水形両面塗材E	・防水形両面塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・防水形両面塗材R E	・防水形両面塗材R E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・防水形両面塗材R S	・防水形両面塗材R S	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状	・可とう形改修用仕上げ塗材	・可とう形改修用仕上げ塗材E	・可とう形改修用仕上げ塗材R E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状		・可とう形改修用仕上げ塗材C E	・可とう形改修用仕上げ塗材C E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状
工 法	処理範囲			下地面の補修																																																																																																															
	※サンダー工法	※既存仕上げ面全体	・ひび割れ部改修工法																																																																																																																
・高圧水洗工法	※300程度	※既存仕上げ面全体	・浮き部改修工法																																																																																																																
・高圧水洗工法	※300程度	※300程度	・欠損部改修工法																																																																																																																
・塗膜はく離剥離工法		※既存仕上げ面全体																																																																																																																	
・水洗い工法		※上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体																																																																																																																	
種類、仕上げの形状、工法		呼び名		仕上げの形状																																																																																																															
・両面仕上げ塗材	・外装塗材S	・可とう形外装塗材S I	・砂壁状	・着色砂壁状																																																																																																															
	・外装塗材R	・可とう形外装塗材R	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・防水形外装塗材E	・防水形外装塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・防水形外装塗材S	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
・両面仕上げ塗材	・両面塗材C E	・可とう形両面塗材C E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・両面塗材S I	・両面塗材S I	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・両面塗材R E	・両面塗材R E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・両面塗材R S	・両面塗材R S	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・防水形両面塗材C E	・防水形両面塗材C E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・防水形両面塗材E	・防水形両面塗材E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・防水形両面塗材R E	・防水形両面塗材R E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・防水形両面塗材R S	・防水形両面塗材R S	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
・可とう形改修用仕上げ塗材	・可とう形改修用仕上げ塗材E	・可とう形改修用仕上げ塗材R E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														
	・可とう形改修用仕上げ塗材C E	・可とう形改修用仕上げ塗材C E	・砂壁状	・砂壁状	・砂壁状																																																																																																														

7	とい	<p>この仕様</p> <p>※配管用鋼管 ○鋼強化ビニル管 ・排水用リサイクル鋼強化ビニル管 (R E P O U)</p> <p>鋼管製との防露</p> <p>・次の箇所を行わない ()</p> <p>ロックワール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒドの放散量</p> <p>※規制対象外 ・第三種</p> <p>挿 入 口 ※有り ・無し</p> <p>縦どい受け金物の取付け</p> <p>※図示 ・標準13.5.3 (4) (2) による</p>																																																																							
8	アルミニウム製金属	<p>種類</p> <p>呼称肉厚 (mm)</p> <p>表面処理</p> <p>固定間隔</p> <p>備 考</p> <p>・250形 1.6以上</p> <p>・300形 1.8以上</p> <p>・350形 2.0以上</p> <p>・100形 ()</p> <p>・ ()</p> <p>※A-1又は固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</p> <p>※B-1種</p> <p>※B-2種</p> <p>※ ()</p> <p>※鋼板及び突出り部等の取物は本建築設計の仕様による。</p> <p>※図示 (13.3.2-3) (表13.2.1)</p>																																																																							
9	新機軸	<p>形 式 ※変形形 ・はげれ形 ・かみ合形</p> <p>形状 (mm) 山高 () 山ピッチ () 標準 ※0.6</p> <p>材 料 ※変形鋼55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼管 (CGLCCR-20-AZ150)</p> <p>規格等</p> <p>鮮光戸板 ※有り ・無し</p> <p>断 熱 材 ※有り (種別) フォンエース</p> <p>耐火性能 ※30分耐火 ・無し</p>																																																																							
4	外壁改修工事 共通事項	<p>調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 ○外壁全面 基礎面 外装面</p> <p>調査内容</p> <p>ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び腐蝕の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状や寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び浮き部分を壁面に表示する。</p> <p>塗仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及び浮きを壁面に表示する。また、既存塗膜と新設塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存材料 (外壁全面) を撤去後、構造用板の裏面が釘のゆるみ、腐れ、劣化を確認</p> <p>調査報告書の枚数 ※2部</p> <p>・既存適合モルタル</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位面積質量 (kg/㎡)</th> <th>弾着強さ (N/㎡²)</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/㎡²)</th> </tr> <tr> <td>70以上</td> <td>1.80程度</td> <td>0.60以上</td> <td>0.40以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table> <p>・パテ状エポキシ樹脂</p> <table border="1"> <tr> <th>初期硬化性 (標準)</th> <th>弾着強さ (標準)</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> <th>硬化収縮率</th> </tr> <tr> <td>2.0N/㎡以上</td> <td>6.0N/㎡以上</td> <td>0.40以上</td> <td>30.0N/㎡以上</td> <td>3.0 (%) 以下</td> </tr> </table> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>b. 対象とする接着体を壊さず、かつ、表面を汚損しないこと。</p> <p>c. 常温・常温 (温度5℃~35℃、湿度45%~85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <table border="1"> <tr> <th>性 能</th> <th>常温物性</th> <th>低温性</th> <th>加熱硬化</th> <th>引張接着性</th> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>最大引張応力 1.0N/㎡以上</td> </tr> <tr> <td>伸び</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>破断時の伸び 10%以上</td> </tr> </table> <p>比重 表示値±0.10</p> <p>押出し性 60秒以下</p> <p>スランプ 3mm以下</p> <p>加熱減量 5%以下</p> <p>a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>b. 対象とする接着体を壊さず、かつ、表面を汚損しないこと。</p> <p>c. 常温・常温 (温度5℃~35℃、湿度45%~85%) において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。</p> <p>・タイル部分張替え工法用材料</p> <table border="1"> <tr> <th>弾着強さ</th> <th>標準</th> <th>低温硬化</th> <th>アルカリ温水</th> <th>熱水中浸漬後</th> <th>熱劣化</th> </tr> <tr> <td>強度 (N/㎡²)</td> <td>0.60以上</td> <td>0.40以上</td> <td>0.40以上</td> <td>0.40以上</td> <td>0.40以上</td> </tr> <tr> <td>脱落破壊率 (%)</td> <td>75以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> <td>50以上</td> </tr> </table> <p>皮膚刺激性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化</p> <table border="1"> <tr> <th>引張強さ (N/㎡²)</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> <th>1.00以上</th> </tr> <tr> <th>伸び (%)</th> <th>30以上</th> <th>30以上</th> <th>30以上</th> <th>30以上</th> <th>20以上</th> </tr> </table> <p>野風安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。</p> <p>耐熱性 J I S A 5 5 4 8 に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nもありで安定していること。</p> <p>a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。</p> <p>b. タイル、石材、下地等を壊すものでないこと。</p> <p>c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。</p> <p>d. 常温・常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6か月間保存しても上記の品質性能に適合していること。</p> <p>e. ずれ抵抗性があること。</p> <p>f. 濃練時結核の確認が容易なように色が明確であること。</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル</p> <table border="1"> <tr> <th>弾着強さ</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> </tr> <tr> <td>1.0N/㎡以上</td> <td>20.0N/㎡以上</td> <td>10.0N/㎡以上</td> </tr> </table> <p>a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。</p> <p>b. 均質で有害と認められる異物の混入がない</p>	保水率 (%)	単位面積質量 (kg/㎡)	弾着強さ (N/㎡ ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/㎡ ²)	70以上	1.80程度	0.60以上	0.40以下	4.0以上	初期硬化性 (標準)	弾着強さ (標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/㎡以上	6.0N/㎡以上	0.40以上	30.0N/㎡以上	3.0 (%) 以下	性 能	常温物性	低温性	加熱硬化	引張接着性	引張強さ	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	最大引張応力 1.0N/㎡以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10%以上	弾着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	熱水中浸漬後	熱劣化	強度 (N/㎡ ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	脱落破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上	引張強さ (N/㎡ ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	伸び (%)	30以上	30以上	30以上	30以上	20以上	弾着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/㎡以上	20.0N/㎡以上	10.0N/㎡以上
保水率 (%)	単位面積質量 (kg/㎡)	弾着強さ (N/㎡ ²)	長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/㎡ ²)																																																																					
70以上	1.80程度	0.60以上	0.40以下	4.0以上																																																																					
初期硬化性 (標準)	弾着強さ (標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率																																																																					
2.0N/㎡以上	6.0N/㎡以上	0.40以上	30.0N/㎡以上	3.0 (%) 以下																																																																					
性 能	常温物性	低温性	加熱硬化	引張接着性																																																																					
引張強さ	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	1.0N/㎡以上	最大引張応力 1.0N/㎡以上																																																																					
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10%以上																																																																					
弾着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	熱水中浸漬後	熱劣化																																																																				
強度 (N/㎡ ²)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上																																																																				
脱落破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上																																																																				
引張強さ (N/㎡ ²)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上																																																																				
伸び (%)	30以上	30以上	30以上	30以上	20以上																																																																				
弾着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ																																																																							
1.0N/㎡以上	20.0N/㎡以上	10.0N/㎡以上																																																																							

- 1 改修工法の適用
2 見本の製作等
3 アルミニウム製建築
4 断戸
5 断製建築
6 断製建築
7 ステンレス製建築
8 自動ドア開閉装置
9 自閉式上り引戸装置
10 木製建築
11 建築用金物
12 ガラス
13 ガラス窓材及びガラス
14 ガラス用フィルム
15 重量シャッター
16 軽量シャッター

Table with multiple sections: 1 改修工法の適用, 2 見本の製作等, 3 アルミニウム製建築, 4 断戸, 5 断製建築, 6 断製建築, 7 ステンレス製建築, 8 自動ドア開閉装置, 9 自閉式上り引戸装置, 10 木製建築, 11 建築用金物, 12 ガラス, 13 ガラス窓材及びガラス, 14 ガラス用フィルム, 15 重量シャッター, 16 軽量シャッター. Each section contains detailed technical specifications and material requirements.

- 1 改修範囲
2 既存床の除去並びに下地補修
3 既存壁の除去並びに下地補修
4 木下地等
5 集材等
6 接着剤
7 防湿、防湿処理
8 床張り
9 野縁等天井下地
10 軽量鉄骨壁下地
11 ビニル床シート張り
12 ビニル床タイル張り
13 導電防止床タイル張り
14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材)

Table with multiple sections: 1 改修範囲, 2 既存床の除去並びに下地補修, 3 既存壁の除去並びに下地補修, 4 木下地等, 5 集材等, 6 接着剤, 7 防湿、防湿処理, 8 床張り, 9 野縁等天井下地, 10 軽量鉄骨壁下地, 11 ビニル床シート張り, 12 ビニル床タイル張り, 13 導電防止床タイル張り, 14 視覚障害者用床タイル(誘導用及び注意喚起用床材). Each section contains detailed technical specifications and material requirements.

特記事項
天井点検口を設置する(アルミ枠450×450) A棟全館1～2階で 30箇所を見込む
設置位置は監督員と協議

- 16 合成樹脂塗り床
19 ポリステレンフォーム床下地材
20 カーペット敷き
29 可動間仕切
30 移動間仕切
せつこうボードその他のボード張り

Table with multiple sections: 16 合成樹脂塗り床, 19 ポリステレンフォーム床下地材, 20 カーペット敷き, 29 可動間仕切, 30 移動間仕切, せつこうボードその他のボード張り. Each section contains detailed technical specifications and material requirements.

- 22 吸音材
24 モルタル塗り材料
25 陶磁器質タイル張り
26 断熱材
27 浴室天井材
28 フリーアクセスフロア

Table with multiple sections: 22 吸音材, 24 モルタル塗り材料, 25 陶磁器質タイル張り, 26 断熱材, 27 浴室天井材, 28 フリーアクセスフロア. Each section contains detailed technical specifications and material requirements.

Summary table with columns: 概要, TIME, 作成者, 工事名称 (石和清流館整備工事(建築主体)(債務)), 図面名称 (特記仕様書(その3)), 縮尺, 図番 (04). Includes a signature line for '承認'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 31 トイレブース, 32 階段止め, 33 階段手すり, 34 高級及びホワイトボード, 35 表示, 36 ブラインド, 37 ロールスクリーン, 38 カーテン, 39 カーテンレール, 40 ブラインドボックス及びカーテンボックス, 41 天井点検口, 42 床点検口, 43 調剤書架及び物品棚, 44 くつろぎマット, 45 流し台ユニット, 46 壁内換気扇, 47 洗面カウンター, 48 収納家具.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 49 防塵処理, 50 フェンス, 51 屋外換気扇, 52 エキスパンション・ジョイント金物, 53 サイン, 塗壁改修工事 (1-6), 7 既存壁紙剥離, 8 既存壁紙剥離, 9 クレタ剥離ワニス塗り (UC), 10 ラッカーエナメル塗り (LE), 11 木片保護塗料塗り (WP), 12 ポリウレタン樹脂系エナメル塗り.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 1 鉄筋の種類, 2 溶接金網, 3 鉄筋の手すり, 4 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ, 5 各部の配筋, 6 ガス圧接, 7 コンクリートの種類及び強度, 8 コンクリートの品質, 9 普通コンクリート, 10 モルタル及びグラウト材.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 11 無筋コンクリート, 12 高い強度のコンクリート, 13 鉄骨製作工場, 14 施工管理技術者, 15 鋼材, 16 スカラップ, 17 高力ボルト, 18 鉄骨工作機械, 19 溶接部の試験, 20 錆止め塗料, 21 耐火被覆材.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 無収縮モルタル, 無収縮モルタルの品質及び試験方法, 11 無筋コンクリート, 12 高い強度のコンクリート, 13 鉄骨製作工場, 14 施工管理技術者, 15 鋼材, 16 スカラップ, 17 高力ボルト, 18 鉄骨工作機械, 19 溶接部の試験, 20 錆止め塗料, 21 耐火被覆材.

Summary table with columns: 概要, TIME, 作成者, 承認, 工事名称 (石和清流館整備工事(建築主体)(債務)), 図面名称 (特記仕様書(その4)), 縮尺, 図番 (05).

22	既存コンクリート面の 目直し	適用範囲 ※既存コンクリートとの打継ぎ箇所 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面 目直しの範囲 ※柱・梁端 打継ぎ面又は接合面全面の3/4以上 ※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度 目直しの程度 ※平均厚さ5~10mm（最大厚さ10~15mm）程度の凹部を指す	[8.19.3] [8.20.3]												
23	あと施工アンカーの 材料	あと施工アンカーの材料 ※柱・梁端（耐震補強用） ・金属系アンカー ・接着剤の品質 ※有機系 アンカー筋の種類 ※鉄筋コンクリート用種類 ・全ねじボルト	[8.2.4]												
24	あと施工アンカーの 穿孔	穿孔筋の埋込み配管等の探査 範囲 ※あと施工アンカー施工部分全て ・図示 方法 ※探査器により探査し、配管等の位置の差出しを行う ・はつ出しによる	[8.11.2]												
25	施工確認試験	アンカー筋示行（確認強度は図示による）	[8.11.5]												
26	断熱材用型枠	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>品質等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・断熱材用型枠</td> <td>・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系</td> <td>※図示（図示の範囲） ・</td> <td>※40以下 断熱抵抗 =厚さ×熱伝導率 =0.076以上 (m²・kt/w)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">製造所 建設技術評価「建築物の断熱材用型枠工法の開発」において、評価を受けたもの</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等	・断熱材用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※図示（図示の範囲） ・	※40以下 断熱抵抗 =厚さ×熱伝導率 =0.076以上 (m ² ・kt/w)	製造所 建設技術評価「建築物の断熱材用型枠工法の開発」において、評価を受けたもの				(19.9.2) (19.9.3)
種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等												
・断熱材用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※図示（図示の範囲） ・	※40以下 断熱抵抗 =厚さ×熱伝導率 =0.076以上 (m ² ・kt/w)												
製造所 建設技術評価「建築物の断熱材用型枠工法の開発」において、評価を受けたもの															

特記仕様 特記仕様	<p>① 工事実績情報</p> <p>② 技能士</p> <p>③ 工事写真</p> <p>④ 工事進捗状況報告書</p> <p>⑤ 火災保険</p> <p>⑥ 現場への搬入路</p> <p>⑦ グリーン購入法</p> <p>⑧ 高炉セメント日産</p> <p>⑨ 再生資源の利用促進</p> <p>⑩ 高度技術・熟練工夫・社会性等実施状況</p> <p>⑪ 工事施工実施計画書</p> <p>⑫ 施工体制台帳等</p> <p>⑬ 建設副産物実態調査（センサス）の対象工事</p> <p>⑭ 不当要求及び工事結算の排除</p>
--------------	---

<p>工事実績情報（工事カルテ）の登録を行うこと。（請負工費費が500万円以上）</p> <p>技能士の活用を積極的に図ること。施工計画書に技能士の氏名・資格証明を添付すること。ただし防水にかかる工事については必ず技能士を添付すること。</p> <p>工事写真については撮影時の提出要領による</p> <p>工事進捗状況報告書を提出すること。（提出日は毎月末、PDFデータとインターネットメールでの提出） 毎月末までの進捗状況を登録指定の書式により、翌月1日までに提出すること。</p> <p>火災保険の加入期間は工期に14日以上の日を加えた日数とする。 （原則として全ての工事において加入、契約書27条）</p> <p>現場への搬入路は、確保のないよう留意し、もし確保しない場合は速やかに復旧すること。</p> <p>「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」（グリーン購入法）に基づき、「山梨県グリーン購入の推進を図るための方針」により定められた次の資材に関しては、同法判断基準を満たすもの採用に努め、建設機械については原則使用すること。 また、採用が困難な場合は理由書を添付して報告すること。（コスト、納期、使用部位への適合性） 再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板） 陶磁器質タイル 高炉セメント フライアッシュセメント 再生加熱アスファルト混合物 再生骨材 小径丸太材（間伐材） 排出ガス対策型建設機械 ※高炉セメント、フライアッシュセメントは鉄筋コンクリート造には使用しない。 ※再生加熱アスファルト混合物は積極的に採用する。（プラントから40km以内の現場） 次の製品に関しては判断基準を満たすものから選択すること。 掲紙板 高級 ホワイトボード カーテン カーペット また工事完了後、その実績を文書にて報告すること。</p> <p>高炉セメント日産を以下の部位に使用すること。 ①ラップルコンクリート ②変換コンクリート ③場所打ちコンクリート杭地盤 ④室外構造物等に伴う地中部分のコンクリート構造物</p> <p>環境対策及び再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法を書面等により、明確にすること。（建設機械については、排ガス対策型の建設機械の使用を原則とする。）</p> <p>このことについて、請負者は工事施工において、自ら立案実施した熟練工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。（請負工事 500万円以上。）</p> <p>次の工事施工実施計画書を提出すること。軽微な工事は必要としない。 ○総合施工計画書（総合的な計画をまとめたもの。） ○工種別施工計画書（工種は監督職員の指示による。） このなかで、安全対策・使用材料・施工体制（下請け施工者の責任者）も明らかにすること。</p> <p>適正な下請負契約を確認するため、下請負契約を締結したときは次の書類を提出すること。 施工体制台帳 受注者は、下請負契約を締結したときは、国土交通省令に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。 施工体系図 受注者は、国土交通省令に従って、き下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が集まる場所および公差が狭い場所に掲げるとともにその写しを監督員に提出しなければならない。 施工体制台帳等の変更時の報告 施工体制台帳及び施工体系図に変更が生じた場合は、その都度速やかに監督員に提出しなければならない。 添付書類等については断熱技術管理課ホームページ http://www.pref.yamanashi.jp/gi/jutsukamri/sakoutaisaieidaichouchecklist.html 「施工体制台帳を提出する際に関するチェックリストの運用」を参照</p> <p>請負金額 100万円以上の工事については、建設副産物実態調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告書（計画書・実施書）（E×Oe1様式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。 （以前より使用していたC R E D A Sを使用した様式での提出は料30センサスに対応していないため不可） 工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD、FD等）により監督員に提出するものとする。 なお、入力した工事データは自社で1年間保管するものとする。 ※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recoyle/d03project/d0306/page_03060101oredasitop.htm</p> <p>暴力団等からの不当要求及び工事結算の排除 ① 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事結算を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 ② この場合において、工程等を変更せざるをえなくなったときは、速やかに発注者と協議すること。 ③ 請負者が①の報告等を受けた場合は、「山梨県建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止を行うこととする。</p>	<p>15 地中埋設物</p> <p>16 施設利用者等の安全</p> <p>17 ワンデーレスポンス</p> <p>18 技術者の専任</p> <p>19 下請け体系図の作成及び提出</p> <p>20 低騒音型建設機械の使用</p> <p>21 公共事業労務費調査</p> <p>22 内装材について</p> <p>23 敷地内の既存構造物等</p> <p>24 その他</p> <p>25 化学物質の濃度測定</p>
--	---

<p>地中埋設物について、調査及び現地により、詳細に調査すること。 施設利用者等の安全に十分に配慮すること。 ワンデーレスポンスについて（工事費 5000万円以上） 1. この工事は、ワンデーレスポンス取付対象工事とする。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議への回答を、原則「1日（24時間）以内」に回答することである。 2. 受注者は、余裕を排した最適な工程を、作業ごとの開通、進捗状況把握できる方法により作成し、監督員と協議すること。 3. 効果・詳細等を把握するため、フォローアップ調査に協力すること。</p> <p>主任技術者又は監理技術者の専任について（請負工費費 3500万円以上、建築一式は7000万円以上） 1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 2. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）工事手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日（「完成検査結果通知書」等に明記する日付）とする。</p> <p>「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の如何にかかわらず、実態の下請負者まで反映させた、「下請け体系図」を作成し、進捗・協議が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。 また、提出した「下請け体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更し、遅滞なく監督員へ提出するものとする。 なお、提出は打合せによるものとする。ただし、メールによる提出も可能とし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。</p> <p>本工において、原則「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（昭和62年3月30日建設省経機第58号）」に基づき、低騒音型建設機械を使用する。 なお、低騒音型建設機械については、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する経理（平成9年建設省告示第1536号 最終改正平成20年国土交通省告示第361号）」に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。 また、施工現場において指定機械であることを識別するラベルが確認できるように、建設機械を写真撮影し、監督員に提出するものとする。</p> <p>当該公共が公共工事労務費調査の対象となった場合には、監督員の指示によりこれに協力しなければならない。工期経過後においても同様とする。</p> <p>内装材撤去については、下地（断熱材、打ち込み木も板敷）を、仕上げずべて撤去するため、解体工事と同等の方法を用いることができる。</p> <p>既存構造物は破壊しないよう留意し、万一破壊した場合は速やかに監督員に報告し復旧を行うこと。</p> <p>1. ゴム製品等の品質確認等 東洋ゴム化工品（株）ニッタ化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、契約時点で両社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（東洋ゴム化工品（株）ニッタ化工品（株）と資本面・人面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。なお、必要な品質証明書は、以下の試験および検査において、製品に応じて必要な規格について取得するものとする。 2. ゴム製品等の品質確認をした場合における取組の取扱い 第三者による品質証明書類を提出し監督員の確認を得た場合であっても、のちに製品不良等が判明した場合の受注者の製造責任が免責されるものではない。</p> <p>測定対象化学物質 ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・パラジクロロベンゼン ・その他（ ）</p> <p>測定時期 ※工事完了検査前 測定方法 ※1箇所あたり2測定バツ（ホルムアルデヒド用、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン用） 測定差 ※標準（1） 測定箇所数 以下の表に準ずる</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>室の床面積（㎡）：A</th> <th>A ≤ 50</th> <th>50 < A ≤ 200</th> <th>200 < A ≤ 500</th> <th>500 < A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1 箇所</td> <td>2 箇所</td> <td>3 箇所</td> <td>4 箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定結果の報告 「測定結果報告書」を監督員に提出すること。（書式は監督職員の指示による） 測定結果が基準値を超えた場合の措置 原因究明の報告書及び措置方法の計画書を作成し、監督職員の承認を得ること。</p>	室の床面積（㎡）：A	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A	測定箇所数	1 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所
室の床面積（㎡）：A	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A						
測定箇所数	1 箇所	2 箇所	3 箇所	4 箇所						

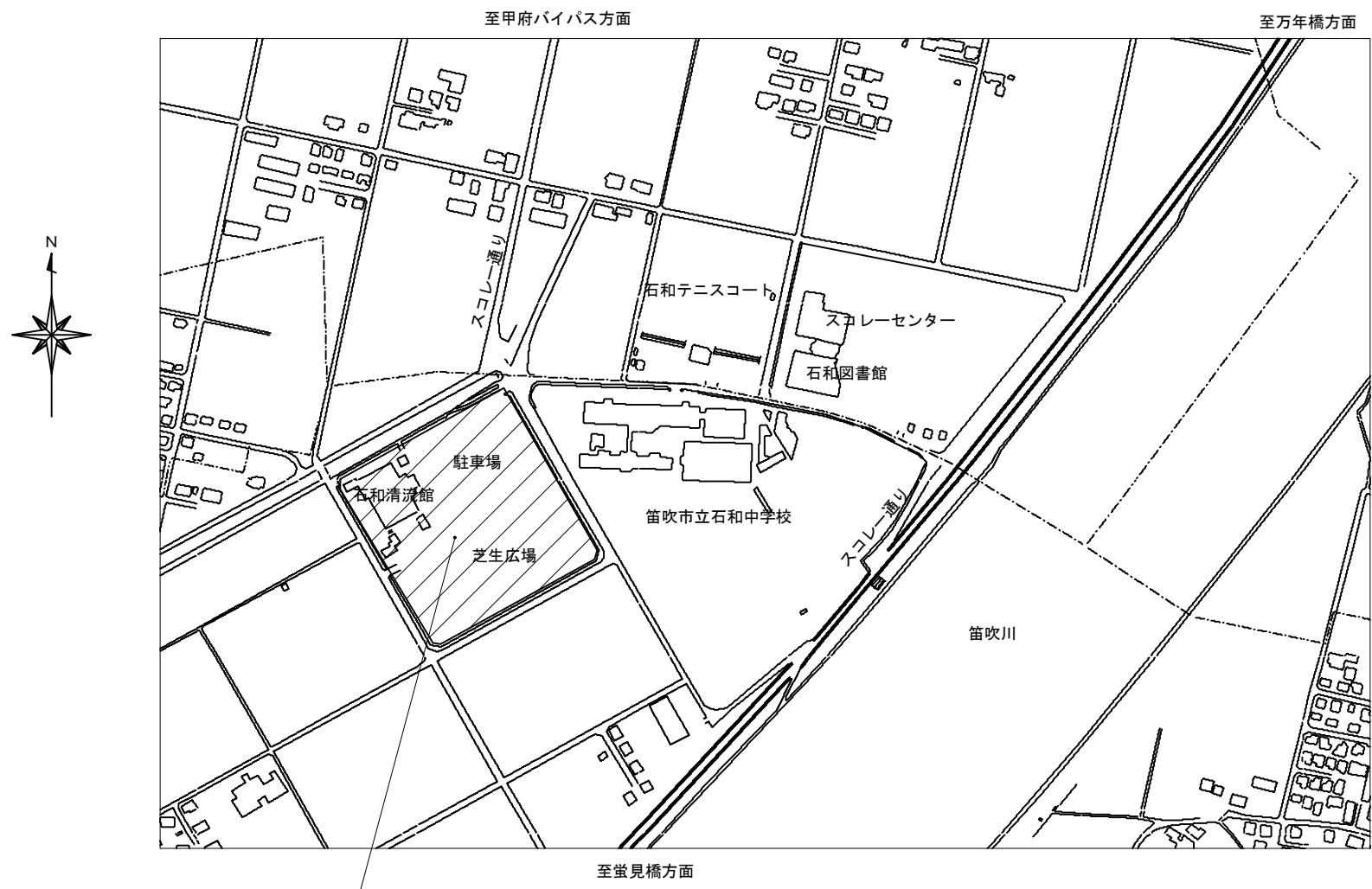
<p>概要</p>	<p>T I M E</p>	<p>作成者</p>	<p>工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）</p>	<p>縮尺</p>
			<p>図面名称 特記仕様書（その5）</p>	<p>図番 06</p>

設計概要	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）
	建築主 住所・氏名	笛吹市石和町市部777 笛吹市長 山下政樹
	構造 工事種別	鉄骨造平屋建て及び2階建て、又木造平屋建て 改修
	敷地の地名地番	山梨県笛吹市石和町小石和700番地 石和清流館
	用途地域等	無指定
	床面積	棟別面積表（配置図参照）
	建築面積	棟別面積表（配置図参照）

工事の概要	A棟 B棟 C棟 D棟 E棟 F棟 G棟 H棟 合計8棟及び外構の整備				
	A棟	外部改修	基礎部	モルタル浮き部改修 タイル浮き部改修 クラック補修 基礎立ち上がり面塗装	
			外壁部	外壁版目地部及び窓周りシーリングの打ち換え クラック補修 外壁面吹付塗装改修	
				軒天部	既存ケイカル版損傷箇所補修の上塗装 一部（ルーフトッキ屋根部）撤去の上【新設】
					破風鼻隠
			外部鉄部		
			屋外階段	鉄部DP塗装	
			屋根部	屋根：カバー工法による葺き替え・一部（ルーフトッキ屋根）撤去の上葺き替え 瓦棟：撤去→屋根同材棟葺き	
				軒樋：全取り換え 一部新設 縦樋：全取り換え 一部新設（排水経路変更）	
				屋上防水	既存シート防水+人工芝撤去の上ウレタン防水+ゴムチップ舗装 的場の安土；撤去の上再構築 ルーフトレン部：改修用ドレン挿入
		内部改修	柔道場		床（畳共）：全撤去の上柔道用床組・柔道用畳敷き 床・壁・天井断熱材挿入
			剣道場		壁・天井：撤去の上【新設】

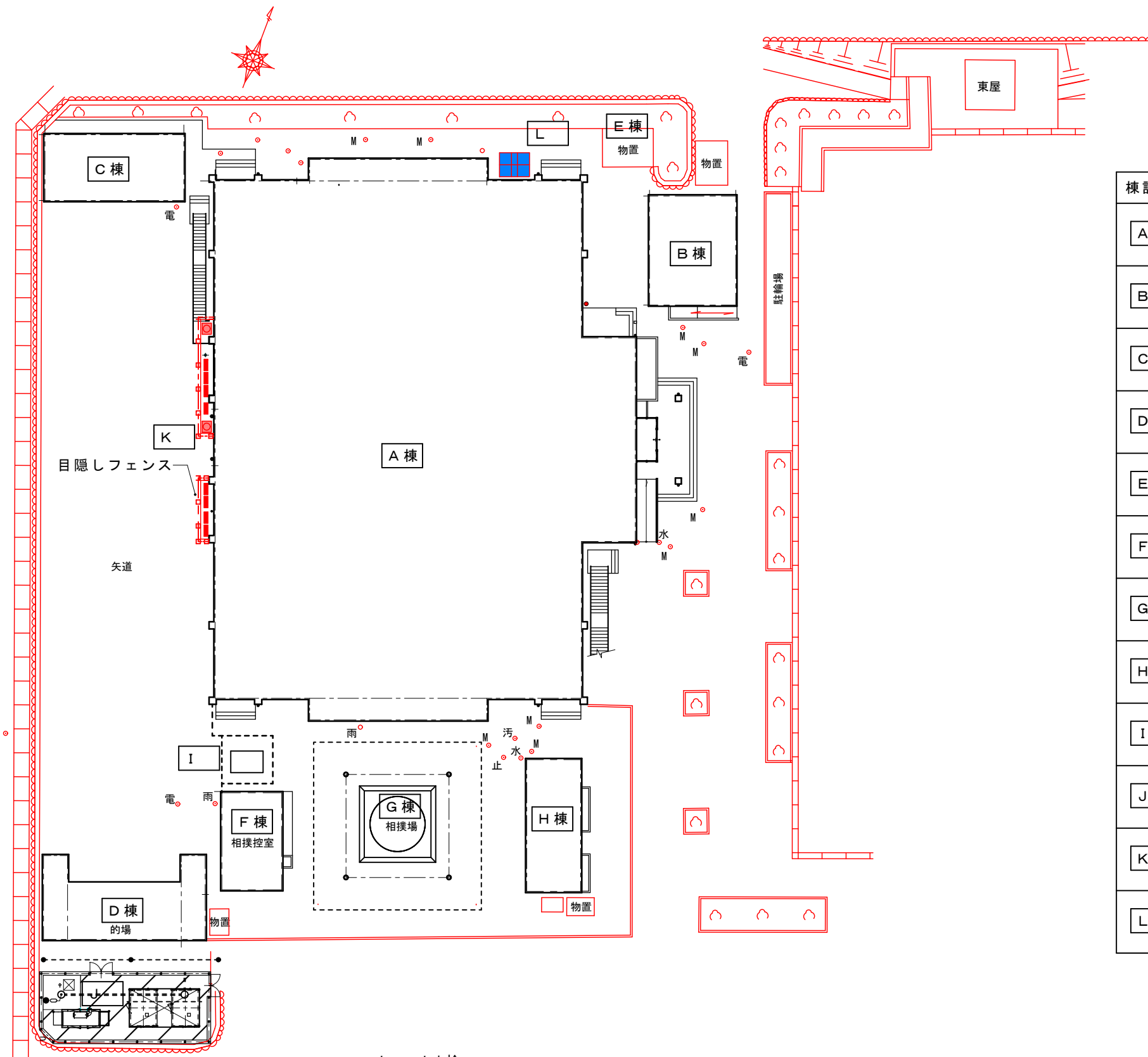
工事の概要	A棟	内部改修	1階 その他室	床・壁・天井への断熱材挿入 床・壁の仕上げ撤去及び【新設】 天井：下地～仕上撤去及び【新設】 更衣室内シャワーブース撤去	
				便所	床：バリアフリー化 乾式床とする
				1～2階	便器洋式化（機械設備） 壁・天井仕上げ改修
			2階 廊下 射場	床：下地・フローリング共撤去の上【新設】 壁：仕上げ撤去の上【新設】 天井：一部下地共撤去一部仕上げのみ撤去の上【新設】	
				2階 その他室	床・壁の仕上げ撤去及び【新設】 天井：下地～仕上撤去及び【新設】 更衣室内シャワーブース撤去
					建具改修
		シャッター	2階射場シャッター：交換		
		木製建具	塗装 撤去・新設 引き戸レール改修		
		B棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：塗装改修 外壁：シーリング打設替えの上塗装
			内部改修		
		C棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装
			内部改修		建具修繕 シャッター全交換 シャッター交換による取り合い部分改修
	D棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装	
		内部改修		建具修繕 シャッター：交換	
	E棟	外部改修	屋根・外壁	外壁：シーリング差し替えの上塗装	
		内部改修			
	F棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装	
		内部改修			
	G棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：カバー工法による葺き替え 外壁：シーリング差し替えの上塗装	
		内部改修		天井張替え 鉄部：DP塗装 土俵改修	
	H棟	外部改修	屋根・外壁	屋根：塗装改修 外壁：シーリング差し替えの上塗装	
		内部改修		内装仕上げ改修 便器洋式化（機械設備）	
	外構	一部インターロッキング舗装新設（屋外トレへのアプローチ・遠的場へのアプローチ）			
		遠的場矢道グラウンド整備 機械基礎（電気設備用 機械設備用）			
		他			

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺			
						承認	図面名称 設計概要・工事概要	図番 07



工事場所：笛吹市石和町小石和700番地 石和清流館

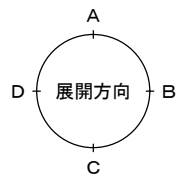
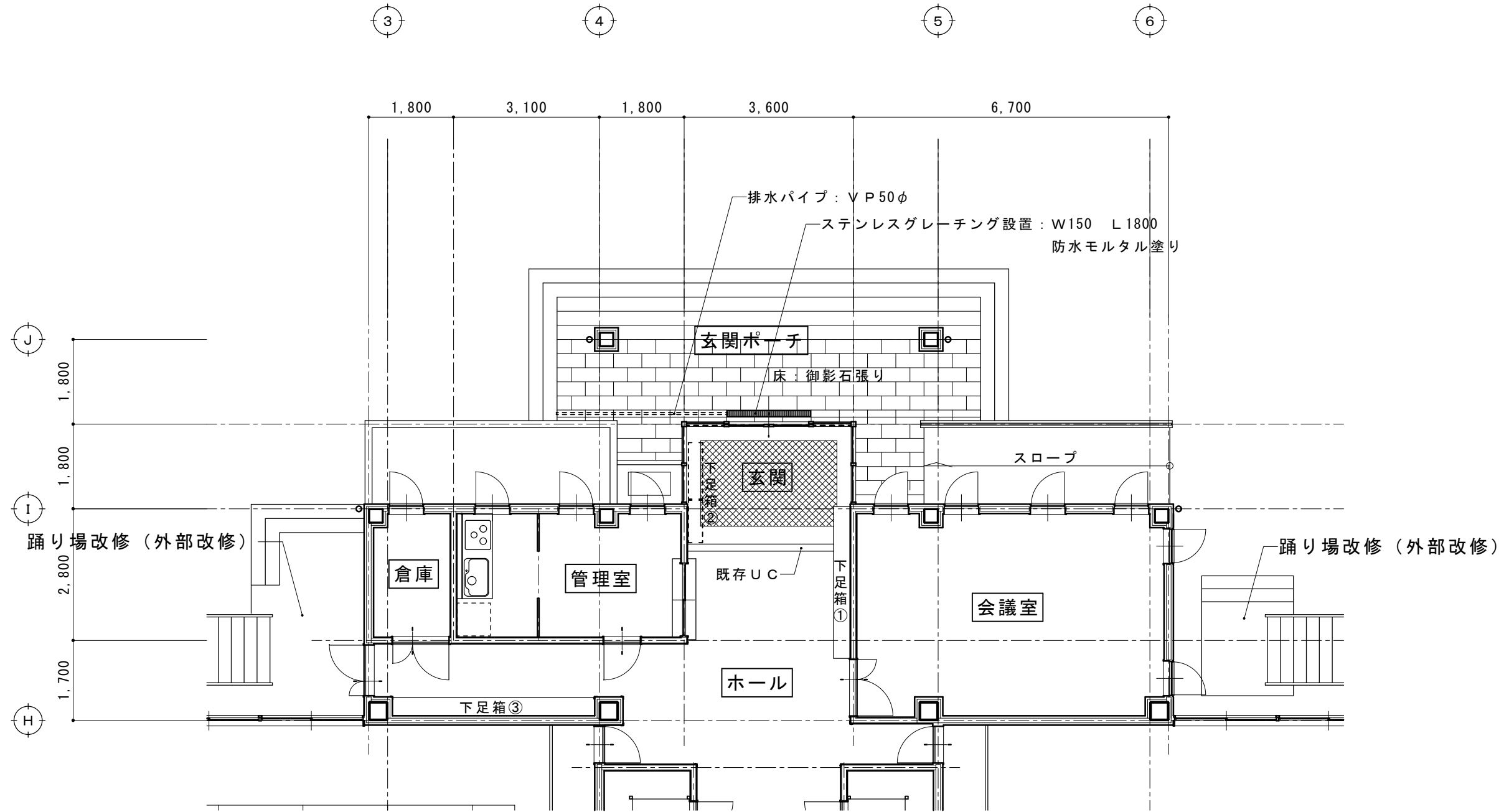
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
			承認		



- 止 止水栓
- M 雨水マンホール
- 汚 汚水マンホール
- 電 電気マンホール
- 雨 雨水樹
- 水 水道

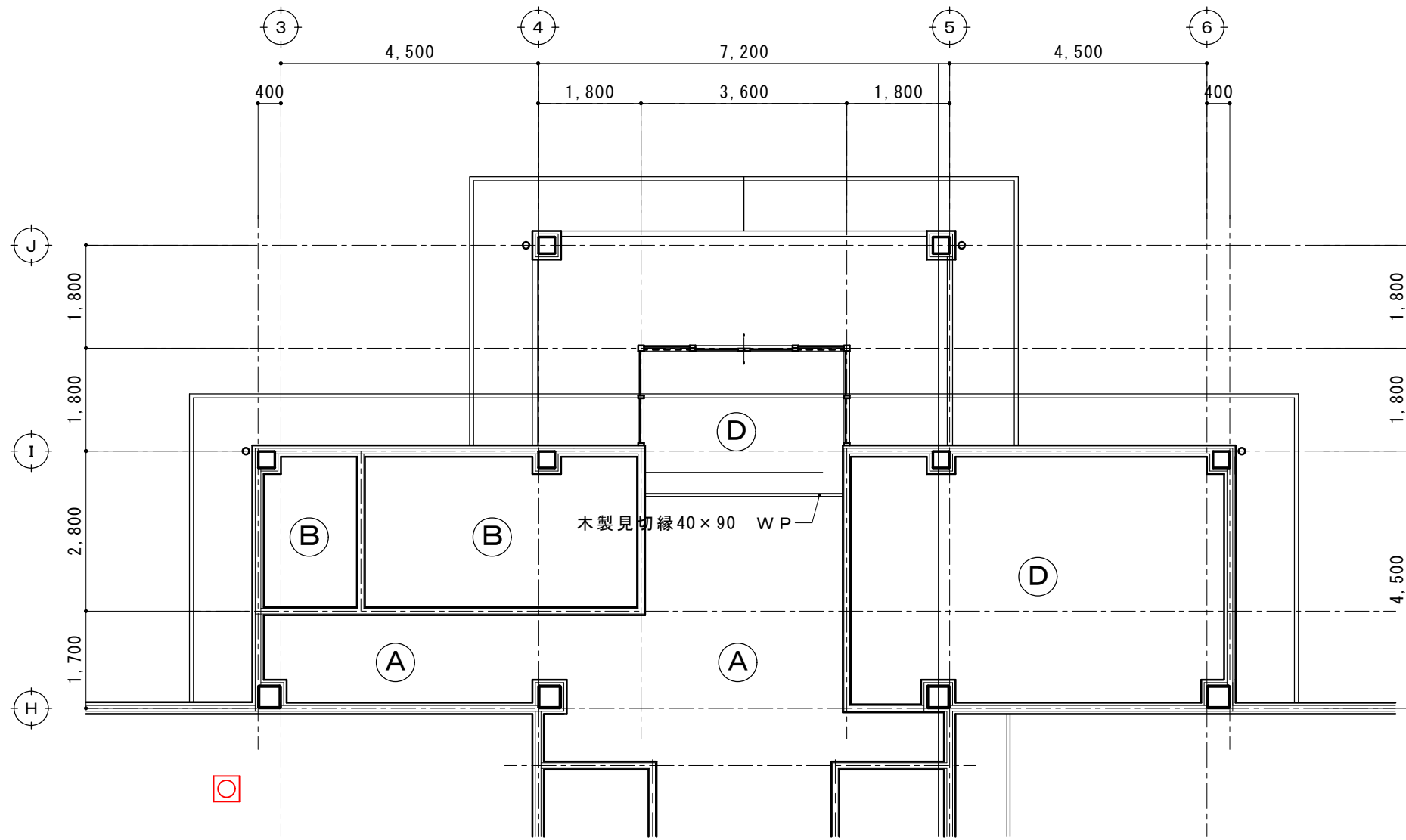
棟記号	用途	構造	階数	面積
A棟	武道場 柔道場・剣道場 弓道場	鉄骨造	2階建て	延べ面積：2,010.94 m ² 建築面積：1,580.89 m ²
B棟	スポーツ練習場 トレーニングルーム	木造	平屋建て	延べ面積：66.10 m ² 建築面積：66.10 m ²
C棟	弓道場（遠的） 射場	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：63.80 m ² 建築面積：63.80 m ²
D棟	弓道場（遠的） 的場	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：72.65 m ² 建築面積：72.65 m ²
E棟	物置	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：13.00 m ² 建築面積：13.00 m ²
F棟	相撲控室	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：40.00 m ² 建築面積：40.00 m ²
G棟	相撲場	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：174.24 m ² 建築面積：174.24 m ²
H棟	屋外便所	鉄骨造	平屋建て	延べ面積：49.50 m ² 建築面積：49.50 m ²
I	変圧器置き場 キュービクル			
J	発電機置場 非常用発電機 200KVA 油庫（72時間対応）			
K	A C屋外機置場			
L	屋内消火栓タンク置場			

摘要	T・L・A・W・R	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/400
			承認		



現況図

摘要 _____ _____ _____		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修 (1階玄関廻り) 平面図	図番 A:1-01



天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り(中級品)		
B	既存	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
D	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁		

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/100
			承認		

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
玄関ポーチ	既存	御影石 t 20本磨き			LGS下地 GBR9.5 岩綿吸音板 t 15	塩ビ製	
	撤去	御影石部分撤去 (グレーチング設置・排水パイプ設置部)			LGS下地 GBR9.5 撤去なし 岩綿吸音板 t 15 撤去なし	塩ビ製	床：御影石部分撤去
	改修	撤去した御影石を使用する。加工の上張工			LGS下地 GBR9.5 改修なし 岩綿吸音板 t 15 改修なし	塩ビ製	ステンレス製グレーチング新設 150×1800 溝内：防水モルタル塗り 排水パイプVP50φ

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
玄関	既存	ポーチ一部：御影石 t 20本磨き 中央部：モルタル金コテ押さえ下地泥落としマット (塩ビ) t 15	御影石H150	下地：LGS 腰壁：化粧合板張り FL+1,550まで 壁：GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBR9.5 岩綿吸音板 t 15	塩ビ製	下足箱① ② ③
	撤去	中央部：仕上げ泥落としマット (塩ビ) t 15	御影石H150 撤去なし	下地：LGS 撤去なし 腰壁：化粧合板張り 全撤去 壁：GBR12.5及びビニルクロス張り 全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 岩綿吸音板 t 15 撤去	塩ビ製 撤去	下足箱① ② ③ 撤去
	改修	中央部：仕上げ泥落としマット (塩ビ) t 15	御影石H150 既存のまま	壁：GBF15 ビニルクロス張り (中級品) 出隅：木製コーナービート H：1,800 UC塗装	LGS下地の上 GBD9.5張り 岩綿吸音板 t 15 張り 天井伏図参照	塩ビ製 新設	下足箱 新① 新② 新③ 設置

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
ホール 廊下	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t 2.0	ソフト巾木 H：100	下地：LGS 腰壁：化粧合板張り FL+1,550まで 壁：GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t 2.0撤去	ソフト巾木 H：100 撤去 撤去	下地：LGS 撤去なし (階段設置部分：撤去 詳細図参照) 腰壁：化粧合板張り 全撤去 壁：GBR12.5及びビニルクロス張り 全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 ビニルクロス撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	長尺塩ビシート t 2.0張り	ソフト巾木 H：100 改修	下地：LGS (階段設置部分：新規 W100 詳細図参照) 壁：GBF15 ビニルクロス張り (中級品) 出隅：木製コーナービート H：1,800 UC塗装	LGS下地 GBR9.5 張り ビニルクロス張り (中級品) 天井伏図参照	塩ビ製 新設	管理室カウンターUC塗装 中央部ホール ベンチUC塗装

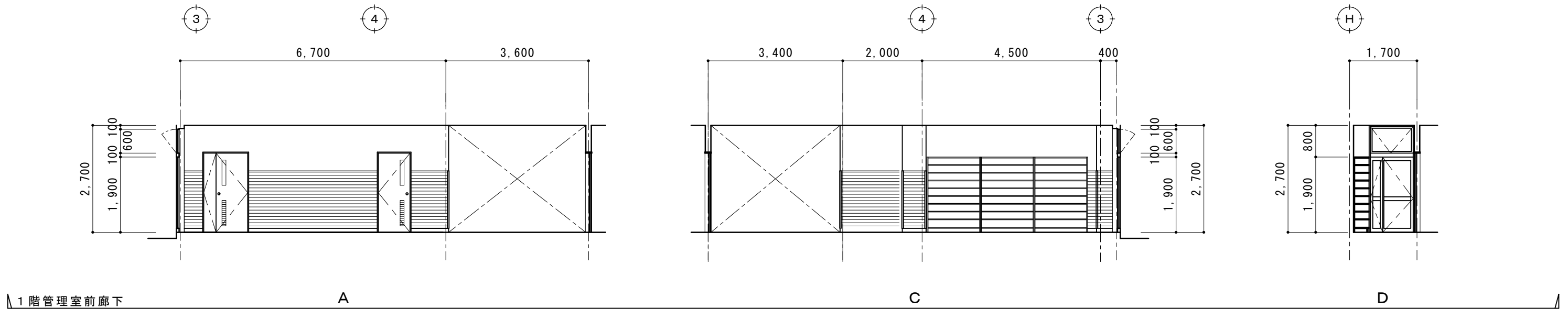
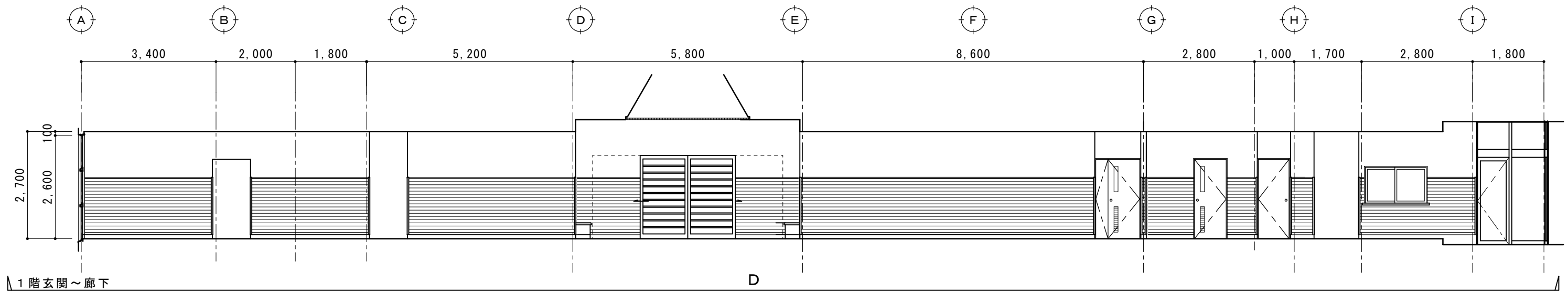
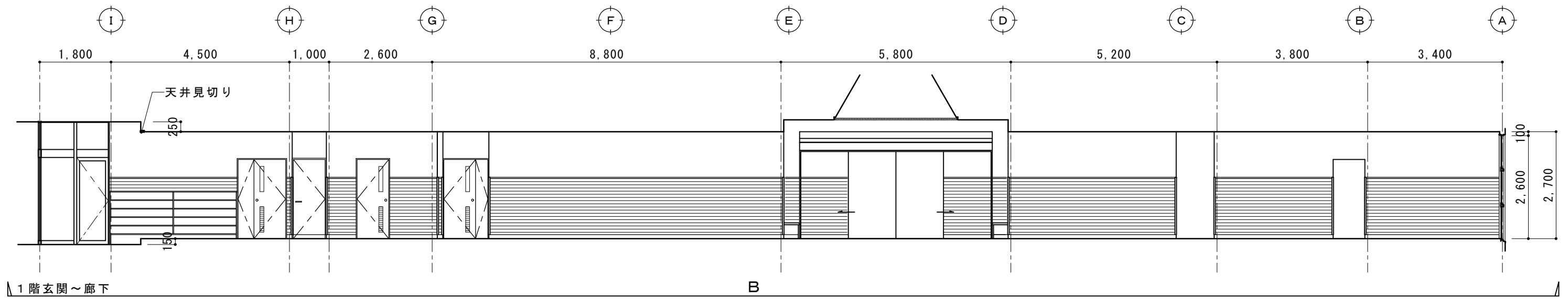
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
管理室	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t 2.0	ソフト巾木 H：100	下地：LGS 壁：GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBD9.5	塩ビ製	流し台・ガス台 パーテーション：改修なし
	撤去	長尺塩ビシート t 2.0撤去	ソフト巾木 H：100 撤去	壁：ビニルクロス張り全撤去	LGS下地 撤去 GBD9.5 撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	長尺塩ビシート t 2.0張り	ソフト巾木 H：100 改修	壁：ビニルクロス張り (中級品)	LGS下地 張り GBD9.5 張り 天井伏図参照	塩ビ製 新設	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
会議室	既存	モルタル金コテ押さえ下地 タイルカーペット	ソフト巾木 H：100	下地：LGS 壁：GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBR9.5 岩綿吸音板 t 15	塩ビ製	
	撤去	モルタル金コテ押さえ下地 撤去なし タイルカーペット 撤去なし	ソフト巾木 H：100 撤去	ビニルクロス張り全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 岩綿吸音板 t 15 撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	モルタル金コテ押さえ下地 既存のまま タイルカーペット 既存のまま	ソフト巾木 H：100 改修	ビニルクロス張り (中級品)	LGS下地 GBR9.5 張り 岩綿吸音板 t 15 張り 天井伏図参照	塩ビ製 新設	

摘要	TIME		作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
	承認				

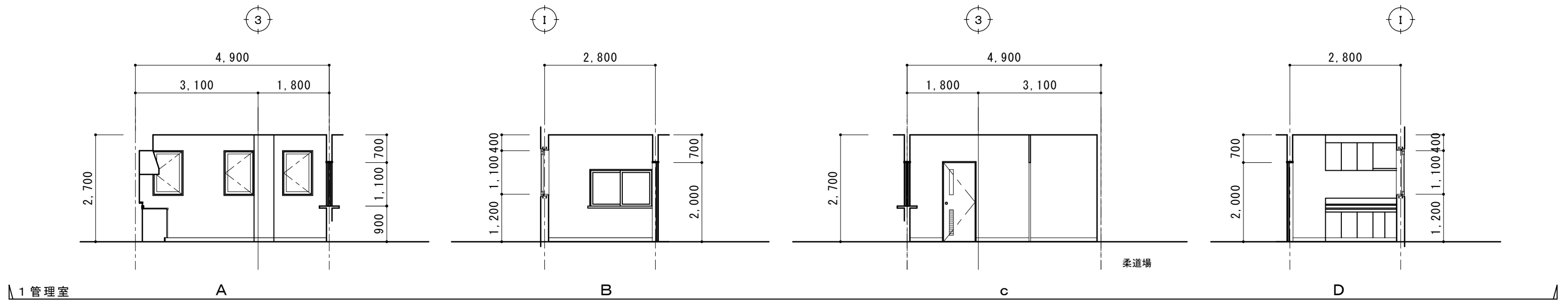
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
倉庫	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H:100	下地:LGS 壁:GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBD9.5	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t2.0撤去	ソフト巾木 H:100	ビニルクロス張り全撤去	LGS下地 撤去 GBD9.5 撤去	塩ビ製	スチール柵 900×300×1800 移動・再設置
	改修	長尺塩ビシート t2.0張り	ソフト巾木 H:100	ビニルクロス張り(中級品)	LGS下地 張り GBD9.5 張り 天井伏図参照	塩ビ製	

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺
				図面名称	A棟 内部改修(1階玄関廻り)改修内容2	図番



現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認		



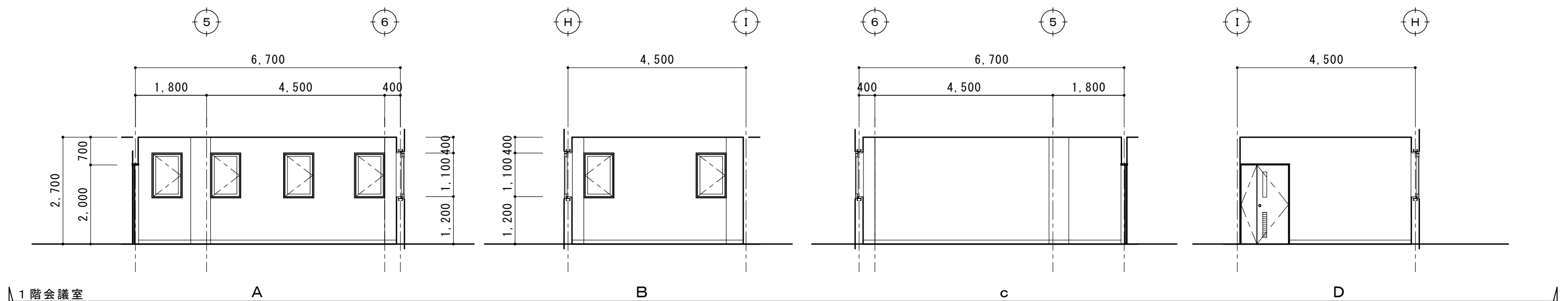
1 階管理室

A

B

C

D



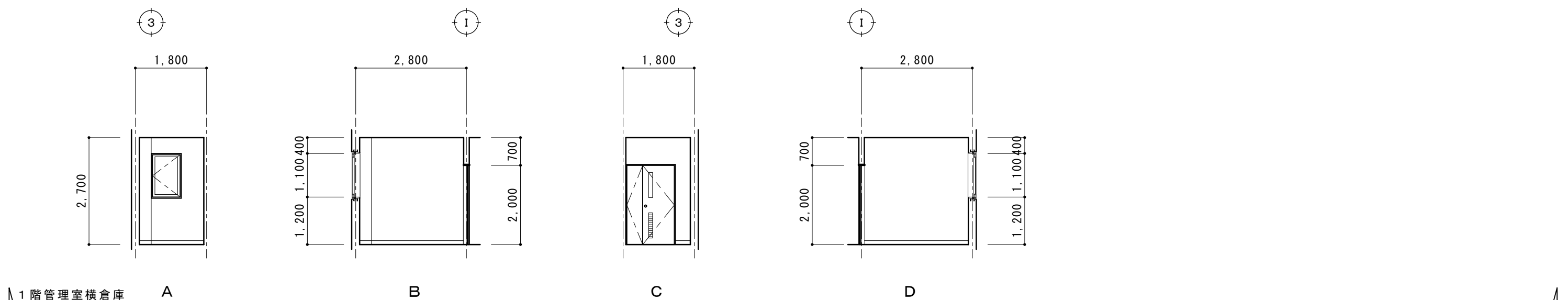
1 階会議室

A

B

C

D



1 階管理室横倉庫

A

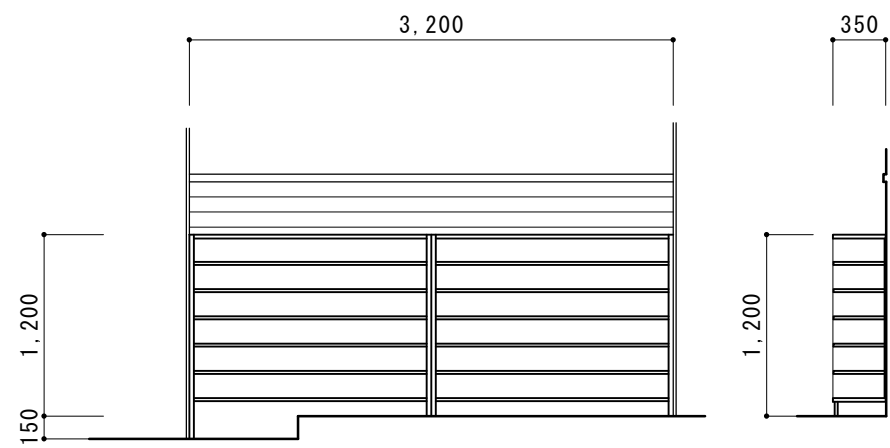
B

C

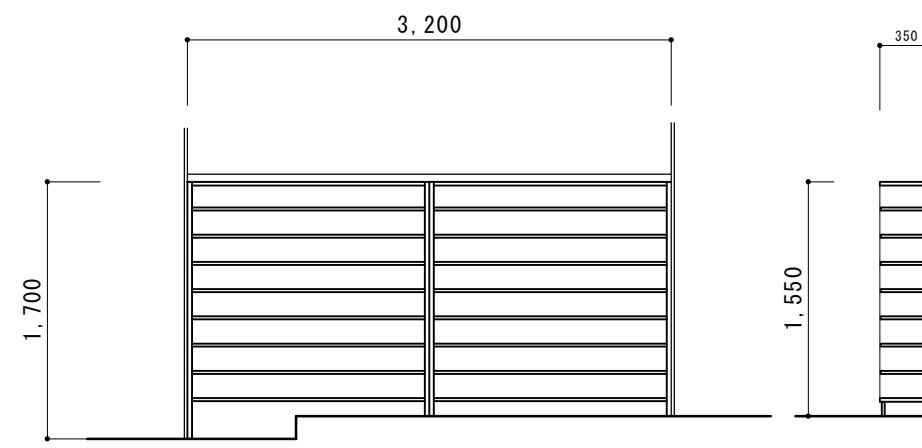
D

現況図

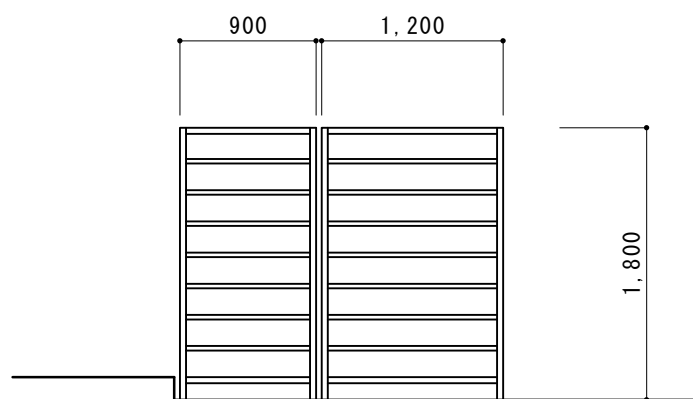
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認		



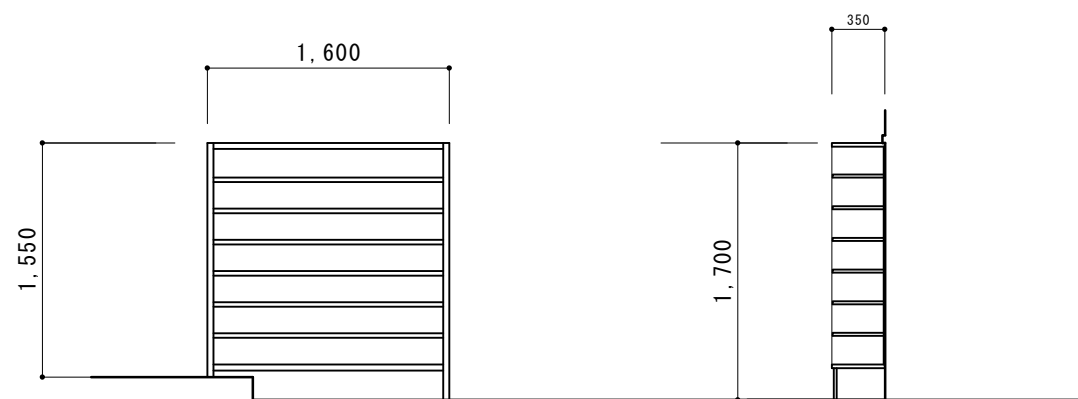
改修



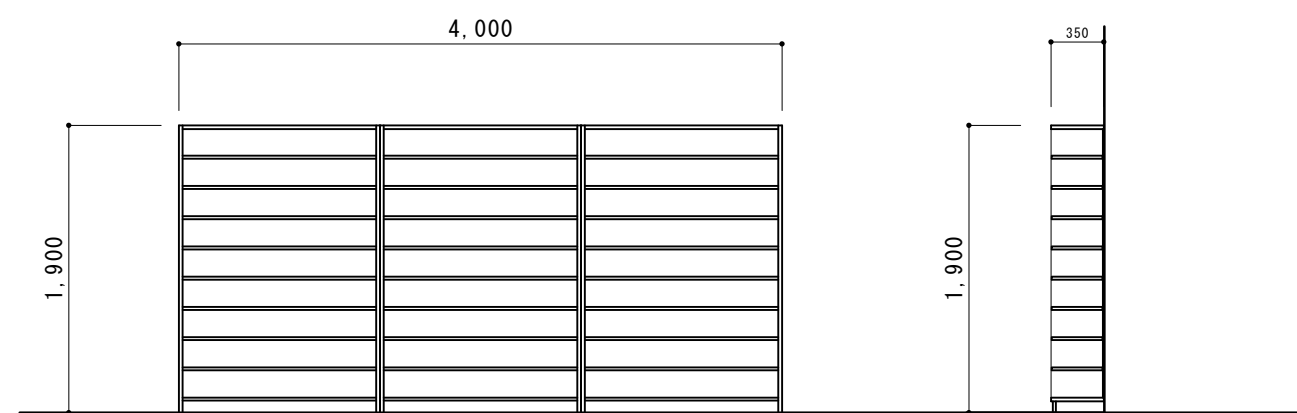
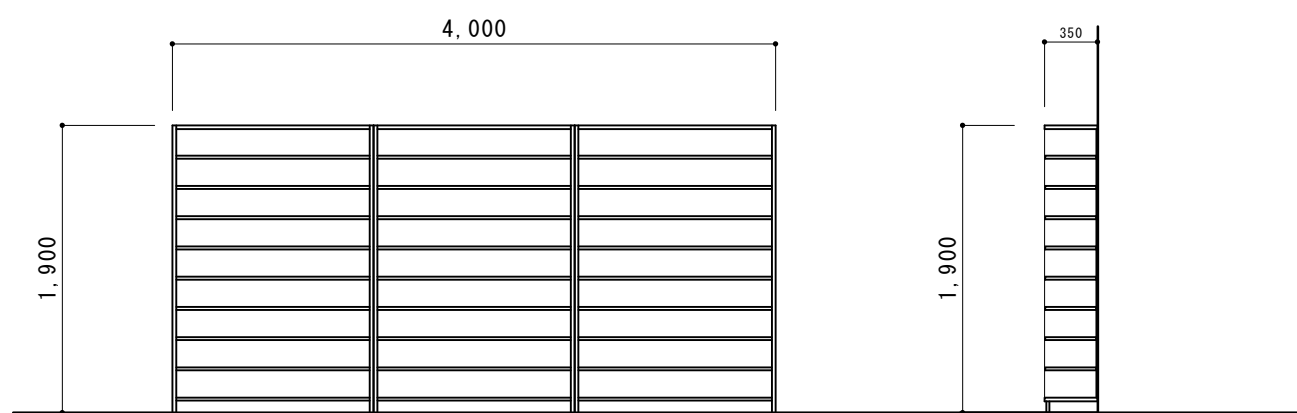
下駄箱 ①	撤去	化粧合板フラッシュ	下駄箱 新①	新設	メラミン化粧合板フラッシュ
-------	----	-----------	--------	----	---------------



改修

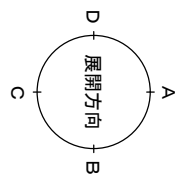
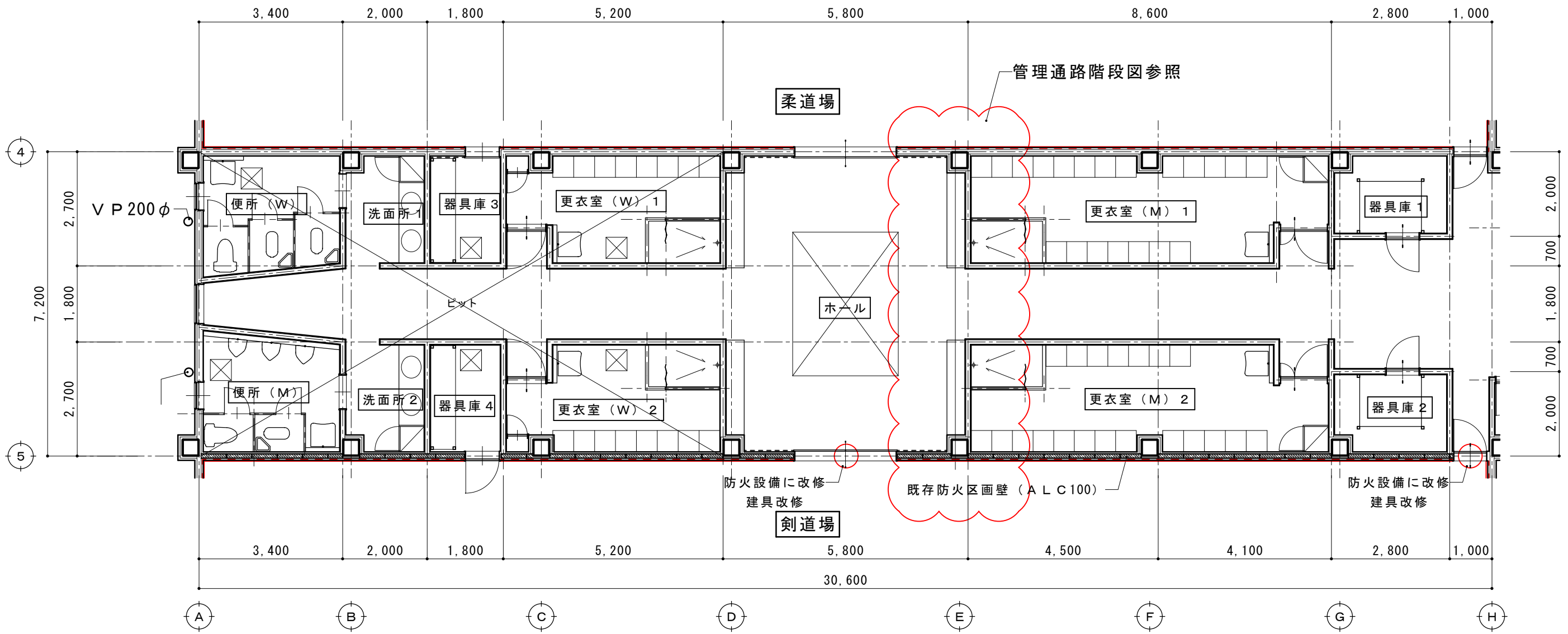


下駄箱 ②	撤去	鋼製家具（オープン棚）	下駄箱 新②	新設	メラミン化粧合板フラッシュ
-------	----	-------------	--------	----	---------------



下駄箱 ③	撤去	化粧合板フラッシュ	下駄箱 新③	新設	メラミン化粧合板フラッシュ
-------	----	-----------	--------	----	---------------

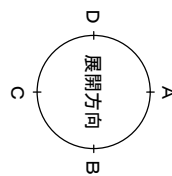
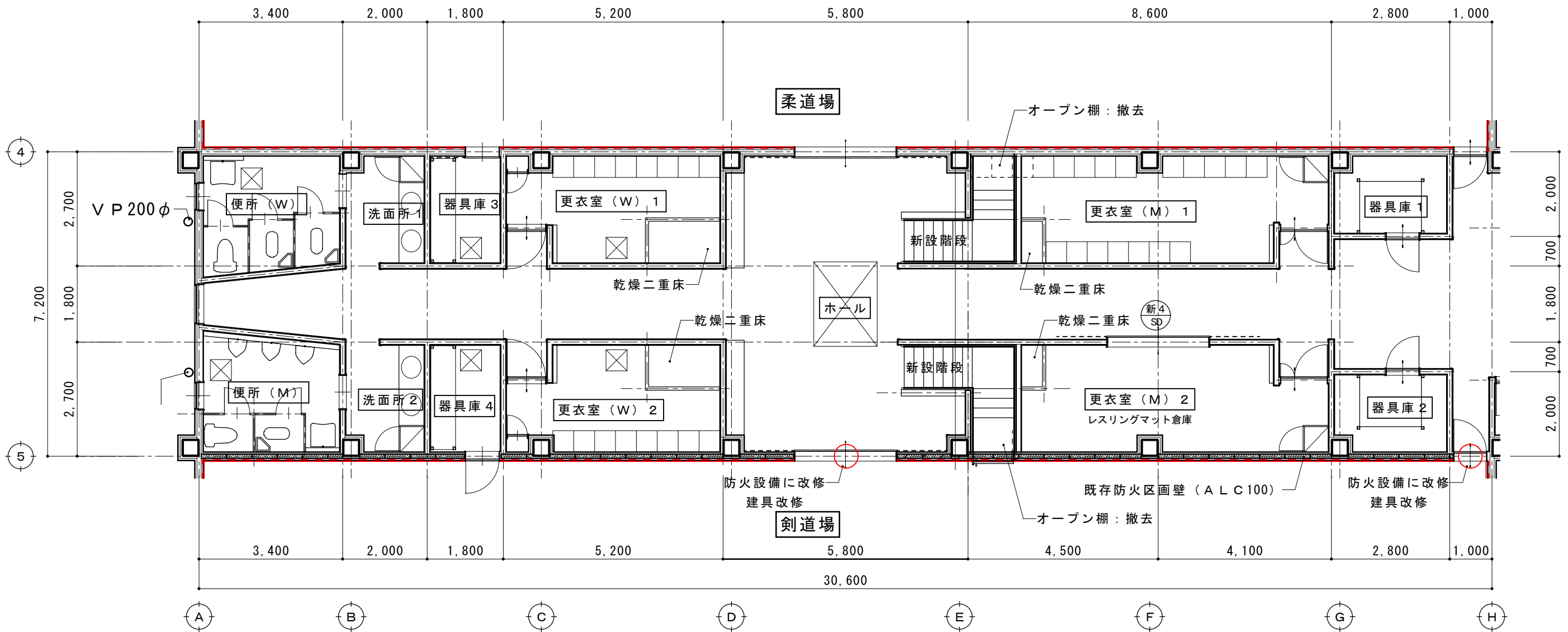
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
			承認		



--- 断熱材挿入位置を示す（開口部上下壁を含む）特記仕様書に示す

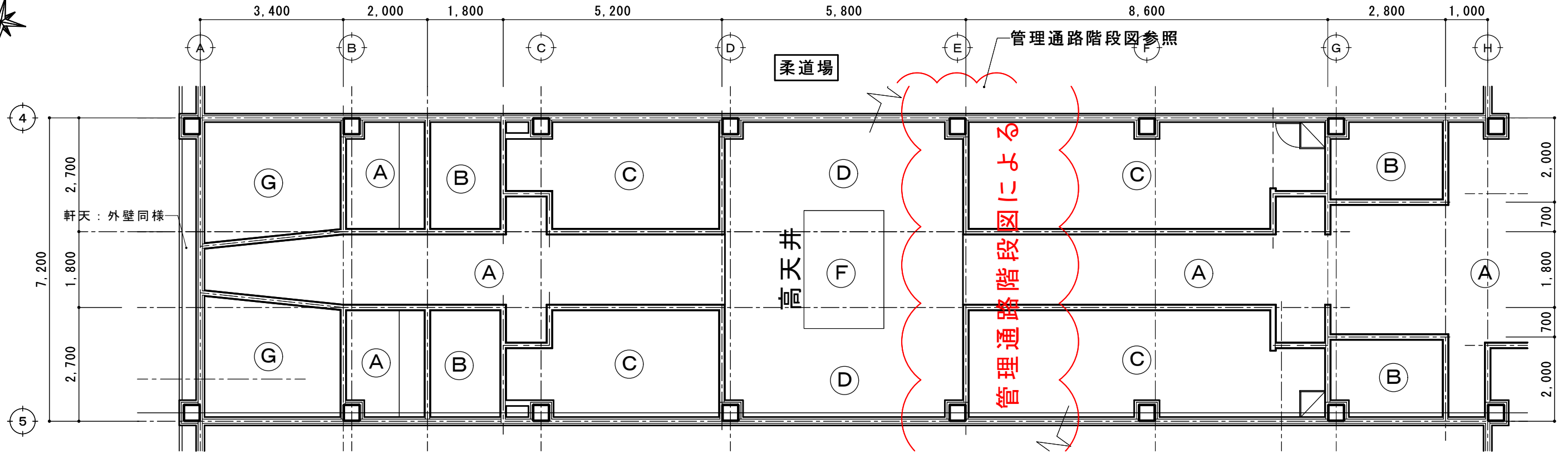
現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（1階更衣室他）現況平面図	図番 A : 1-08



断熱材挿入位置を示す (開口部上下壁を含む) 特記仕様書に示す

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
			承認	図面名称	A棟 内部改修 (1階更衣室他) 改修平面図	図番	A : 1-09



天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考	天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り			D	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り	(全撤去)			撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り				改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁		
B	既存	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁			G	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)			撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁				改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		
C	既存	LGS下地 フレキシブルボード t6 AEP塗装 塩ビ天井見切縁			F	既存	塩ビ製ルーバー		
	撤去	LGS下地 フレキシブルボード t6 アスベストあり 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)			撤去	塩ビ製ルーバー	(全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁				改修	開口 (階段設置図参照)		

現況図

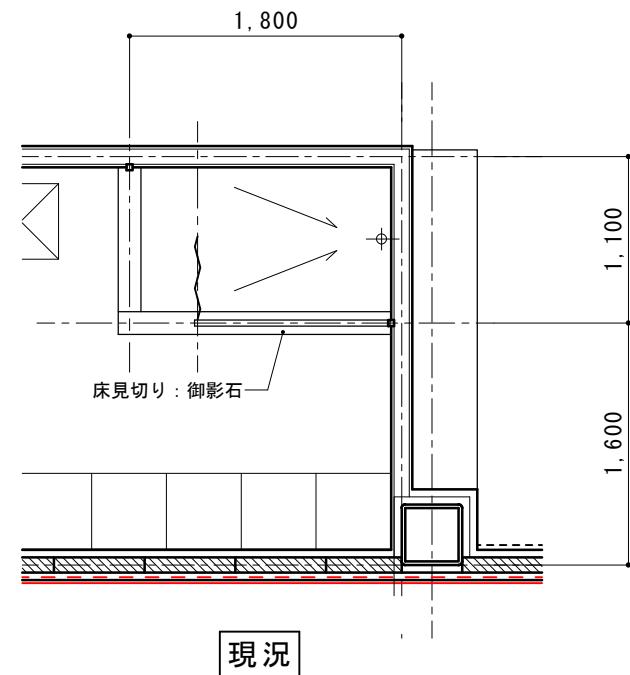
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認		

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
更衣室 (M) 1	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H:100	下地: LGS下地GBR12.5 壁: ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 フレキシブルボードt6 (アスベストあり)	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t2.0撤去	ソフト巾木 H:100	下地: LGS下地GBR12.5 一部撤去 壁: ビニルクロス張り 全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 フレキシブルボードt6 (アスベストあり) 撤去	塩ビ製	シャワーブース撤去 木製オープン棚一部撤去900×500×1900 2台
	改修	長尺塩ビシート t2.0張り	ソフト巾木 H:100	下地: LGS下地GBR12.5 (破損箇所: 張替え) 階段設置部 下地: LGS下地GBR12.5 壁: ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 撤去 GBD9.5 天井伏図参照	塩ビ製	シャワーブース床面: 乾式置床の上長尺塩ビシート t2.0

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
更衣室 (M) 2 レスリングマット倉庫	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H:100	下地: LGS下地GBR12.5 壁: ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 フレキシブルボードt6 (アスベストあり)	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t2.0撤去	ソフト巾木 H:100	下地: LGS下地GBR12.5 一部撤去 壁: ビニルクロス張り 全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 フレキシブルボードt6 (アスベストあり) 撤去	塩ビ製	シャワーブース撤去 木製オープン棚一部撤去900×500×1900 10台
	改修	長尺塩ビシート t2.0張り	ソフト巾木 H:100	下地: LGS下地GBR12.5 (破損箇所: 張替え) 階段設置部 下地: LGS下地GBR12.5 壁: ビニルクロス張り	LGS下地 GBR9.5 撤去 GBD9.5 天井伏図参照	塩ビ製	シャワーブース床面: 乾式置床の上長尺塩ビシート t2.0

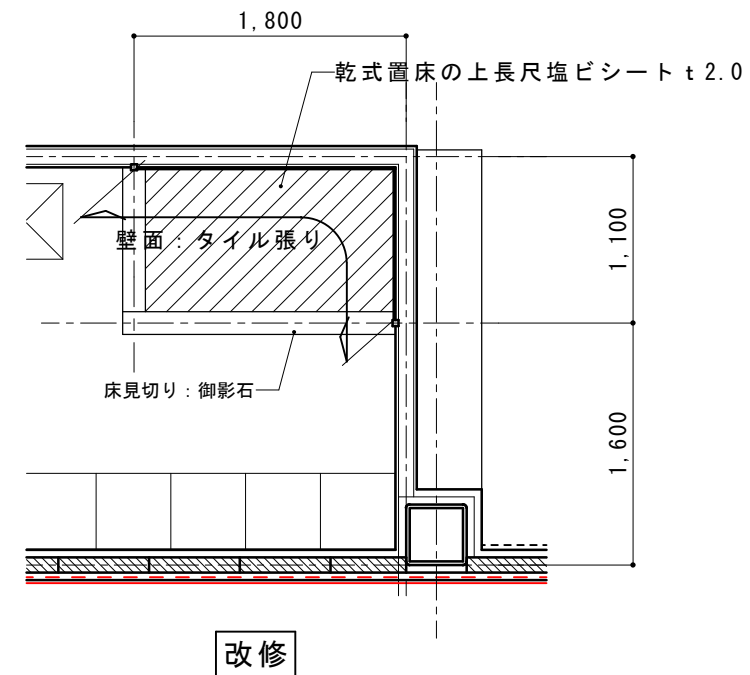
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
器具庫 1~4	既存	モルタル金コテ押さえ下地 長尺塩ビシート t2.0	ソフト巾木 H:100	下地: LGS下地GBR12.5 壁: EP塗り	LGS下地 GBD9.5	塩ビ製	
	撤去	長尺塩ビシート t2.0撤去なし	ソフト巾木 H:100		LGS下地 GBD9.5 撤去	塩ビ製	
	改修	長尺塩ビシート 改修なし	ソフト巾木 H:100	改修なし	LGS下地の上 GBD9.5	塩ビ製	

シャワーブース撤去改修平面図 S=1/50



現況

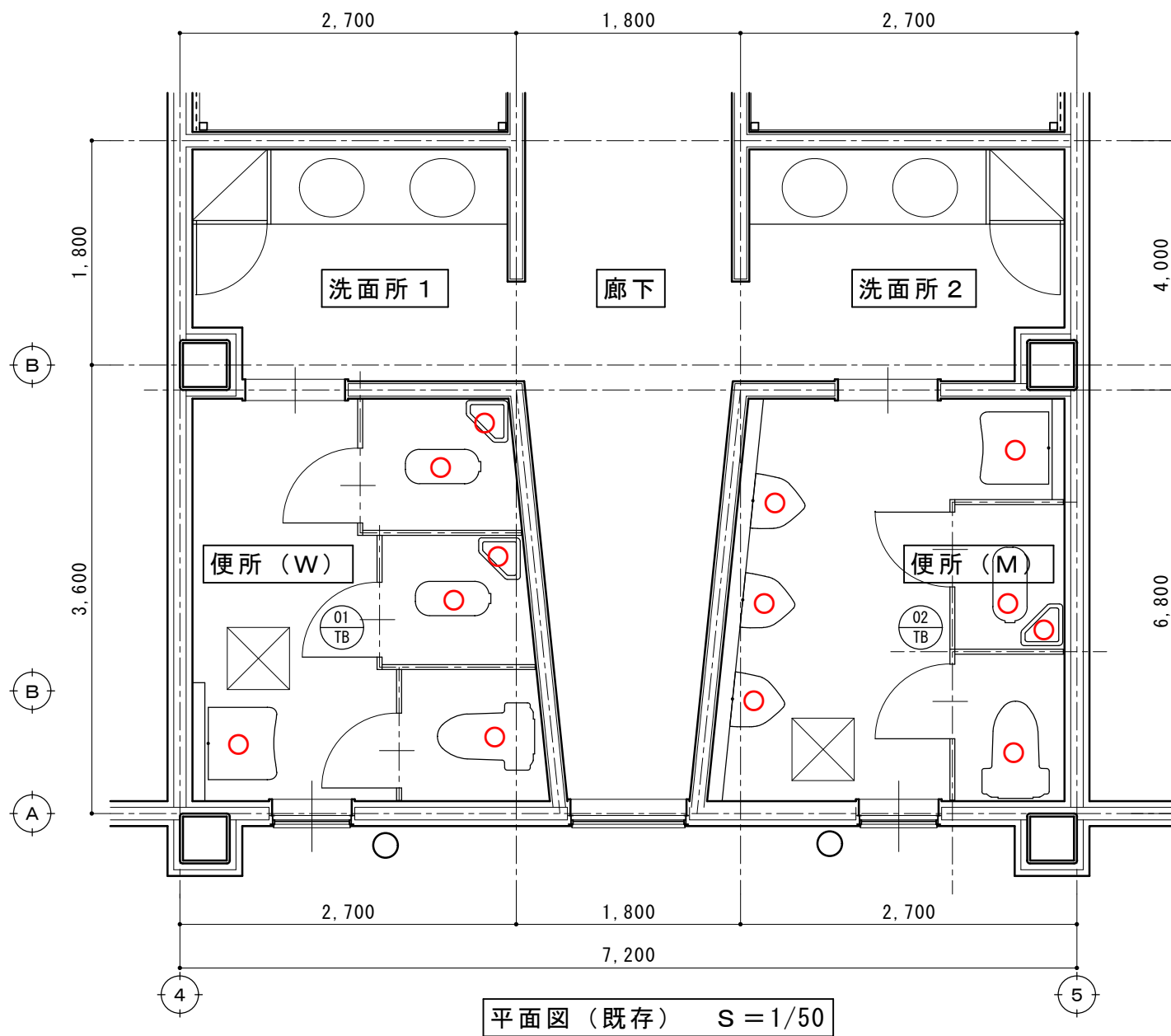
シャワーカーテン
シャワーブース > 撤去



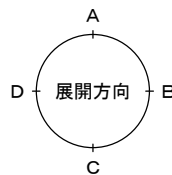
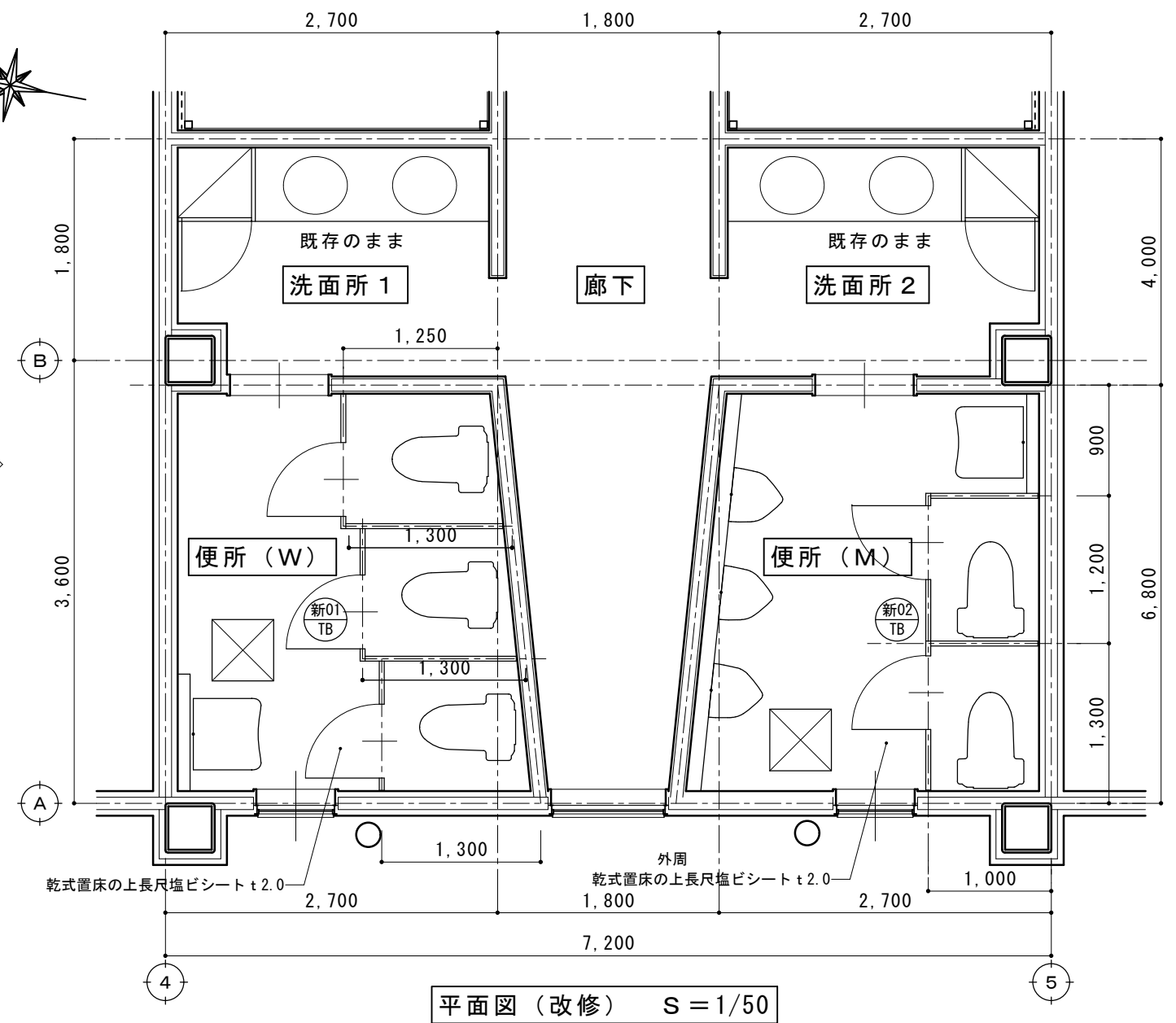
改修

壁面: タイル張り部分→既存タイルの上GBR12.5張り ビニルクロス張り (中級品)

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
				図面名称 A棟 内部改修 (1階更衣室他) 改修内容	図番 A: 1-11
			承認		

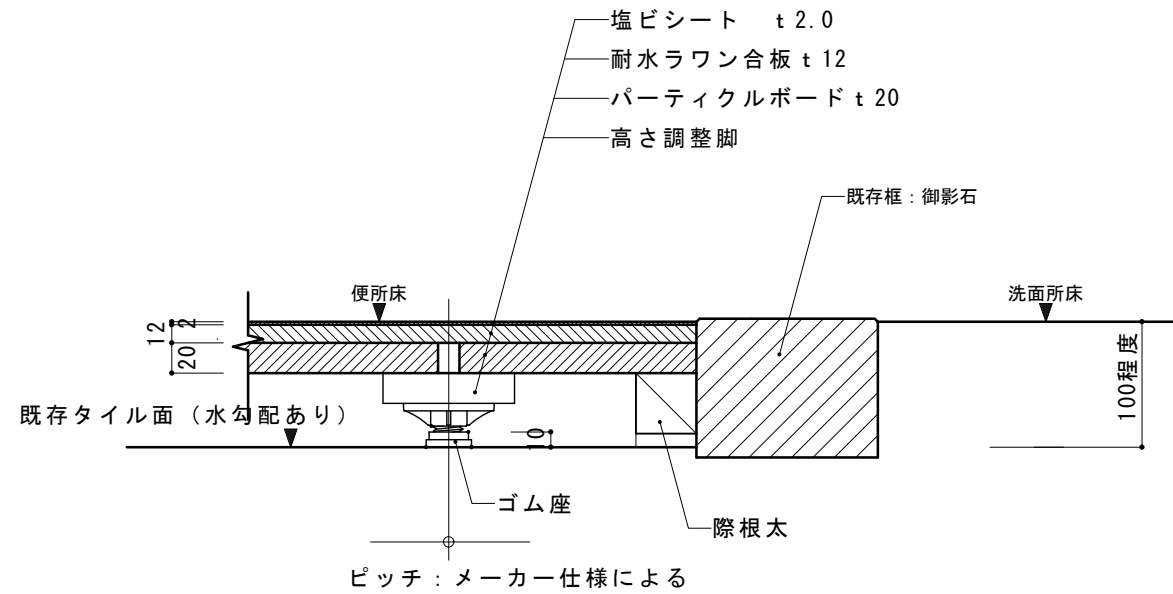


改修



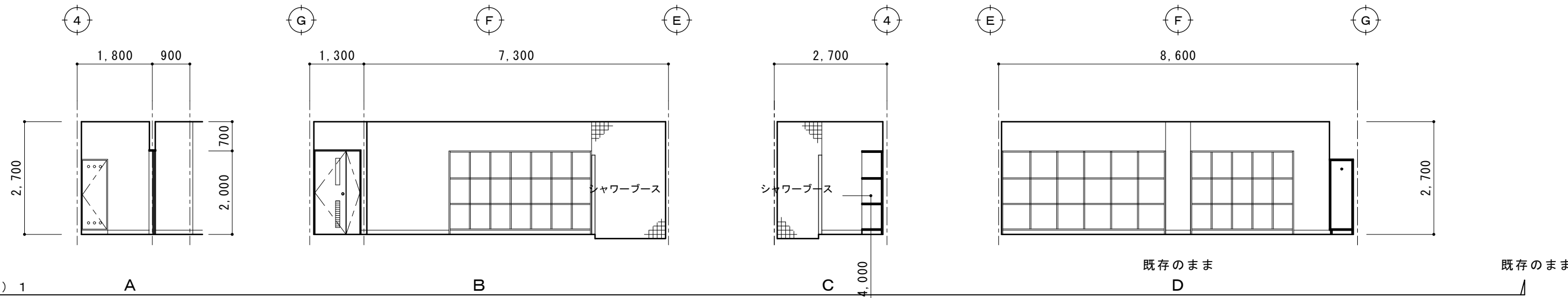
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/50
				図面名称 A棟 内部改修 (1階便所・洗面所) 平面詳細図	図番 A : 1-12
			承認		

室名		床	巾木	壁	天井	天井高さ	備考
便所 (W・M)	既存	モルタル+防水下地 100角磁器質タイル張り		LGS+メタルラスの+モルタル塗りの上 陶器質タイル張り (200×100)	LGS+GBR9.5の上 ビニルクロス張り	2,500	○ 撤去改修 (機械設備)
	撤去	モルタル+防水下地 (撤去無) 100角磁器質タイル張り (撤去無)		LGS+メタルラスの+モルタル塗りの上 (撤去無) 陶器質タイル張り (200×100) (浮いている部分のみ撤去)	LGS+GBR9.5の上 (撤去) ビニルクロス張り (撤去)		
	改修	乾燥二重床 (仕様: 別図記載) ビニル床シート張り	ビニル巾木h100	化粧ケイカル版張り t6.0 目地: シーリング (MS2)	LGS+GBD9.5	2,400	床下点検口 (アルミ枠) 450角
洗面所 (W・M)	既存	モルタル金鍍押さえの上 ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木h100	LGS+GBR12.5の上 ビニルクロス張り	LGS+GBR9.5の上 ビニルクロス張り	2,400	
	撤去	モルタル金鍍押さえの上 (撤去無) ビニル床シート張り t2.0 (撤去)	ビニル巾木h100 (撤去)	LGS+GBR12.5の上 (撤去無) ビニルクロス張り (撤去)	LGS+GBR9.5の上 (撤去) ビニルクロス張り (撤去)		
	改修	ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木h100	ビニルクロス張り (中級品)	LGS+GBD9.5	2,400	

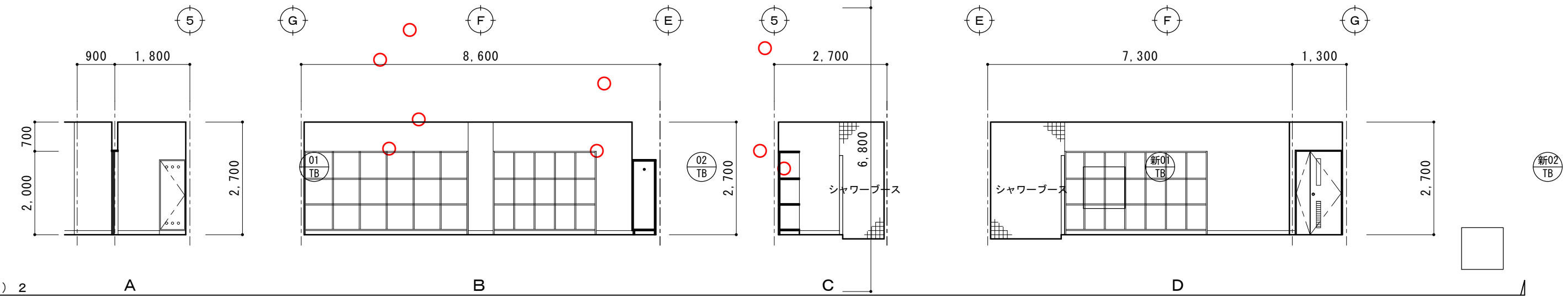


乾燥二重床 詳細図 S=1/5

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/ 5
			承認		



1階更衣室 (M) 1

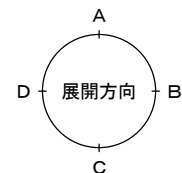


1階更衣室 (M) 2

平面図 (既存) S = 1/50

平面図 (改修) S = 1/50

柔道場用2重コイルスプリング

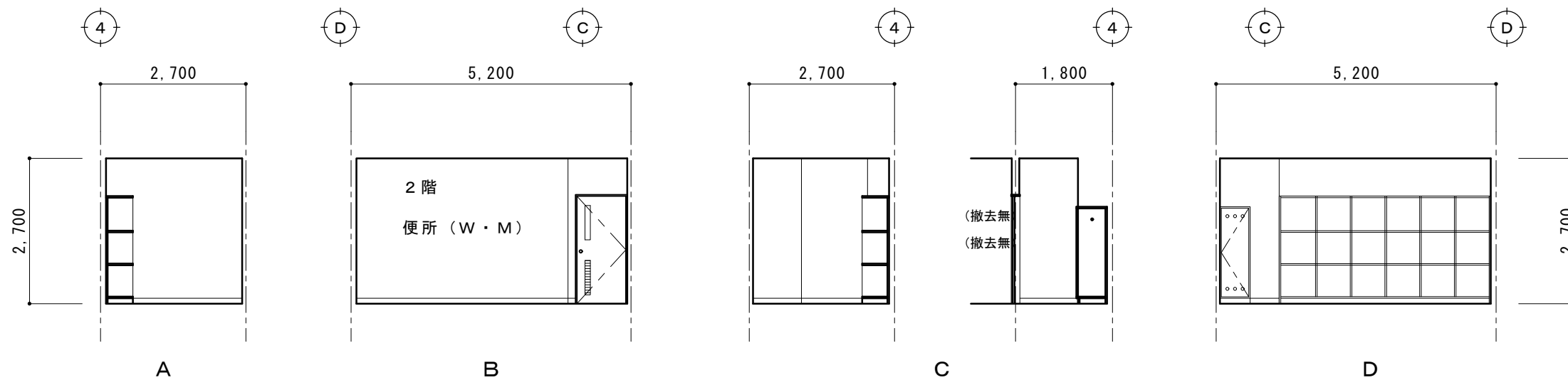


径60×60t

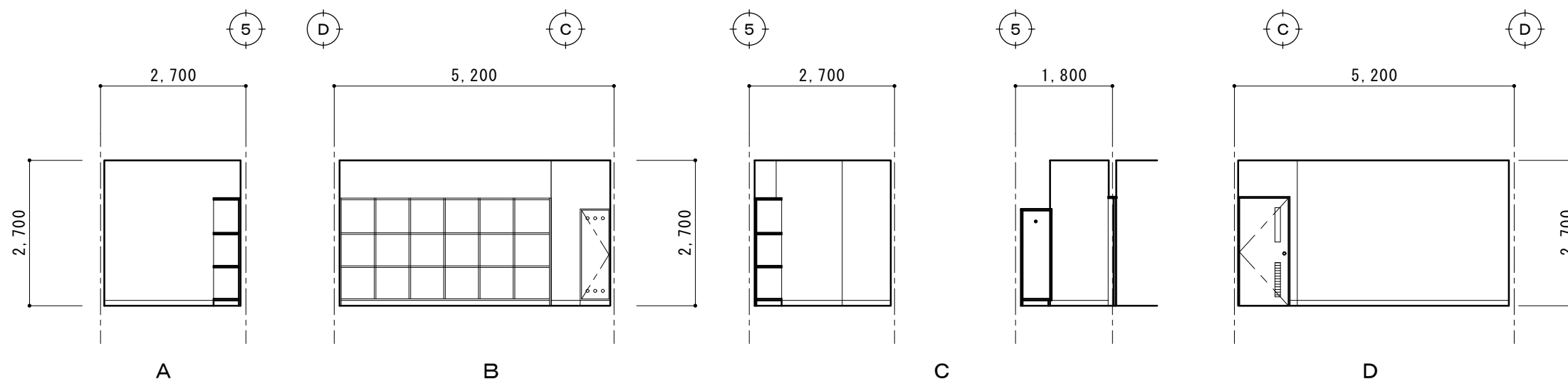
1階管理室前廊下

現況図

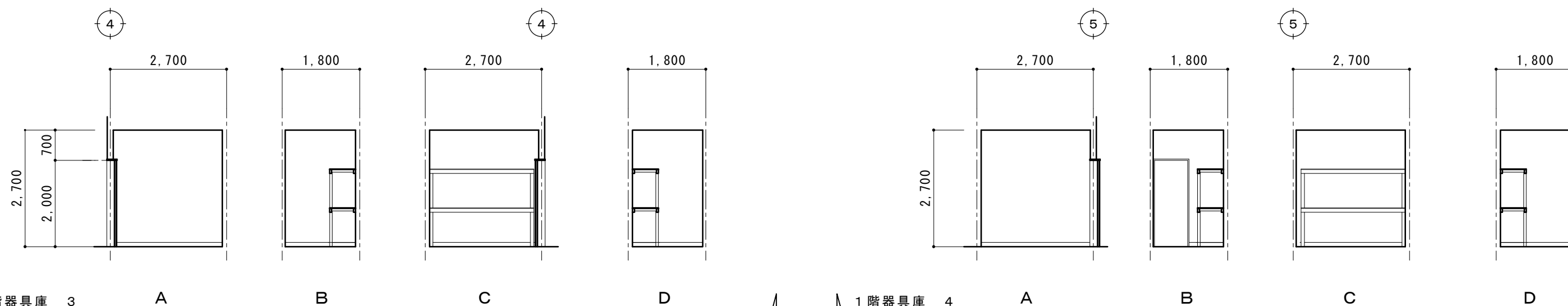
摘要	摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 内部改修 (1階更衣室他) 現況展開図 1	図番	A : 1-14
			承認				



1階 更衣室W1



1階 更衣室W2

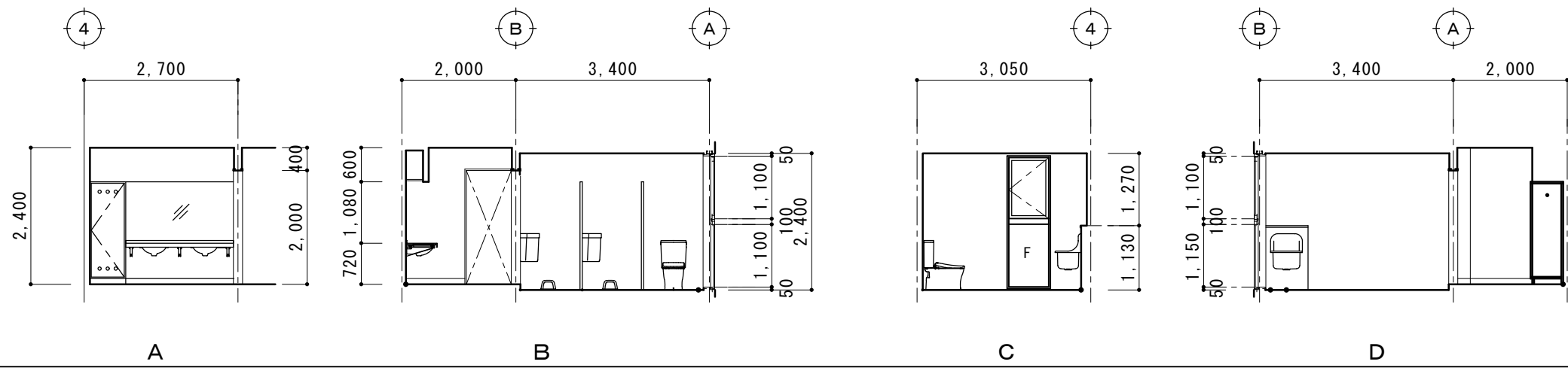


1階器具庫 3

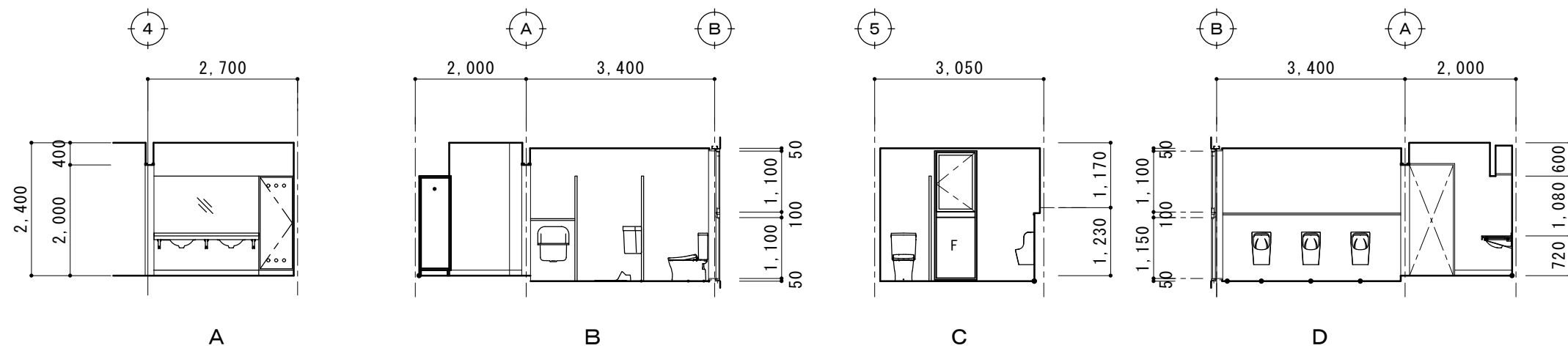
1階器具庫 4

現況図

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/100
			図面名称	A棟 内部改修（1階更衣室他）現況展開図 2	図番	A : 1-15
		承認				



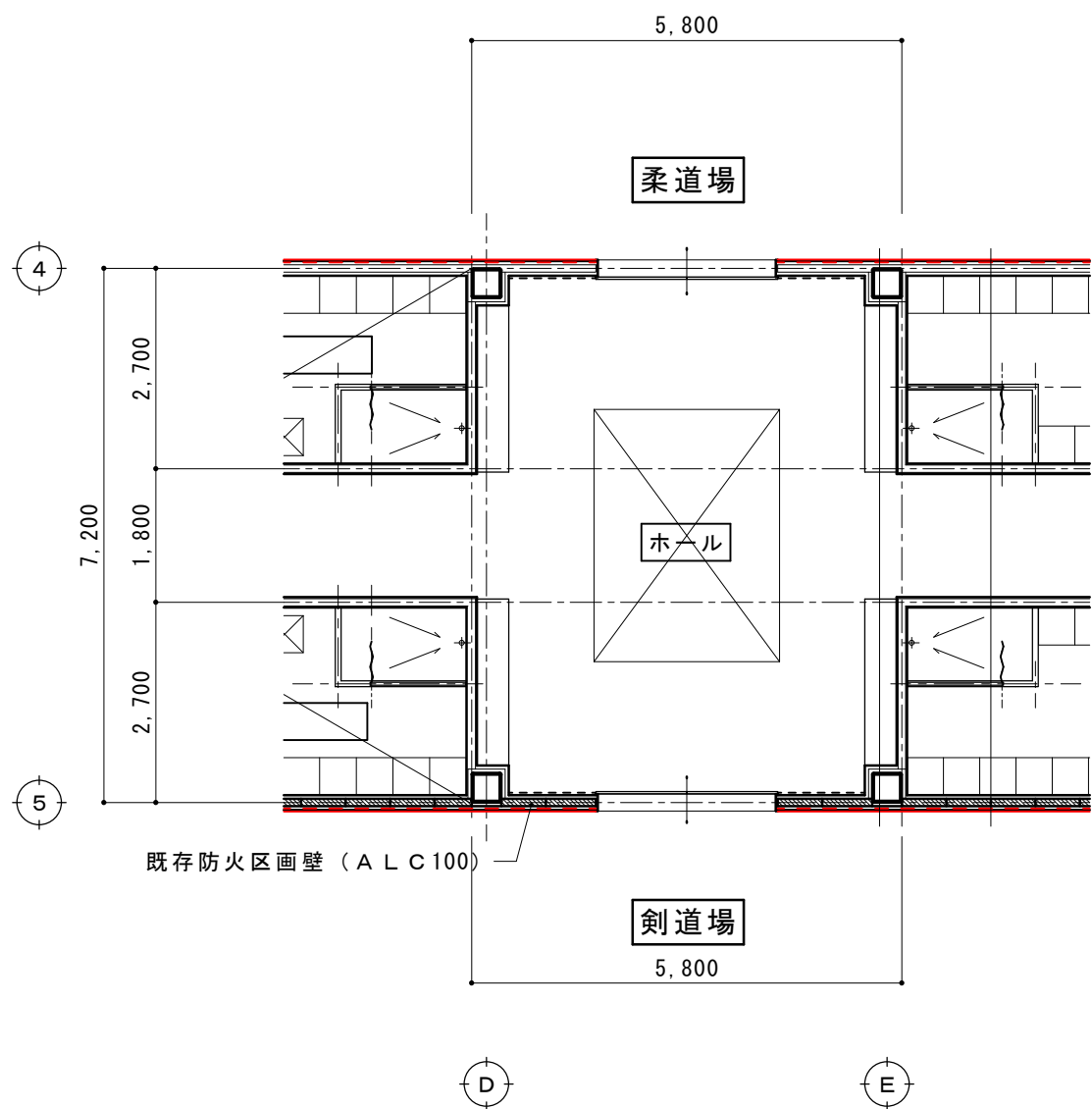
洗面所・便所 (W)



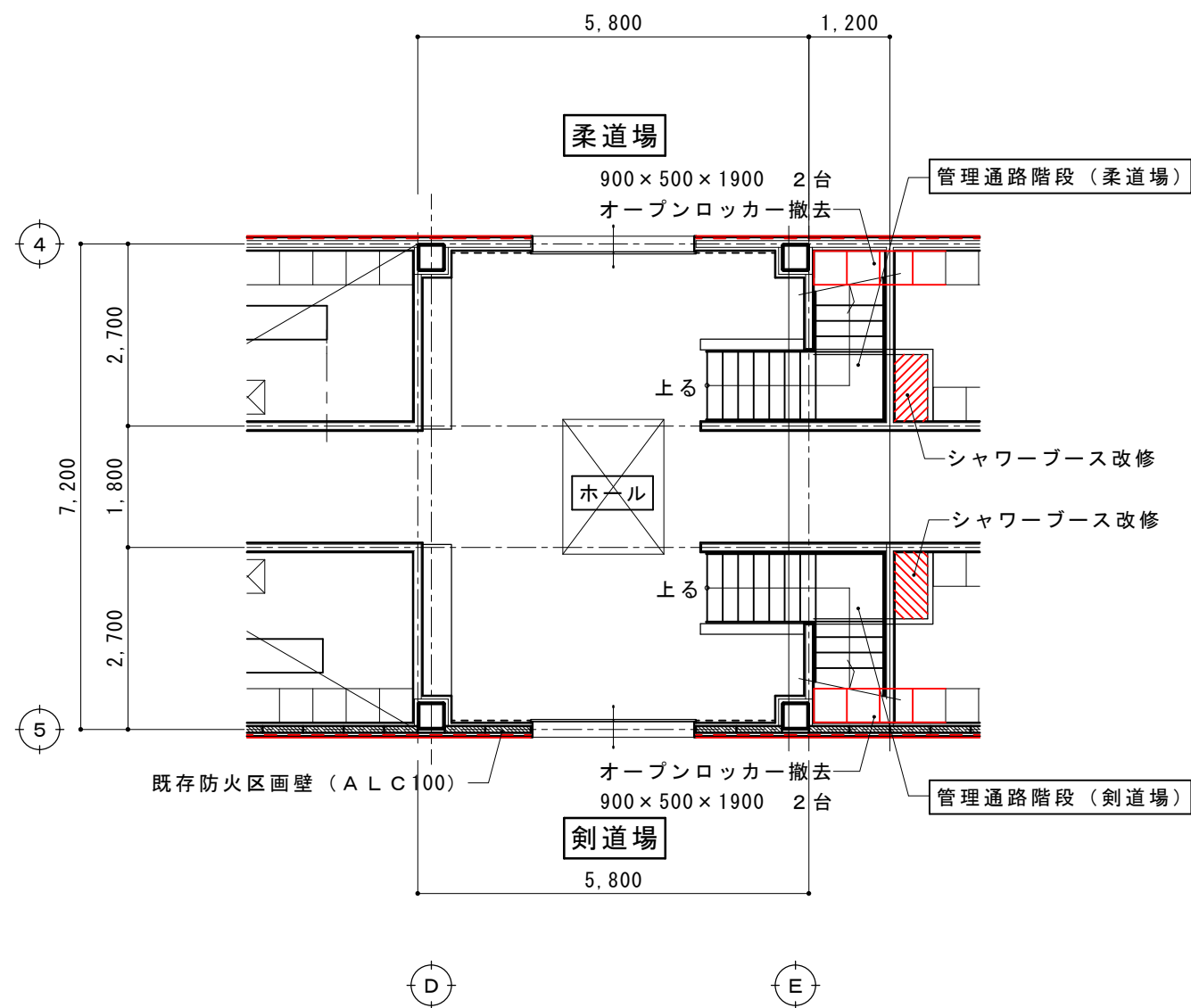
洗面所・便所 (M)

現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 内部改修 (1階トイレ・洗面所) 現況展開図 3	図番	A : 1-16

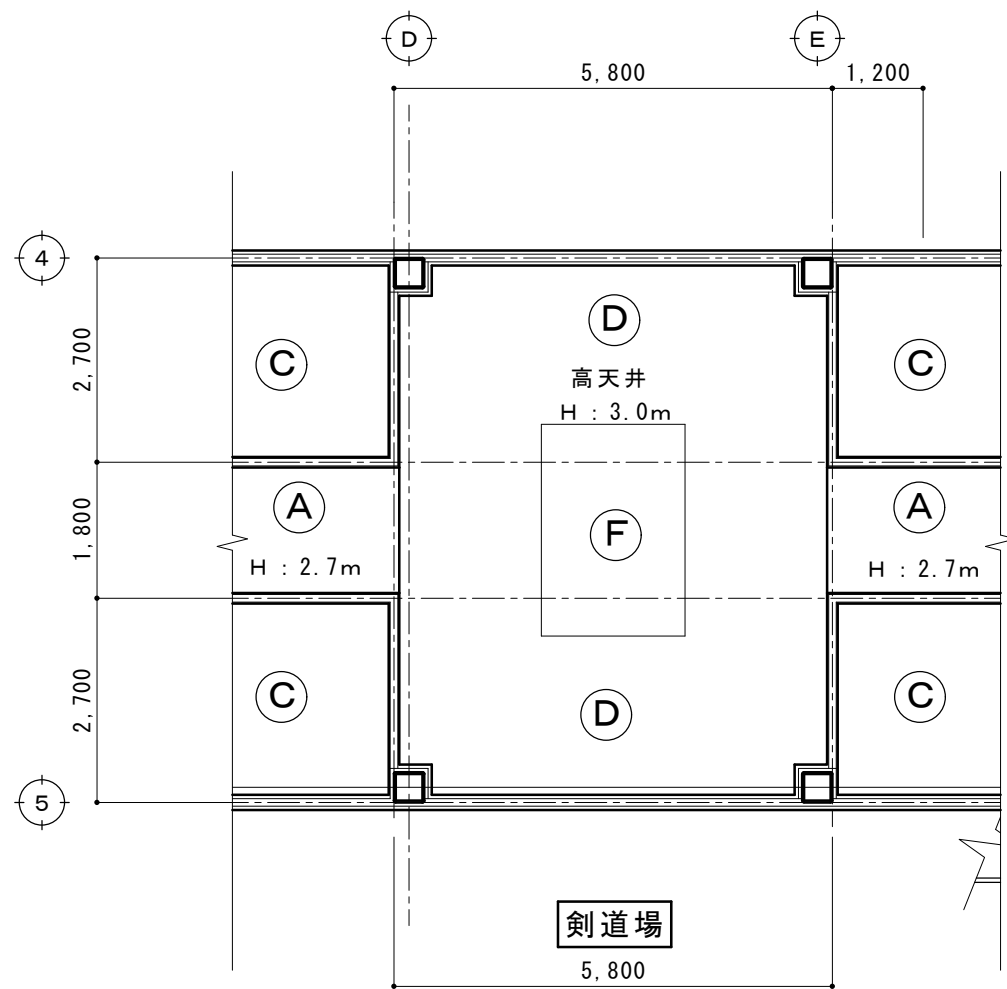


現況平面図 S = 1/100

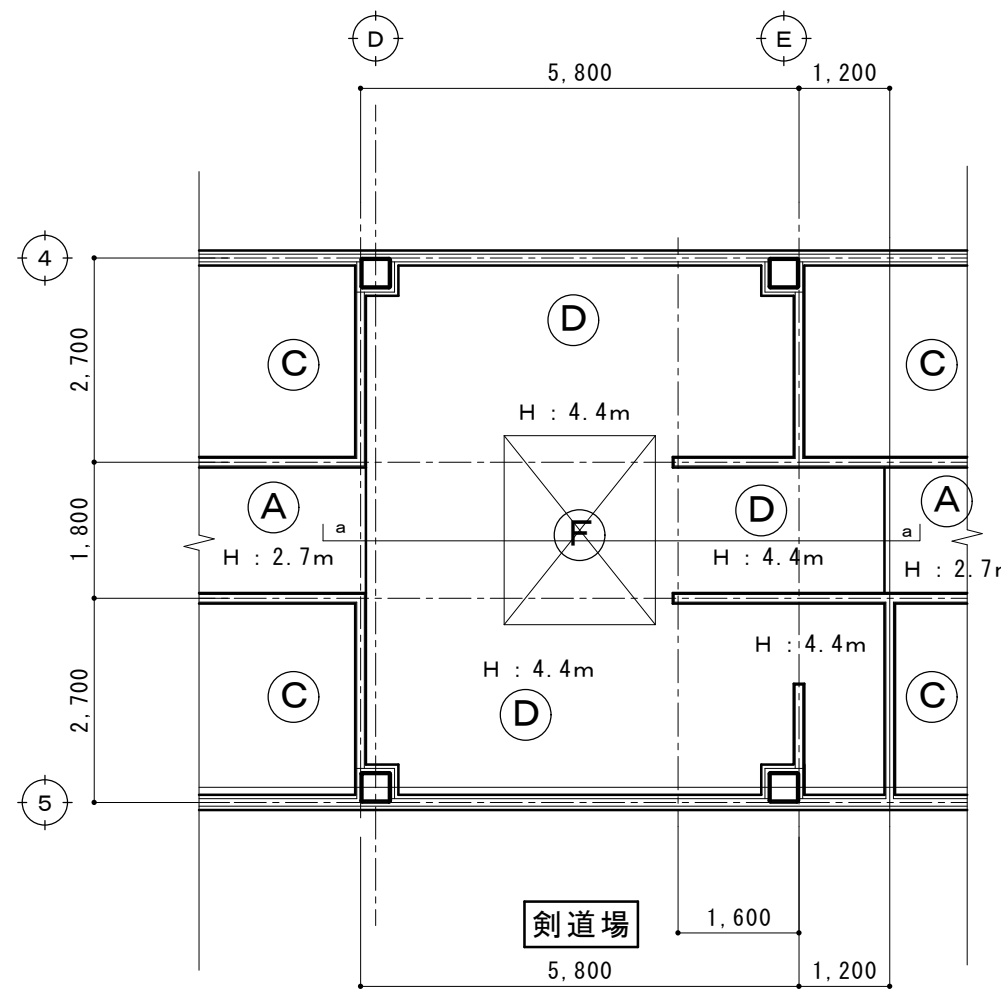


管理通路階段設置平面図 S = 1/100

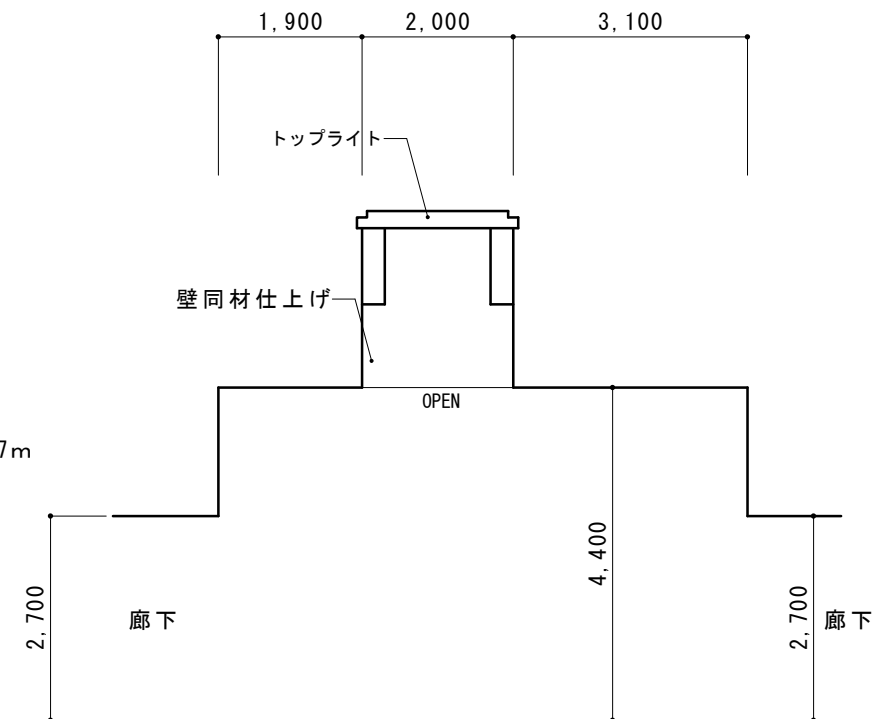
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認		



現況天井伏図 S=1/100



改修天井伏図 S=1/100

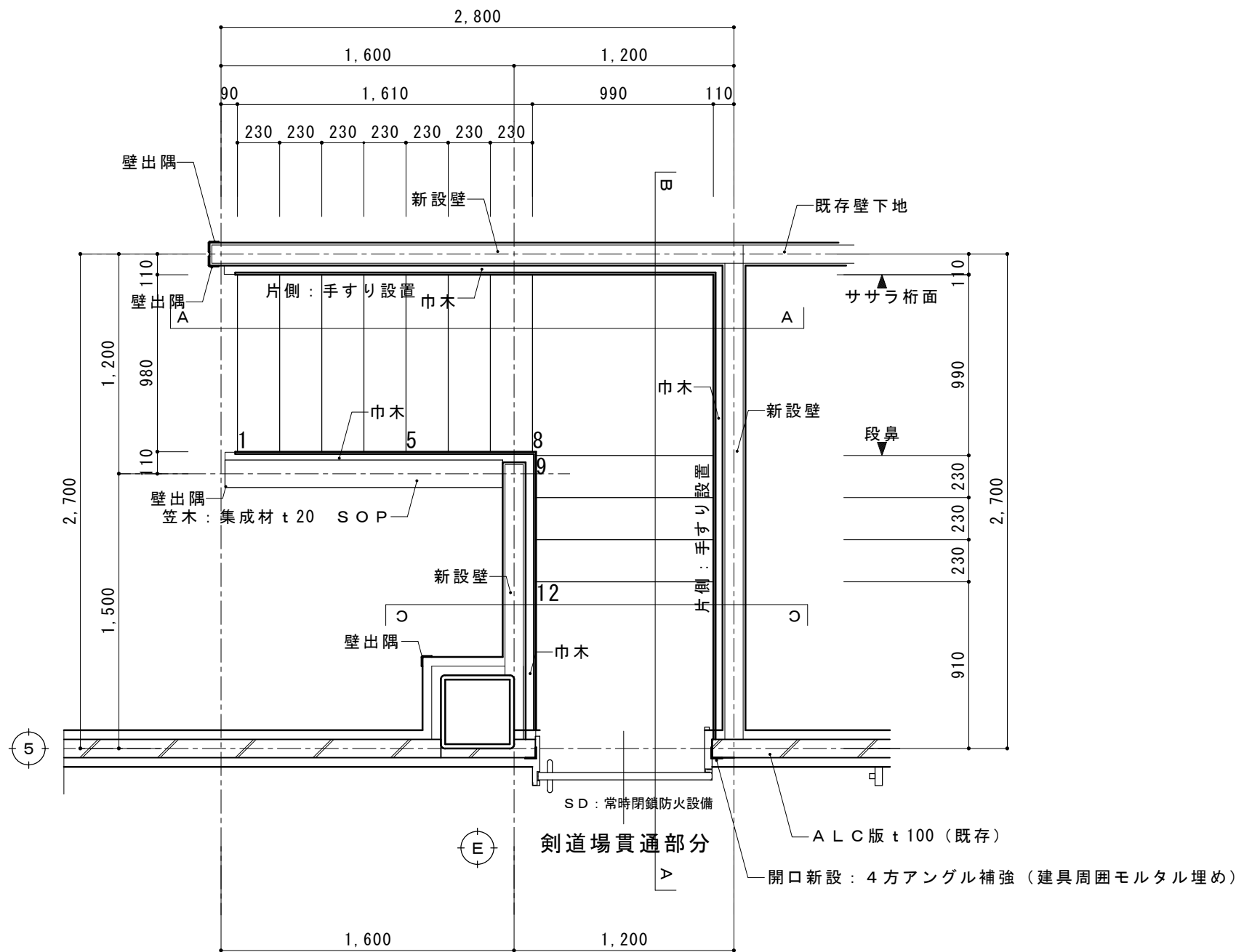


改修 a-a 断面図 S=1/100

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		木部:WP塗装
C	既存	LGS下地 フレキシブルボードt6 AEP塗装 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 フレキシブルボードt6 アスベストあり 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
D	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t15 塩ビ廻り縁		
F	既存	塩ビ製ルーバー		
	撤去	塩ビ製ルーバー	(全撤去)	
	改修	開口 (ルーバーなし)		

概要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/100
			承認		



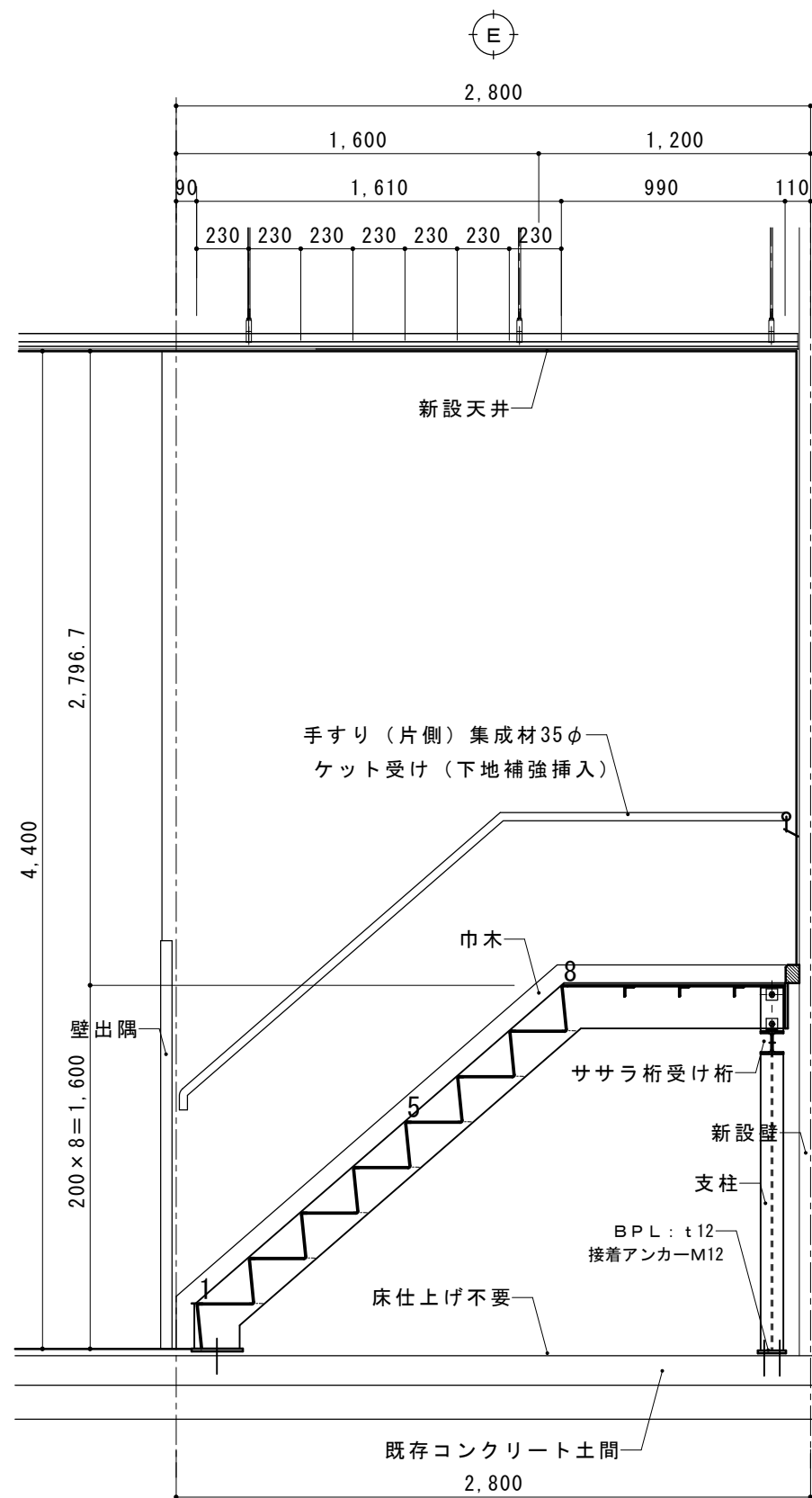
管理通路階段（剣道場）平面詳細図 S=1/30

管理通路階段（2箇所）仕様

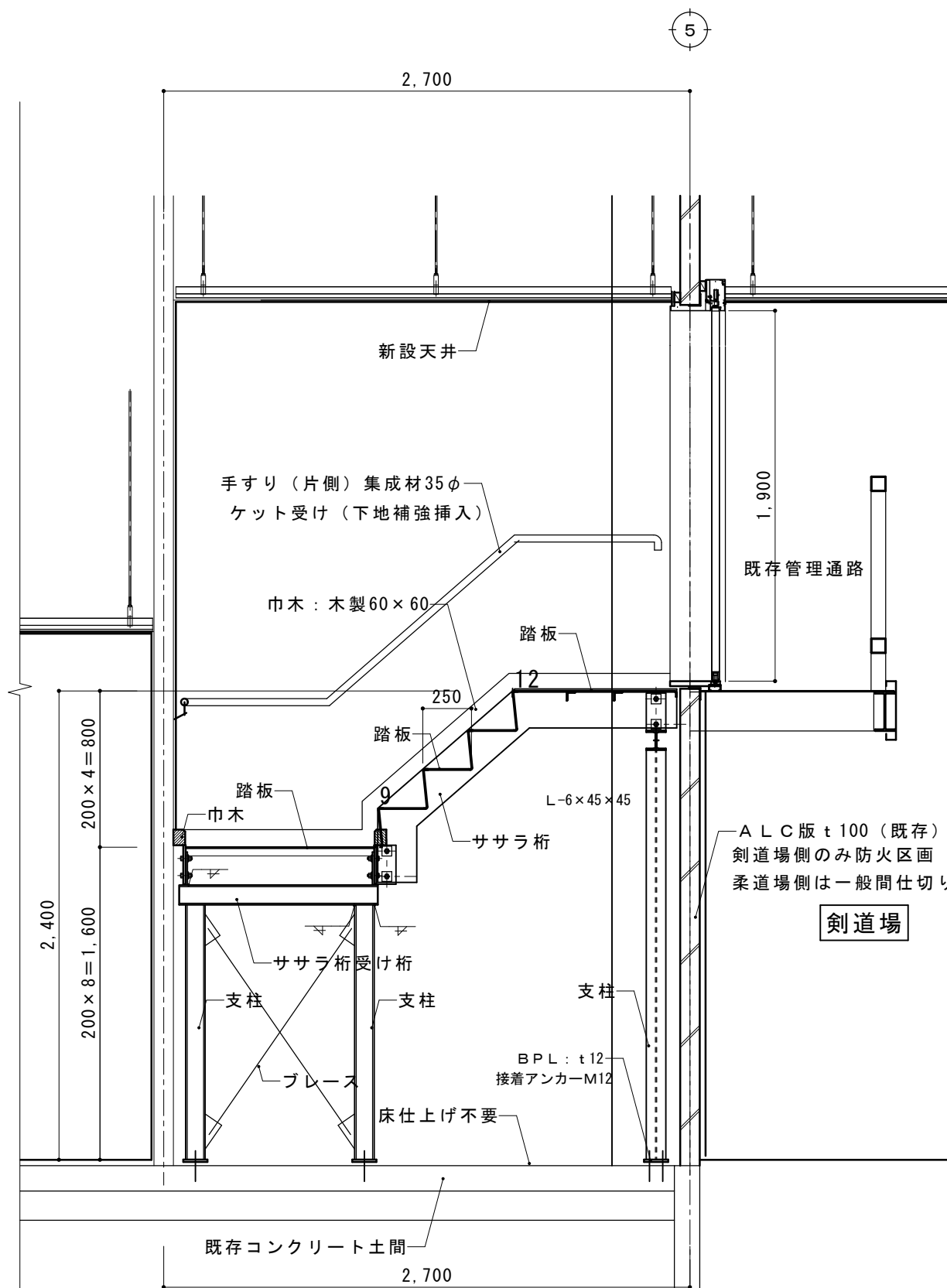
管理通路階段（柔道場）
管理通路階段（剣道場）

特記事項	剣道場側貫通部分：防火区画となっている（既存ALC版 t100） 開口補強（アングル）新規SD（防火設備）廻りモルタル埋め 柔道場側貫通部分：一般間仕切り（LGS100）
ササラ桁	鋼板：t12×200 SOP塗装 ササラ桁受けとの接合 GPL-9 2-M12 既存土間コンクリートとの接合 BPL t12 接着系アンカー2-12RN
踏板	縞鋼板 t4.5曲げ加工（ササラ桁に溶接）SOP塗装
ササラ桁受け桁	H-100×100×6×8 SOP 既存土間コンクリートとの接合 BPL t12 接着系アンカー2-12RN
ブレース	M12 SOP GPL 6 1-M16 SOP
新設壁	軽量鉄骨壁下地 100型 @300の上GBF t15
巾木（階段部）	木製：W60×H80 WP
壁出隅	木製コーナーガード設置 木製28×28 高さFL+1,800 WP

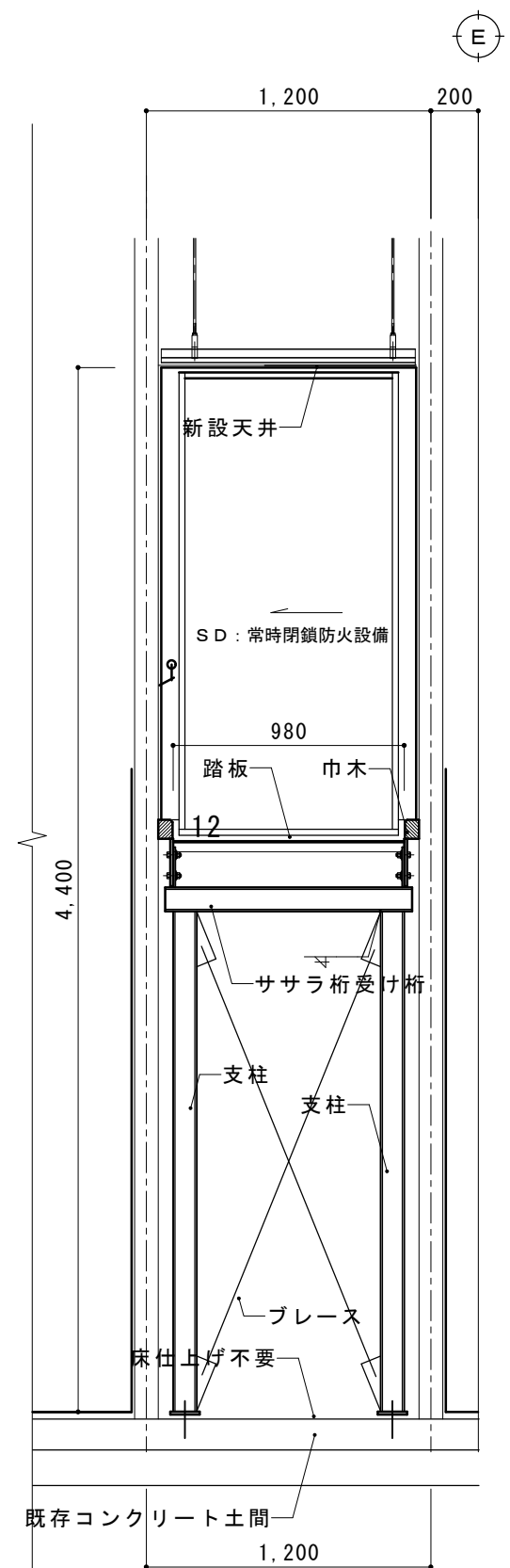
摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/30
			図面名称	A棟 内部改修（管理通路階段取付）平面詳細図	図番	A:1-19
		承認				



A-A 断面図

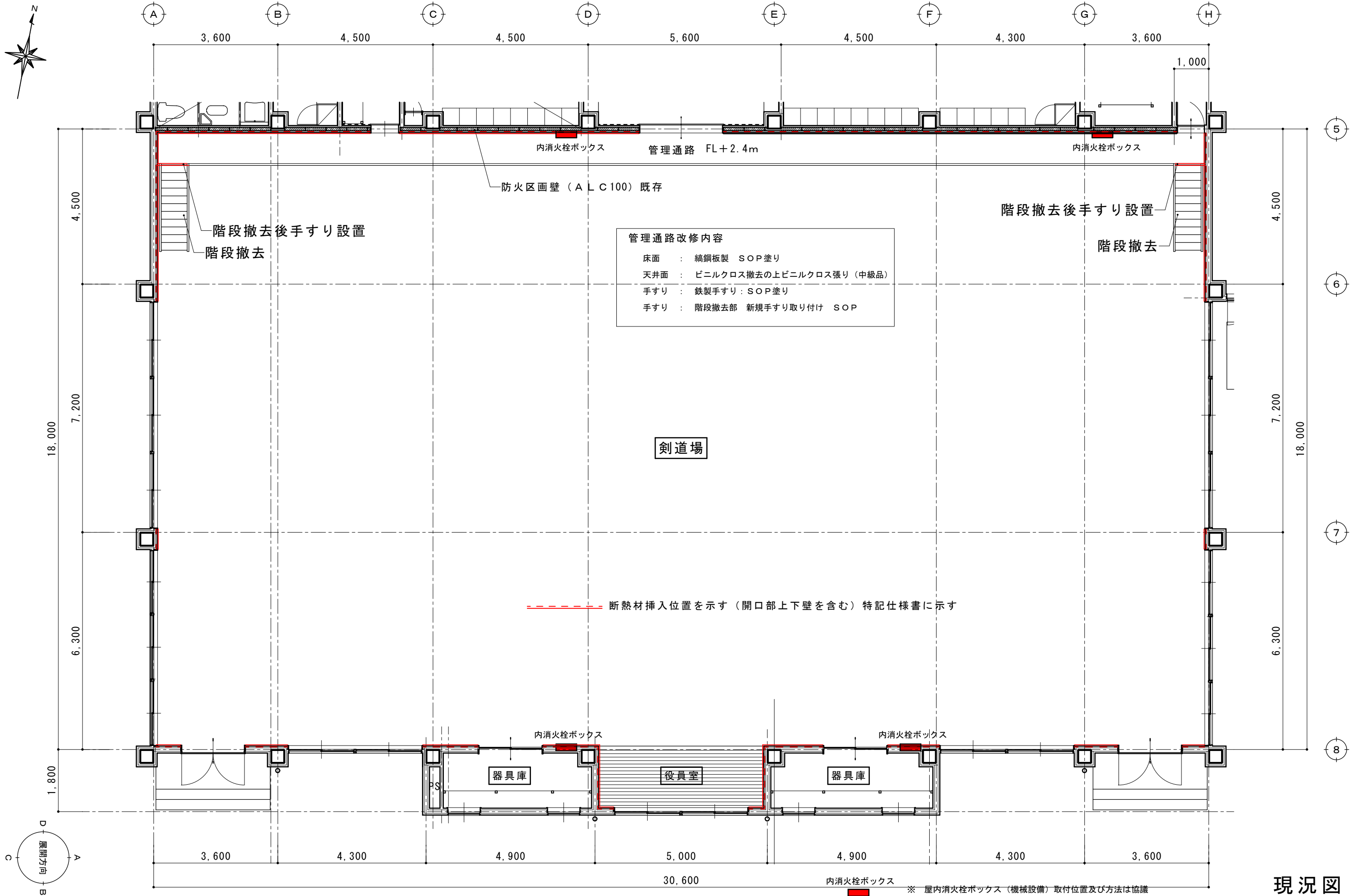


B-B 断面図



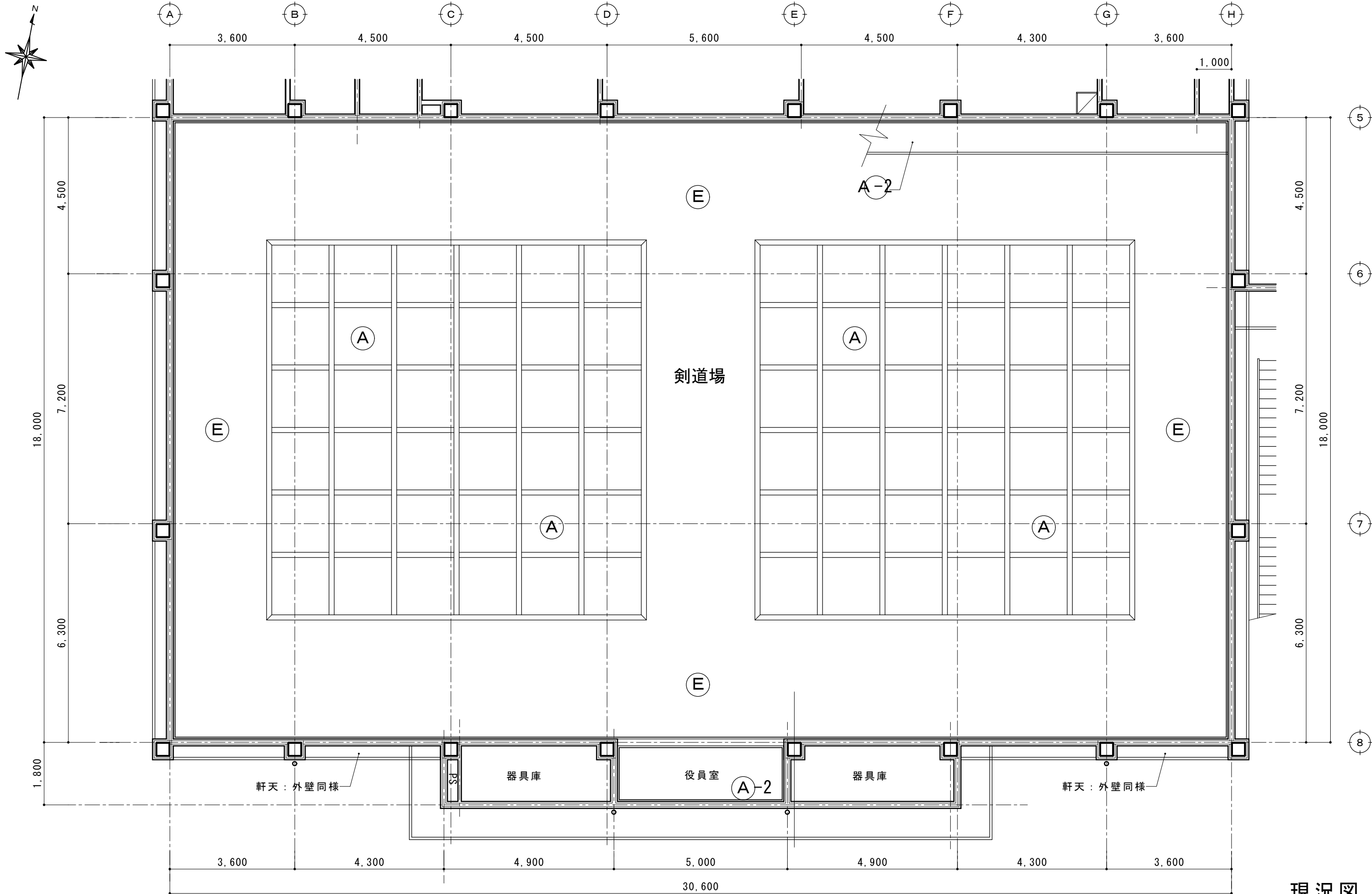
C-C 断面図

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/30
			図面名称	A棟 内部改修 (管理通路階段取付) 断面詳細図	図番	A: 1-20
		承認				



現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認		



現況図

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/100
			図面名称	A棟 内部改修（剣道場）現況天井伏図	図番	A : 1-22
		承認				

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
剣道場 役員室 改修なし (クロス張替)	既存	樹脂製アジャスターフローア- (H600) 大型積層床材 t18	木製 H:200	腰壁: 木製胴縁の上、難燃化粧合板 t12横張 (難燃) 腰上: 木製胴縁の上、GBD t12.5 ビニルクロス張り	LGS下地 格子内: GBR9.5の上ビニルクロス張り 周囲部: GBR9.5の上岩綿吸音板張り	木製	
	撤去	樹脂製アジャスターフローア- (H600) 撤去 大型積層床材 t18 撤去	木製 撤去 H:200	腰壁: 木製胴縁の上、撤去なし 難燃化粧合板 t12横張 撤去 腰上: 木製胴縁の上、撤去なし GBD t12.5 ビニルクロス張り 撤去	LGS下地 撤去 格子内: GBR9.5の上ビニルクロス張り 撤去 周囲部: GBR9.5の上岩綿吸音板張り 撤去	木製 撤去なし	床: 御影石部分撤去
	改修	鋼製床下地 (詳細図参照) の上針葉樹合板 t15捨て張り 大型積層フローリング t18 (詳細図参照) 工場半塗装品 ポリッシャー掛ノ上水性ウレタン塗装1回 EXPゴム18×20 剣道場ライン 2面 断熱材挿入 仕様: 詳細図参照	タモ集成材 H:110	腰壁: 衝撃吸収壁下地 スタッド: 65×45 t0.8 @450 調整ボルト 天然木化粧合板 t15 (難燃) 出隅・入隅: タモ集成材 腰上: GBD t12.5 (新設) ビニルクロス張り (中級品) 断熱材挿入 仕様: 詳細図参照	LGS下地 新設 格子内: GBR9.5の上ビニルクロス張り 新設 周囲部: GBR9.5の上岩綿吸音板張り 新設 断熱材挿入 仕様: 詳細図参照	木製 撤去なし WP塗装	消火栓ボックス取付 (開口工事: 詳細参照) 床点検口アルミ枠600×600 6箇所 床換気口アルミ枠スライド開閉 メッシュ付200×1000 10台

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
器具庫	既存	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし	
	撤去						
	改修						

天井改修リスト

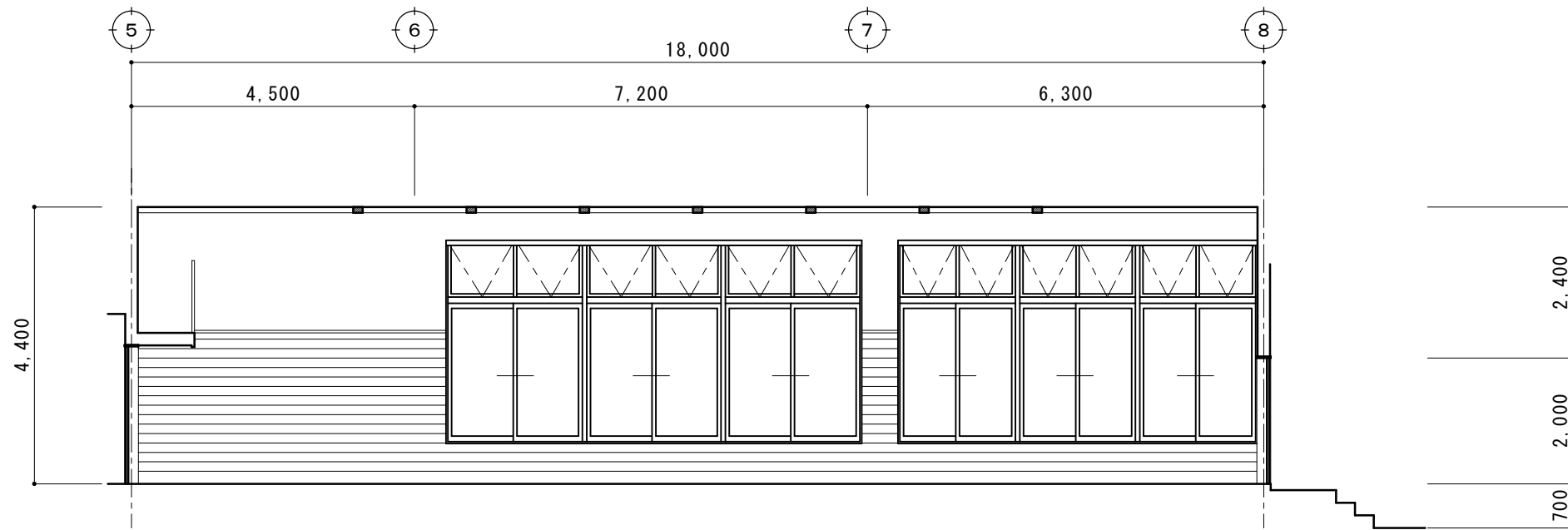
天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考	天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90 (金物吊り)			E	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90 (金物吊り)	撤去 撤去なし			撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90 (金物吊り)	新規 既存	木部: WP塗装		改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁 (既存使用)	新規 新規	

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A-2	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	ビニルクロス張り	撤去 撤去なし	
	改修	ビニルクロス張り	新規 既存	

特記事項 (05図に記載)

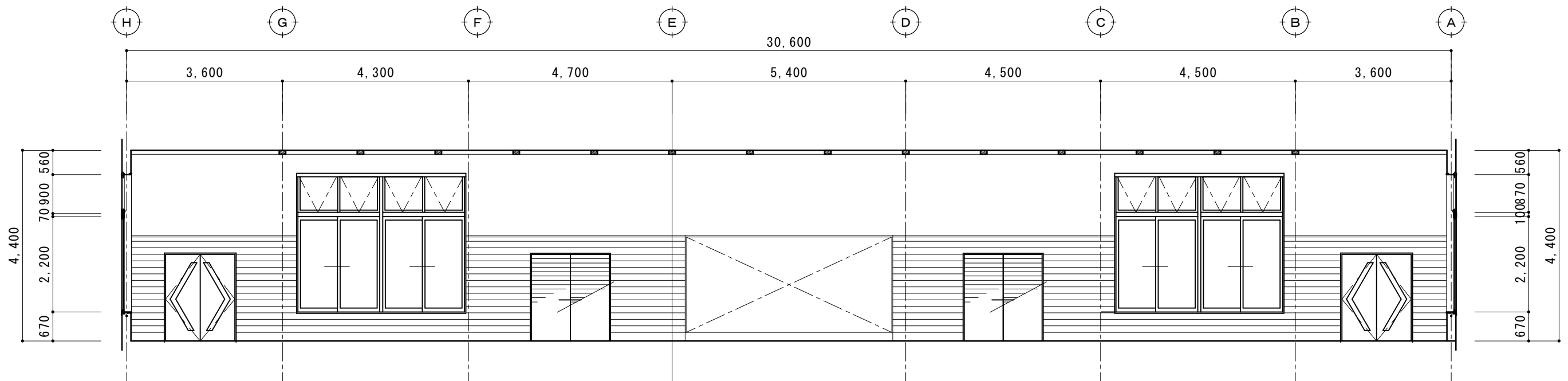
天井点検口を設置する (アルミ枠450×450) A棟全館1~2階で 30箇所を見込む
: 設置位置は監督員と協議

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
			承認		



剣道場

A

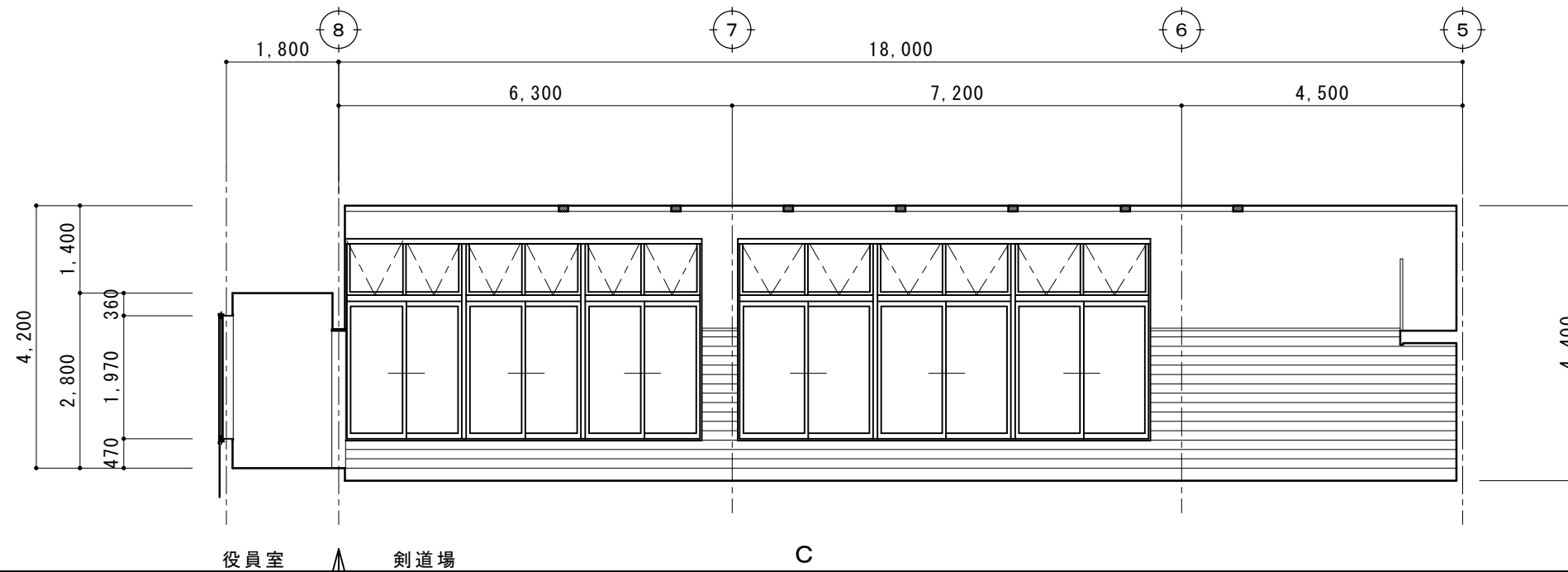


剣道場

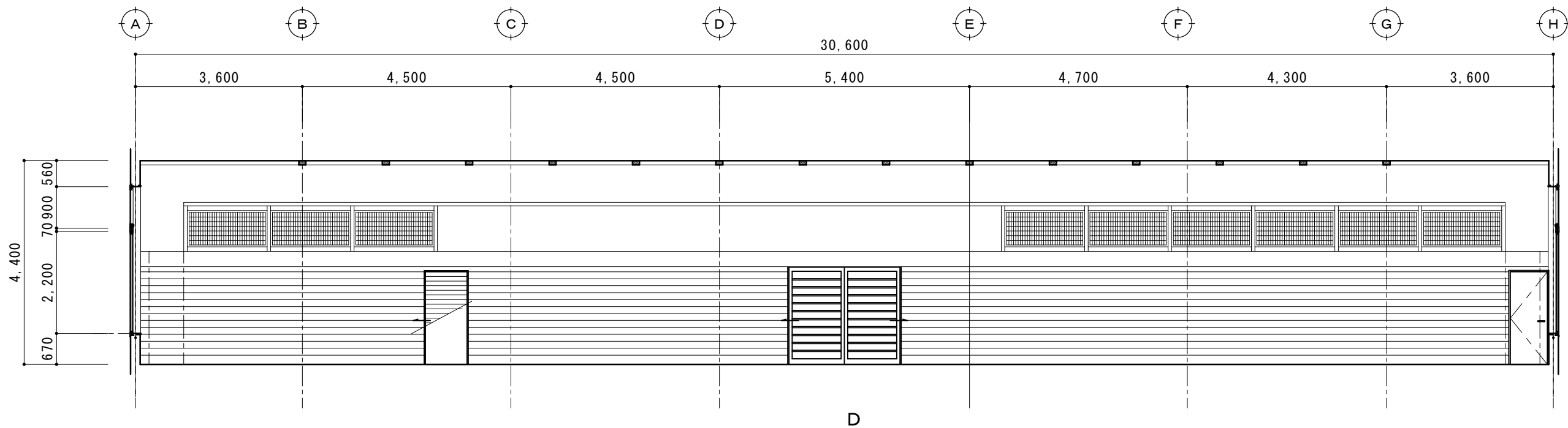
B

現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）現況展開図1	図番 A : 1-24



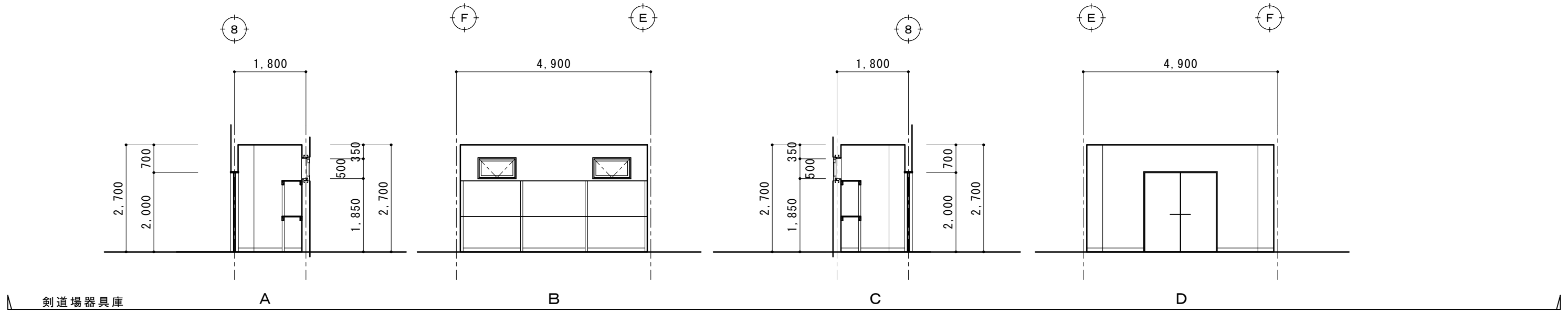
剣道場 役員室 剣道場 C



剣道場 D

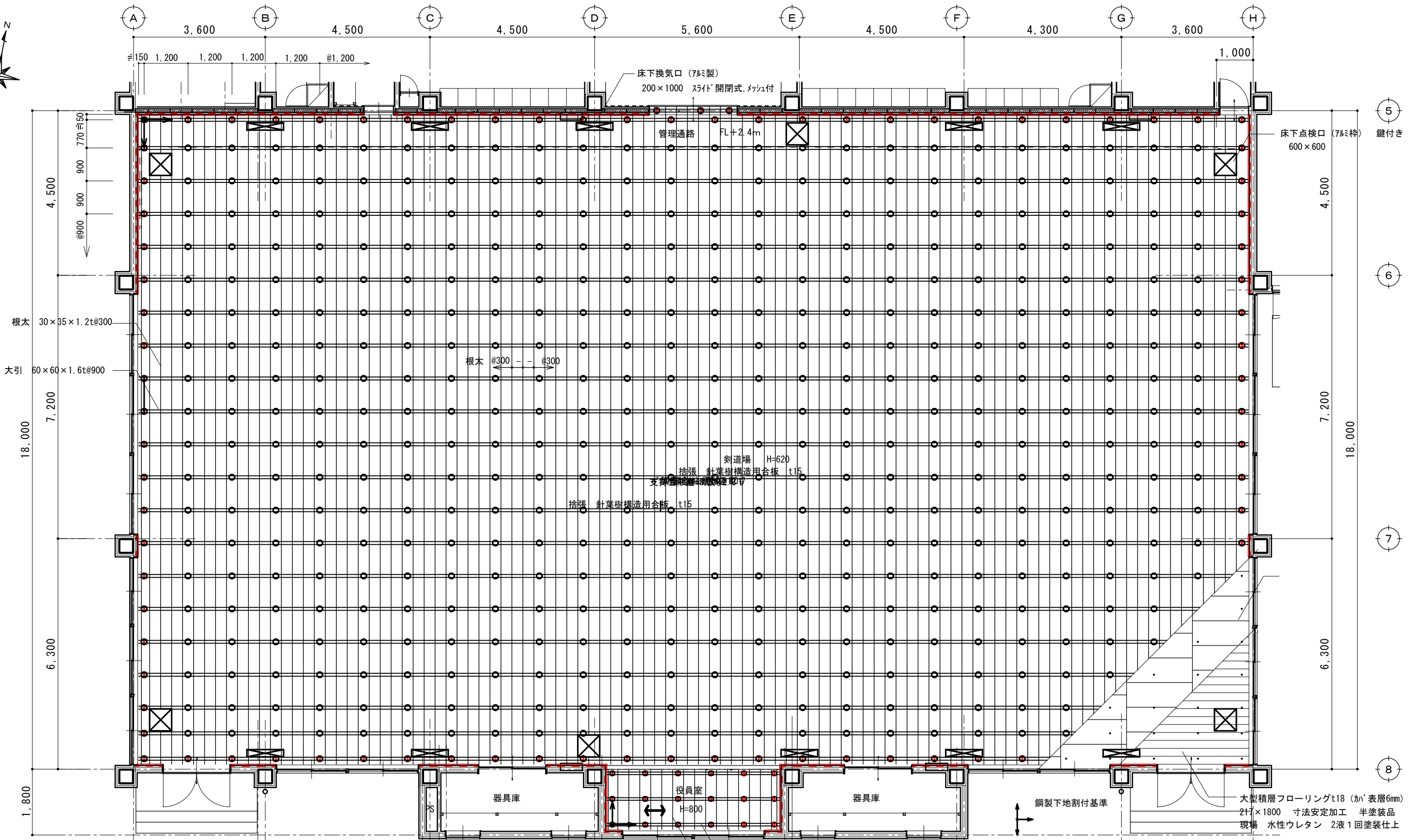
現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）現況展開図2	図番 A : 1-25

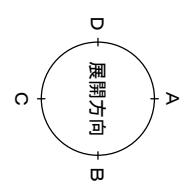


現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（剣道場）現況展開図3	図番 A : 1-26



床仕上及び下地仕様



剣道場	大型積層フローリングt18 (かゝ表層6mm) 217×1800 寸法安定加工 半塗装品 現場 水性ウレタン 2液1回塗装仕上
役員室	大型積層フローリングt18 (かゝ表層6mm) 217×1800 寸法安定加工 半塗装品 現場 水性ウレタン 2液1回塗装仕上
周囲換気口、点検口	EXP ² 420×t18 EXP ² 415×t18

機器類

	床下点検口 (7M枠) 鍵付き 600×600 計6台
	床下換気口 (7M製) 200×1000 スライド開閉式, ムッシュ付 計10台

床伏図 S=1/100 (A1)

剣道場

H=620	根太 30×35×1.2t@300 大引 60×60×1.6t@900
外周付近	パウンドゴム 無し ホークアンカー径12.7 (オールアンカー固定)

役員室

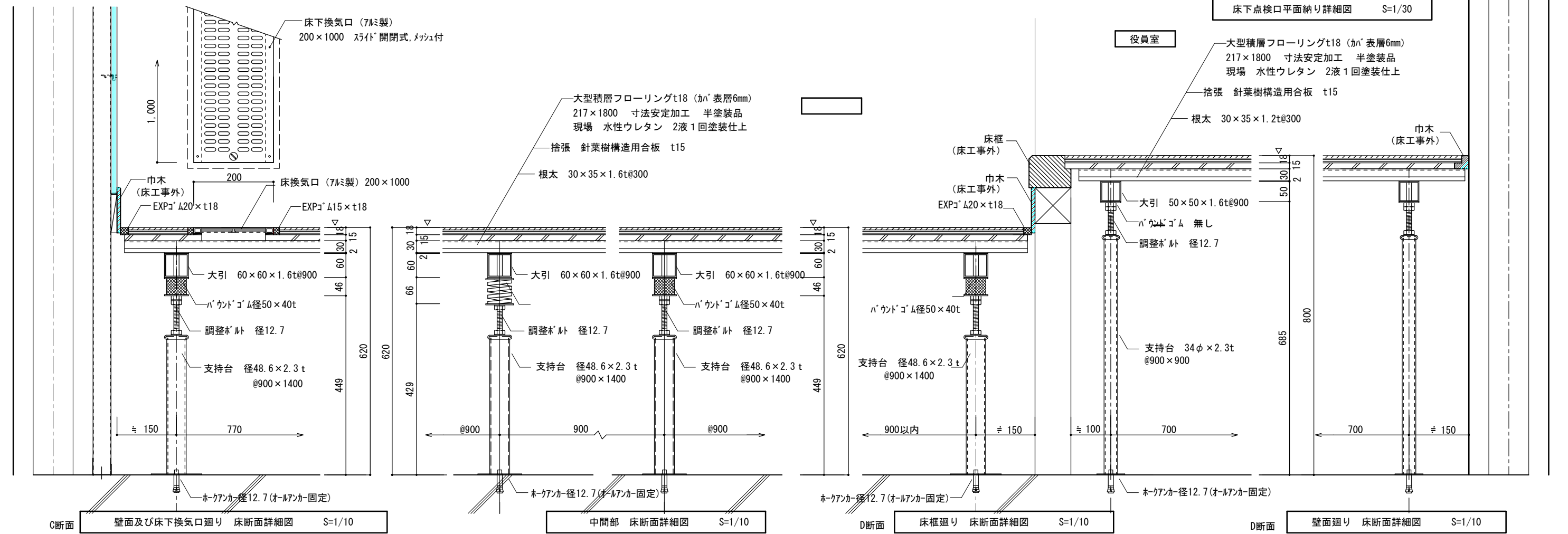
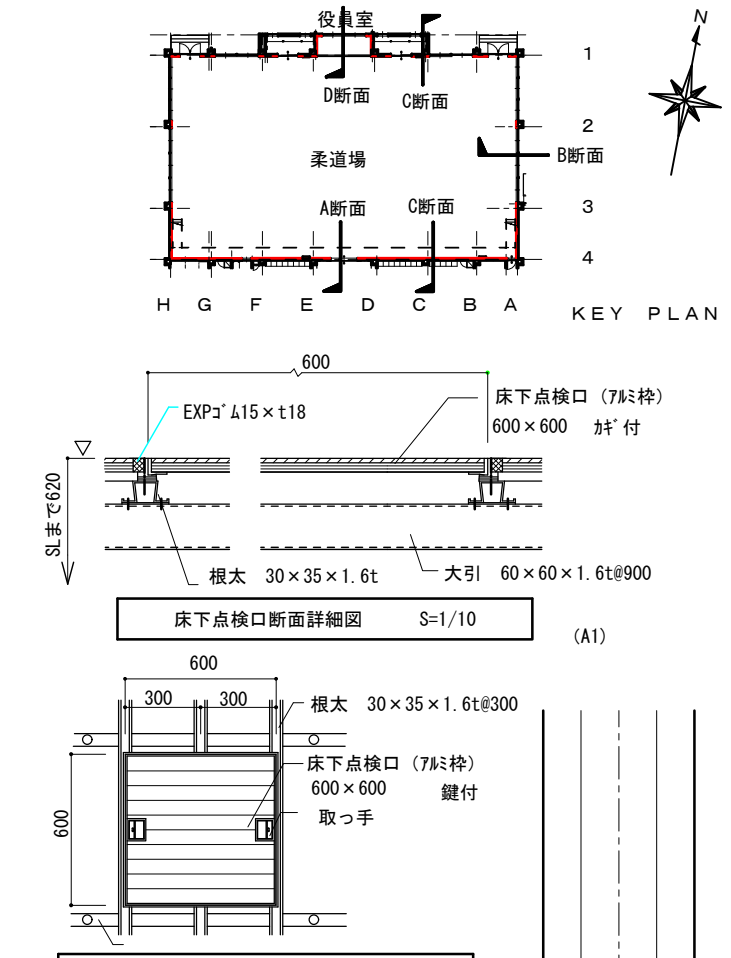
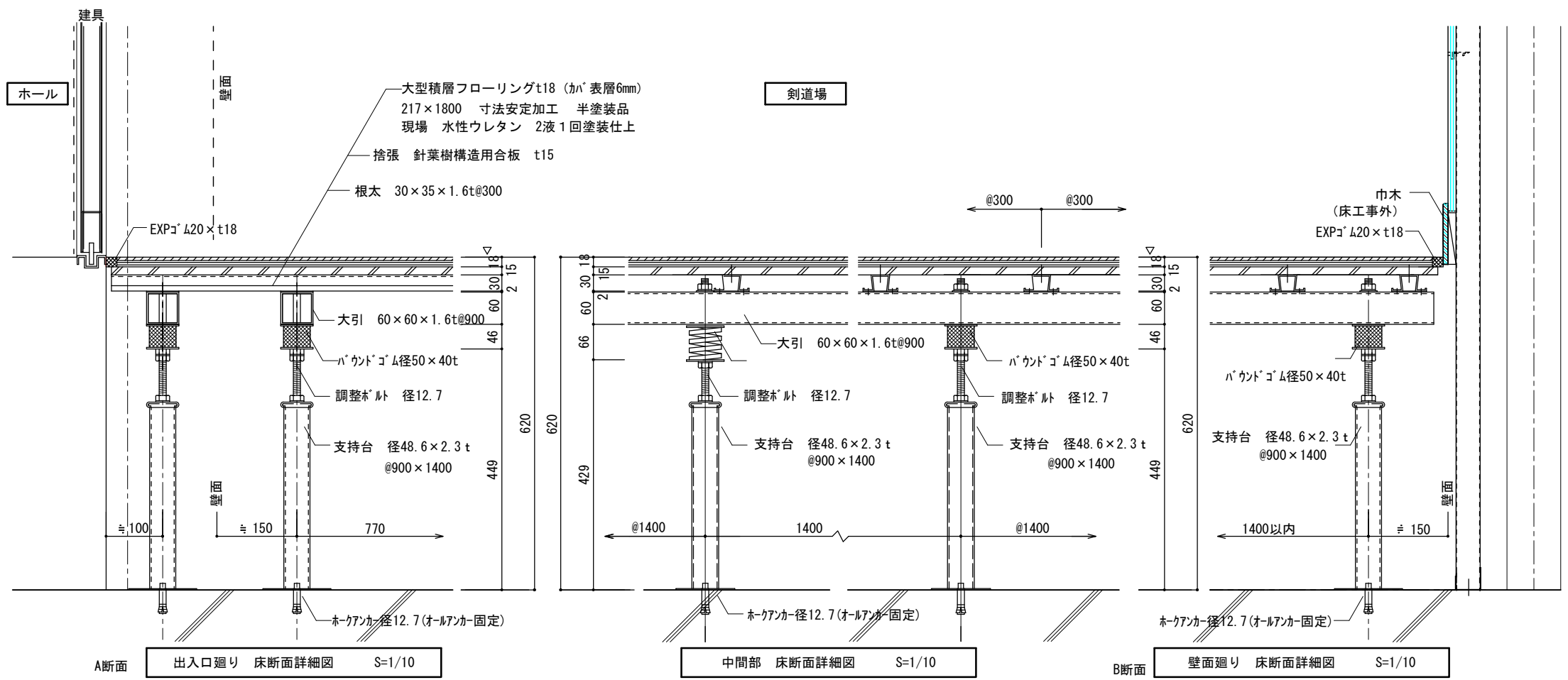
H=800	根太 30×35×1.2t@300 大引 50×50×1.6t@900
	パウンドゴム 無し 支持台 34φ×2.3t @900×900 ホークアンカー径12.7 (オールアンカー固定)

摘要	

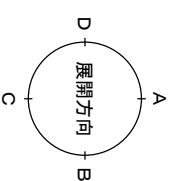
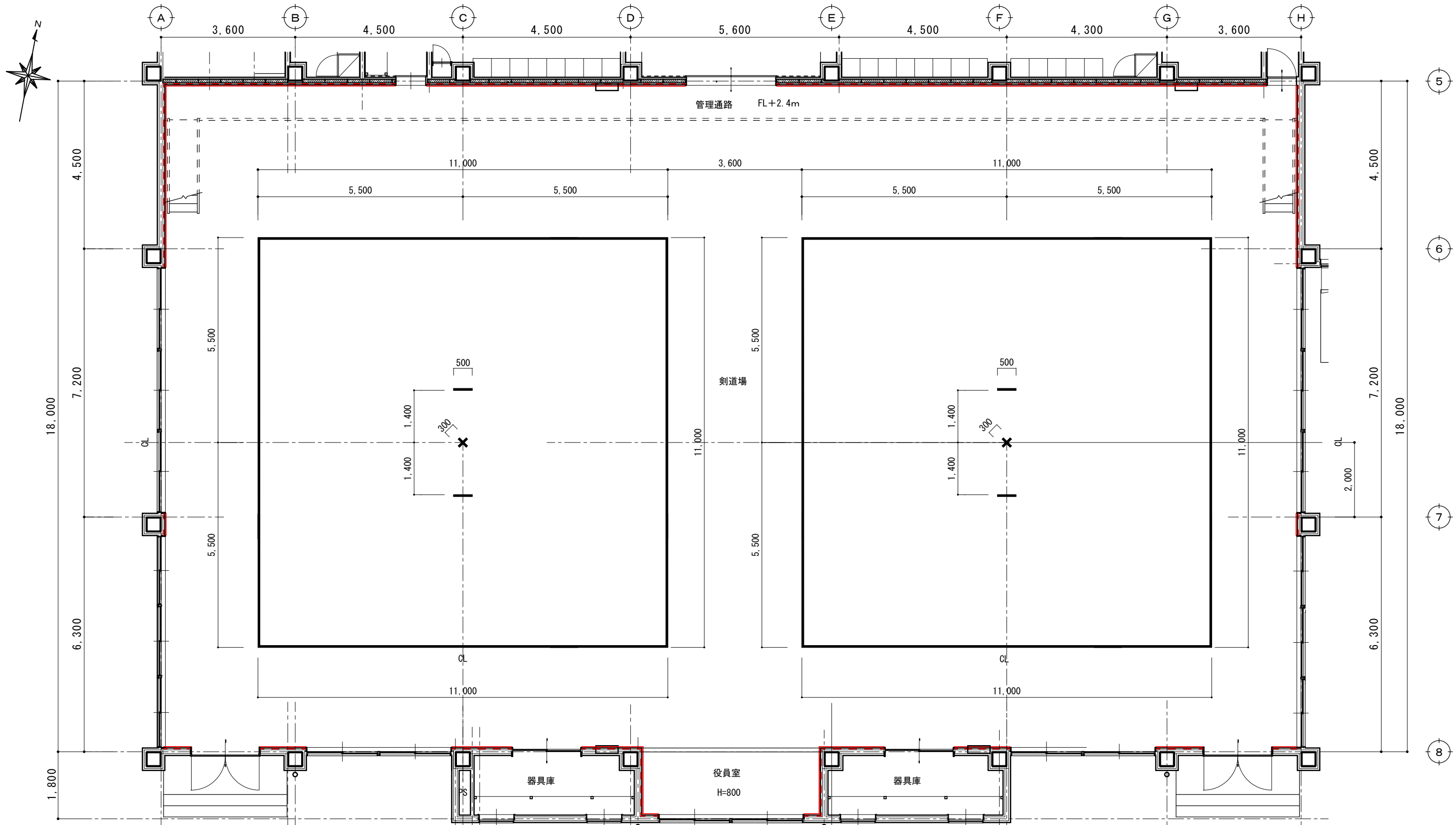
TIME	作成者
	承認

工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)
図面名称	A棟 内部改修 (剣道場) 鋼製床システム平面図

縮尺	1/100
図番	A : 1-27

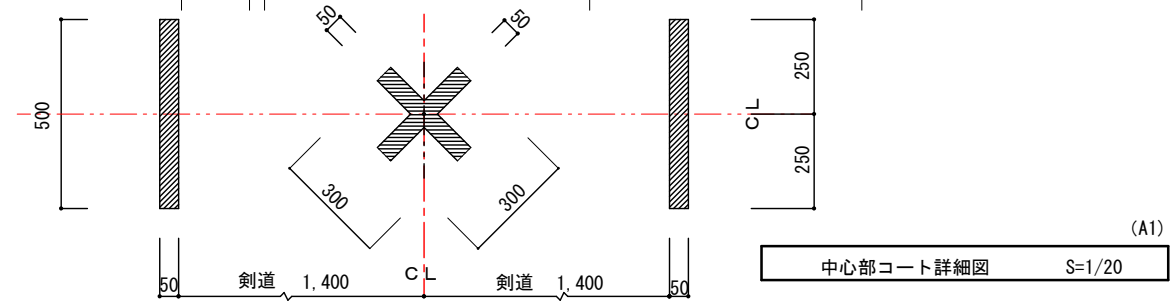


概要	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/10
		承認		



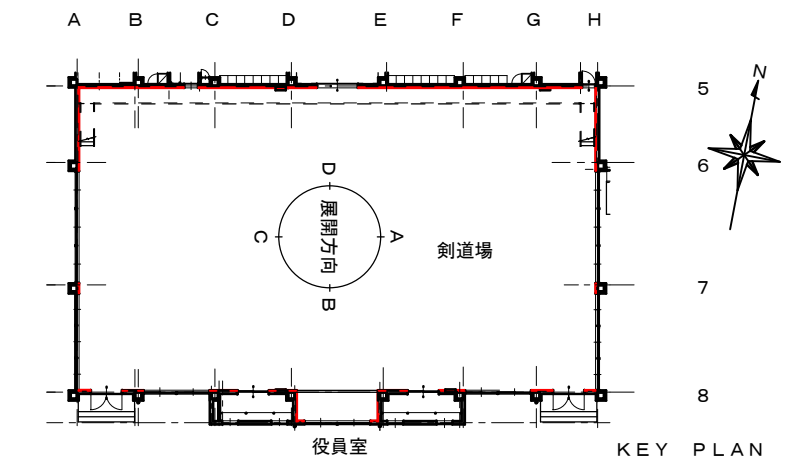
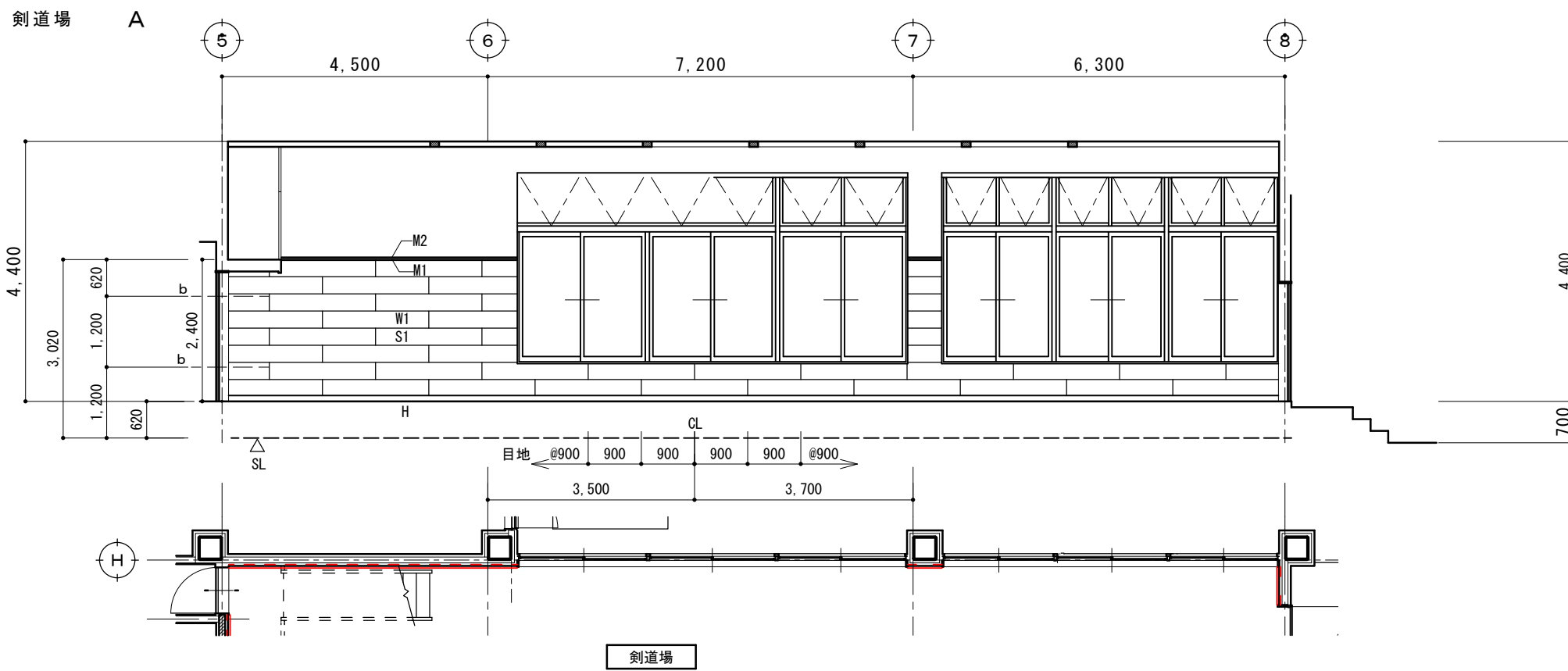
項目	コートサイズ (mm)	色	数量	備考
剣道	11,000 × 11,000 (外寸)	白	2	実線 ライン巾50mm

剣道 コートライン図 S=1/100 (A1)



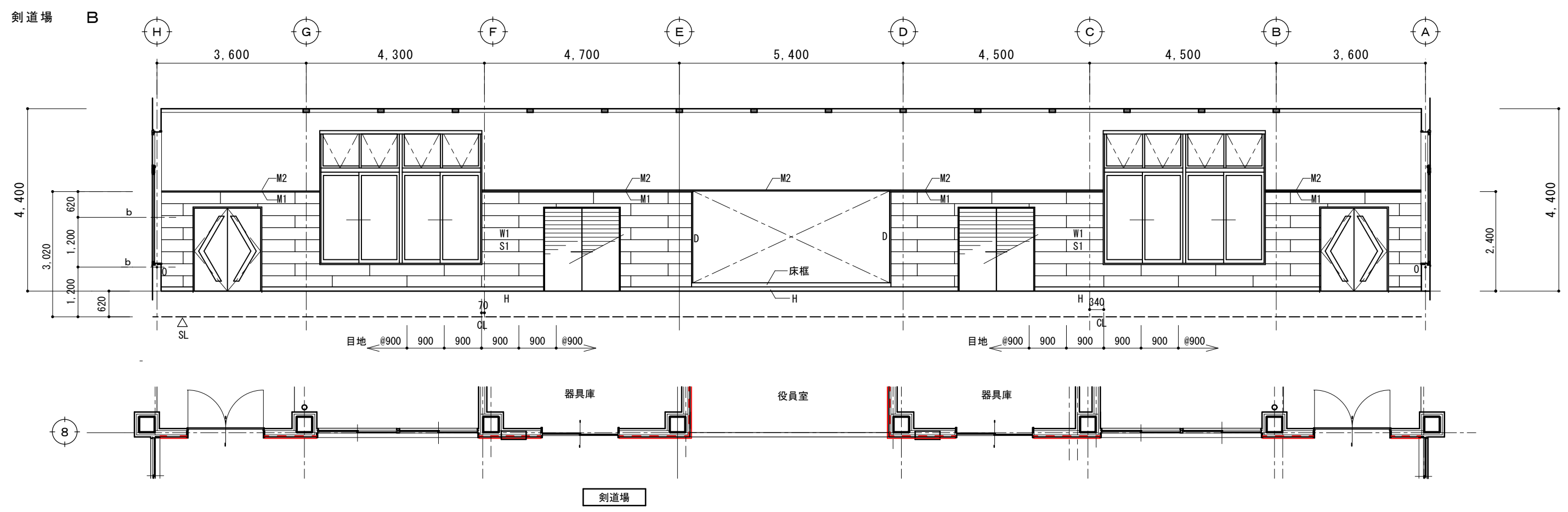
中心部コート詳細図 S=1/20 (A1)

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
			図面名称	A棟 内部改修 (剣道場) コートライン図	図番	A : 1-29
		承認				



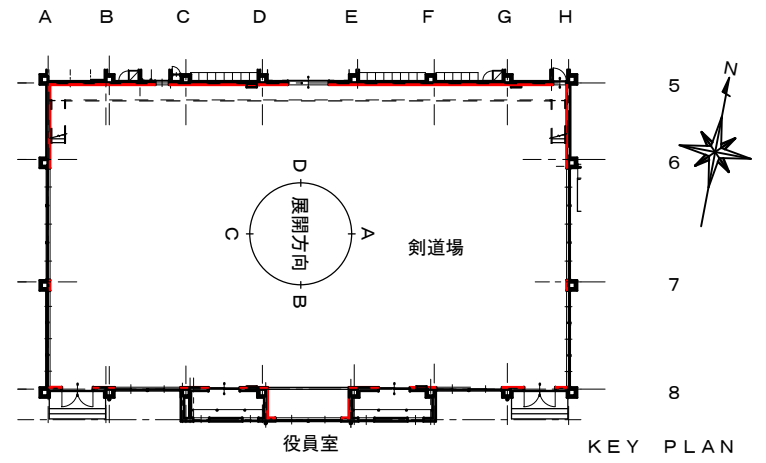
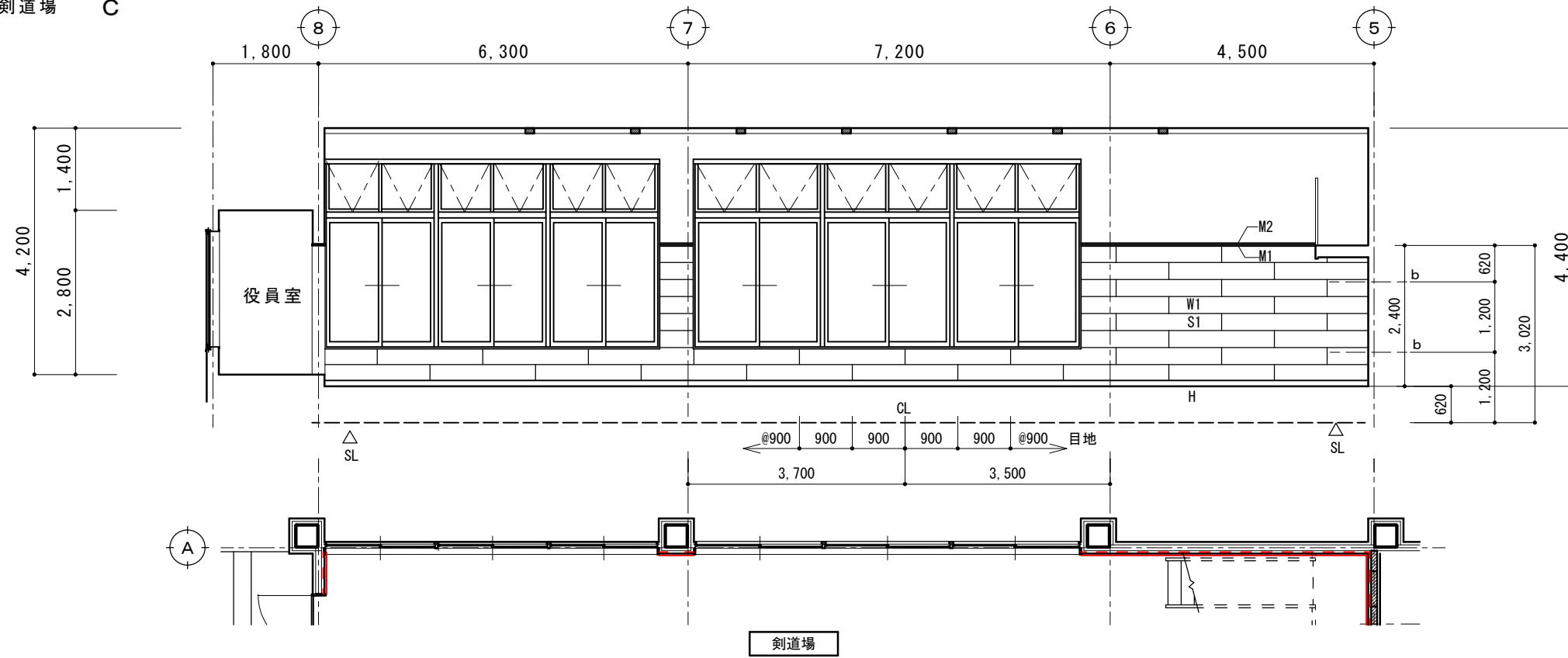
凡例

W1	天然木化粧合板 t15 塗装品 有孔板 290×1800 横目地6mm・縦目地無
M1	木製廻縁 10×25 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
M2	上部見切り材 71×25 (ｼｽﾃﾑ壁工事外)
H	木製巾木 9×115 (FL+100) 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
D	木製出隅 35×35×t7 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
O	木製押縁 15×7 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
S1	ｽﾀｯﾄﾞ 65×45×0.8t×@450
b	緩衝材 調整ｽｸﾘ径9



摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/100
			承認		

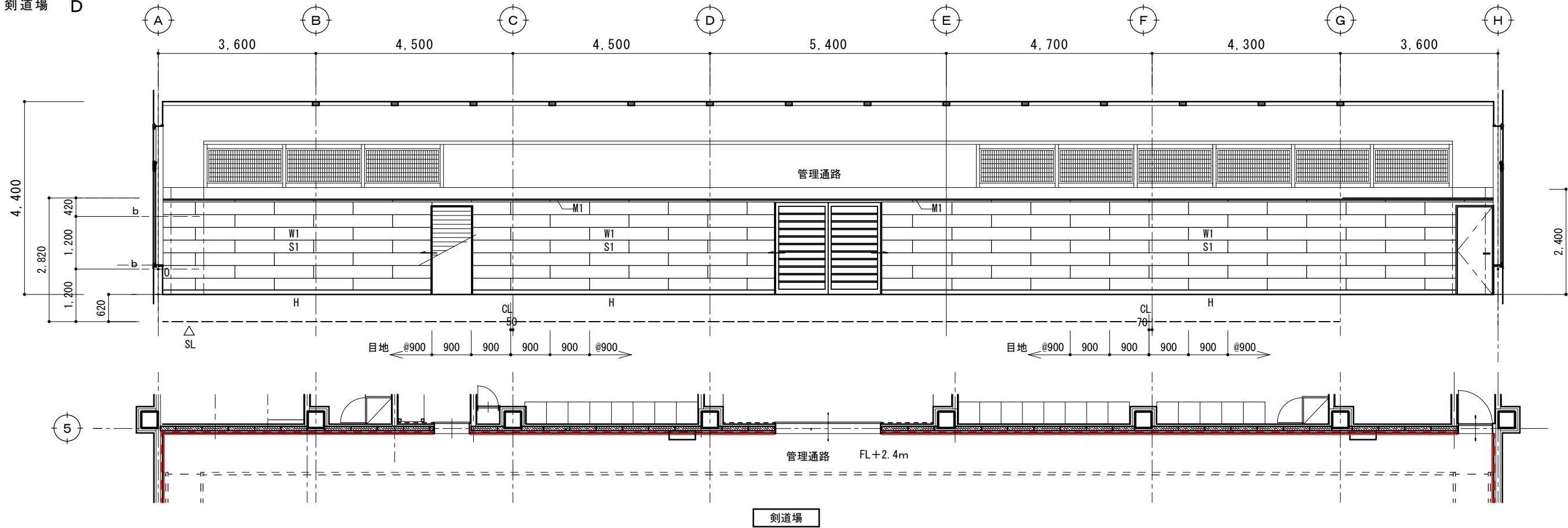
剣道場 C



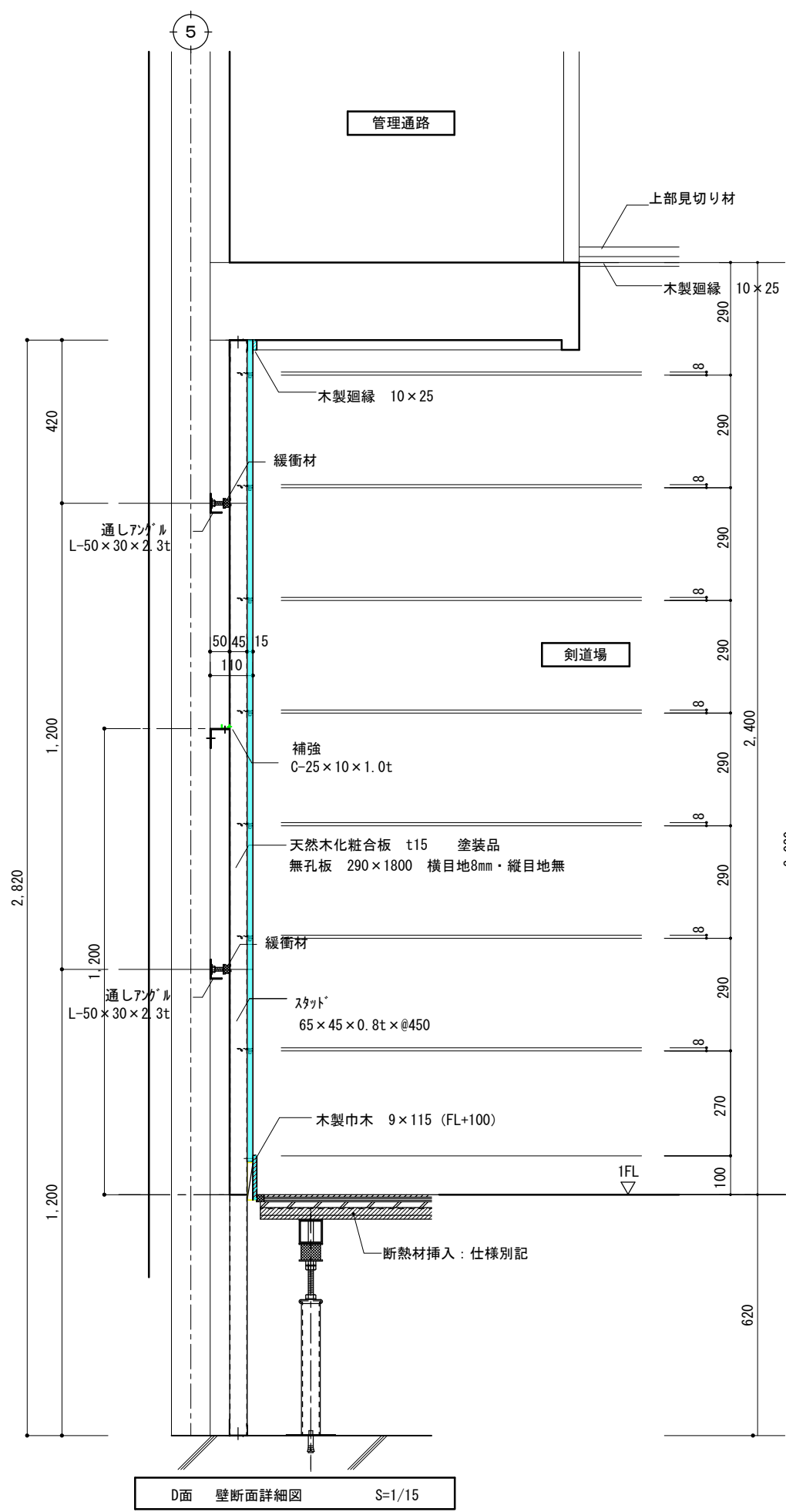
凡例

W1	天然木化粧合板 t15 塗装品 有孔板 290×1800 横目地6mm・縦目地無
M1	木製廻縁 10×25 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
M2	上部見切り材 71×25 (ｼｽﾃﾑ壁工事外)
H	木製巾木 9×115 (FL+100) 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
D	木製出隅 35×35×t7 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
O	木製押縁 15×7 集成材ｸﾘｯﾌﾟ塗装品
S1	ｽﾀｯﾄﾞ 65×45×0.8t×@450
b	緩衝材 調整ﾈｼﾞ径9

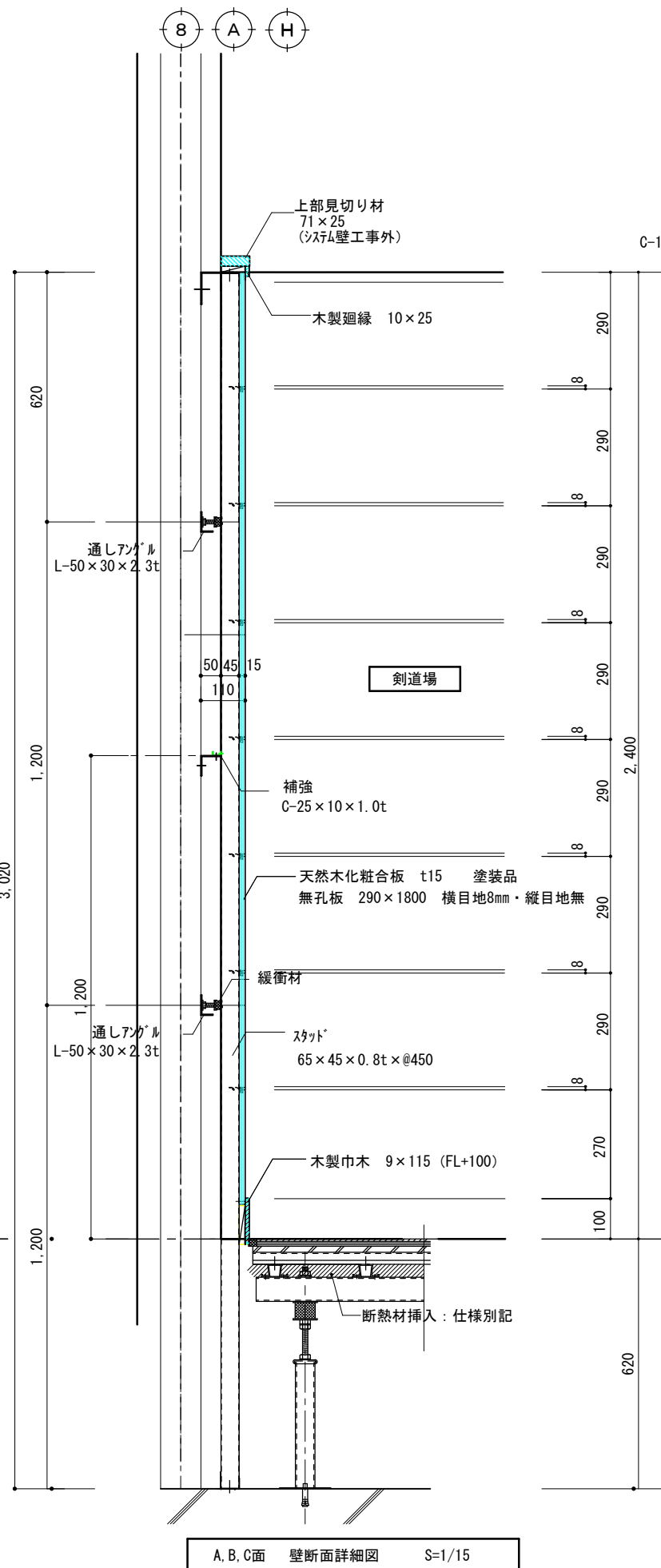
剣道場 D



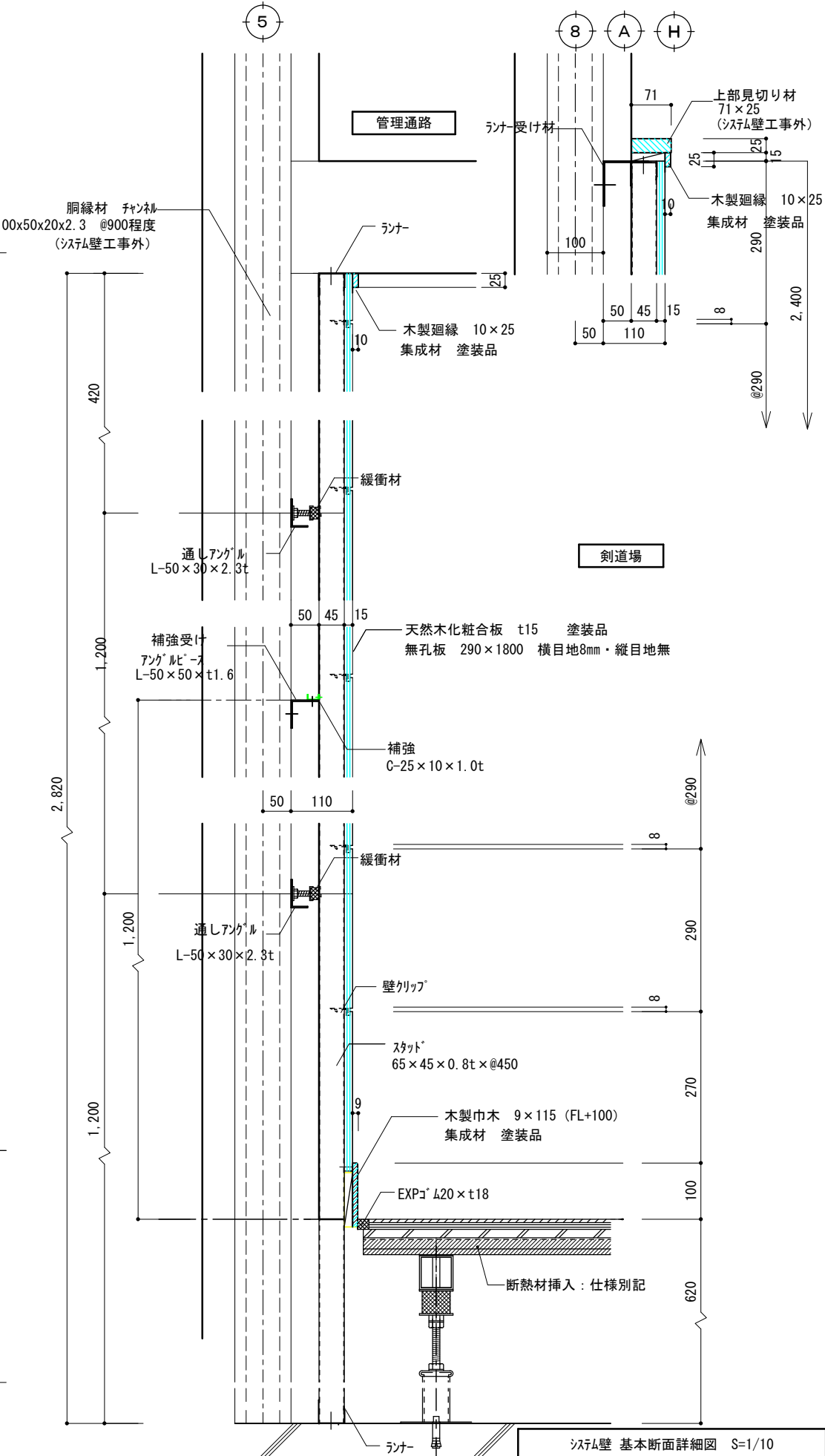
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/100
			承認		



D面 壁断面詳細図 S=1/15

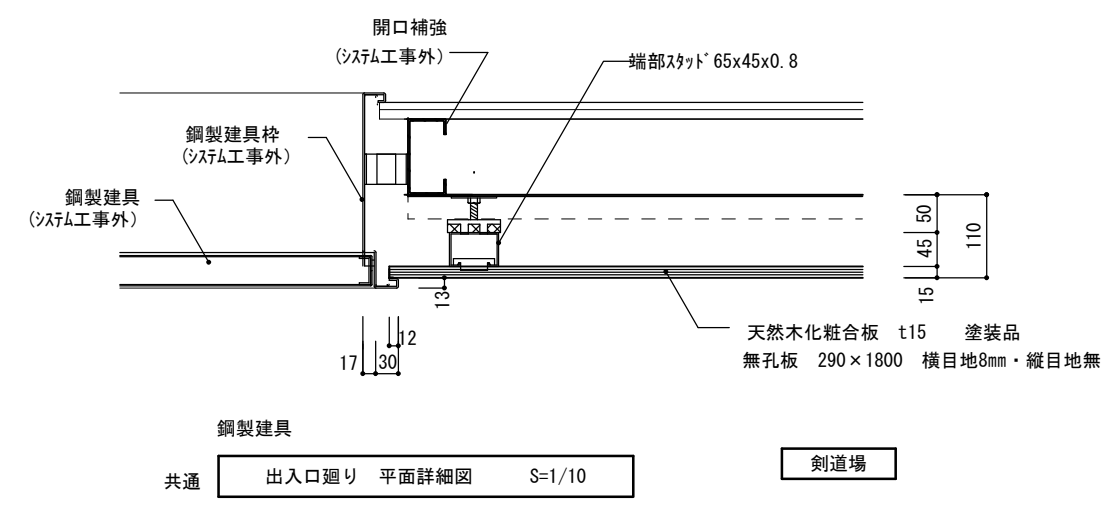
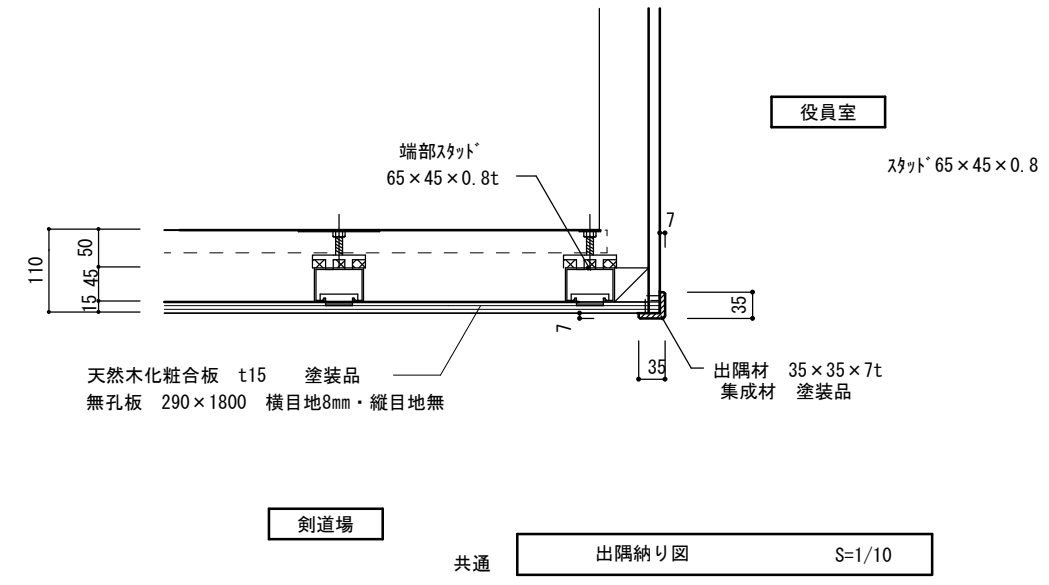
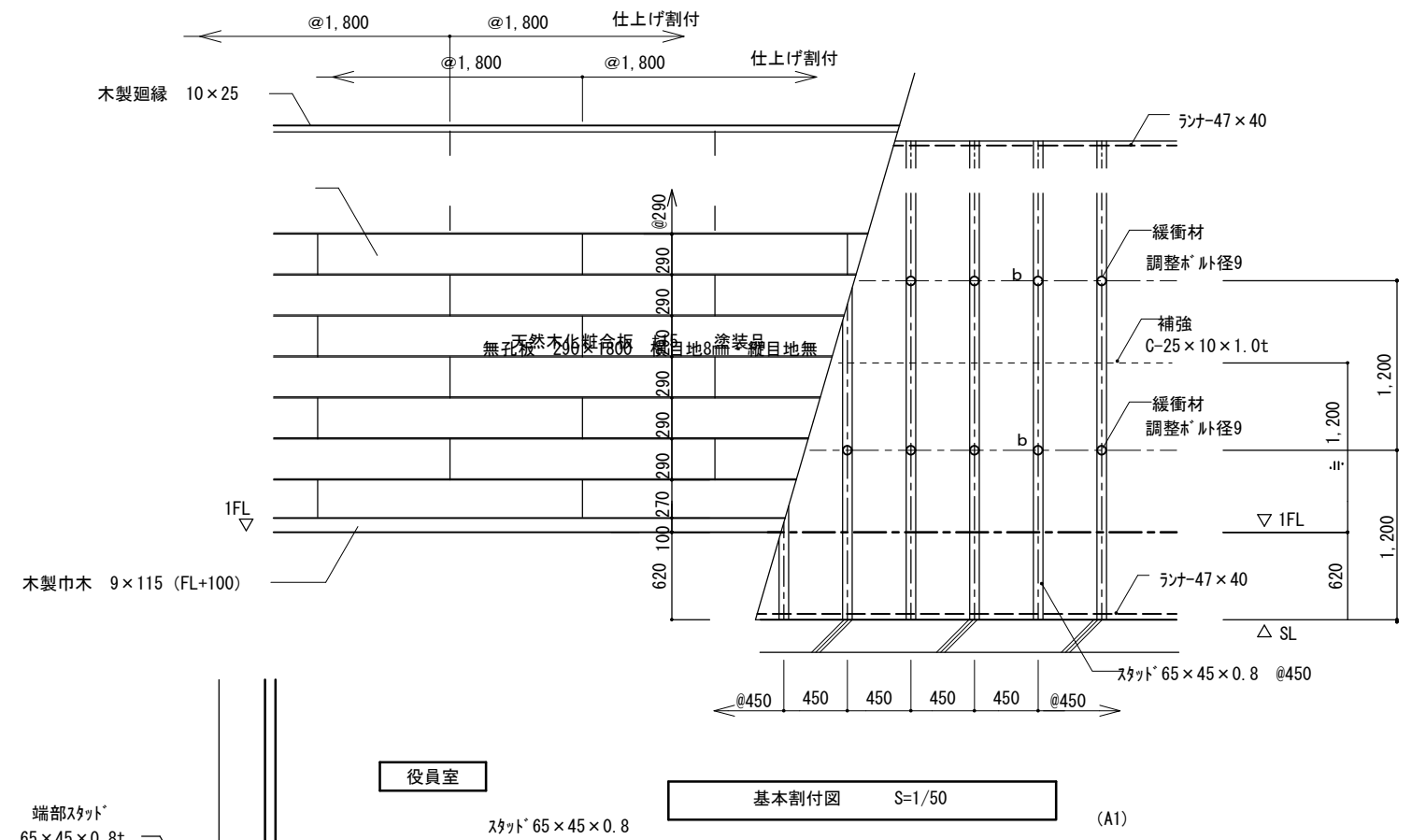
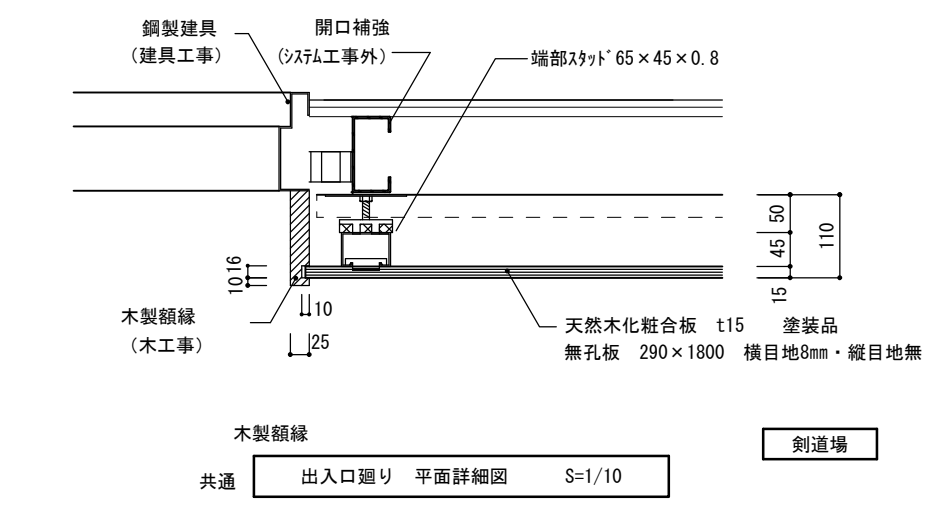
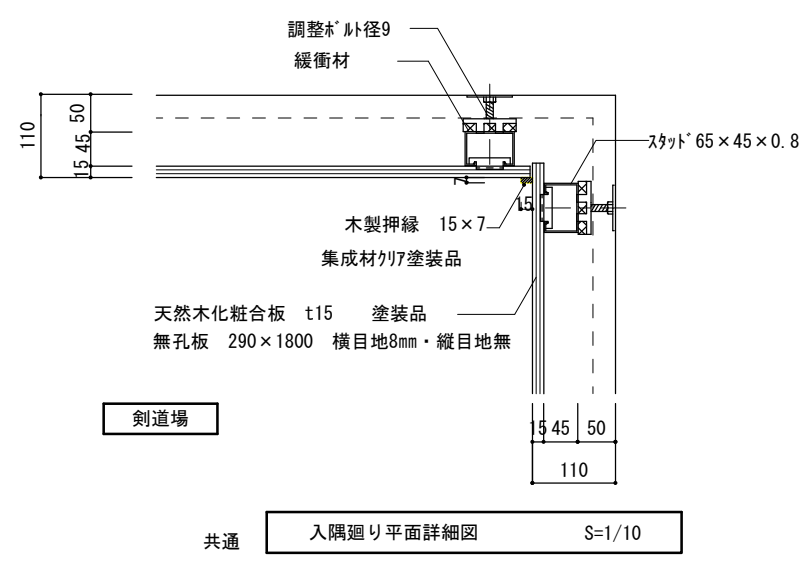
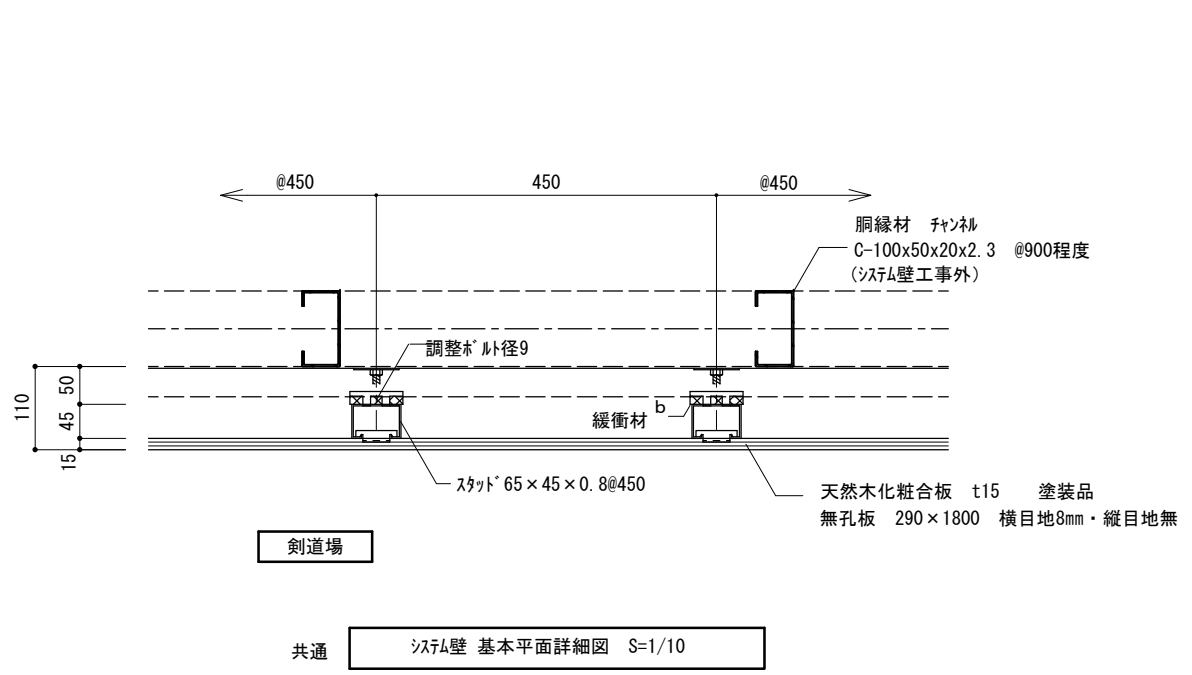


A, B, C面 壁断面詳細図 S=1/15

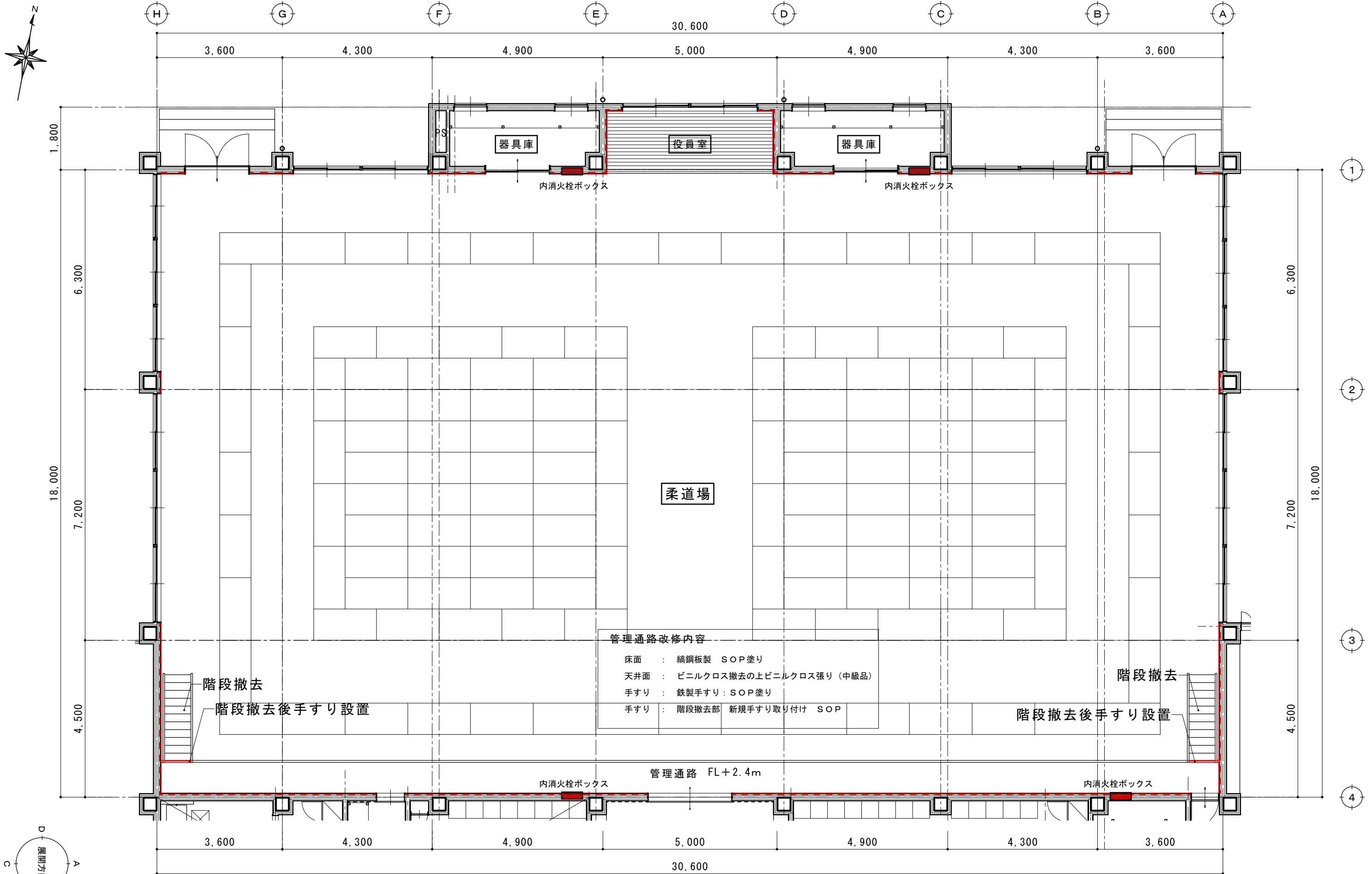


システム壁 基本断面詳細図 S=1/10

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺	1/15
			図面名称	A棟 内部改修(剣道場)鋼製システム壁詳細図1	図番	A:1-32
		承認				

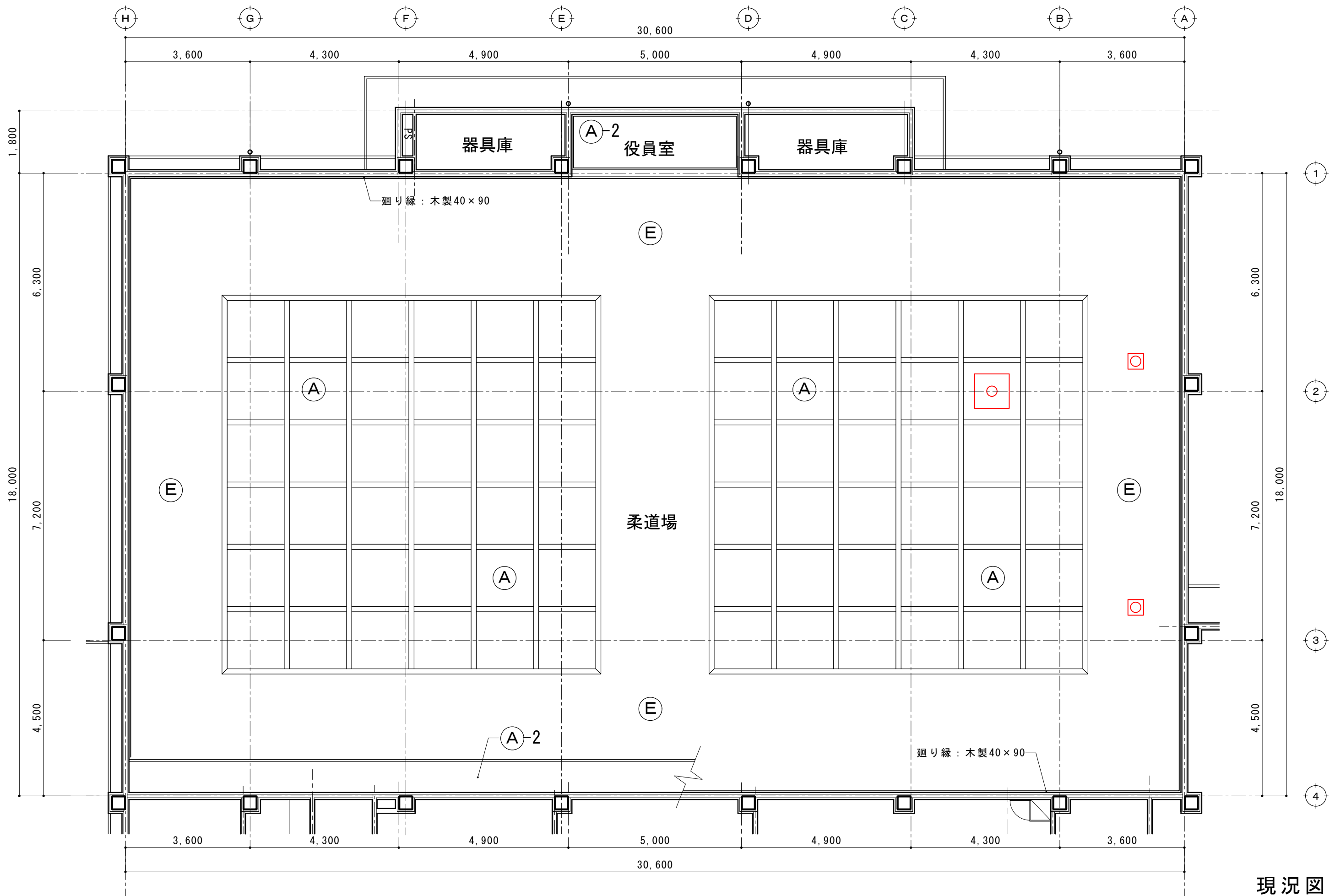


摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/10
			図面名称	A棟 内部改修 (剣道場) 鋼製システム壁詳細図 2	図番	A : 1-33
		承認				



現況図

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
			図面名称	A棟 内部改修 (柔道場) 現況平面図	図番	A : 1-34
		承認				



現況図

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
			図面名称	A棟 内部改修 (柔道場) 現況天井伏図	図番	A : 1-35
		承認				

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
柔道場 役員室 改修なし (クロス張替)	既存	樹脂製アジャスターフローアー (H600) 大型積層床材 t18 柔道用畳敷き	木製 H:200	腰壁: 木製胴縁の上、難燃化粧板 t12横張 (難燃) 腰上: 木製胴縁の上、GBD t12.5 ビニルクロス張り	LGS下地 格子内: GBR9.5の上ビニルクロス張り 周囲部: GBR9.5の上岩綿吸音板張り	木製 40×90	
	撤去	樹脂製アジャスターフローアー (H600) 撤去 大型積層床材 t18 撤去 柔道用畳敷き 撤去 (柔道畳320帖)	木製 撤去 H:200	腰壁: 木製胴縁の上、撤去なし 難燃化粧板 t12横張 撤去 腰上: 木製胴縁の上、撤去なし GBD t12.5 ビニルクロス張り 撤去	LGS下地 撤去 格子内: GBR9.5の上ビニルクロス張り 撤去 周囲部: GBR9.5の上岩綿吸音板張り 撤去	木製 撤去	床: 御影石部分撤去
	改修	鋼製床下地 (詳細図参照) の上針葉樹合板 t15捨て張り 大型積層フローリング t18 (詳細図参照) 工場半塗装品 ポリッシャー掛ノ上水性ウレタン塗装1回 EXPゴム18×20 剣道場ライン 2面 柔道用畳敷き (全面) 断熱材挿入 仕様: 詳細図参照	タモ集成材 H:110	腰壁: 衝撃吸収壁下地 スタッド: 65×45 t0.8 @450 調整ボルト 天然木化粧合板 t15 (難燃) 出隅・入隅: タモ集成材 腰上: GBD t12.5 (新設) ビニルクロス張り (中級品) 断熱材挿入 仕様: 詳細図参照	LGS下地 新設 格子内: GBR9.5の上ビニルクロス張り 新設 周囲部: GBR9.5の上岩綿吸音板張り 新設 断熱材挿入 仕様: 詳細図参照	木製 新規 40×90 WP塗装	消火栓ボックス取付 (開口工事: 建築) 床点検口アルミ枠600×600 6箇所 床換気口アルミ枠スライド開閉 メッシュ付200×1000 10台

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
器具庫	既存	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし	
	撤去						
	改修						

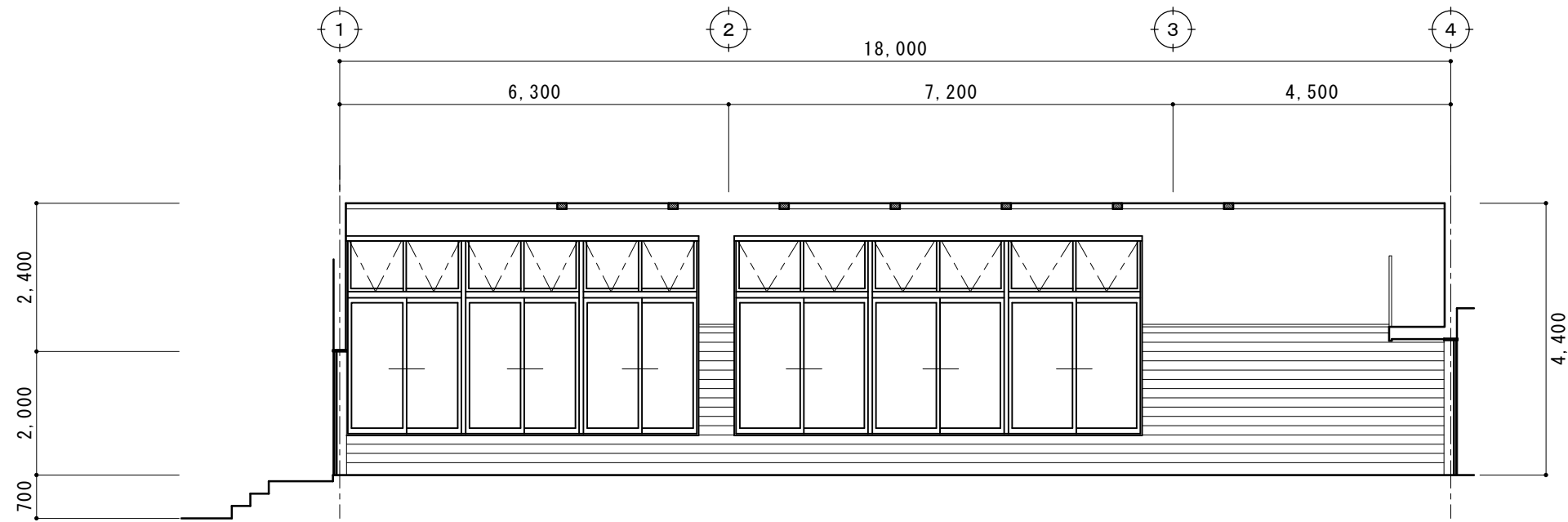
天井伏図リスト

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90 (金物吊り)		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90 (金物吊り)	撤去 撤去なし	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 木製格子 150×90 (金物吊り)	新規 既存	木部: UC塗装

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
E	既存	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ロックウール吸音板 t12 木製廻り縁 (既存使用)	新規 新規	

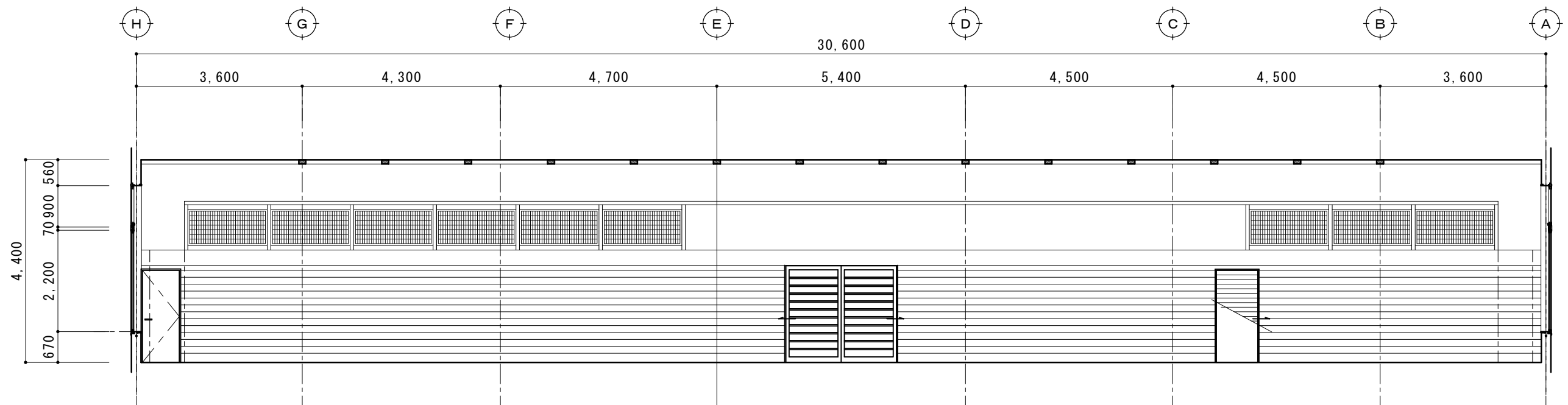
天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A-2	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	ビニルクロス張り	撤去 撤去なし	
	改修	ビニルクロス張り	新規 既存	

概要	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺



柔道場

A

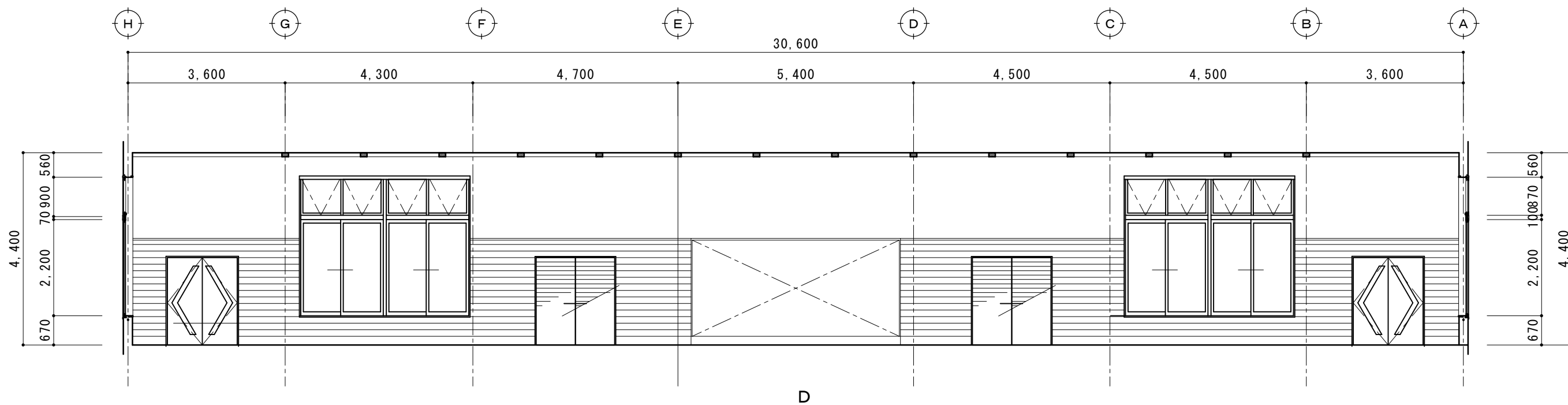
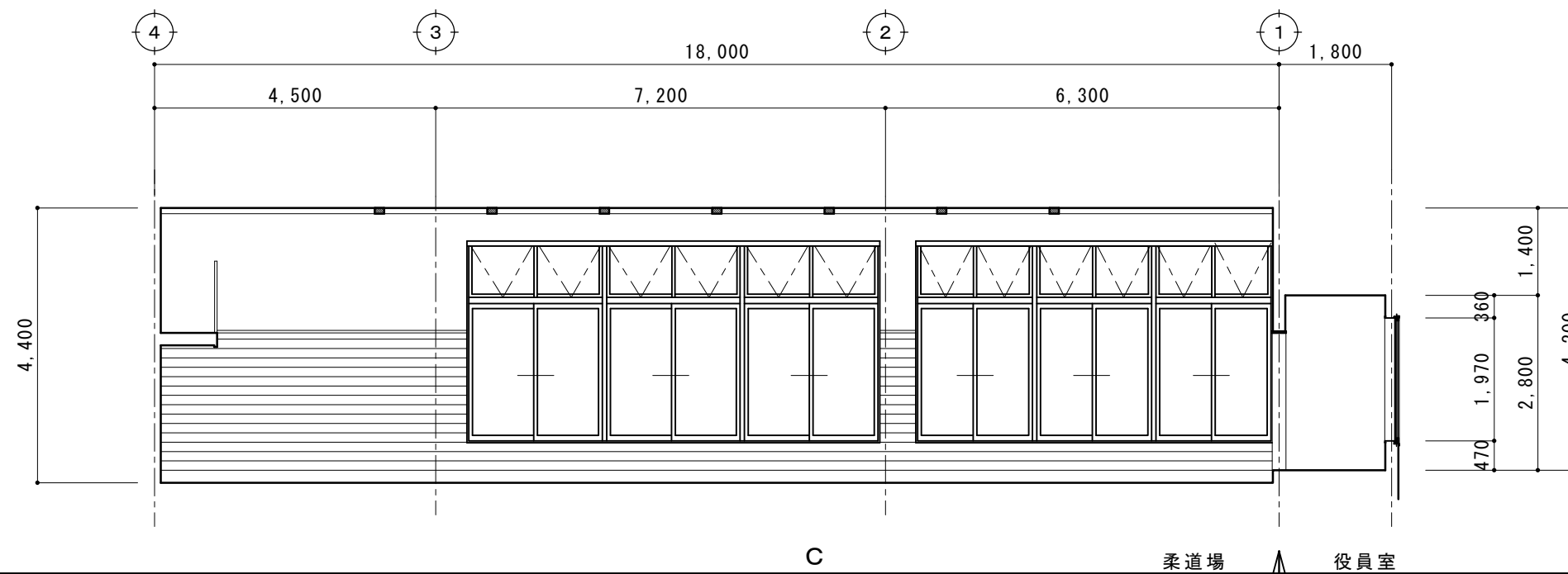


柔道場

B

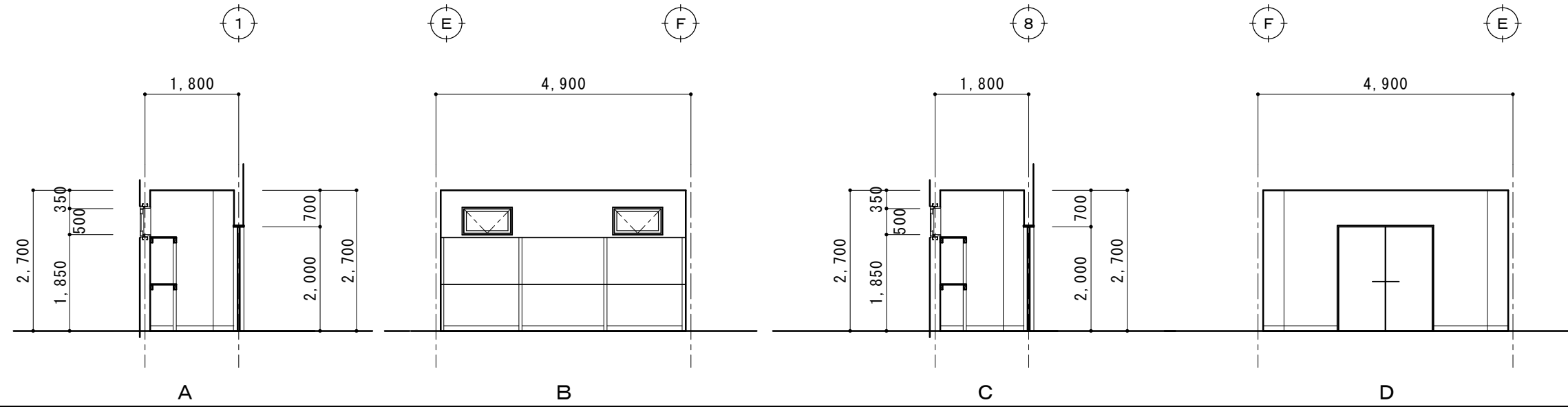
現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）現況展開図1	図番 A : 1-37



現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認		



剣道場器具庫

A

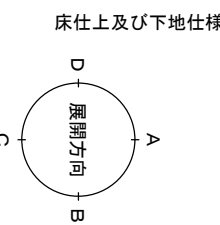
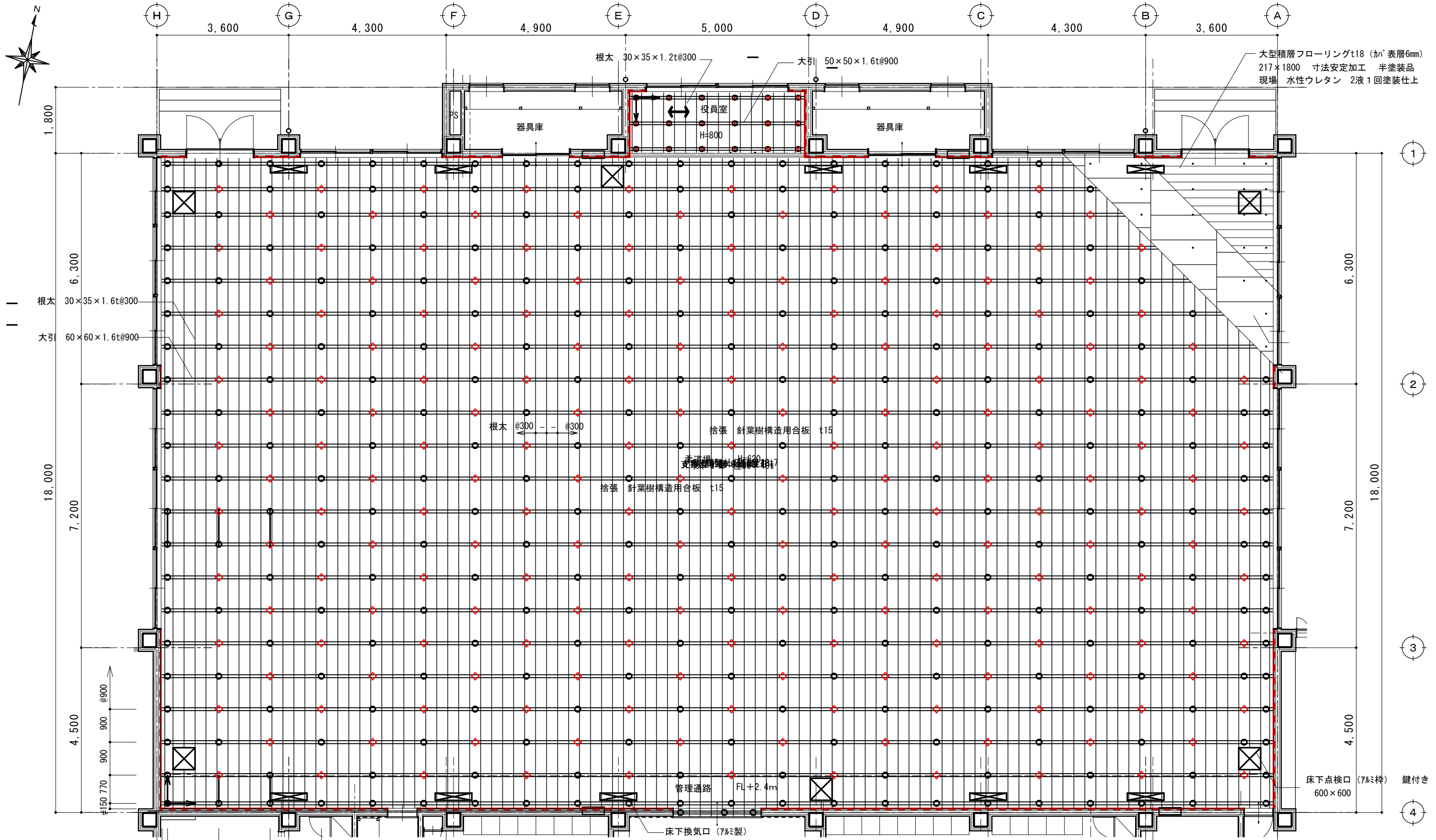
B

C

D

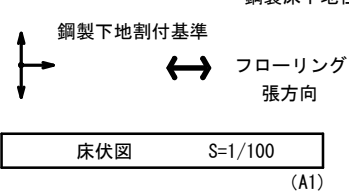
現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（柔道場）現況展開図3	図番 A : 1-39



床仕上及び下地仕様	柔道場 大型積層フローリングt18 (か' 表層6mm) 217×1800 寸法安定加工 半塗装品 現場 水性ウレタン 2液1回塗装仕上 役員室 周囲 EXPt' Δ20×t18 換気口、点検口 EXPt' Δ15×t18
-----------	---

機器類	床下点検口 (7/8尺枠) 鍵付き 計6台 600×600 床下換気口 (7/8尺製) 計10台 200×1000 スライド' 開閉式、メッシュ付
-----	--



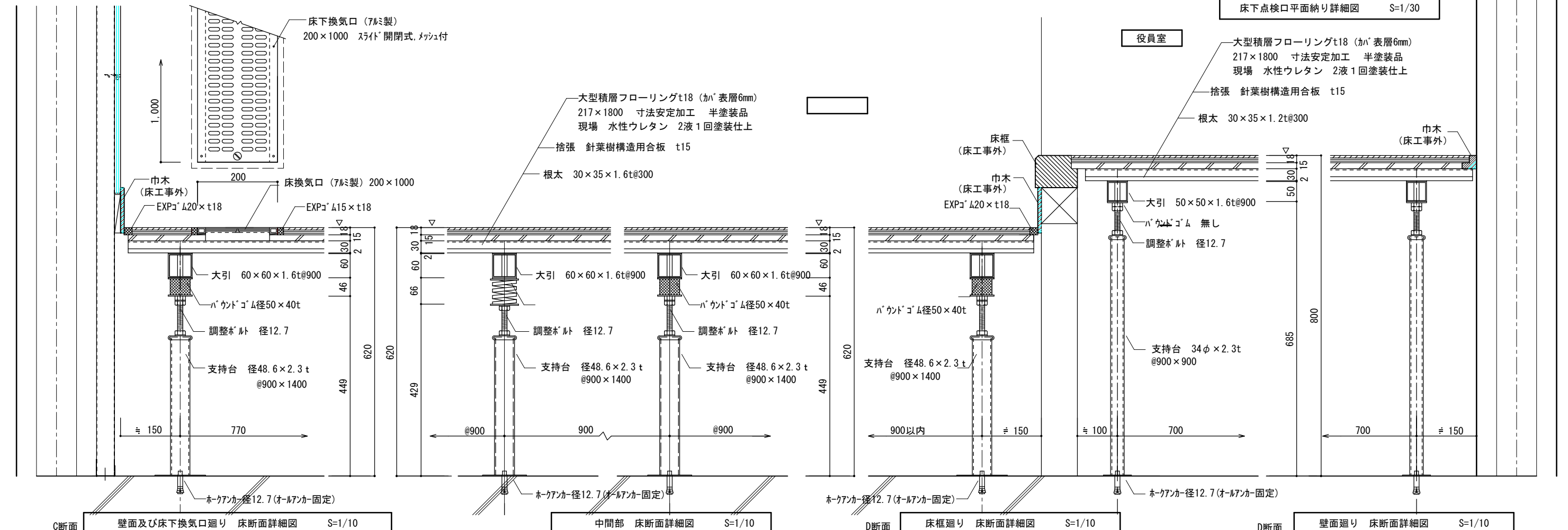
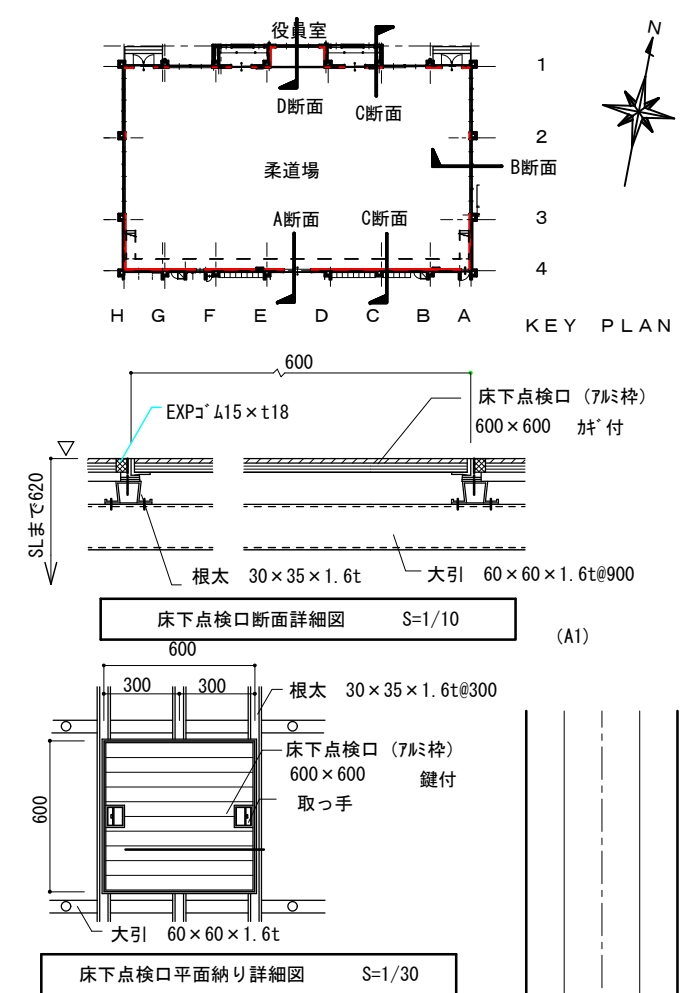
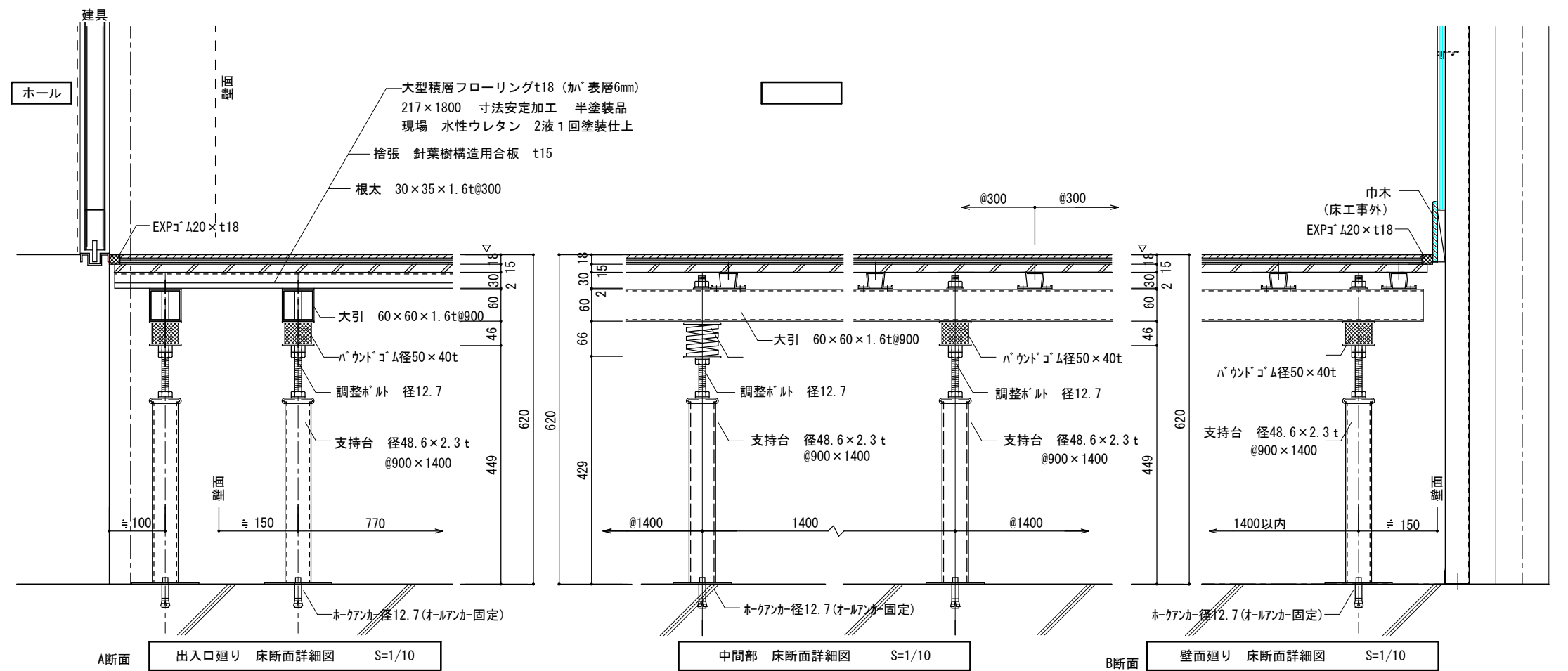
柔道場	根太 30×35×1.6t@300 大引 60×60×1.6t@900 柔道場用2重コイルスプリング 径60×60t H=620 外周付近 ホークンカ径12.7 (ホルンカ固定)
-----	--

役員室	根太 30×35×1.2t@300 大引 50×50×1.6t@900 パッド'ゴム 無し 支持台 34φ×2.3t @900×900 ホークンカ径12.7 (ホルンカ固定)
-----	---

摘要	
----	--

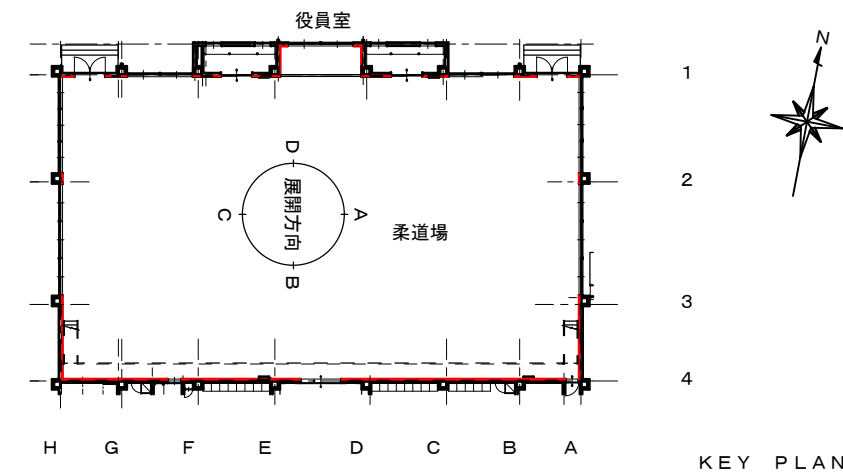
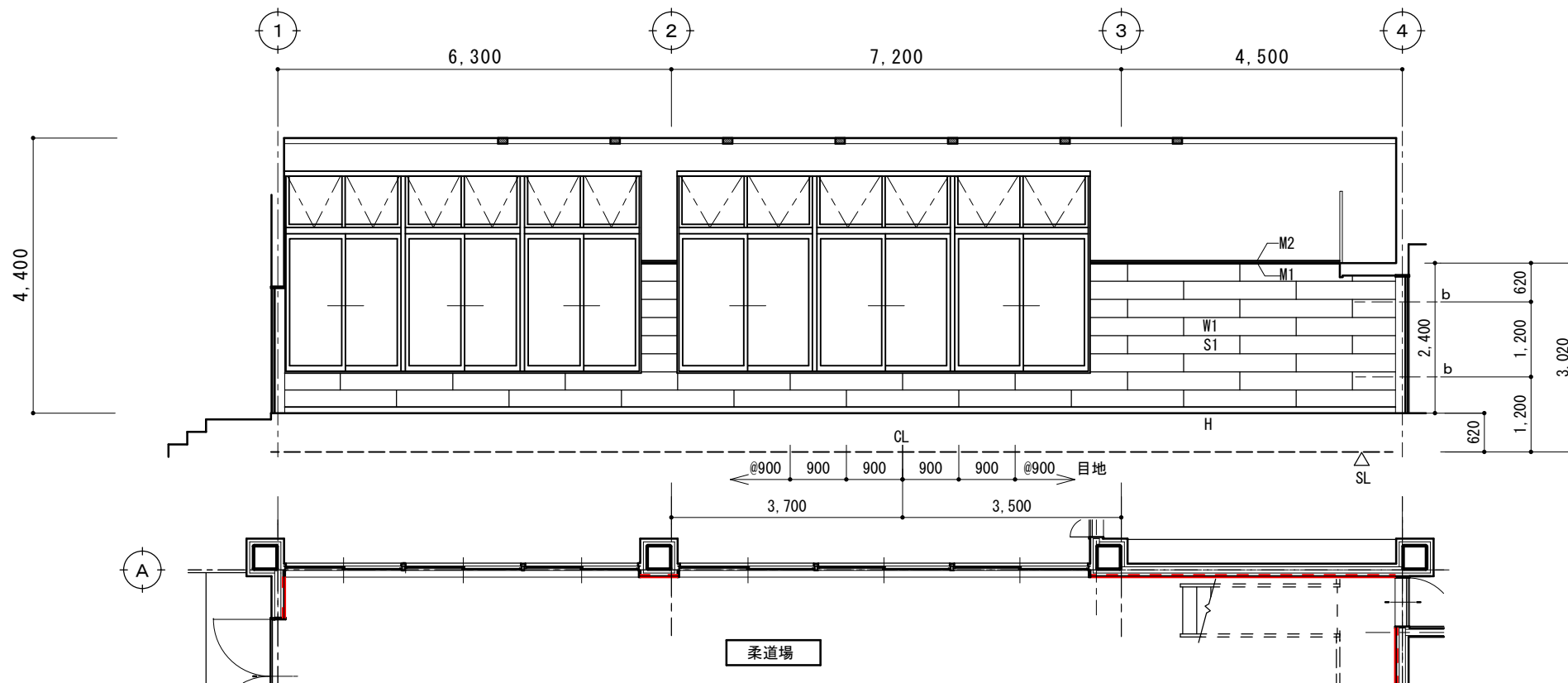
TIME	作成者
	承認

工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
図面名称	A棟 内部改修 (柔道場) 鋼製床システム平面図	図番	A : 1-40



摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/10
			図面名称	A棟 内部改修 (柔道場) 鋼製床システム詳細図		
		承認				

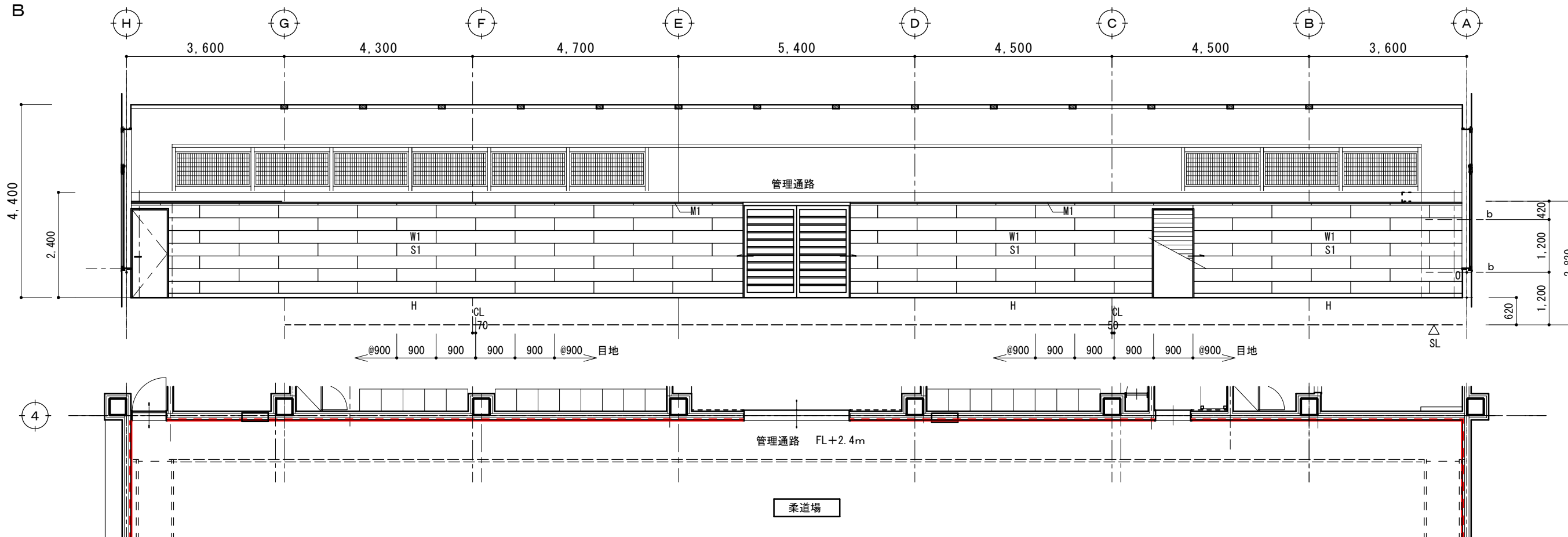
柔道場 A



凡例

W1	天然木化粧合板 t15 塗装品 有孔板 290×1800 横目地6mm・縦目地無
M1	木製廻縁 10×25 集成材ｸﾞﾗｯﾌﾟ塗装品
M2	上部見切り材 71×25 (ｼｽﾃﾑ壁工事外)
H	木製巾木 9×115 (FL+100) 集成材ｸﾞﾗｯﾌﾟ塗装品
D	木製出隅 35×35×t7 集成材ｸﾞﾗｯﾌﾟ塗装品
O	木製押縁 15×7 集成材ｸﾞﾗｯﾌﾟ塗装品
S1	ｽﾀｯﾄﾞ 65×45×0.8t×@450
b	緩衝材 調整ﾎﾞﾙﾄ径9

柔道場 B



摘要

TIME

作成者

工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)

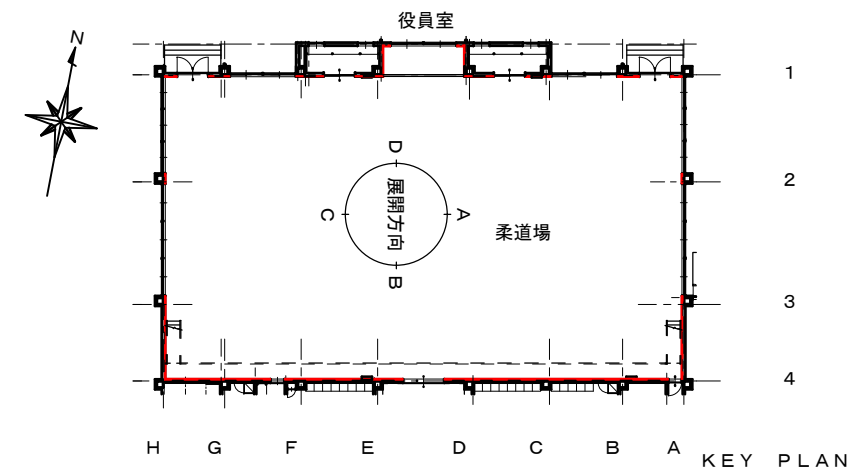
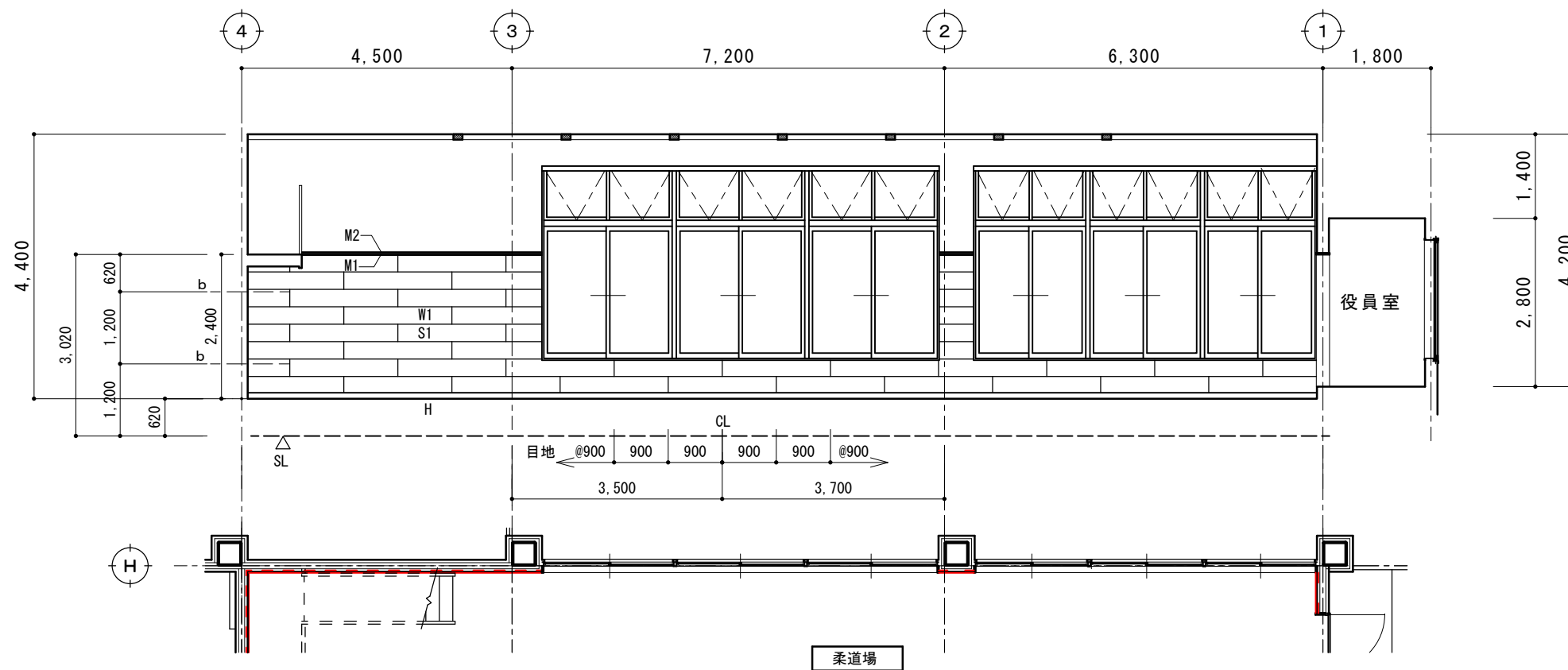
縮尺 1/100

図面名称 A棟 内部改修(柔道場)鋼製システム壁展開図 1

図番 A:1-42

承認

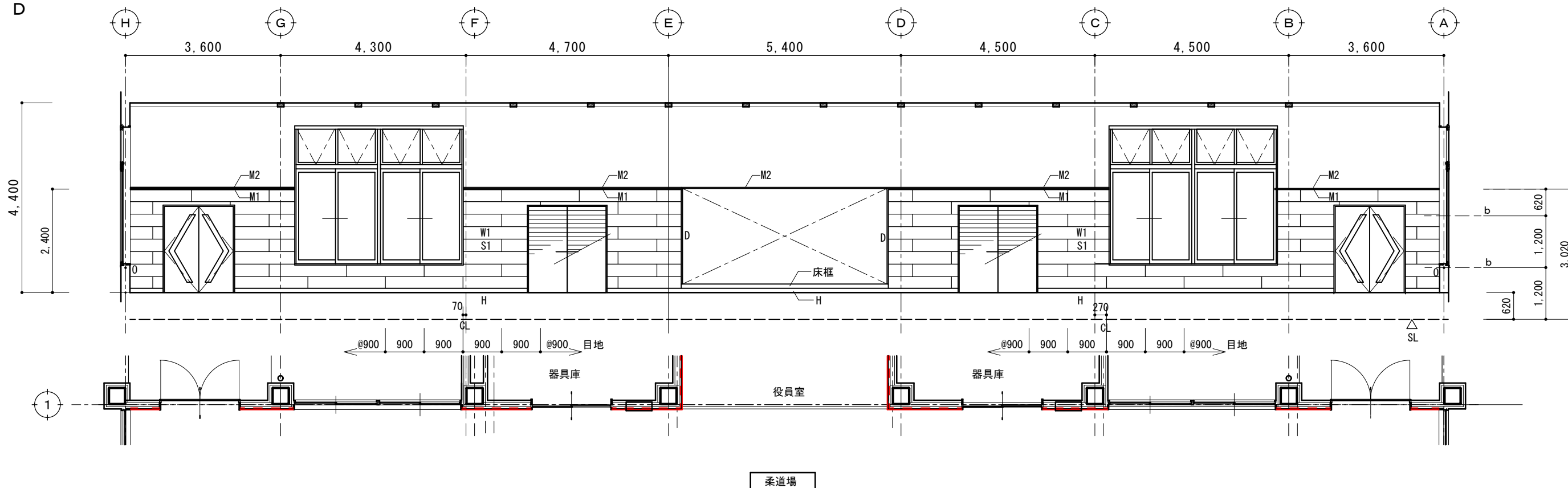
剣道場 C



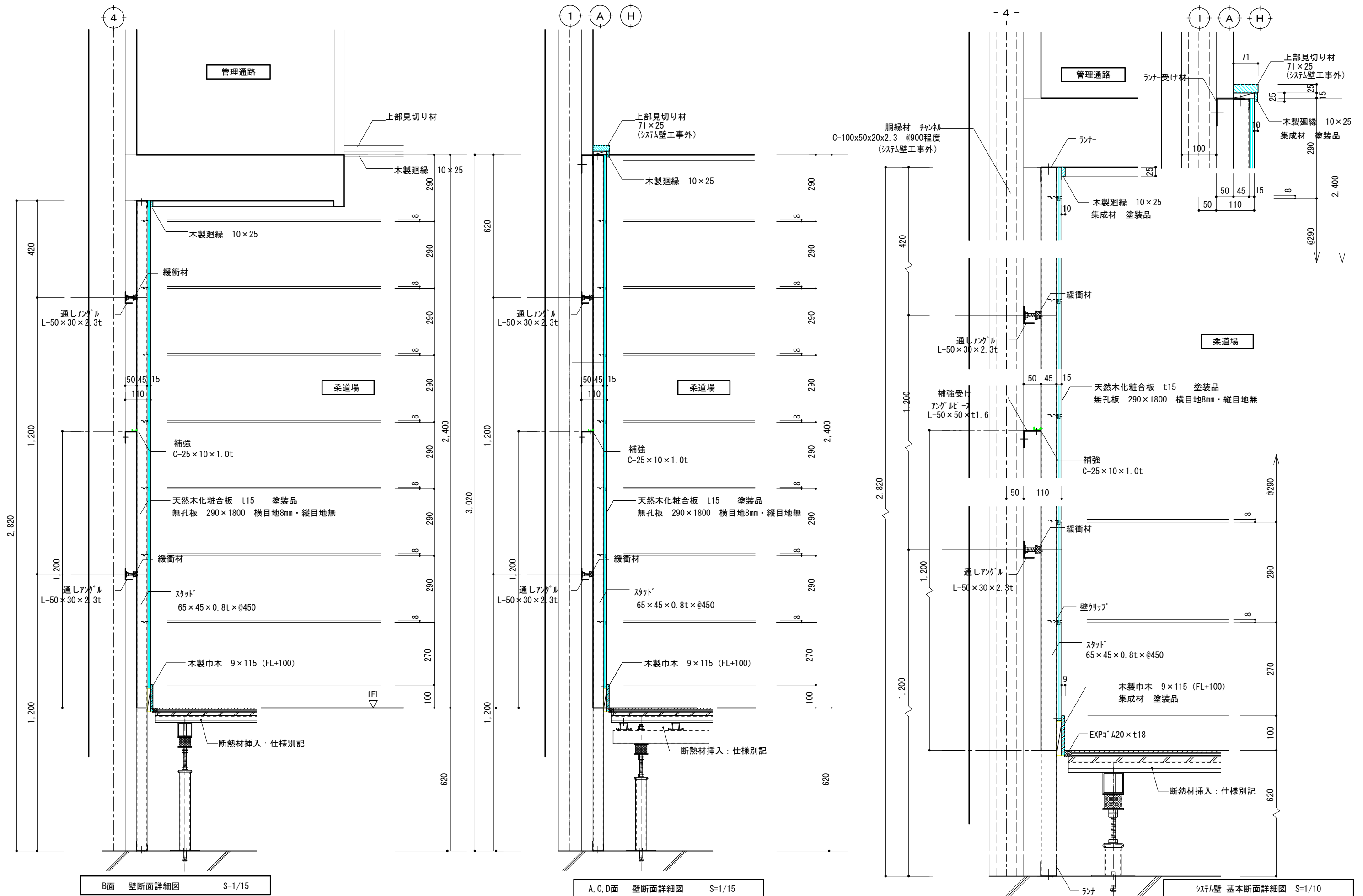
凡例

W1	天然木化粧合板 t15 塗装品 有孔板 290×1800 横目地6mm・縦目地無	
M1	木製廻縁 10×25	集成材ｸﾞﾗﾌ塗装品
M2	上部見切り材 71×25	(ｼｽﾃﾑ壁工事外)
H	木製巾木 9×115 (FL+100)	集成材ｸﾞﾗﾌ塗装品
D	木製出隅 35×35×t7	集成材ｸﾞﾗﾌ塗装品
O	木製押縁 15×7	集成材ｸﾞﾗﾌ塗装品
S1	ｽﾀｯﾄﾞ 65×45×0.8t×@450	
b	緩衝材 調整ﾎﾙﾄﾞ径9	

剣道場 D



摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/100
			承認		

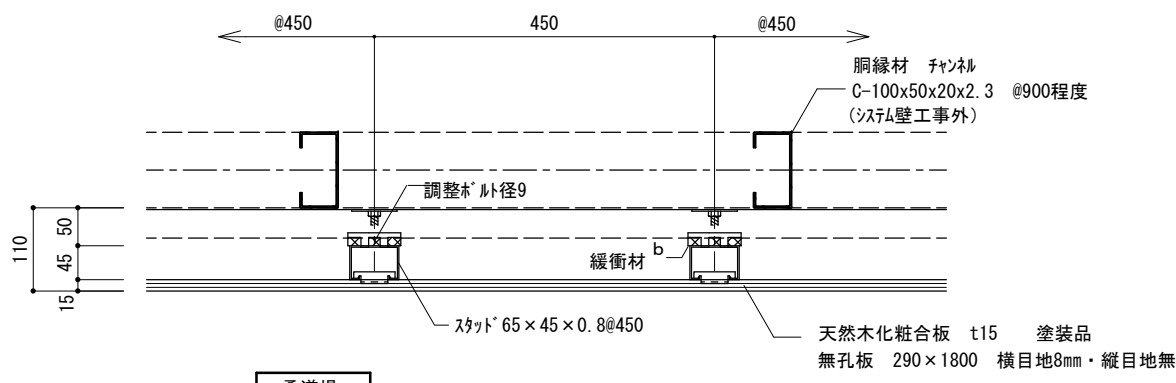


B面 壁断面詳細図 S=1/15

A, C, D面 壁断面詳細図 S=1/15

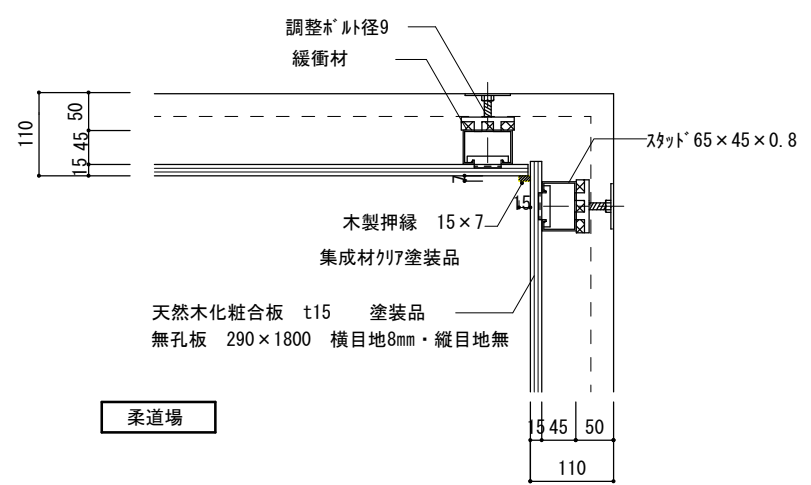
システム壁 基本断面詳細図 S=1/10

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺	1/15
			図面名称	A棟 内部改修(柔道場)鋼製システム壁詳細図 1	図番	A:1-44
		承認				



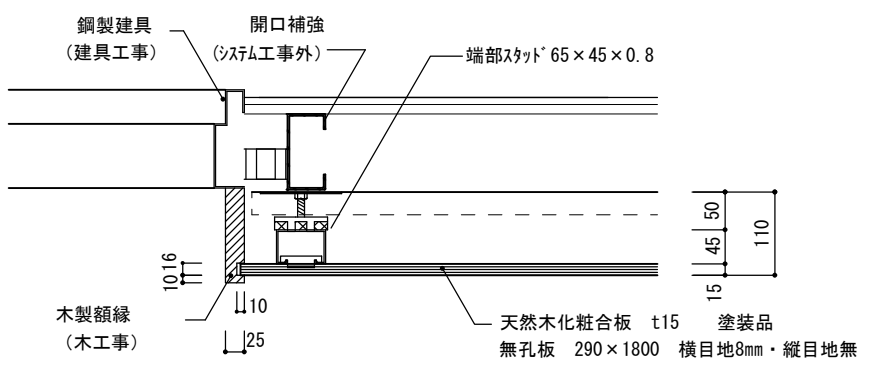
柔道場

共通 システム壁 基本平面詳細図 S=1/10



柔道場

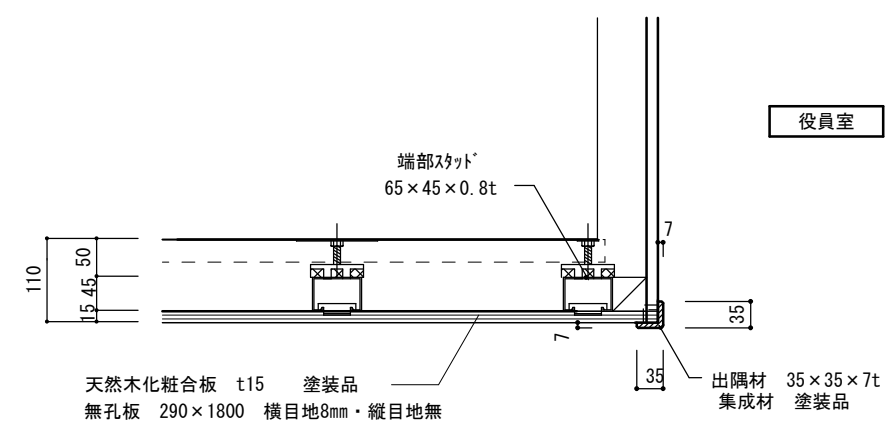
共通 入隅廻り平面詳細図 S=1/10



木製額縁

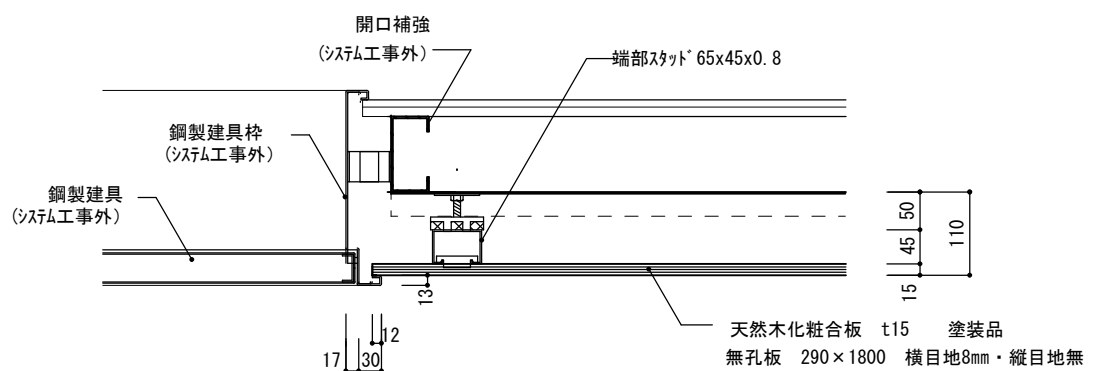
共通 出入口廻り 平面詳細図 S=1/10

柔道場



柔道場

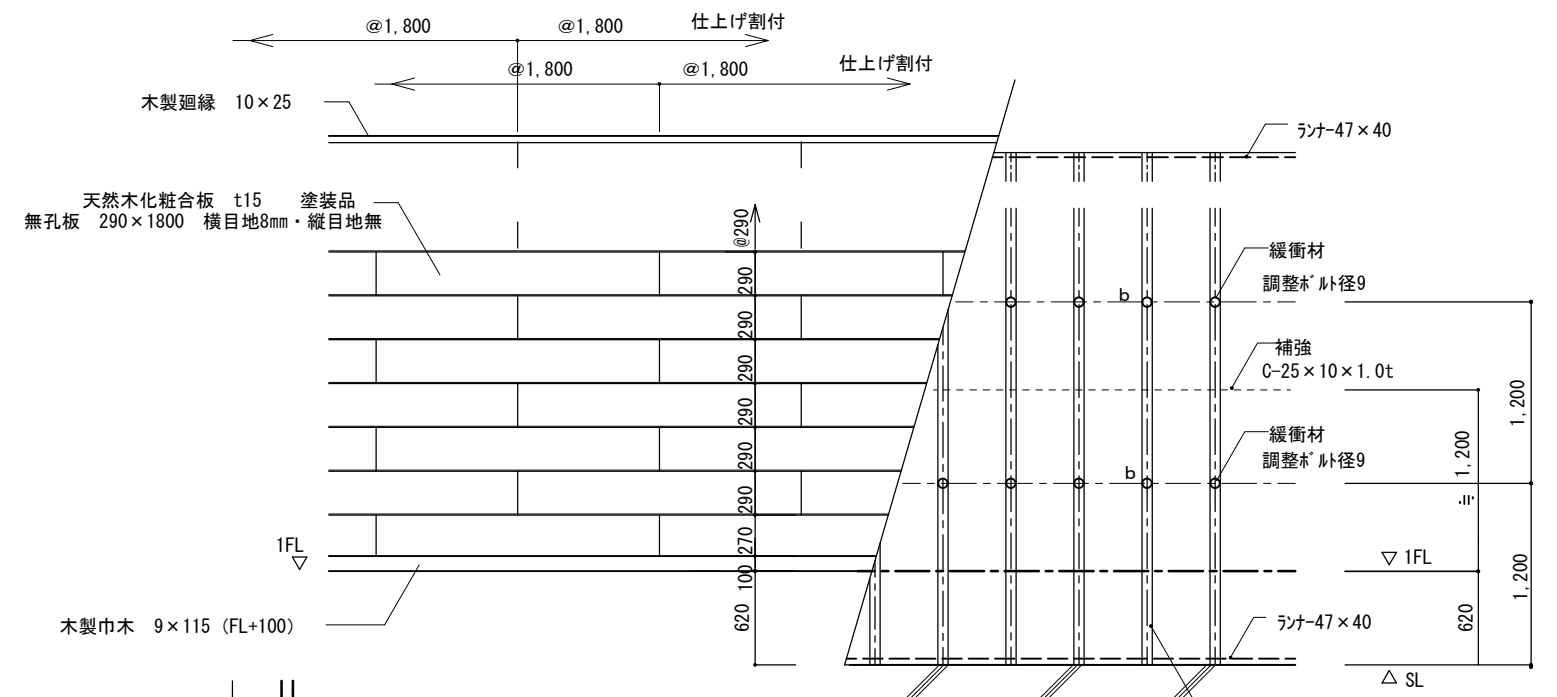
共通 出隅納り図 S=1/10



鋼製建具

共通 出入口廻り 平面詳細図 S=1/10

柔道場



基本割付図 S=1/50 (A1)

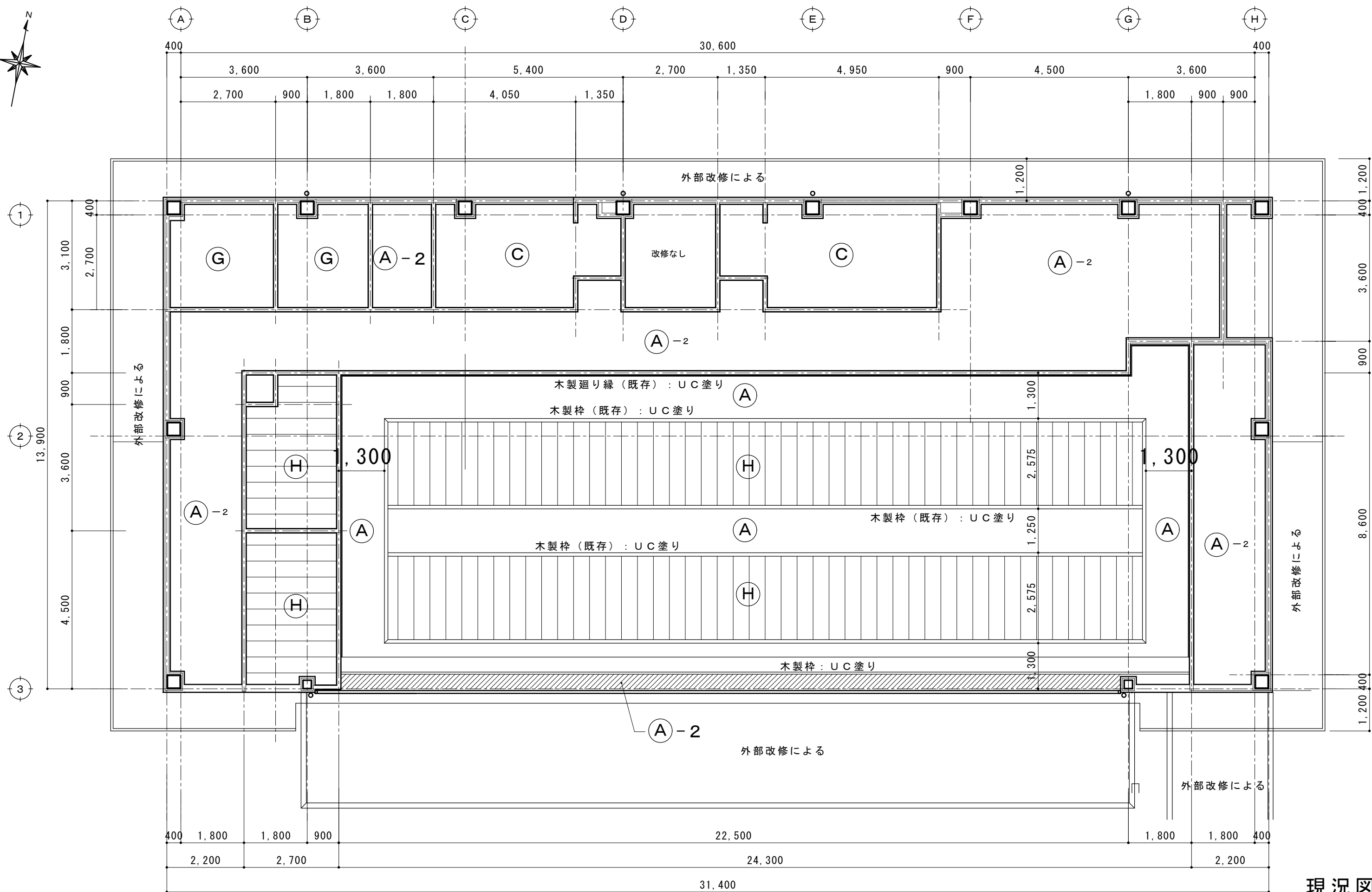
摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/10
			図面名称	A棟 内部改修 (柔道場) 鋼製システム壁詳細図 2	図番	A:1-45



内消火栓ボックス ※ 屋内消火栓ボックス (機械設備) 取付位置及び方法は協議

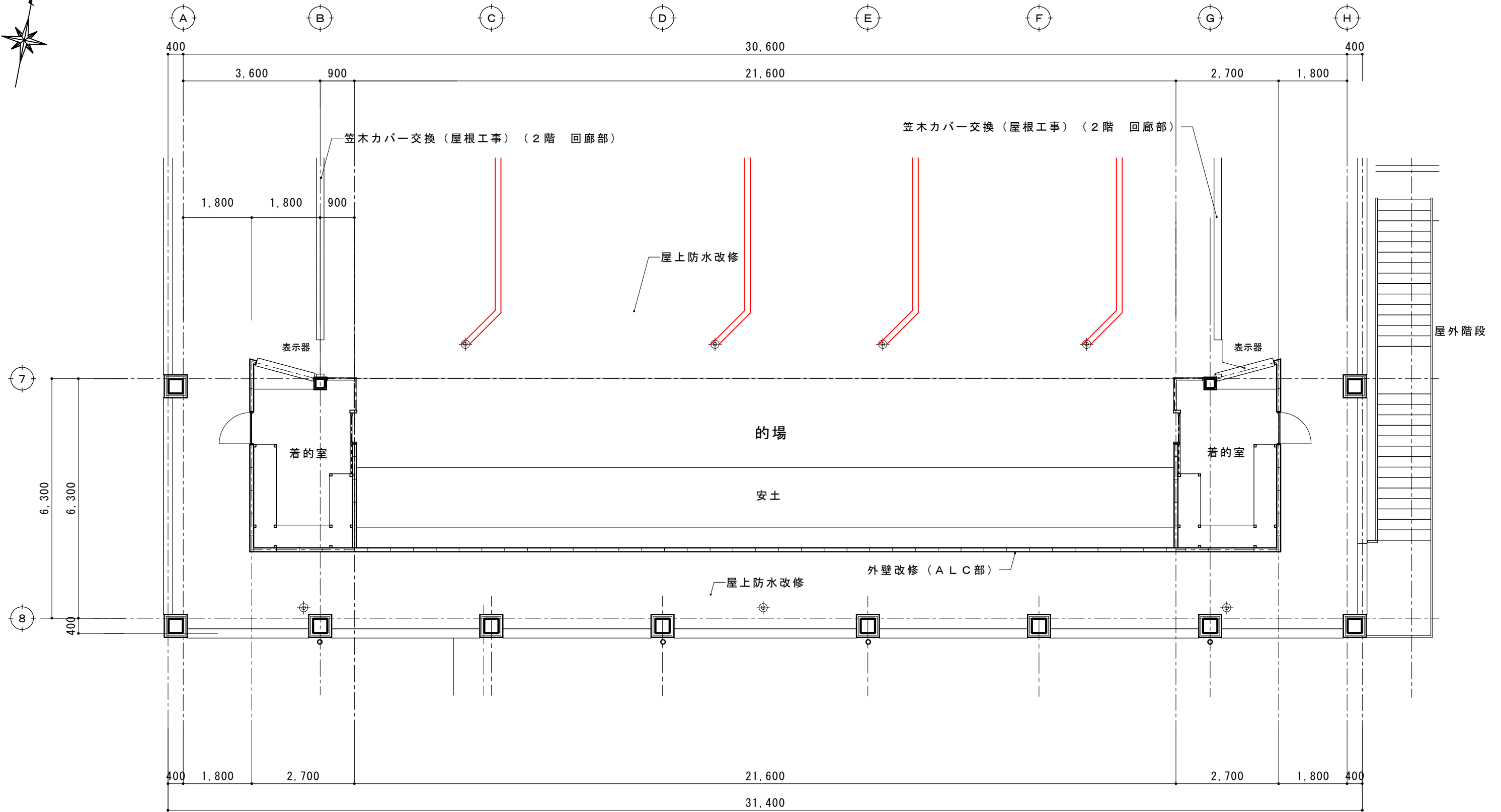
現況図

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
			図面名称	A棟 内部改修 (2階射場廻り) 現況平面図	図番	A : 1-46



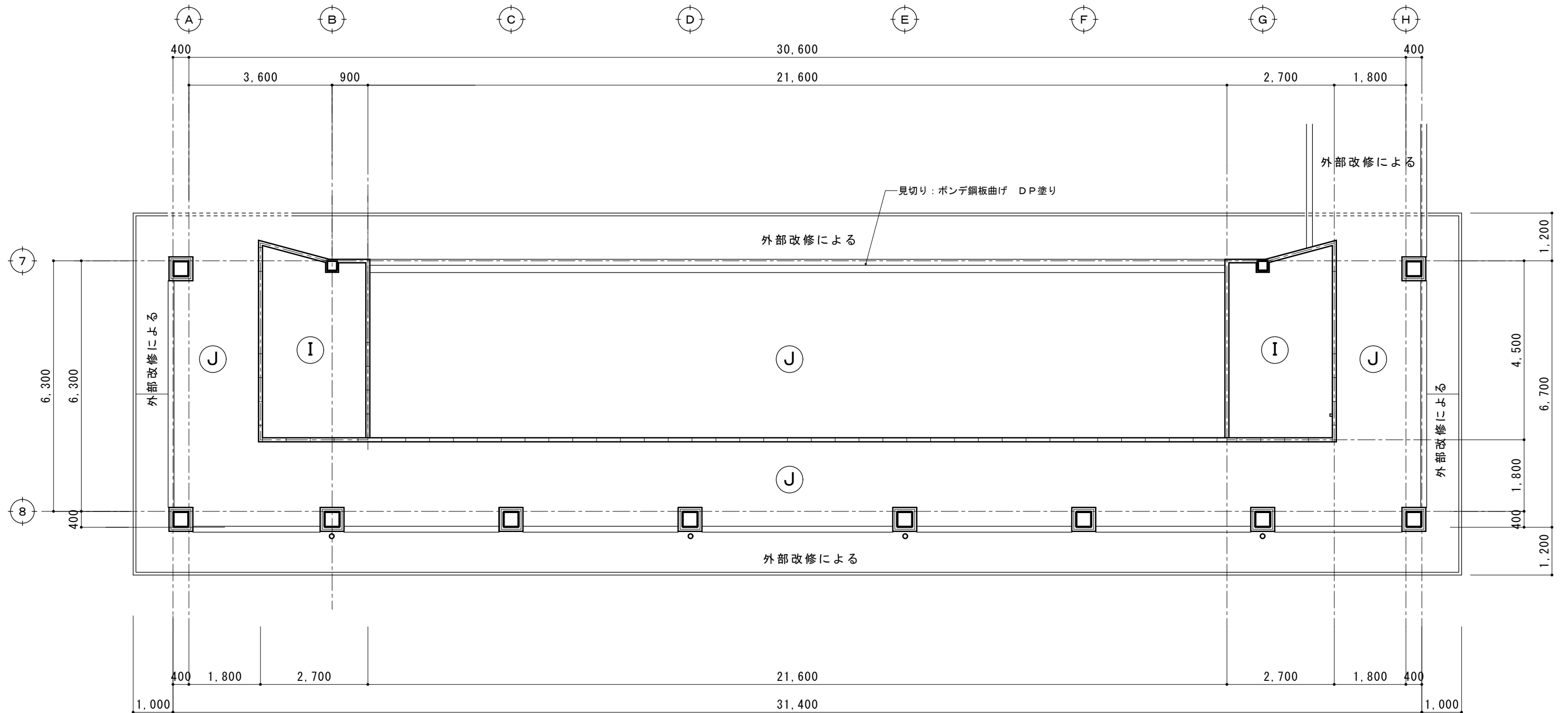
現況図

摘要 _____ _____ _____	TIME 	作成者 _____	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
		承認 _____	図面名称 A棟 内部改修 (2階射場廻り) 現況天井伏図	図番 A : 1-47



現況図

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
			図面名称	A棟 内部改修 (2階射場廻り) 現況平面図	図番	A : 1-48
		承認				



現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修（2階的場廻り）現況天井伏図	図番 A：1-49

天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
A	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り ビニルクロス張り	(撤去なし) (撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		木部：UC塗装
A-2	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り ビニルクロス張り	(撤去) (撤去)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り (中級品)		木部：UC塗装
C	既存	LGS下地 フレキシブルボード t6 AEP塗装 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 フレキシブルボード t6 アスベストあり 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		

天井記号		天井下地・仕上 (撤去の別)	撤去の別	備考
G	既存	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 GBD9.5 塩ビ天井見切縁		
H	既存	LGS下地 W450化粧石膏ボード 木製見切縁・木製廻り縁		
	撤去	LGS下地 W450化粧石膏ボード 木製見切縁・木製廻り縁	(全撤去) (撤去無)	
	改修	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス張り (敷き目板調) 木製見切縁・木製廻り縁 UC塗装		木部：UC塗装
I	既存	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 (19型) GBD9.5 塩ビ天井見切縁		
J	既存	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地 GBR9.5 AEP 塩ビ天井見切縁	(全撤去) (全撤去)	
	改修	LGS下地 (25型) ケイカル版 t6 AEP		

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
			承認		

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 玄関	既存	タイル張り 150×150	タイル張り 150×150	下地：LGS GBR12.5 ビニルクロス	下地：LGS GBR12.5 ビニルクロス	塩ビ製	
	撤去	タイル張り 150×150 撤去なし		下地：LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし（破損箇所撤去） ビニルクロス 撤去	下地：LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし（破損箇所撤去） ビニルクロス 撤去	塩ビ製 撤去	
	改修			GBR12.5 破損箇所修理 ビニルクロス 中級品張り 出隅：木製コーナービート H：1,800 UC塗装	ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製	射場への出入口：新規引き戸設置

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 ホール 中廊下 西廊下 東廊下	既存	木造床組 H：250 フロアーパネル t12	木製 H100 SOP塗り	下地：LGS GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス	塩ビ製	
	撤去	木造床組 H：250 撤去 フロアーパネル t12 撤去 上がりかまち：既存UC塗装	木製 H100 撤去なし	下地：LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし（破損箇所撤去） ビニルクロス 撤去	LGS下地 撤去 GBR9.5 撤去 ビニルクロス 撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	乾燥二重床（別記） パーティクルボード t20+耐水ラワン合板 t12 単層フローリングノード t15	木製 H100 SOP塗り	GBR12.5 破損箇所修理 ビニルクロス 中級品張り 出隅：木製コーナービート H：1,800 UC塗装	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 西矢取口 東矢取口	既存	100角磁器質タイル張り	タイル張り 100×10	下地：LGS GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス	塩ビ製	下足箱④ ⑤
	撤去	上がりかまち：既存UC塗装	撤去なし	下地：LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし（破損箇所撤去） ビニルクロス 撤去	LGS下地 撤去 GBR9.5 撤去 ビニルクロス 撤去	塩ビ製 撤去	下足箱④ ⑤撤去
	改修	乾燥二重床（別記） パーティクルボード t20+耐水ラワン合板 t12 長尺塩ビシート t2.0張り	既存のまま	GBR12.5 破損箇所修理 ビニルクロス 中級品張り 出隅：木製コーナービート H：1,800 UC塗装	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製	下足箱 新④ 新⑤ 設置

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 射場	既存	木造床組 H：250 フロアーパネル t12	木製 H：100	下地：LGS 腰壁：化粧合板張り FL+2,400まで 壁：GBR12.5 ビニルクロス		木製	
	撤去	木造床組 H：250 撤去 フロアーパネル t12 撤去	撤去なし	下地：LGS 撤去なし 腰壁：化粧合板張り FL+2,400まで 撤去なし 壁：GBR12.5（破損箇所撤去）ビニルクロス張り 撤去	撤去部分あり	木製 撤去なし	
	改修	乾燥二重床（別記） パーティクルボード t20+耐水ラワン合板 t12 単層フローリングノード t15	既存 UC塗装	腰壁：化粧合板張り 破損箇所補修 壁：GBR12.5（破損箇所修理）ビニルクロス張り（中級品） 出隅：木製コーナービート H：1,800 UC塗装	天井伏図参照	木製 UC塗装	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 更衣室M 更衣室W	既存	木造床組 H：250の上合板張り 長尺塩ビシート張り t2.0 シャワーブース部：磁器タイル張り	ソフト巾木 H：100	下地：LGS 壁：GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBR9.5 フレキシブルボード t6（アスベストあり）	塩ビ製	
	撤去	木造床組 H：250の上合板張り 撤去なし シャワーブース部：磁器タイル張り 撤去なし	ソフト巾木 撤去	壁：GBR12.5（破損箇所撤去）ビニルクロス張り全撤去	LGS下地 GBR9.5 撤去 フレキシブルボード t6（アスベストあり）撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	木造床組 H：250の上合板張り【既存】 現状床の上、合板 t5.5張り 長尺塩ビシート張り t2.0 シャワーブース部：磁器タイル張りの上乾燥二重床・合板張り・長尺塩ビシート	ソフト巾木 H：100 新設	壁：GBR12.5（破損箇所修理）ビニルクロス張り（中級品） 出隅：木製コーナービート H：1,800 UC塗装	LGS下地 GBR9.5 撤去 GBD9.5 天井伏図参照	塩ビ製	

概要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
				図面名称	A棟 内部改修（2階）改修内容1	
			承認			

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 器具庫	既存	木造床組 H:250の上合板張り 長尺塩ビシート張り t2.0	ソフト巾木 H:100	下地:LGS GBR12.5 AEP塗装	LGS下地 GBD9.5 一部GBR9.5 AEP塗装	塩ビ製	
	撤去	改修なし	改修なし	改修なし	LGS下地 改修なし	塩ビ製	
	改修	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし 天井伏図参照	塩ビ製	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 湯沸室	既存	木造床組 H:250 フローパネル t12	木製 H100 SOP	下地:LGS GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス	塩ビ製	
	撤去	木造床組 H:250 撤去なし フローパネル t12 撤去なし	木製 H100 撤去なし	下地:LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし(破損個所修理) ビニルクロス 撤去	LGS下地 撤去 GBR9.5 撤去 ビニルクロス 撤去	塩ビ製 撤去	
	改修	現状床の上、合板 t5.5張り 長尺塩ビシート張り t2.0	木製 H100 SOP塗り	壁 : GBR12.5(破損個所修理)ビニルクロス張り(中級品)	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製 新設	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 休憩室	既存	木造床組 H:400 合板 t12 タタミ敷	木製 畳寄せ	下地:LGS GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 杉葎石膏ボード t9	木製	
	撤去	木造床組 H:400 撤去なし 合板 t12 撤去なし タタミ敷 撤去なし	木製 畳寄せ 撤去なし	下地:LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし(破損個所修理) ビニルクロス 撤去	LGS下地 撤去 杉葎石膏ボード t9 撤去	木製 撤去	
	改修	タタミ:表替え(2等 C2)	既存のまま	壁 : GBR12.5(破損個所修理)ビニルクロス張り(中級品)	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 踏込	既存	木造床組 H:250 フローパネル t12	木製	下地:LGS GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 杉葎石膏ボード t9	木製	
	撤去	木造床組 H:250 撤去なし フローパネル t12 撤去なし	木製 撤去なし	下地:LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし(破損個所修理) ビニルクロス 撤去	LGS下地 撤去 杉葎石膏ボード t9 撤去	木製 撤去	
	改修		既存のまま	壁 : GBR12.5(破損個所修理)ビニルクロス張り(中級品)	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 押入	既存	木造床組 H:400 合板 t5.5	雑巾摺				
	撤去	木造床組 H:400 撤去なし 合板 t12 撤去なし	雑巾摺 撤去なし				
	改修	改修なし	改修なし	改修なし	改修なし 天井伏図参照		

概要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺
				図面名称	A棟 内部改修(2階)改修内容2	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 審判室	既存	木造床組 H:250 フローアパネル t12	ソフト巾木	下地:LGS GBR12.5 ビニルクロス	LGS下地 杉葎石膏ボード t9	木製	
	撤去	木造床組 H:250 撤去 フローアパネル t12 撤去	ソフト巾木 撤去	下地:LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし(破損箇所修理) ビニルクロス 撤去	LGS下地 撤去 杉葎石膏ボード t9 撤去	木製 撤去	
	改修	乾燥二重床(別記) パーティクルボード t20+耐水ラワン合板 t12 単層フローリングノード t15	ソフト巾木 新設	壁 : GBR12.5(破損箇所修理)ビニルクロス張り(中級品)	LGS下地 GBR9.5 ビニルクロス 中級品張り 天井伏図参照	塩ビ製	

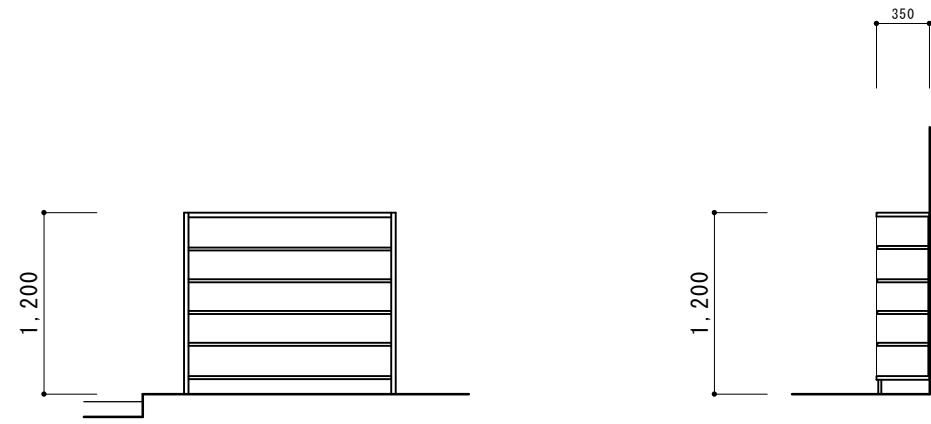
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
	既存					塩ビ製	
	撤去					塩ビ製	
	改修		ソフト巾木 h100		天井伏図参照	塩ビ製	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 的場	既存	均しモルタルの上 シート防水 t1.2 人工芝張り		シート防水 t1.2の上トップコート 一部ALC t100の上吹付	LGS下地 フレキシブルボード t6(アスベストあり)撤去	塩ビ製	
	撤去	均しモルタルの上 撤去なし シート防水 t1.2 撤去 人工芝張り 撤去		シート防水撤去	LGS下地 撤去 フレキシブルボード t6(アスベストあり)撤去	塩ビ製 撤去	安土 撤去(場内仮置き)
	改修	(屋上防水改修による)			LGS下地 25型 セメント版 t6目透かし張り EPG塗装	塩ビ製	防水工事完了後安土再構築(防水改修参照)

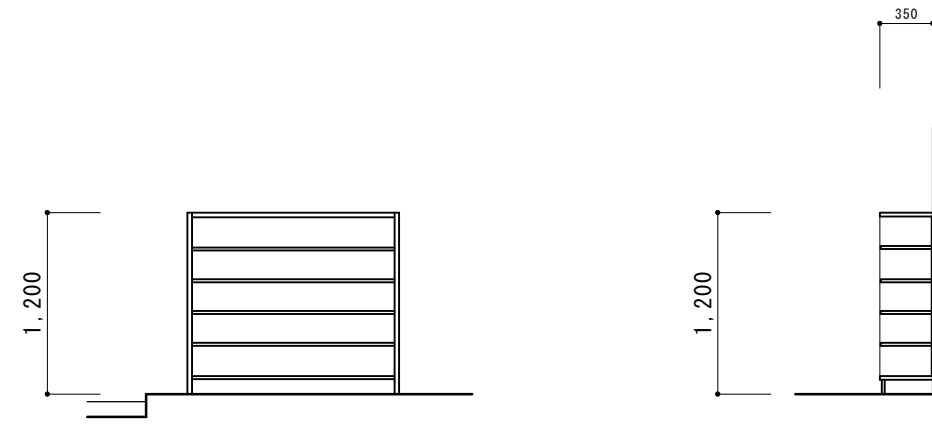
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
2階 着的室	既存	モルタル金コテ仕上げ	ソフト巾木	下地:LGS GBR12.5 AEP塗装	LGS下地 石膏ボード t9 AEP塗装	塩ビ製	
	撤去		ソフト巾木 撤去なし	下地:LGS 撤去なし GBR12.5 撤去なし(破損箇所修理)	LGS下地 撤去 石膏ボード t9 AEP塗装 撤去	塩ビ製撤去	
	改修	改修なし	既存のまま	壁 : GBR12.5(破損箇所修理)AEP塗装	LGS下地 GBD9.5 新規 新規	塩ビ製新設	

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
	既存						
	撤去						
	改修						

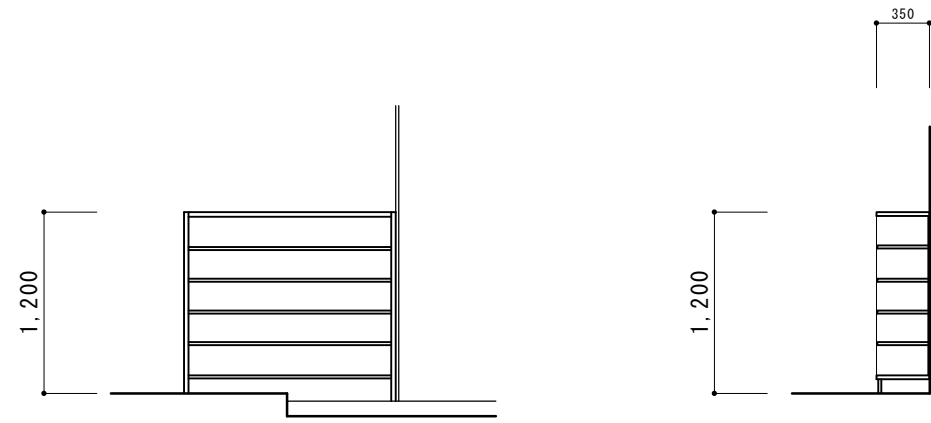
概要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺
				図面名称	A棟 内部改修(2階)改修内容3	



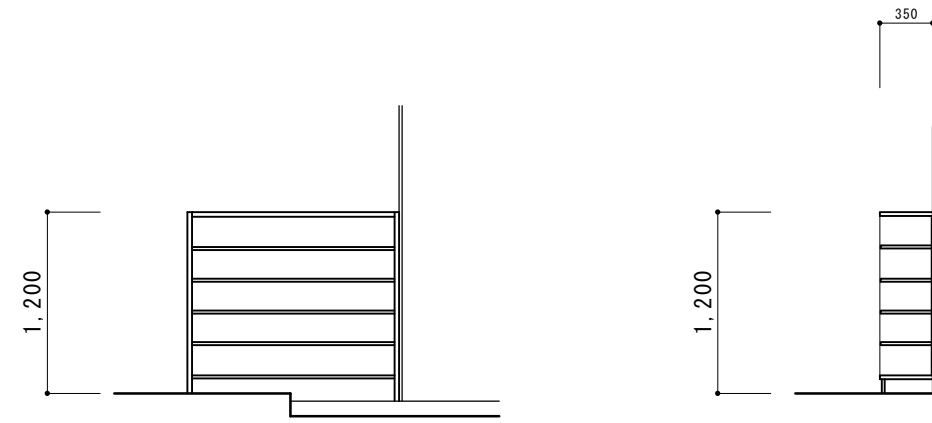
改修



下駄箱 ④	撤去	化粧合板フラッシュ	下駄箱 新④	新設	メラミン化粧合板フラッシュ
-------	----	-----------	--------	----	---------------

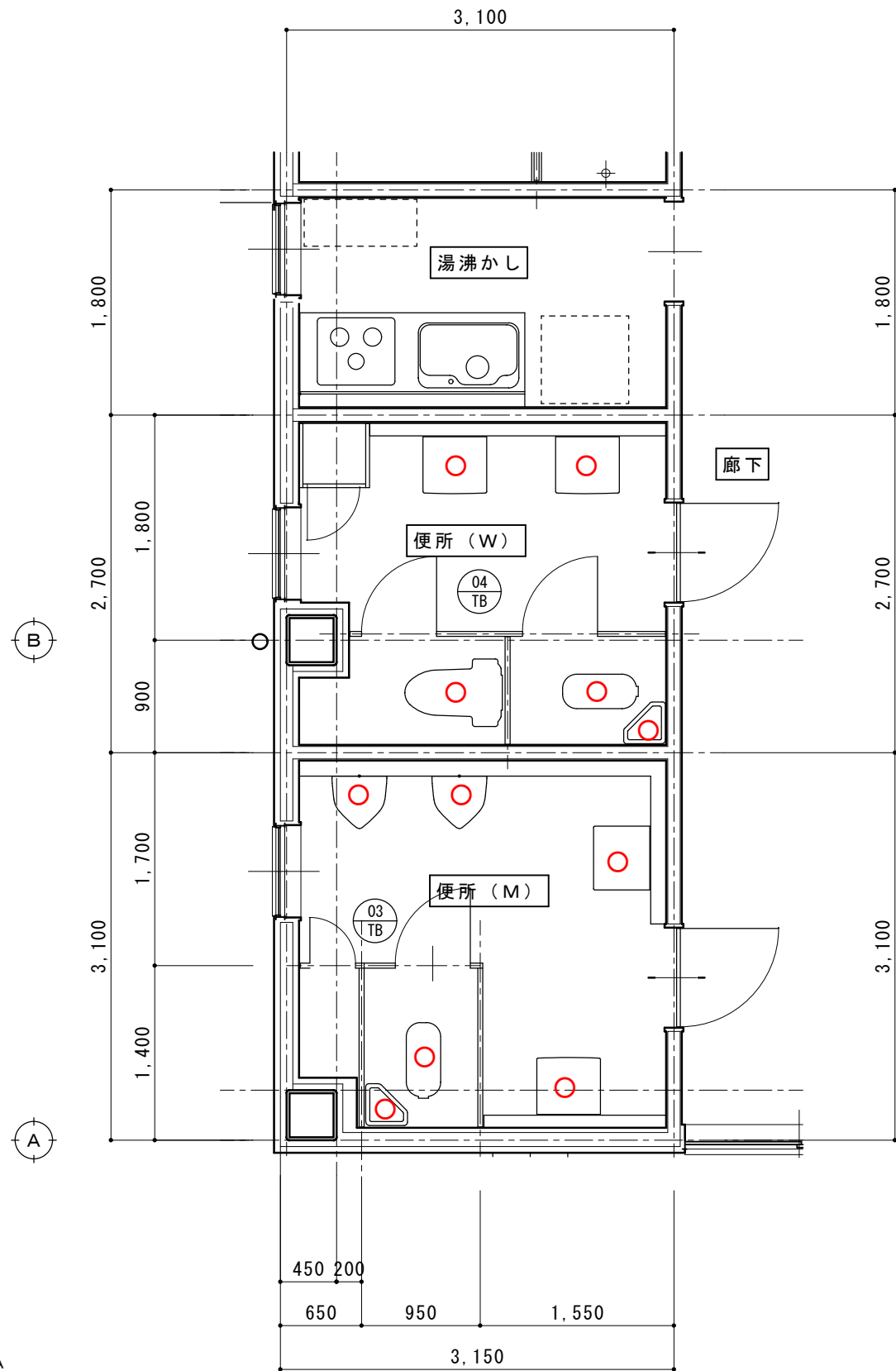


改修



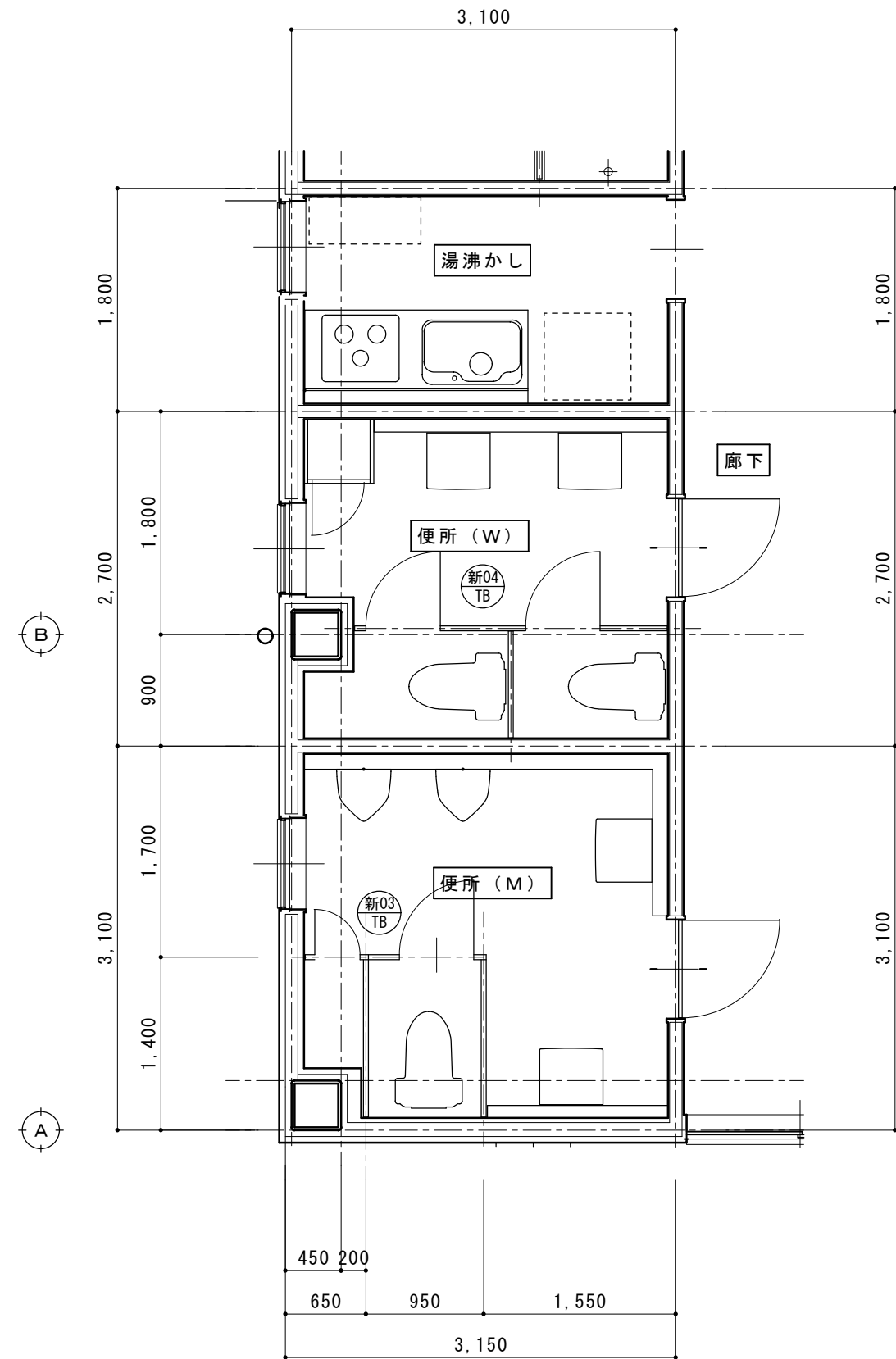
下駄箱 ⑤	撤去	鋼製家具（オープン棚）	下駄箱 新⑤	新設	メラミン化粧合板フラッシュ
-------	----	-------------	--------	----	---------------

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/ 50
			承認		

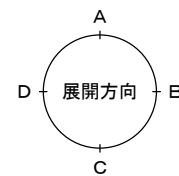


平面図 (既存) S = 1/50

改修

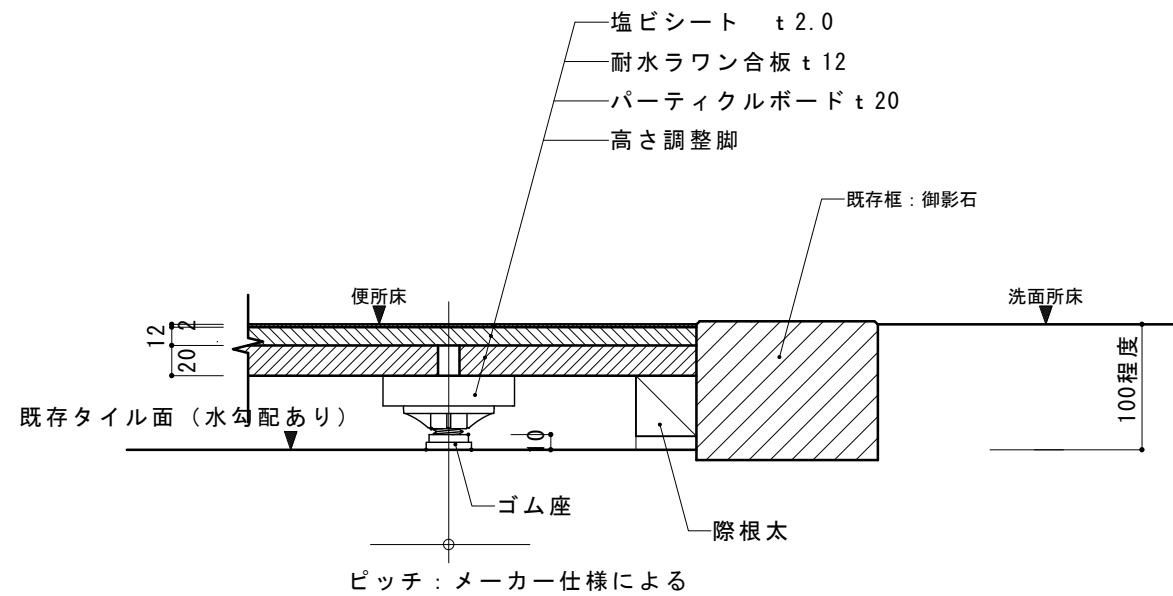


平面図 (改修) S = 1/50



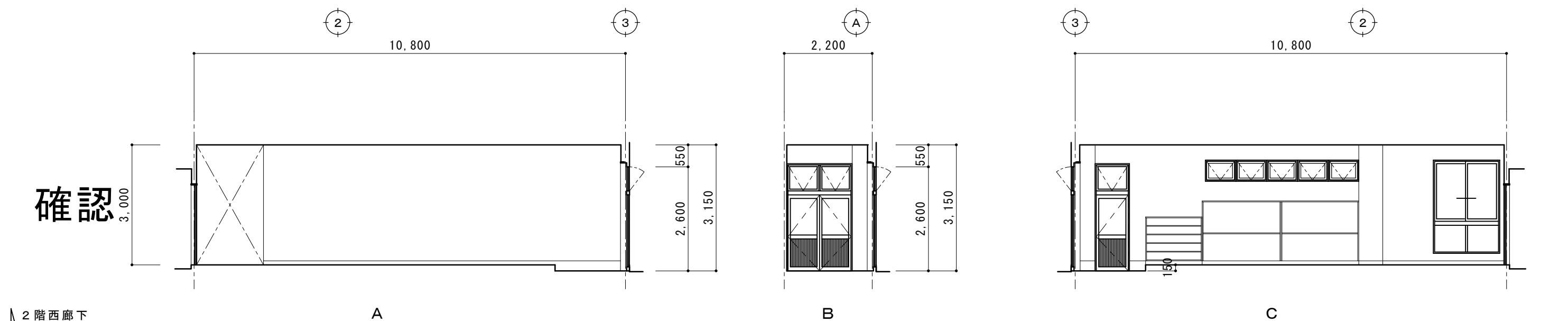
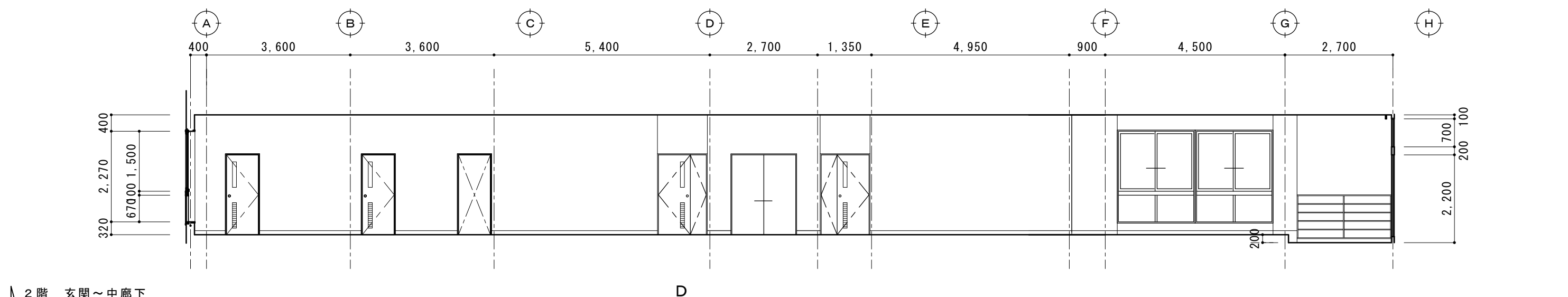
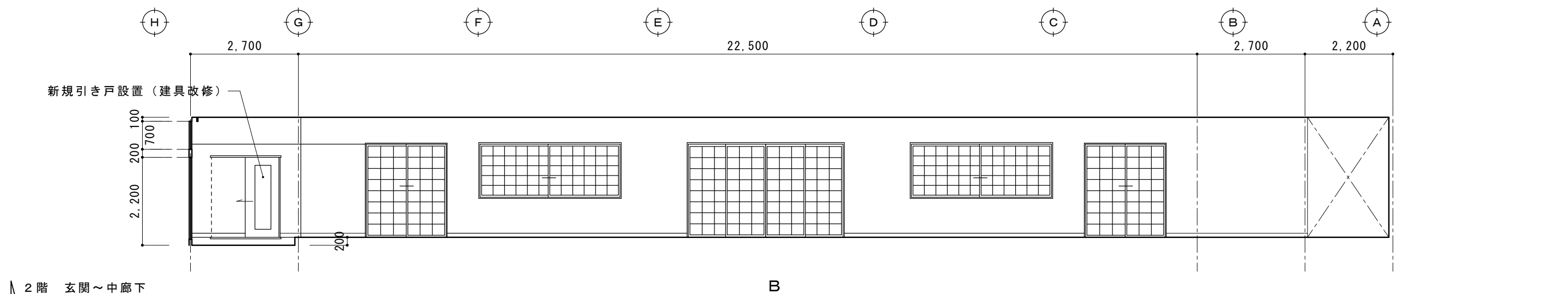
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/ 50
			承認		

室名		床	巾木	壁	天井	天井高さ	備考
2階 便所 (W・M)	既存	モルタル+防水下地 100角磁器質タイル張り		LGS+メタルラスの+モルタル塗りの上 陶器質タイル張り (200×100)	LGS+GBR9.5の上 ビニルクロス張り	2,500	○ 撤去改修 (機械設備) ①② TB
	撤去	モルタル+防水下地 (撤去無) 100角磁器質タイル張り (撤去無)		LGS+メタルラスの+モルタル塗りの上 (撤去無) 陶器質タイル張り (200×100) (浮いている部分のみ撤去)	LGS+GBR9.5の上 (撤去) ビニルクロス張り (撤去)		既存床下点検口 (アルミ枠) 600角: 蓋撤去 ①② TB 撤去
	改修	乾燥二重床 (仕様: 別図記載) ビニル床シート張り	ビニル巾木h100	化粧ケイカル版張り t6.0 目地: シーリング (MS2)	LGS+GBD9.5	2,400	床下点検口 (アルミ枠) 600角 新①② TB 新設
2階 洗面所 (W・M)	既存	モルタル金鍍押さえの上 ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木h100	LGS+GBR12.5の上 ビニルクロス張り	LGS+GBR9.5の上 ビニルクロス張り	2,400	
	撤去	モルタル金鍍押さえの上 (撤去無) ビニル床シート張り t2.0 (撤去)	ビニル巾木h100 (撤去)	LGS+GBR12.5の上 (撤去無) ビニルクロス張り (撤去)	LGS+GBR9.5の上 (撤去) ビニルクロス張り (撤去)		
	改修	ビニル床シート張り t2.0	ビニル巾木h100	ビニルクロス張り (中級品)	LGS+GBD9.5	2,400	



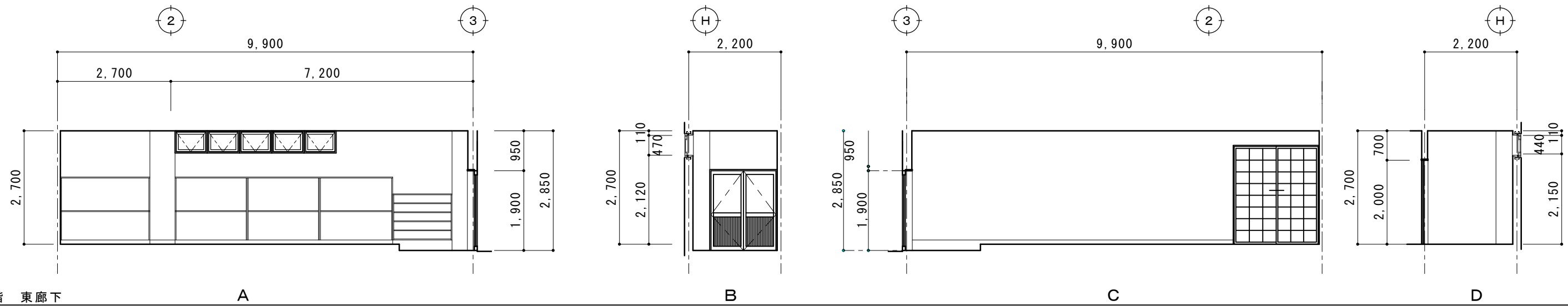
乾燥二重床 詳細図 S=1/5

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/5
			承認		



現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認		



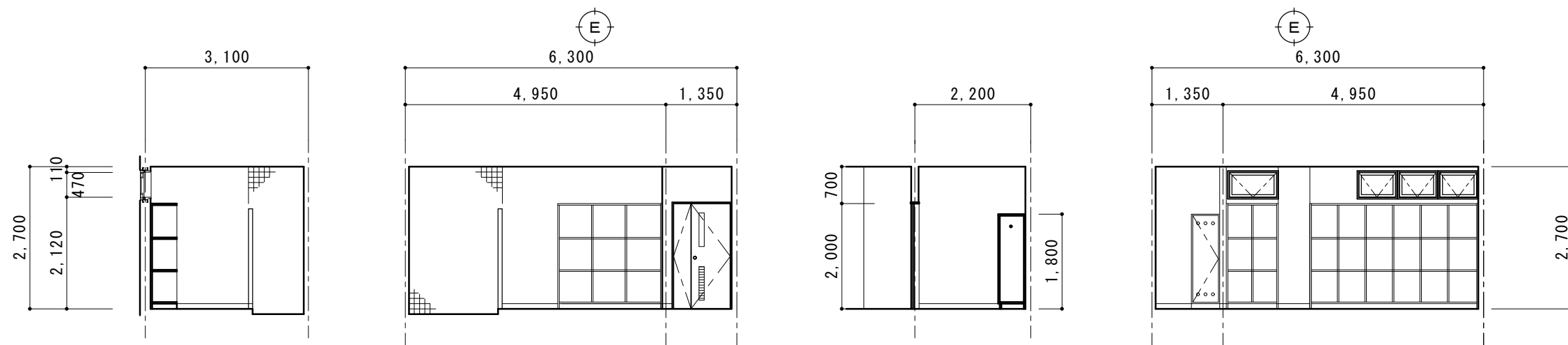
2階 東廊下

A

B

C

D



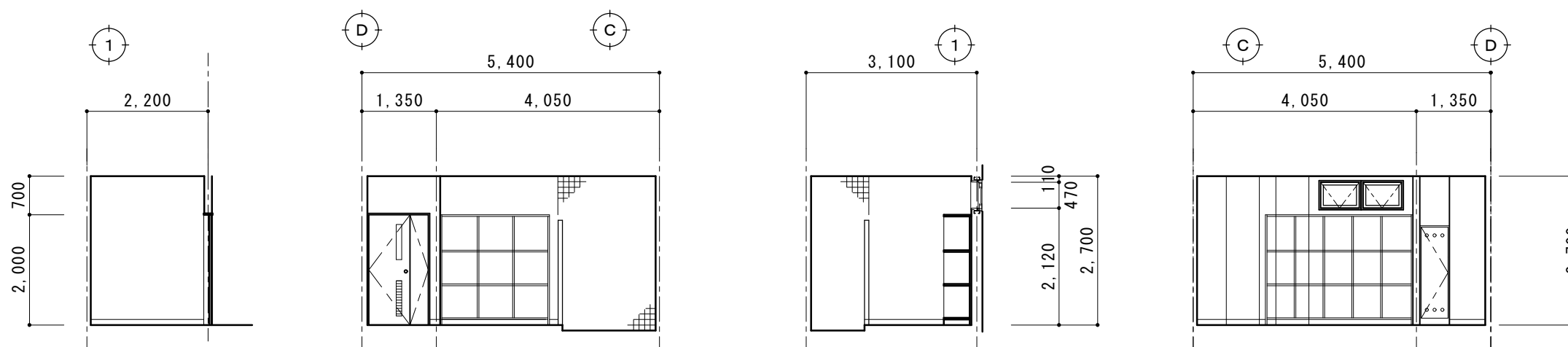
2階 更衣室M

A

B

C

D



2階 更衣室W

A

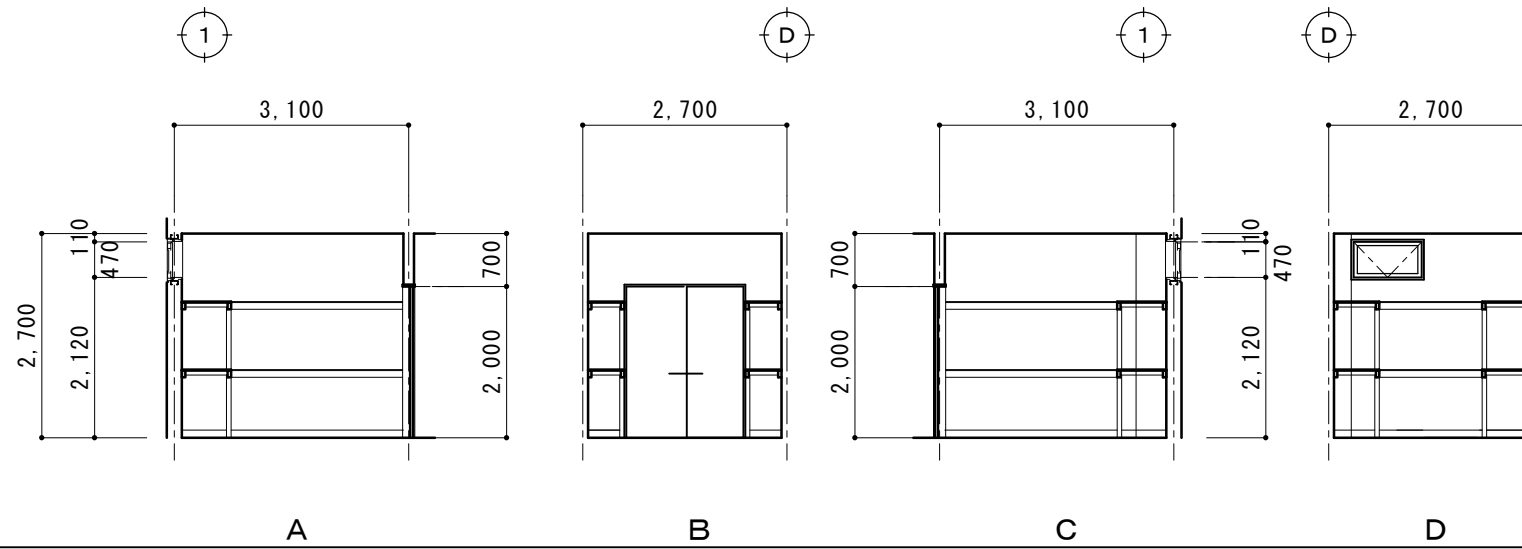
B

C

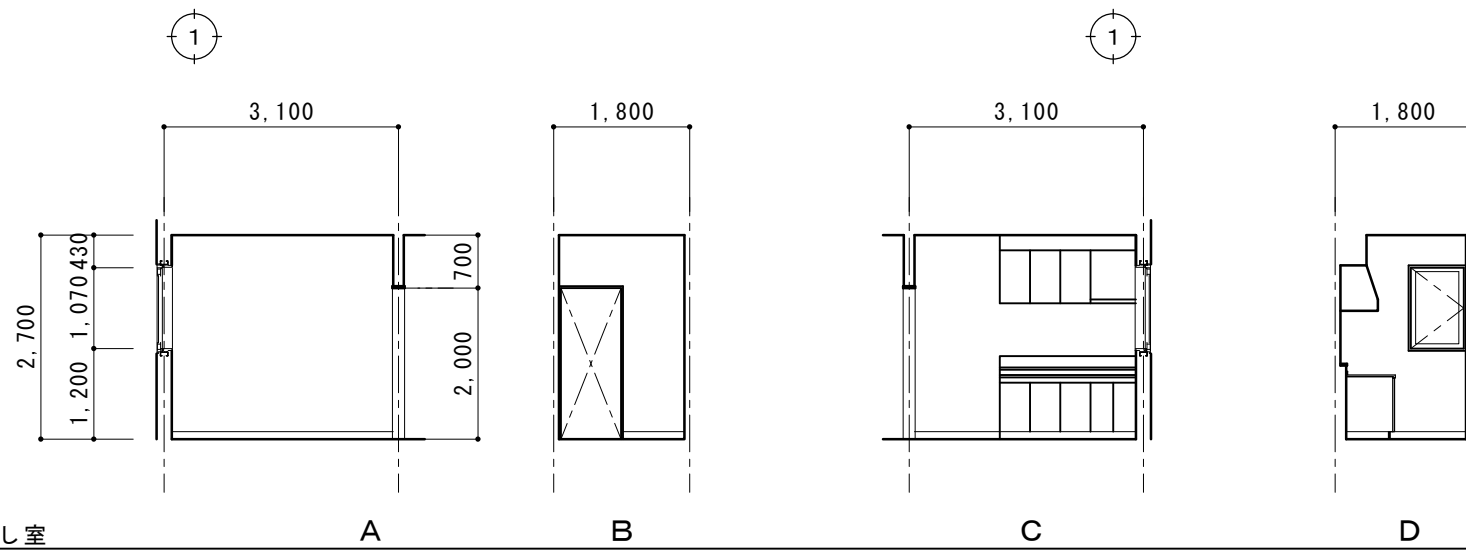
D

現況図

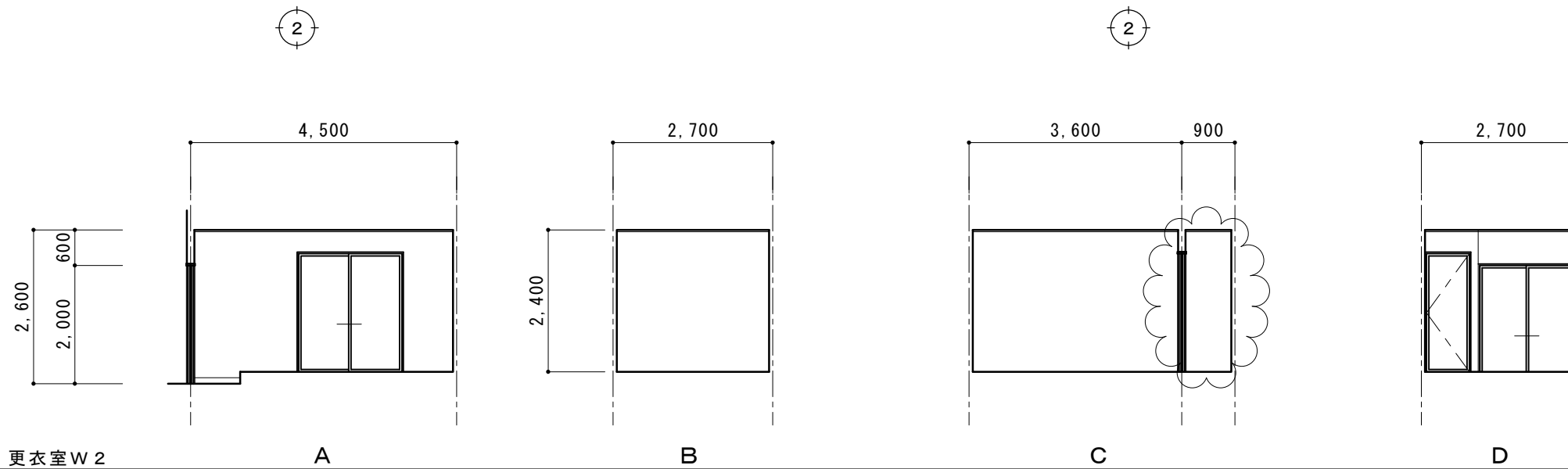
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認		



器具庫



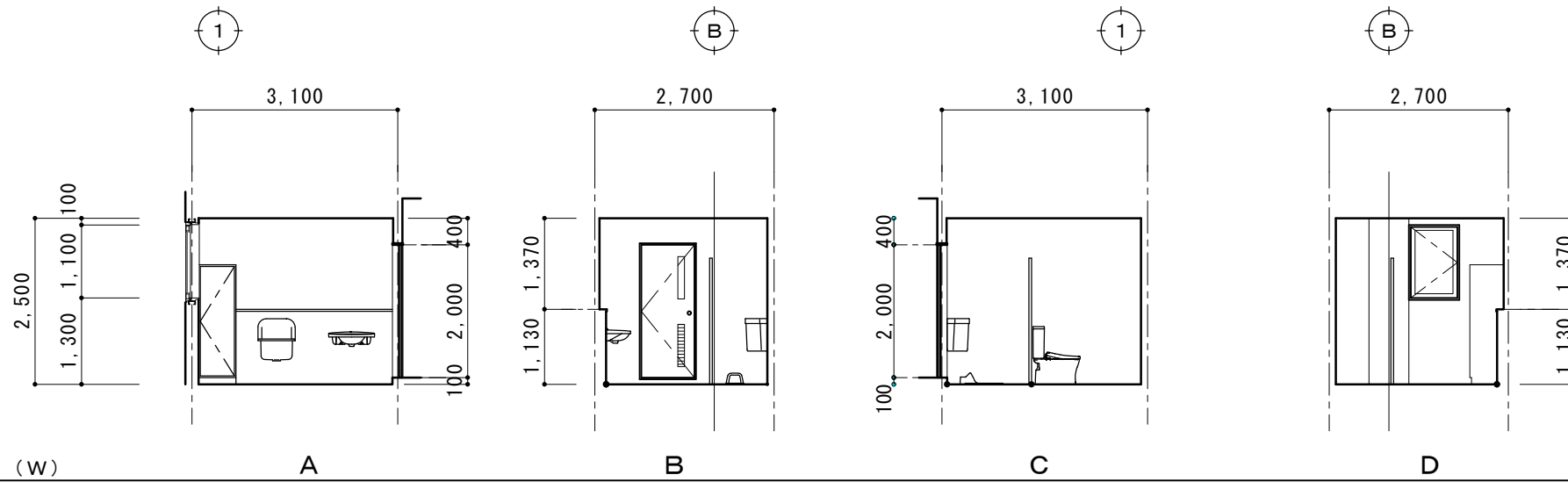
2階湯沸かし室



1階 更衣室W2

現況図
A : 1-58

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認		



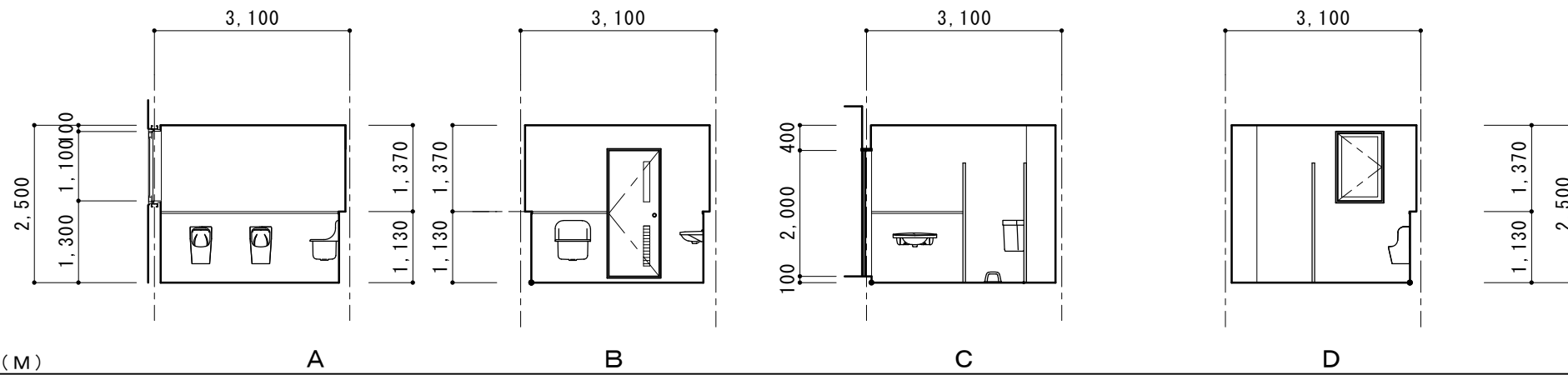
2階 便所 (W)

A

B

C

D



2階 便所 (M)

A

B

C

D

A

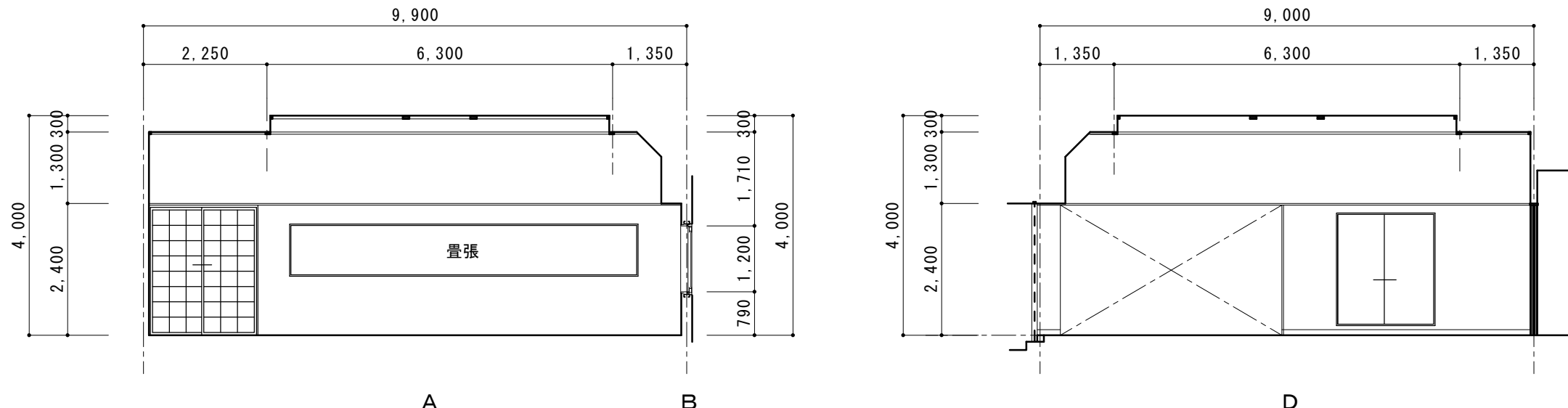
B

C

D

現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 内部改修 (2階更男女便所) 現況展開図 4	図番	A : 1-60
			承認				

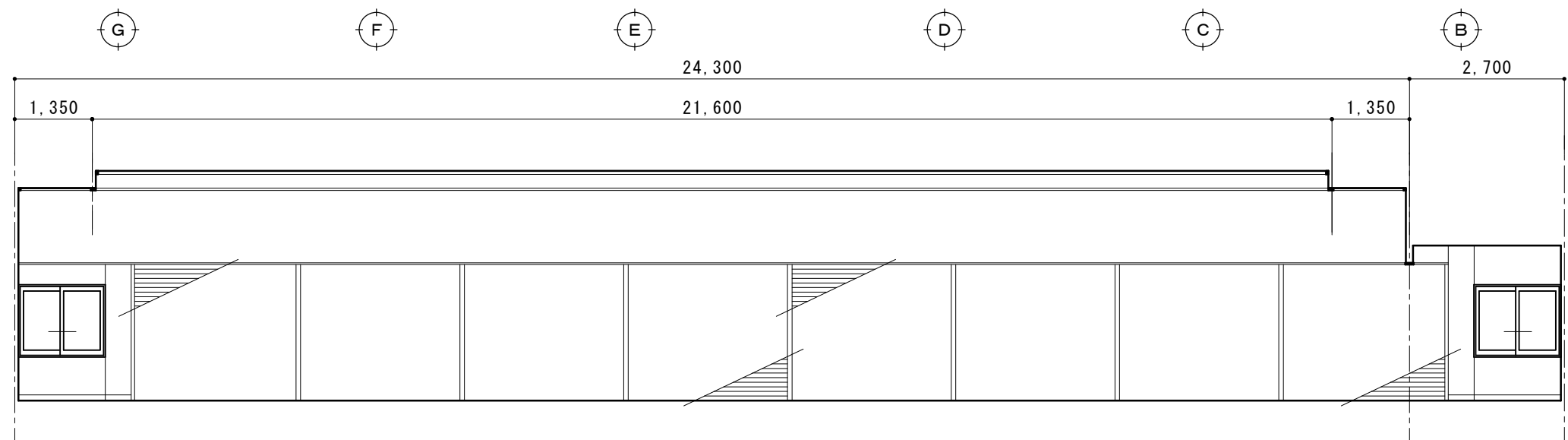


2階 便所 (W)

A

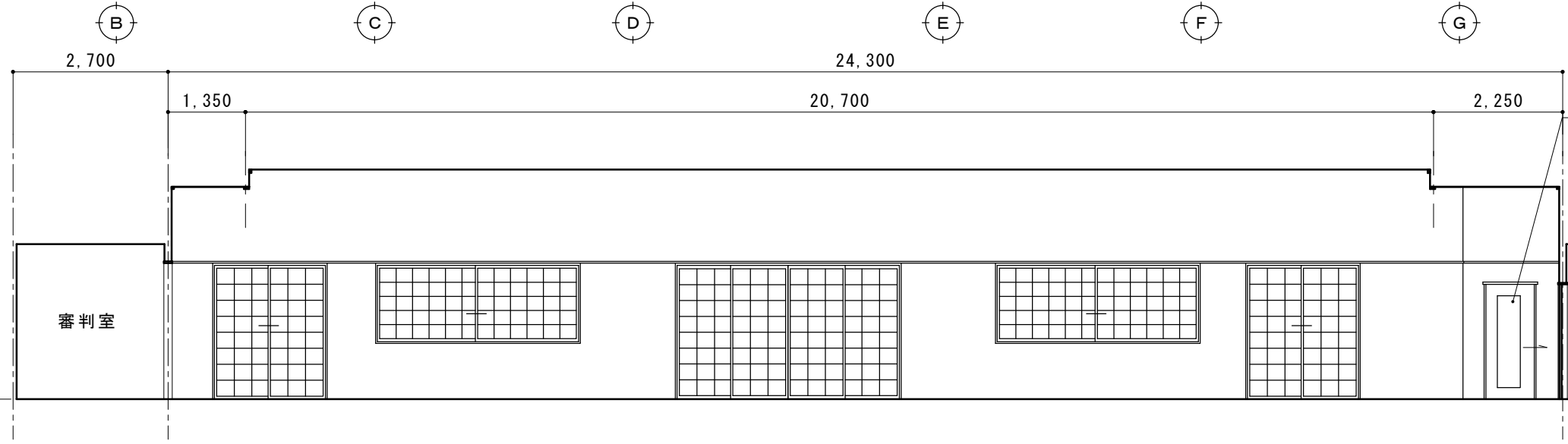
B

D



2階 便所 (M)

B

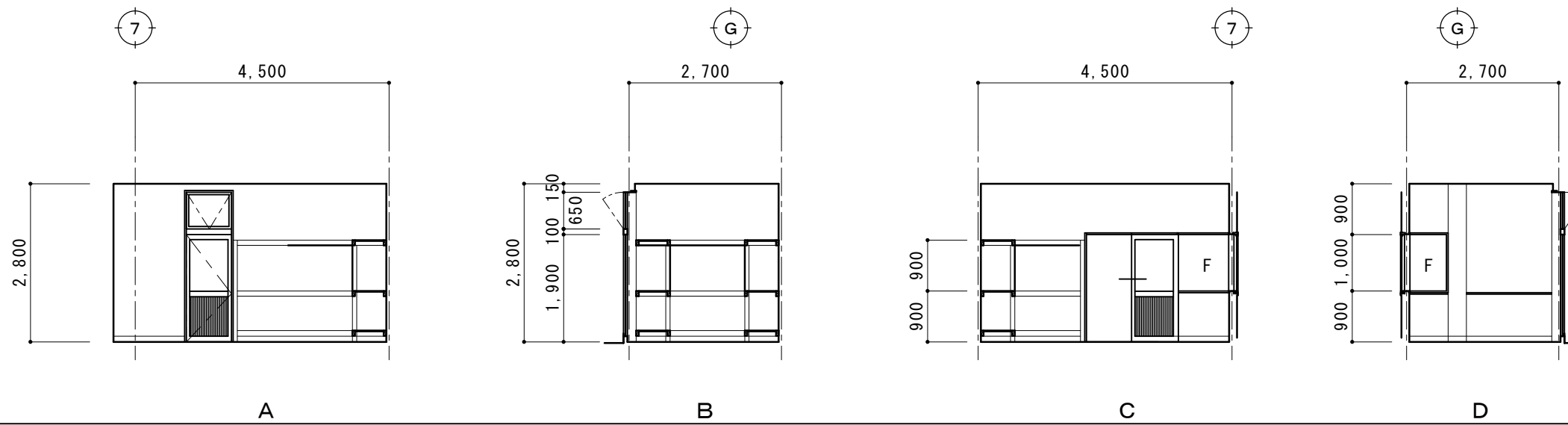


C

審判室

現況図

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 内部改修 (2階射場) 現況展開図 5	図番 A : 1-61



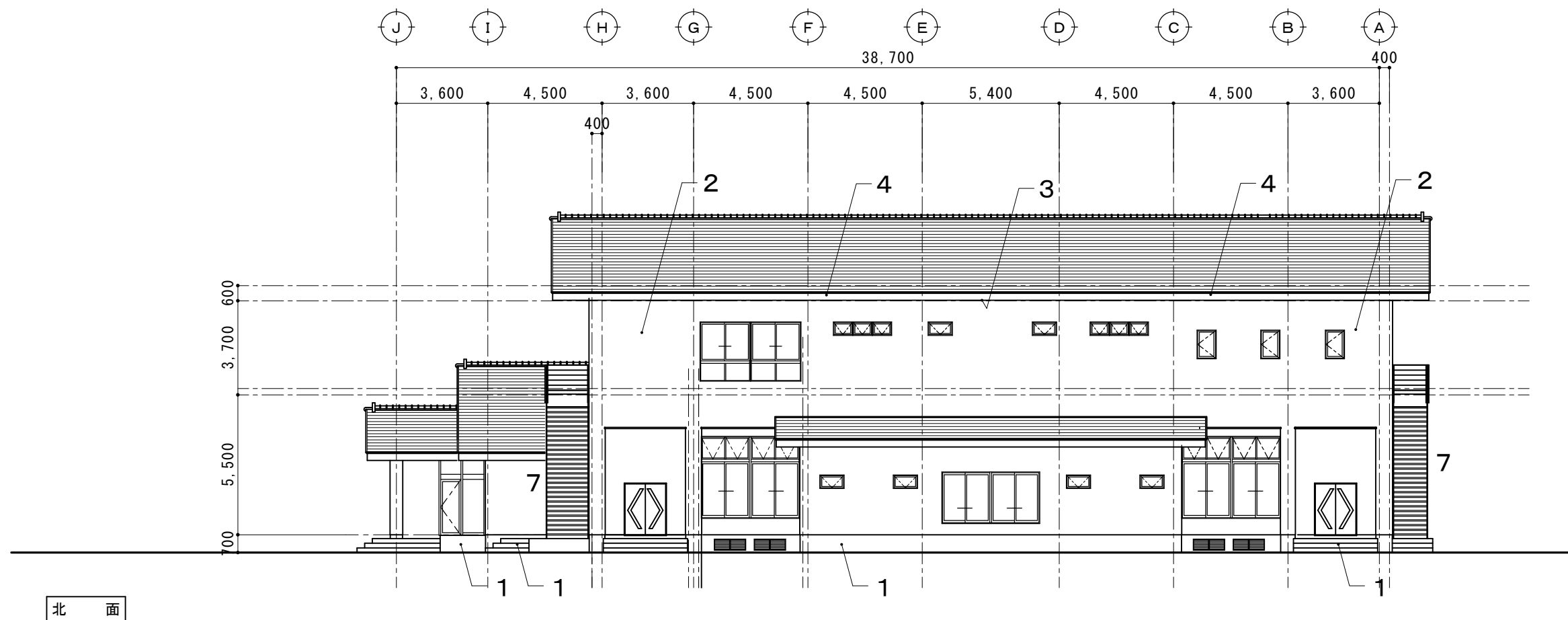
2階 便所 (M)

現況図

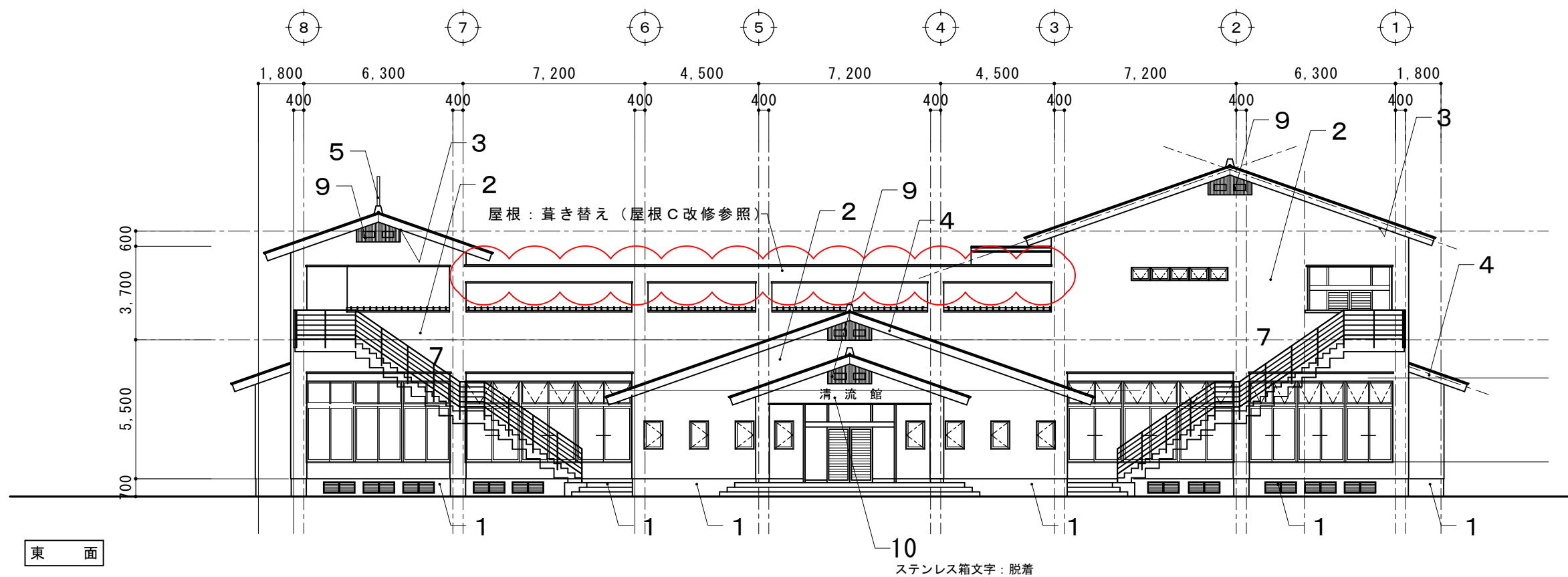
摘要		T I M E	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 内部改修 (2着的室) 現況展開図 6	図番	A : 1-62
			承認				

※ 事前調査概要				※ 補修概要（A棟）					
以下の部分において、目視による確認・打診・マーキング・計測・図面記入を行い報告する				1 基礎部・階段1階踊り場部分					
外壁・基礎部（仕上げ）・軒天・破風・笠木・屋外階段（1階踊り場含む）				1) モルタル浮き補修（注入工法が可能な部分ラック補修					
※ アスベスト含有建材事前調査の結果（以下項目以外で、該当の可能性のある部分については本工事にて検証する事）				注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（一般部：9本/m ² 狭幅部：5本/m）		10 m ²			
採取箇所及び建材・試料名称		定性分析結果		コメント		2) クラック補修			
		石綿の有無	石綿の種類			(0.2mm未満) シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填工法 50 m			
A棟（武道場）	外壁リシン吹付	有	Chr	5-50%	下地調整材から確認	(0.2mm以上) Uカットシーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填工法 20 m			
A棟（武道場）	外部サッシュ廻りシーリング	無				3) モルタル浮き補修（注入工法が不可能な部分浮きモルタル撤去の上樹脂モルタル金コテ押さえ			
A棟（武道場）	1階ホール 床長尺シート	無				狭幅部（床下換気口開口上部等） 20 m			
A棟（武道場）	1階ホール ソフト巾木	無				広幅部（屋外階段1階踊り場含む等） 10 m ²			
A棟（武道場）	1階ホール 壁紙+ボード材	無				4) 基礎部全面			
A棟（武道場）	1階剣道場 天井・岩綿吸音板	無				ポリマーセメント系基礎巾木用塗材			
A棟（武道場）	2階矢取口 防水シート	無				5) タイル浮き部・欠損部			
A棟（武道場）	2階トイレ 壁 タイル+目地材	無				タイル撤去の上張替え 5 m ²			
A棟（武道場）	2階更衣室 天井 ボード材	有	Chr	1-5%	ボード材から確認	2 外壁部（押し出しセメント版 t60）（塗装下地調整材からアスベスト確認）			
B棟（スポーツ練習場）	外壁リシン吹付	無				施工箇所	現況仕上	改修内容	
B棟（スポーツ練習場）	外部サッシュ廻りシーリング	無				外壁	押し出しセメント版 t60	ひび割れ・欠損部補修（シーリング）	
C棟（遠的場・射場）	外壁リシン吹付	有	Chr	5-50%	下地調整材から確認		うす付け仕上げ塗材（弾性リシン）	下地処理（水洗い工法）	
C棟（遠的場・射場）	サッシュ廻りシーリング	無						劣化部塗膜除去の上C-1	
H棟（屋外便所）	内部壁仕上げ塗材	無				防水型複層塗材E			
H棟（屋外便所）	内部天井・ボード材	有	Chr、Amo	5-50%	下地調整材から確認	3 軒天部			
				軒天		ケイカル版 t6	ケイカル版 t6	破損箇所張替え	5 m ²
						AEP塗装	AEP塗装		
				4 破風・鼻隠し					
				破風・鼻隠し		ボンデ鋼板 t1.0	既存のまま		
				矢道立上り笠木		ウレタン塗装	DP塗装（B種 3級）		
				5 その他鉄部					
				その他鉄部		的場屋根上防矢スクリーン：ウレタン塗装	DP塗装（B種 3級）		
				6 シーリング					
				シーリング		窓周り・版間・版端末シーリング 全撤去	窓周り・版間・版端末シーリング MS2		
				7 屋外階段					
				屋外階段3箇所		1階踊り場 モルタル金コテ押え	上記：1 基礎部・階段1階踊り場部分による		
						踏み面・踊り場：モルタル金コテ押え	改修なし		
						鉄部（手すり共）：SOP塗り	DP塗装（B種 3級）		
				8 木製矢切格子		木製	WP塗装		

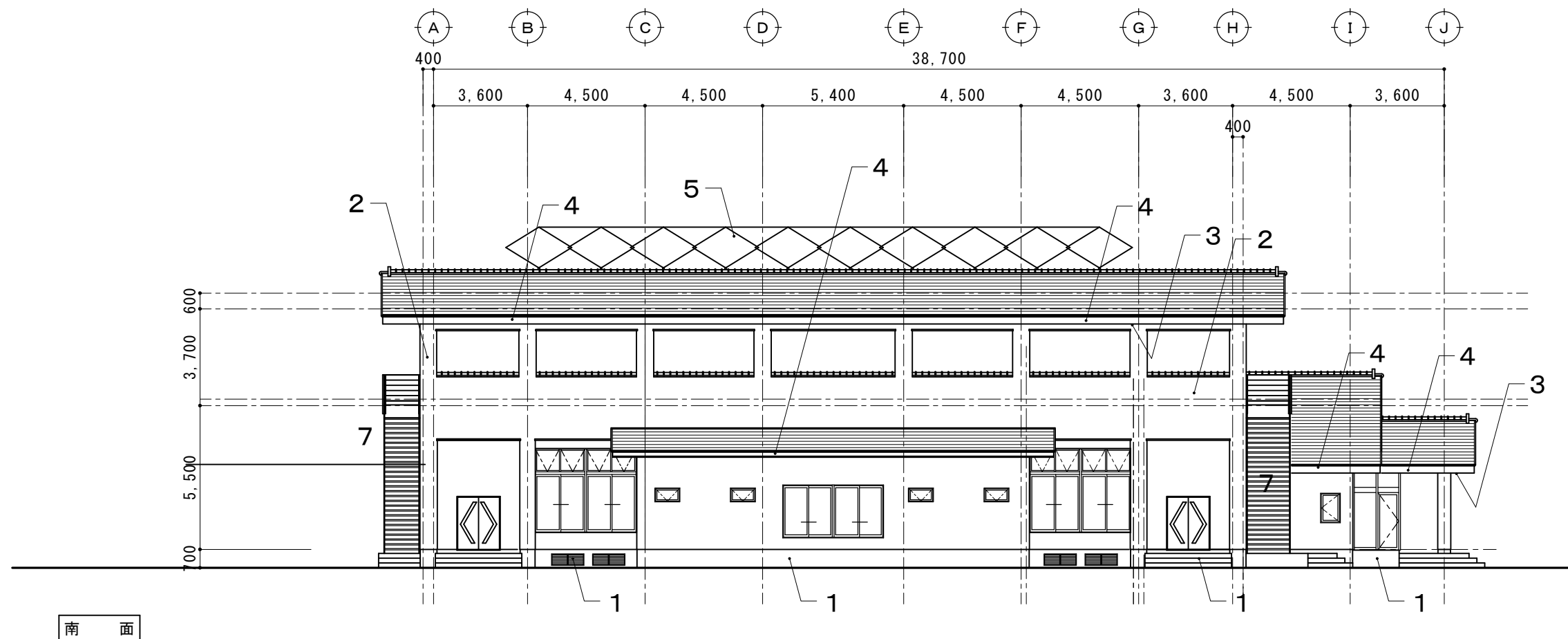
摘要		T I M E		作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
				承認		



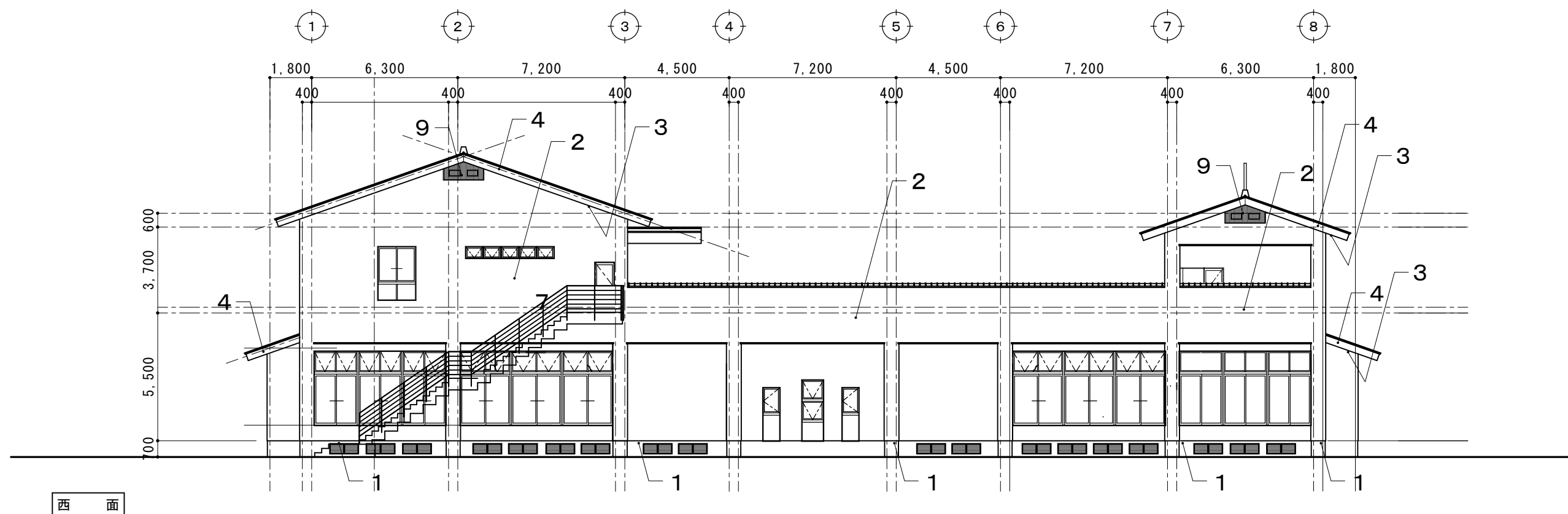
- 1 基礎部改修・階段1階踊り場改修
- 2 外壁部改修
- 3 軒天部改修
- 4 破風・鼻隠し改修
- 5 その他鉄部改修
- 6 シーリング改修
- 7 屋外階段改修
- 8 木製矢切格子改修



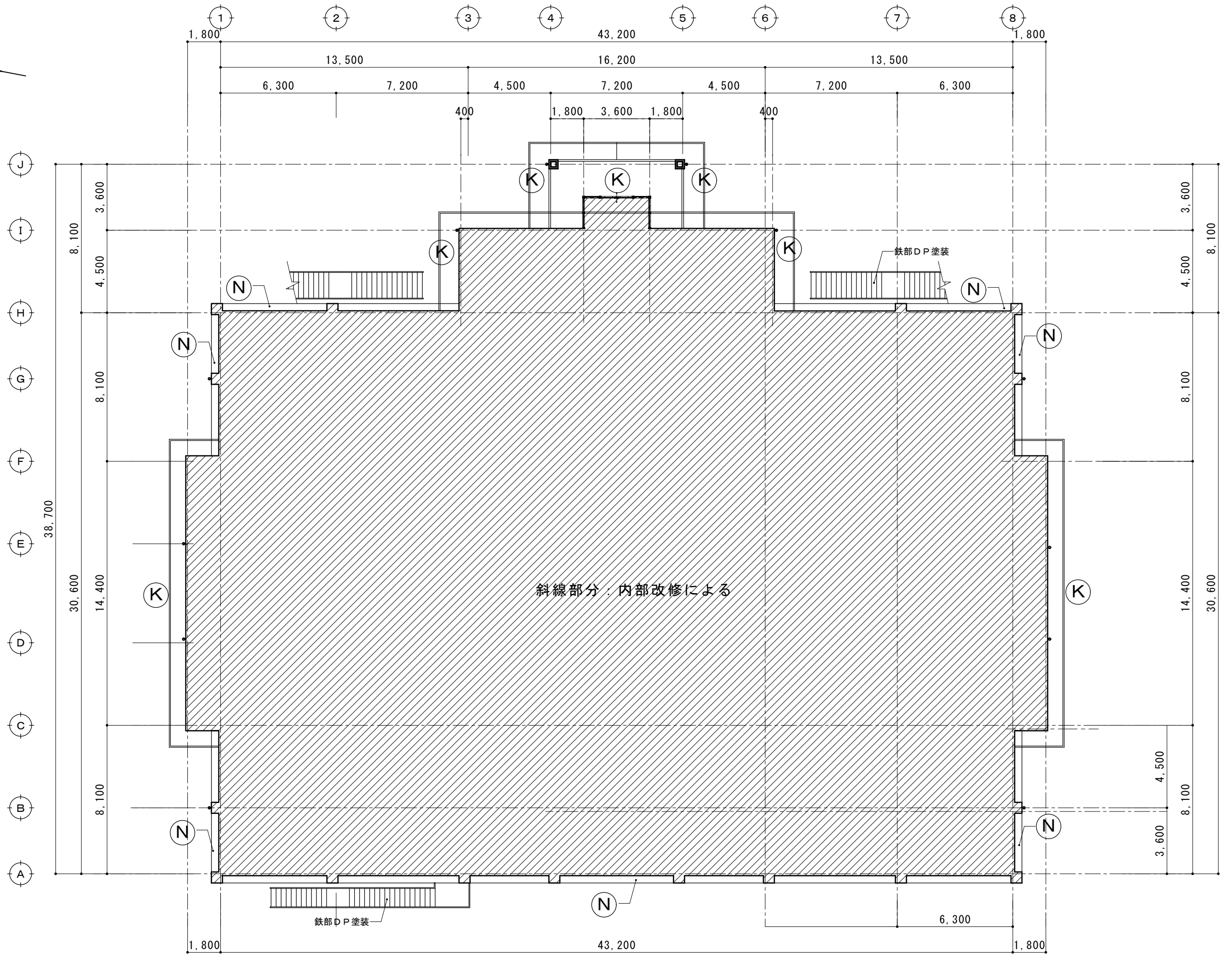
摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/200
				図面名称	A棟 外部改修 立面図1（改修概要）	図番	A：2-02
			承認				



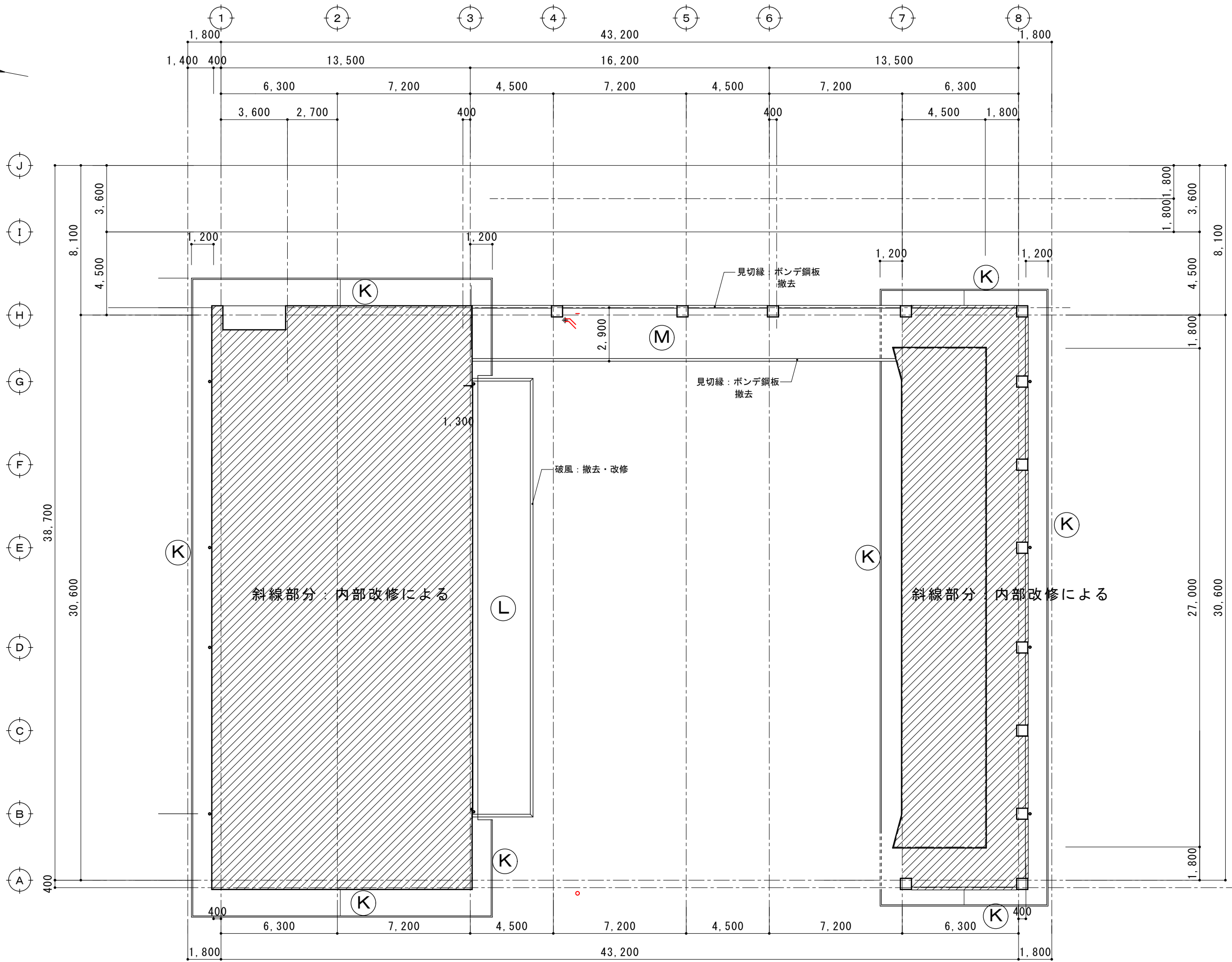
- 1 基礎部改修・階段1階踊り場改修
- 2 外壁部改修
- 3 軒天部改修
- 4 破風・鼻隠し改修
- 5 その他鉄部改修
- 6 シーリング改修
- 7 屋外階段改修
- 8 木製矢切格子改修



摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/200
			承認		

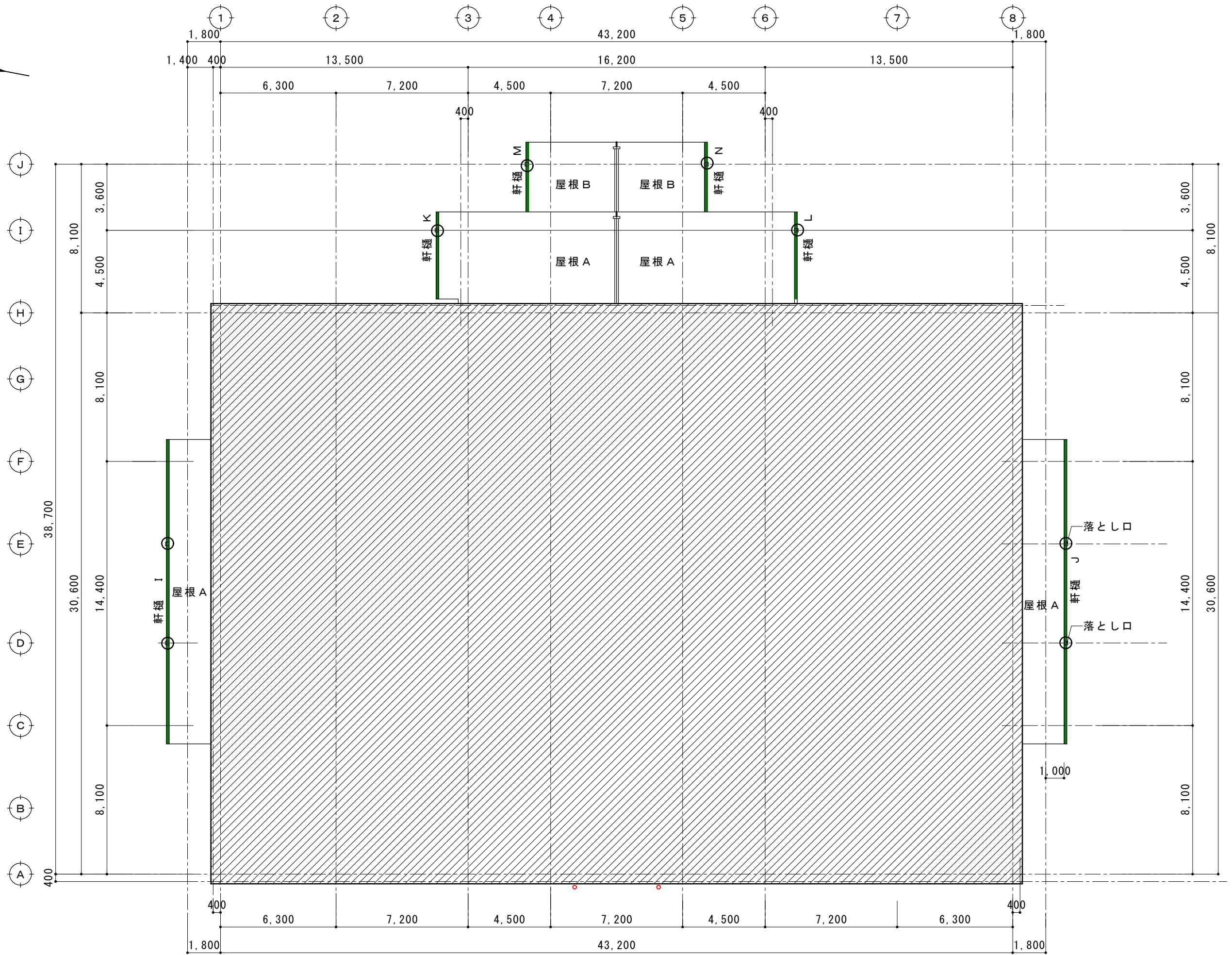


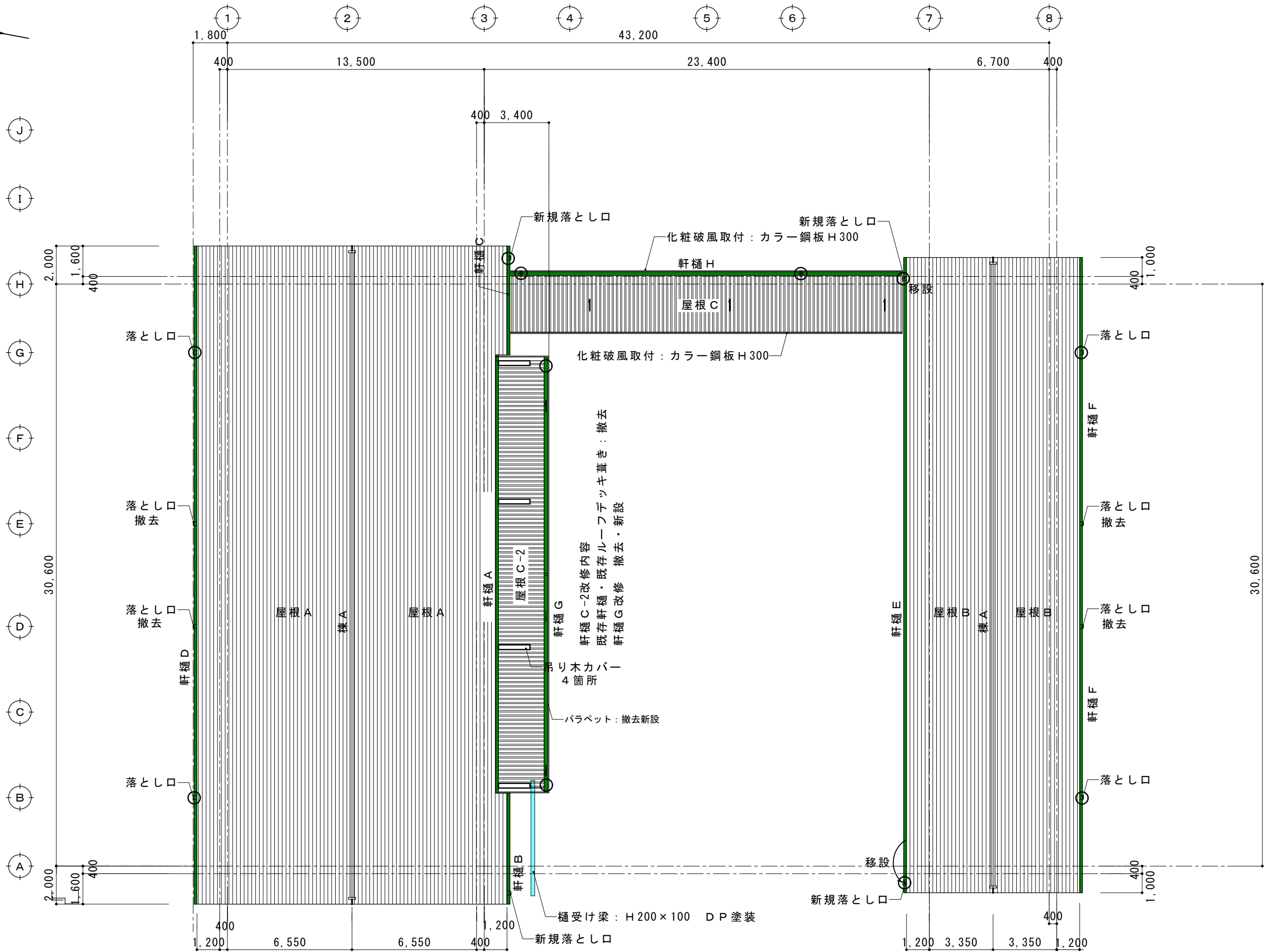
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
			承認		



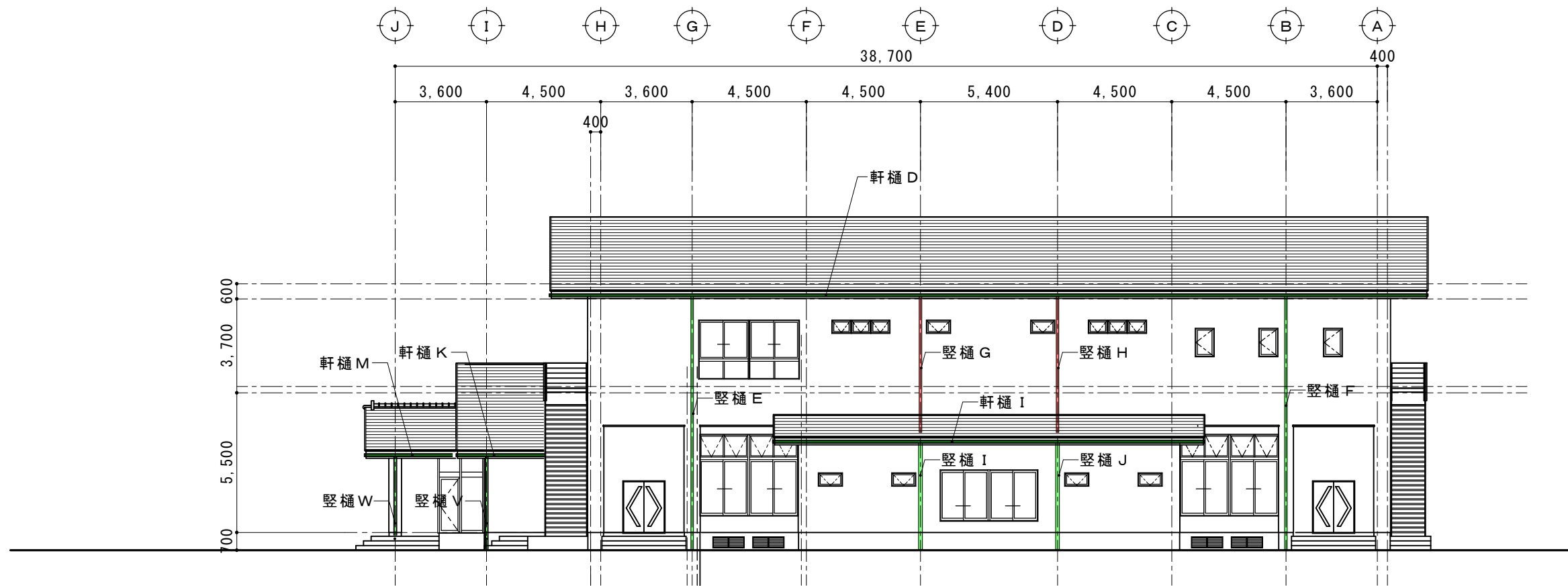
天井記号		天井下地・仕上	撤去の別	備考
Ⓚ	既存	LGS下地(25型) ケイカル版 t6 AEP 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地(25型) ケイカル版 t6 AEP 塩ビ天井見切縁	(撤去無) 破損部補修	事前調査・報告による数量確認
	改修	AEP塗装		破風・鼻隠し: DP塗装
Ⓛ	既存	LGS下地(25型) ケイカル版 t6 AEP 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地(25型) ケイカル版 t6 AEP 塩ビ天井見切縁	(撤去) (撤去)	破風板(ボンデ鋼板)撤去
	改修	LGS下地(25型) ケイカル版 t6 AEP 塩ビ天井見切縁	(新設) (新設)	天井点検口(アルミ枠 450×450) 破風板(アルミパネル)新設 下地鉄骨胴縁改修 内装改修に計上
Ⓜ	既存	LGS下地(25型) ケイカル版 t6 AEP 塩ビ天井見切縁		
	撤去	LGS下地(25型) ケイカル版 t6 AEP 塩ビ天井見切縁	(撤去) (撤去)	
	改修	屋根葺き替え 鉄部表し(DP塗装: B種3級)		屋根C改修図参照 破風・鼻隠し: DP塗装
Ⓝ	既存	外壁改修と同じ		
	撤去	外壁改修と同じ		
	改修	外壁改修と同じ		

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺
			承認		

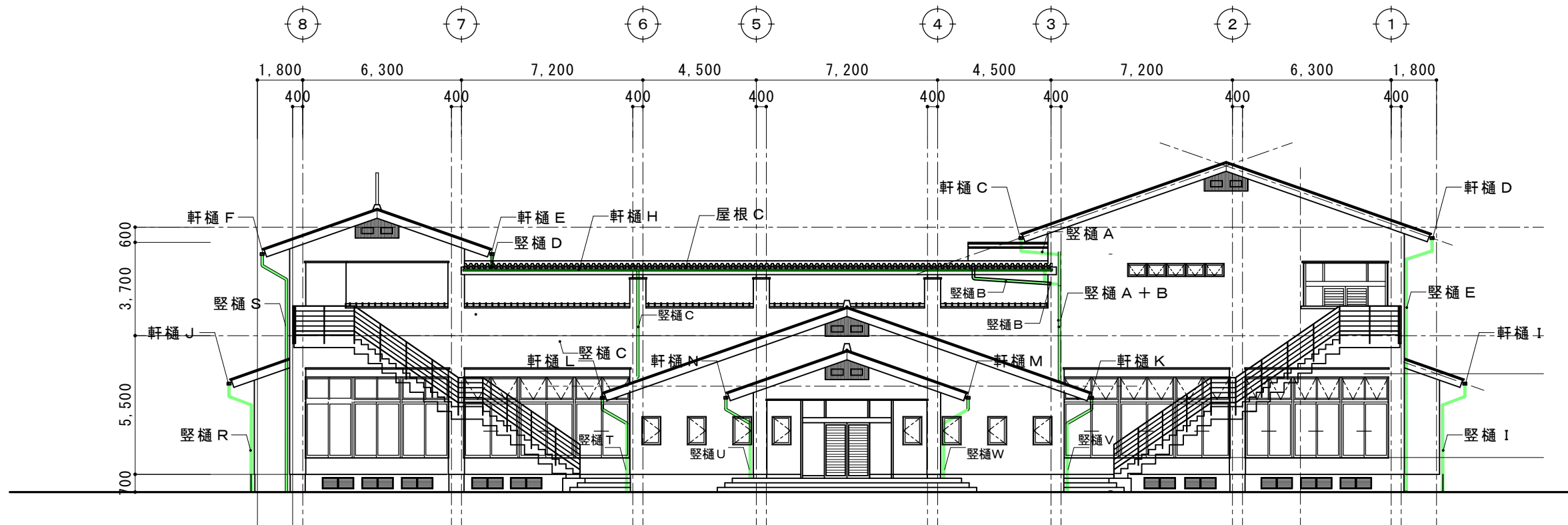




摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/200
			承認	図面名称	A棟 外部改修 (屋根) 2階屋根伏図	図番	A : 2-08

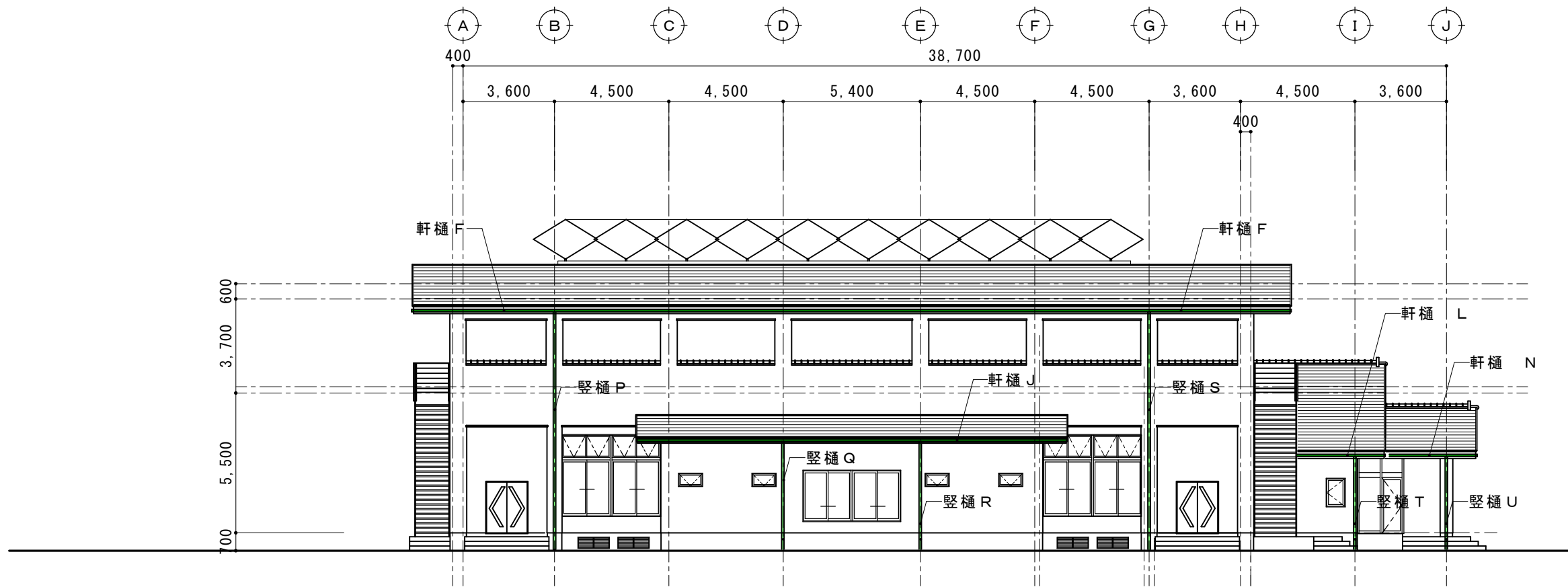


北面

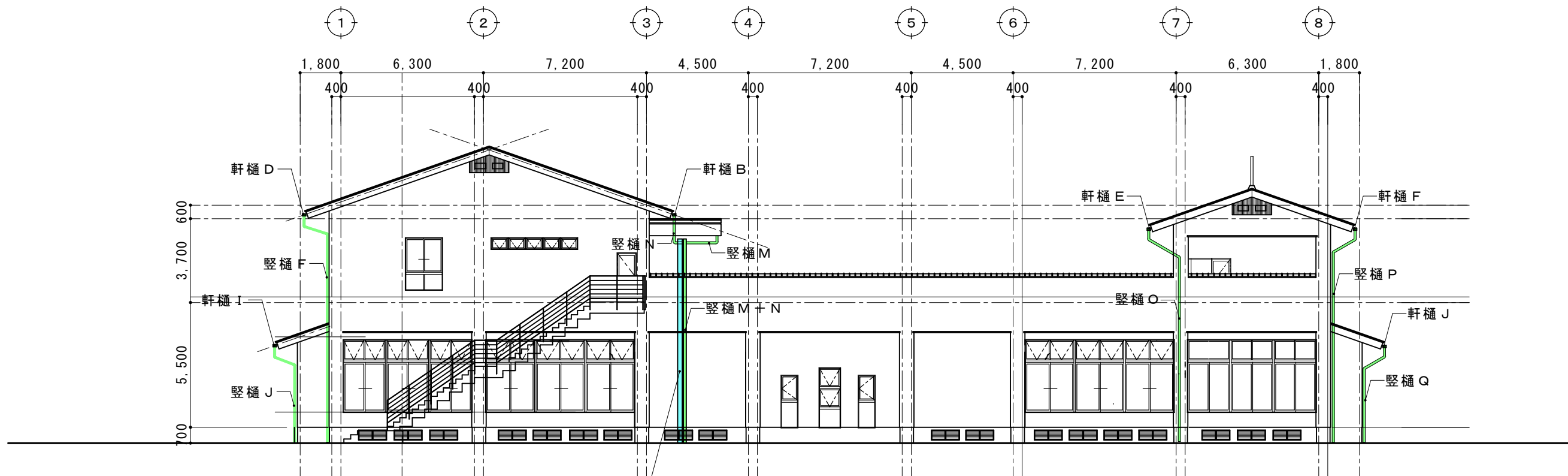


東面

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
			承認	図面名称 A棟 外部改修（屋根） 立面図1（樋改修）	図番 A : 2-09



南面



西面

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
			承認		

屋根改修リスト

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 A	塩ビ被覆鋼板 t 0.4 角ハゼー文字葺き	撤去しない	カラーG L 鋼板 t 0.4カバー工法
	アスファルトルーフィング22kg	撤去しない	裏面断熱材付 t 25
	木毛パーライトセメント版 t 25	撤去しない	屋根部分詳細図参照
	金属シングル垂木@455	撤去しない	
	雪止め L-4×50×50	撤去	雪止め L-4×50×50 受け金具 @490
			詳細図参照

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 B	塩ビ被覆鋼板 t 0.4 角ハゼー文字葺き	撤去しない	カラーG L 鋼板 t 0.4カバー工法
	アスファルトルーフィング22kg	撤去しない	断熱材無
	木毛パーライトセメント版 t 25	撤去しない	屋根部分詳細図参照
	金属シングル垂木@455	撤去しない	
	雪止め L-4×50×50	撤去	雪止め L-4×50×50 受け金具 @490
			詳細図参照

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 C			屋根葺き方向変更 (別図参照)
	ルーフデッキ葺き t 0.8	撤去	ルーフデッキ葺き t 0.8
	ポリエチレンフィルム裏張り	撤去	裏張り：なし
	水下側パラペット：押し出しセメント版 t 60	撤去	化粧破風板 h 300
	水上側パラペット：ボンデ鋼板 t 1.0 ウレタン塗装	撤去	化粧破風板 h 300
			詳細図参照

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 C-2			軒樋改修のため撤去葺き替え
	ルーフデッキ葺き t 0.8	撤去	ルーフデッキ葺き t 0.8
	ポリエチレンフィルム裏張り	撤去	裏張り：不燃エース t 4
	パラペット：ボンデ鋼板 t 1.0 ウレタン塗装	撤去	パラペット：アルミパネル t 2.0 (下地胴縁腐食部改修)
	同上・下地C鋼	改修	撤去部分造り替え・C-100×50×20×2.3
			詳細図参照

屋根（棟）改修リスト

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
棟 A	棟瓦 一辺のし	撤去	棟包み：屋根同材
	棟包み：カラー鋼板	撤去	補強：溶融亜鉛メッキ鋼板 t 1加工
			詳細図参照

摘要		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
			承認		
					図番 A : 2-11

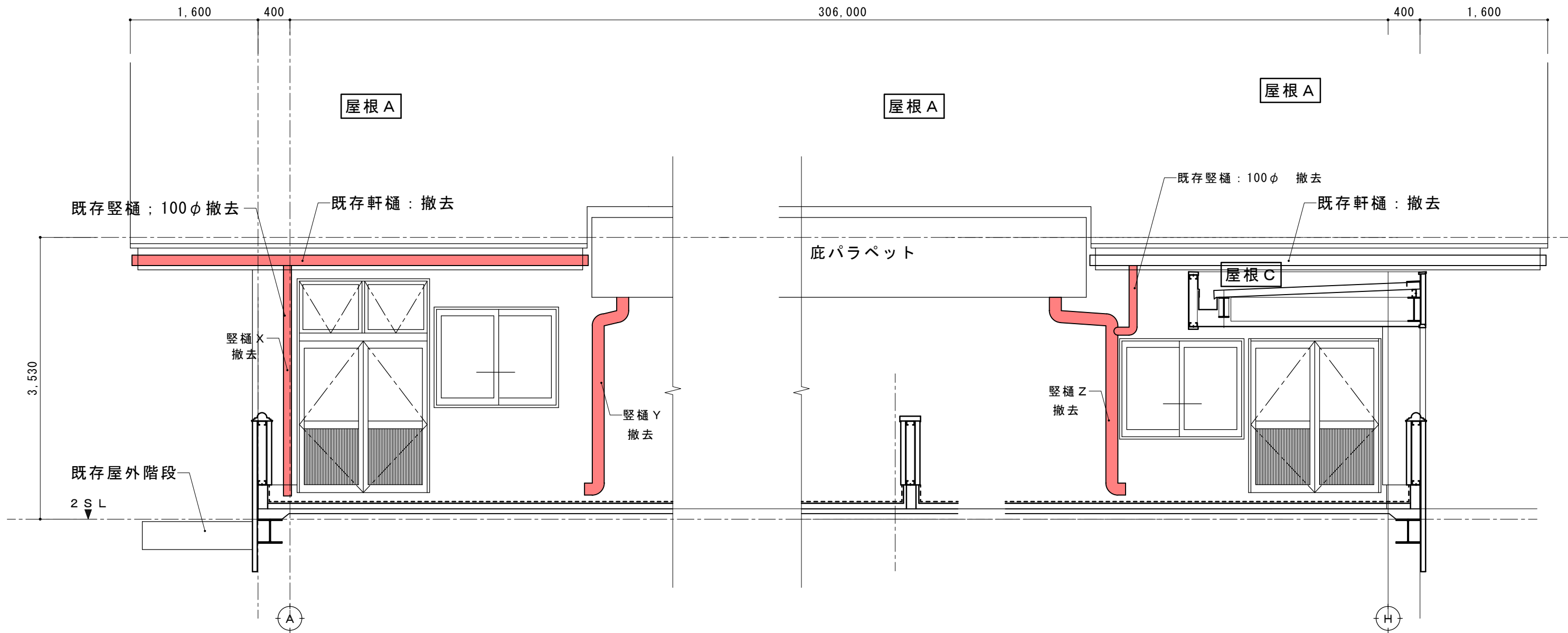
軒樋改修リスト

記号	仕様	落とし口	位置	撤去・更新の別
軒樋 A	落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	2	2階 3通り	新設
	軒樋B・Cに結合する VP100φ			
軒樋 B	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	1	2階 3通り	撤去・更新
軒樋 C	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	1	2階 3通り	撤去・更新
軒樋 D	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	2	2階 1通り	撤去・更新
軒樋 E	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	2	2階 7通り	撤去・更新
軒樋 F	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	2	2階 8通り	撤去・更新
軒樋 G	既存内樋撤去 新規内樋 () 水勾配変更	1	2階 3通り 庇	撤去・更新
軒樋 H	既存内樋撤去 取付位置変更 (新設)	2	2階 H通り 渡り廊下	撤去・新設
軒樋 I	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	2	1階 1通り 北	撤去・更新
軒樋 J	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	2	1階 8通り 南	撤去・更新
軒樋 K	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	1	1階 3通り 北	撤去・更新
軒樋 L	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	1	1階 3通り 南	撤去・更新
軒樋 M	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	1	1階 3通り 北	撤去・更新
軒樋 N	既存：カラー鋼板製 → 更新：落ち葉除け一体型 カラーG L鋼板 t0.5	1	1階 3通り 南	撤去・更新

縦樋改修リスト

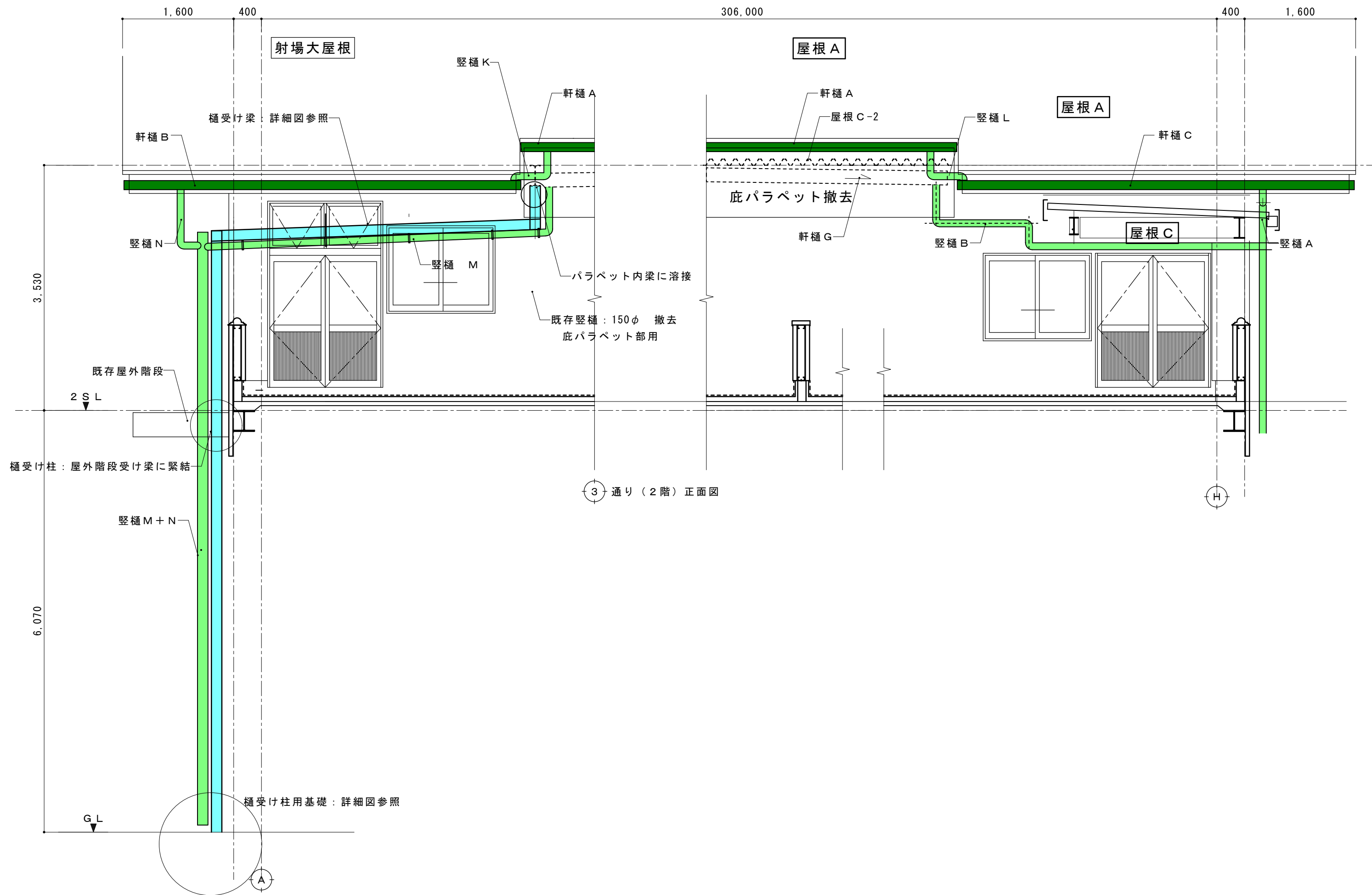
記号	仕様	位置	撤去・更新の別
縦樋 A	カラーVP 100φ	軒樋 C	新設
縦樋 B	カラーVP 100φ	軒樋 H	新設
縦樋 C	カラーVP 100φ	軒樋 H	新設
縦樋 A+B	カラーVP 125φ	H通り	新設
縦樋 D	カラーVP 100φ	軒樋 E	新設
縦樋 C+D	カラーVP 125φ		
縦樋 E	VP100φ → カラーVP 100φ	軒樋 D	撤去・更新
縦樋 F	VP100φ → カラーVP 100φ	軒樋 D	撤去・更新
縦樋 G	VP 100φ	軒樋 G	撤去
縦樋 H	VP 100φ	軒樋 H	撤去
縦樋 I	VP 150φ → カラーVP 100φ	軒樋 I	撤去・更新
縦樋 J	VP 150φ → カラーVP 100φ	軒樋 J	撤去・更新
縦樋 K	カラーVP 100φ	軒樋 A	新設
縦樋 L	カラーVP 100φ	軒樋 A	新設
縦樋 M	カラーVP 100φ	軒樋 G	新設
縦樋 N	カラーVP 100φ	軒樋 B	新設
縦樋 M+N	カラーVP 125φ 縦樋受け柱設置 (別図参照)	A通り	新設
縦樋 O	VP 100φ → カラーVP 100φ	軒樋 E	撤去・更新
縦樋 P	VP 100φ → カラーVP 100φ	軒樋 F	撤去・更新
縦樋 Q	VP 150φ → カラーVP 100φ	軒樋 J	撤去・更新
縦樋 R	VP 150φ → カラーVP 100φ	軒樋 J	撤去・更新
縦樋 S	VP 100φ → カラーVP 100φ	軒樋 F	撤去・更新
縦樋 T	VP 100φ → カラーVP 125φ	軒樋 L	撤去・更新
縦樋 U	VP 100φ → カラーVP 100φ	軒樋 N	撤去・更新
縦樋 V	VP 100φ → カラーVP 125φ	軒樋 K	撤去・更新
縦樋 W	VP 100φ → カラーVP 100φ	軒樋 M	撤去・更新
縦樋 X	VP 100φ	2階 3通り	撤去
縦樋 Y	VP 100φ	2階 3通り	撤去
縦樋 Z	VP 150φ	2階 3通り	撤去

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
			承認		

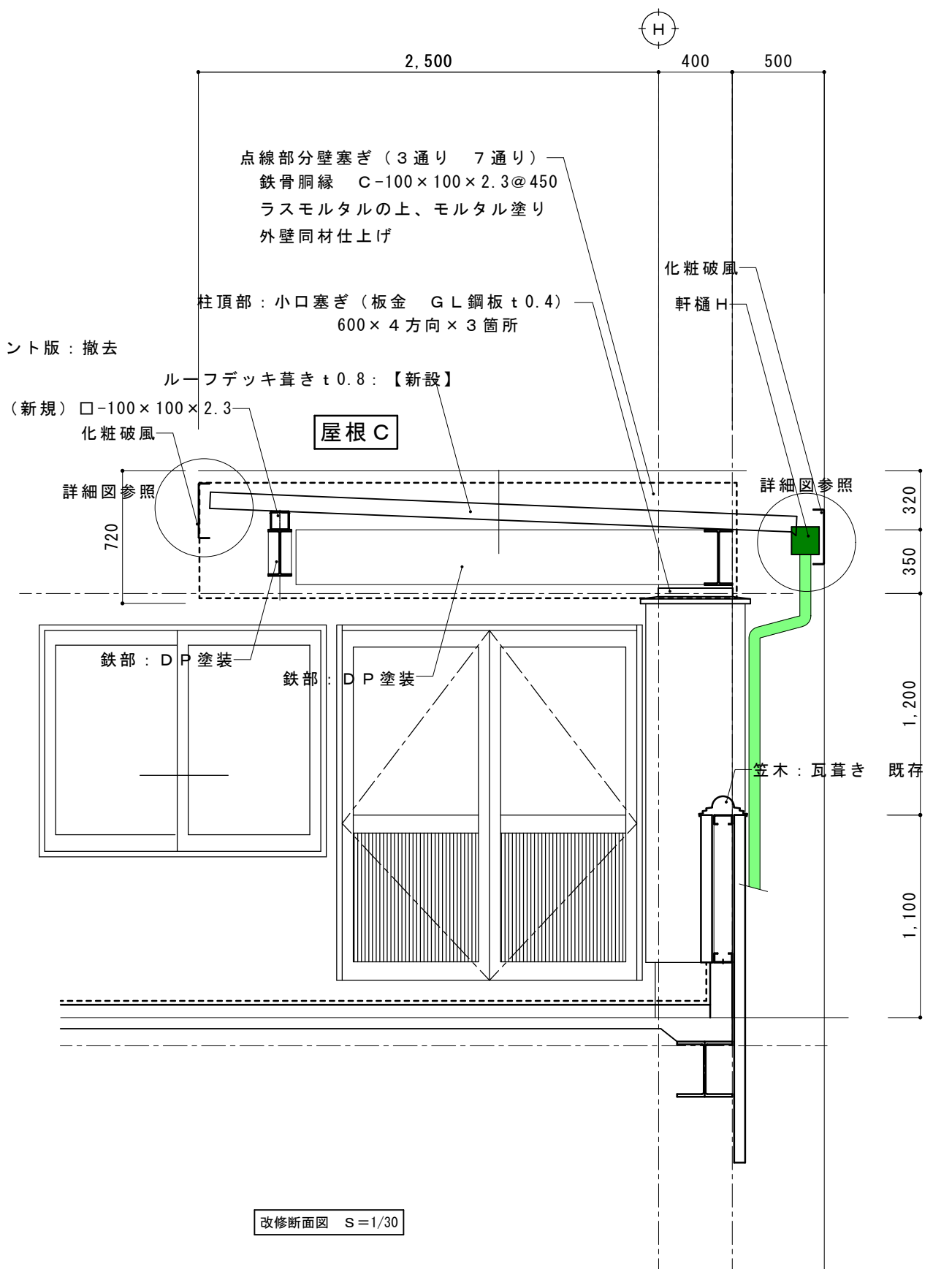
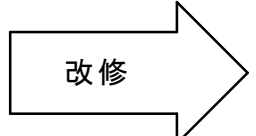
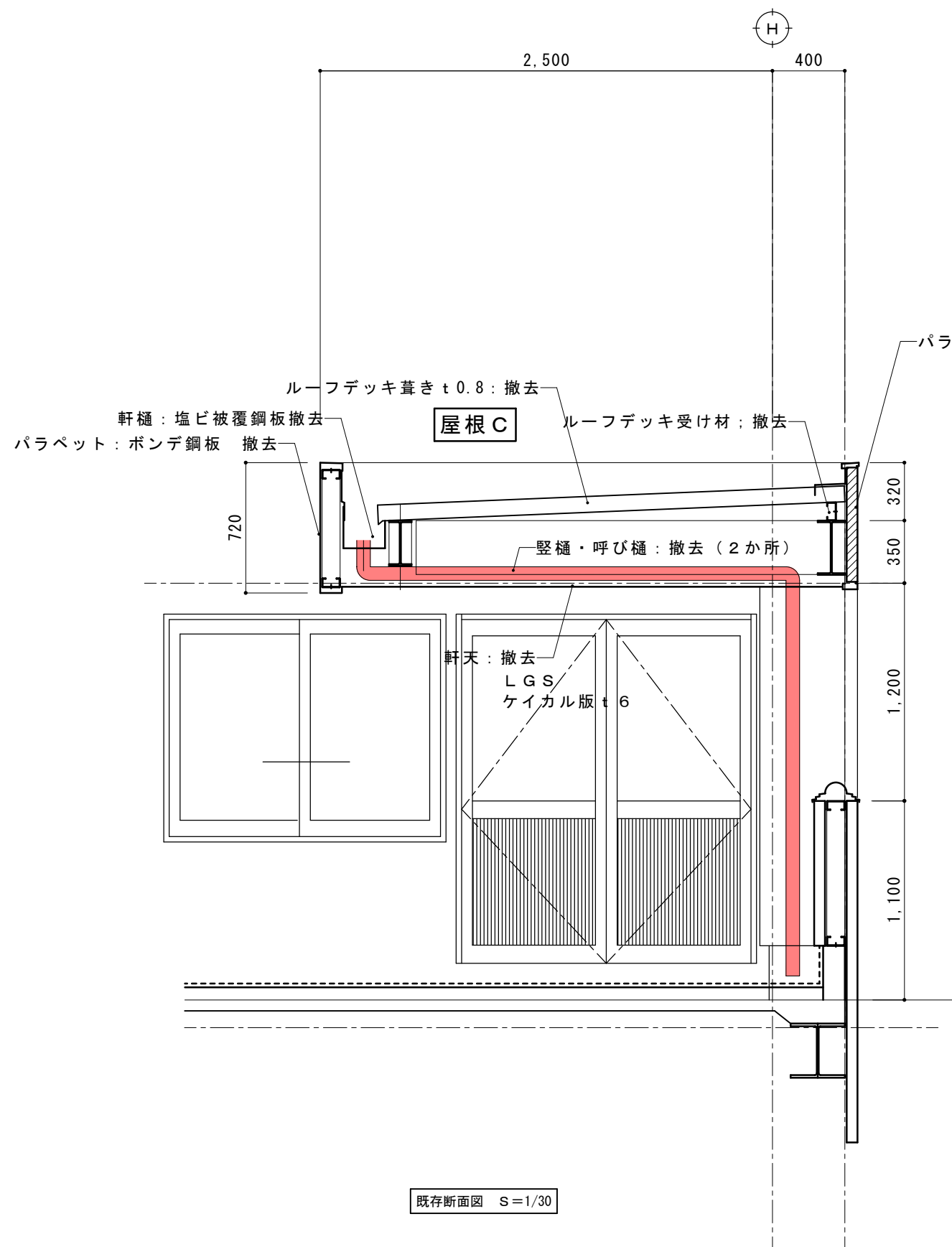


③ 通り（2階）正面図

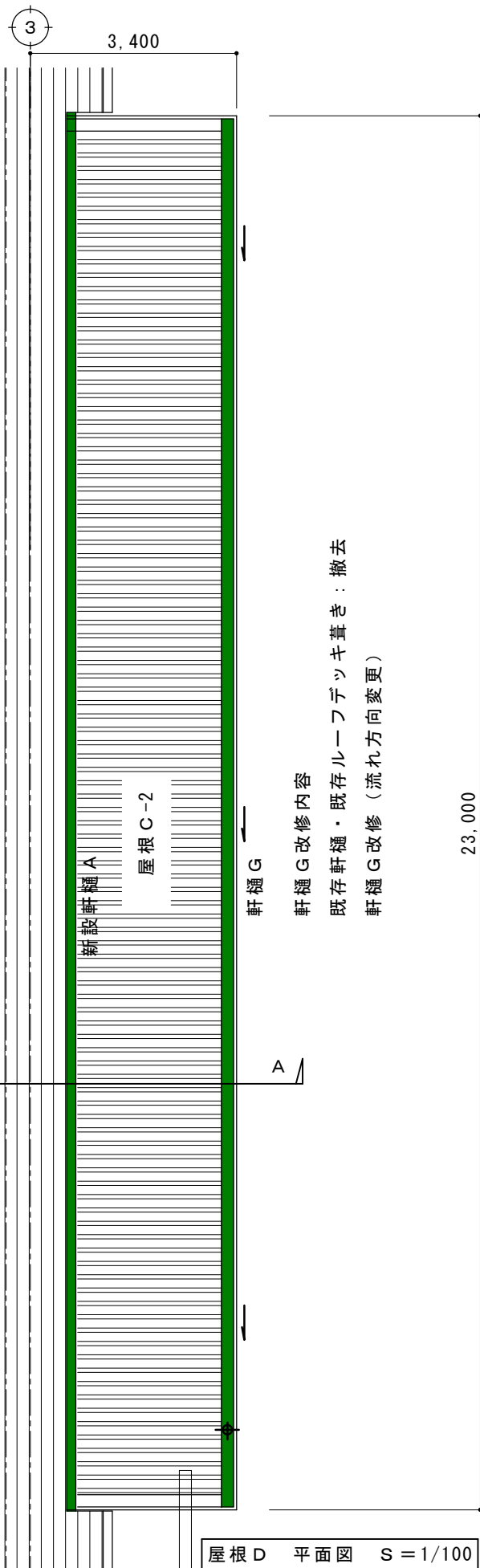
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/50
			承認		



摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/50
			図面名称	A棟 外部改修 (屋根) 2階3通り軒樋改修図 2	図番	A: 2-14
		承認				

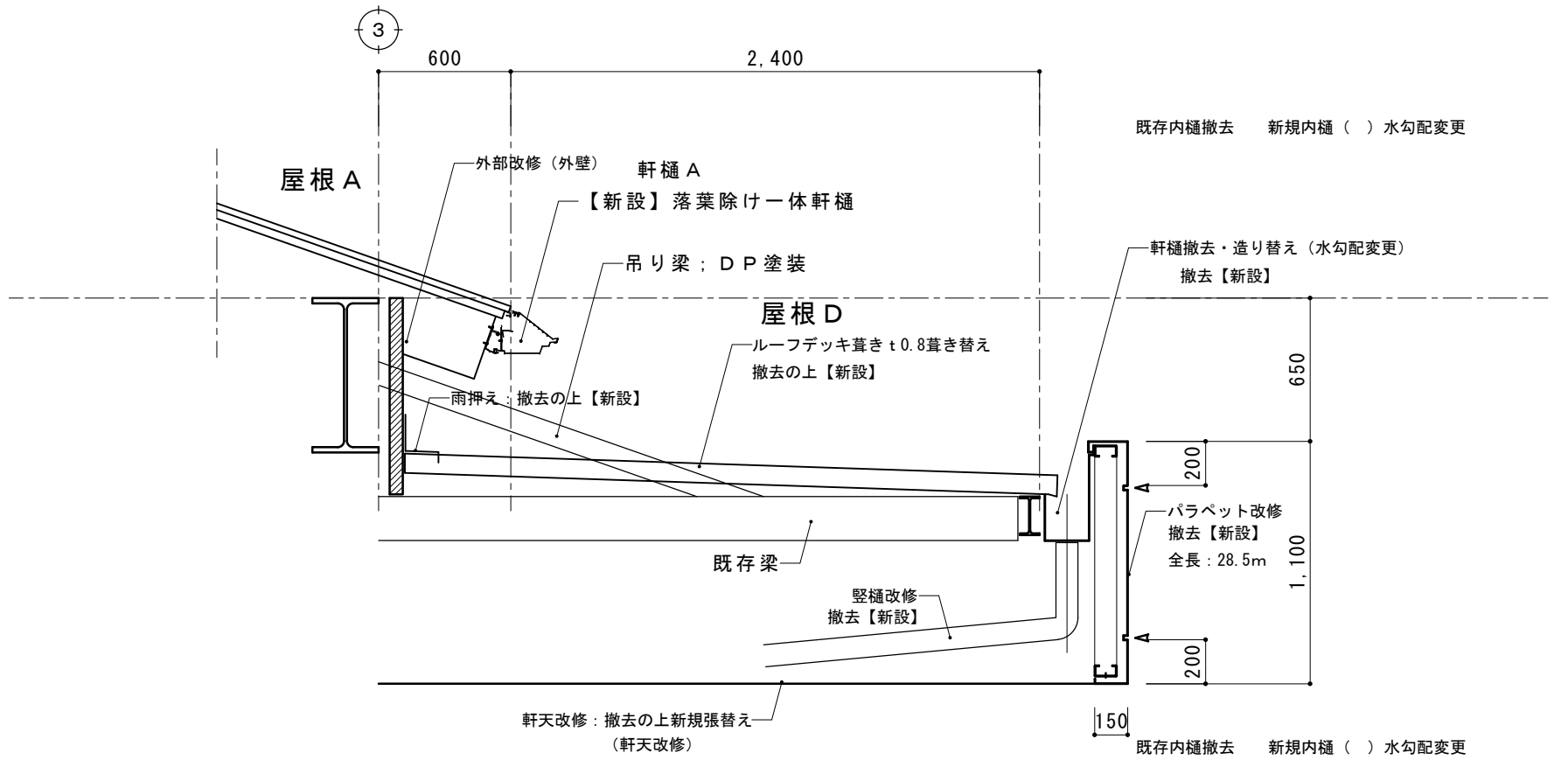


摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺	1/30
			図面名称	A棟 外部改修(屋根) 屋根C改修詳細図	図番	A:2-15
		承認				



屋根D 平面図 S=1/100

軒樋G改修内容
 軒樋・既存ルーフトレッキ葺き：撤去
 軒樋G改修（流れ方向変更）



A-A断面図 S=1/30

記号	既存仕様	撤去の別	改修仕様
屋根 D			軒樋改修のため撤去葺き替え
	ルーフトレッキ葺き t0.8	撤去	ルーフトレッキ葺き t0.8
	ポリエチレンフィルム裏張り	撤去	裏張り：不燃シート t4
	パラペット：ボンデ鋼板 t1.0 ウレタン塗装 28.5m	撤去	パラペット：ボンデ鋼板 t1.0 DP塗装 28.5m
	同上・下地C鋼	劣化部分撤去 20mを見込む	撤去部分造り替え・C-100×50×20×2.3 @600程度
			詳細図参照

摘要

TIME

作成者

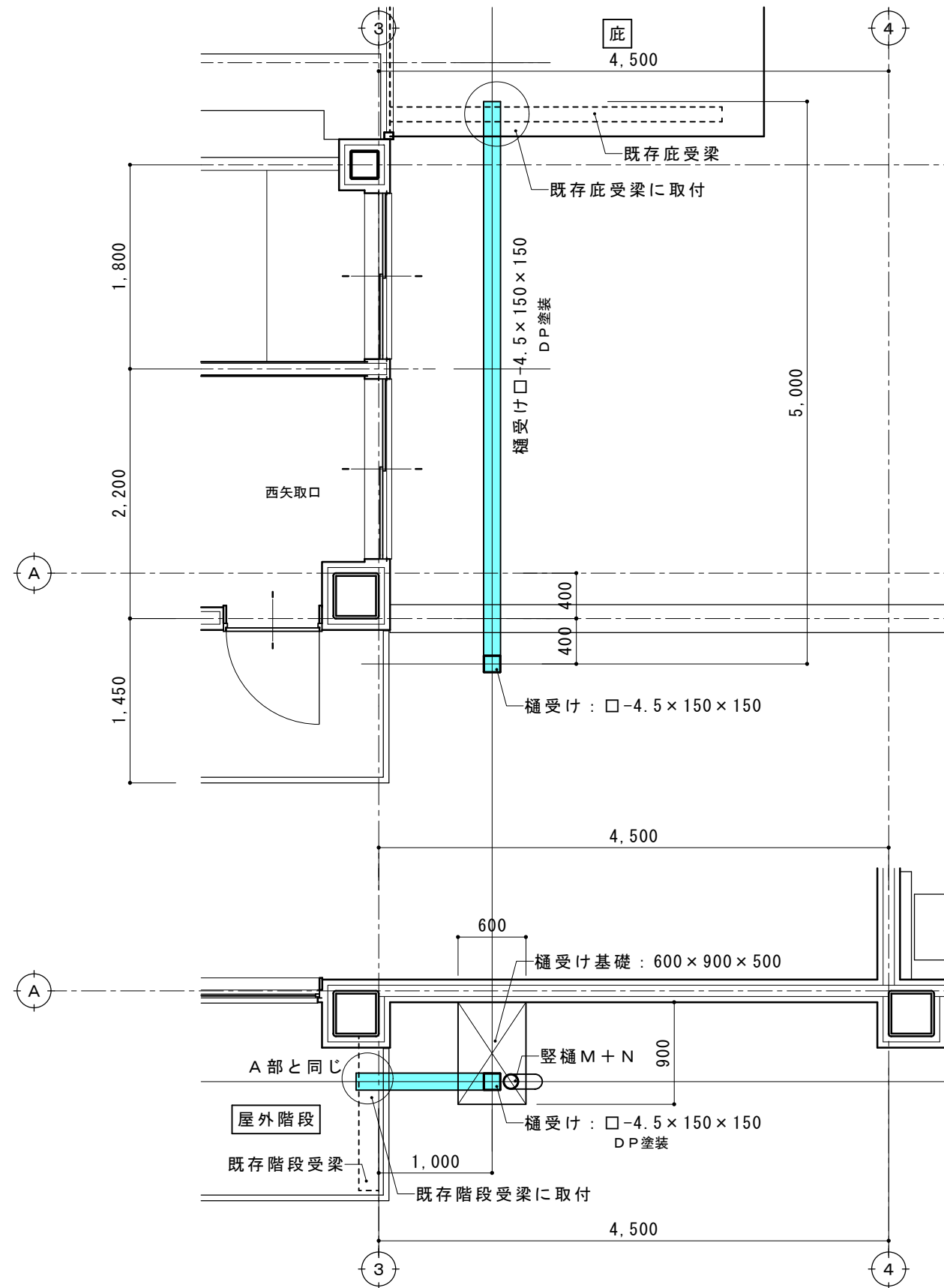
工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

縮尺 1/30

図面名称 A棟 外部改修（屋根）屋根C-2改修詳細図

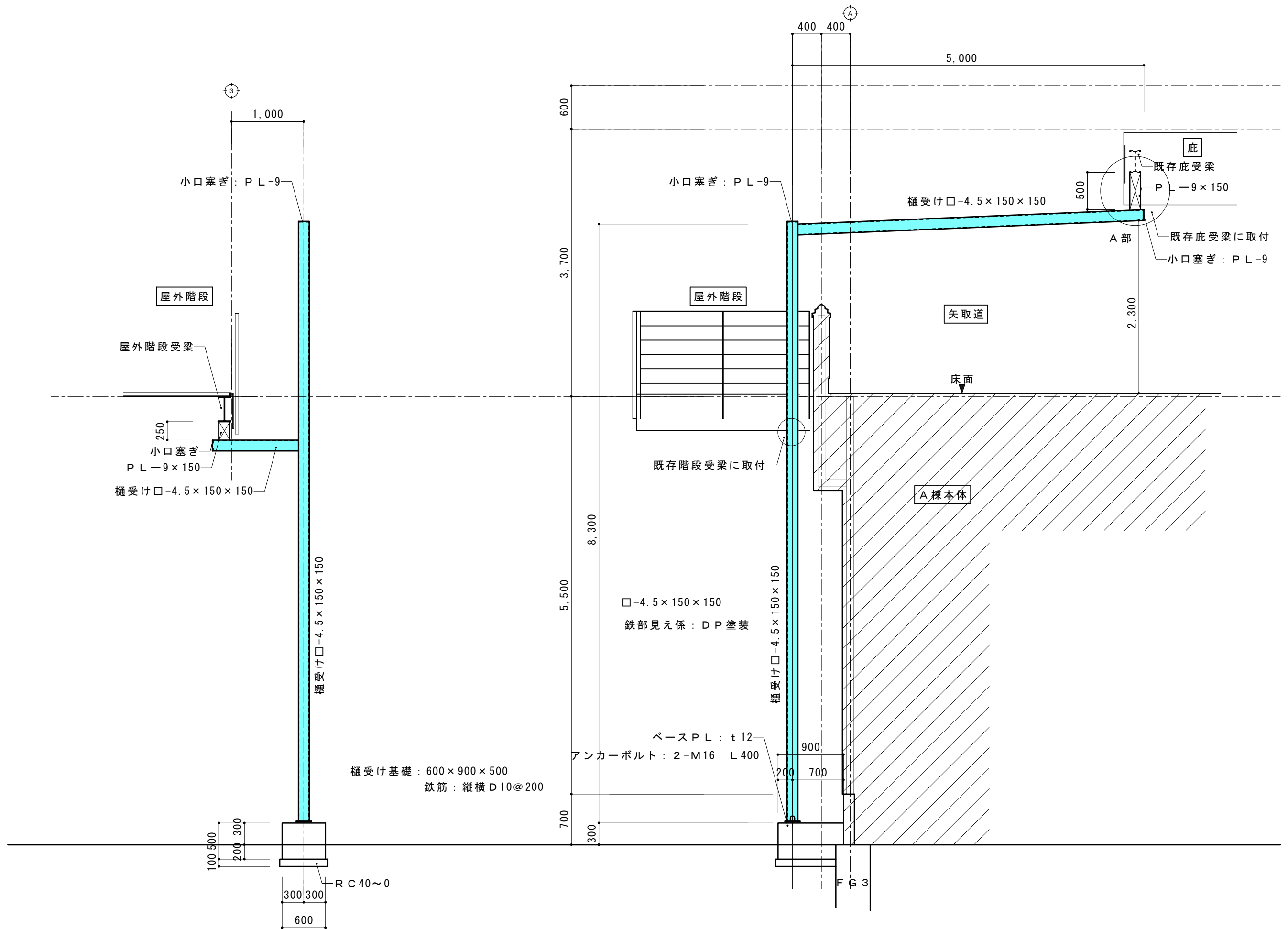
図番 A：2-16

承認



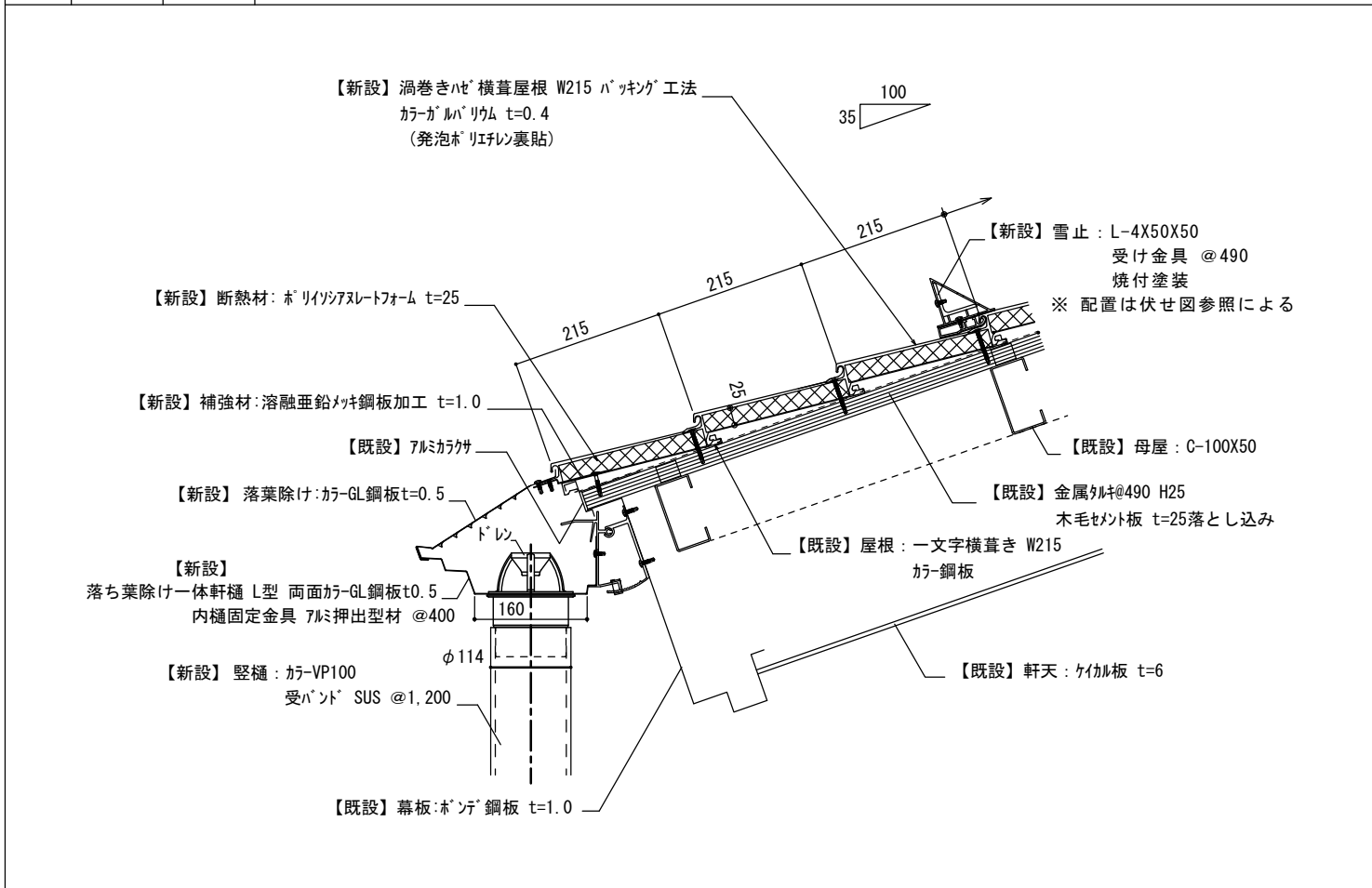
□ □-4.5×150×150
鉄部見え係 : DP塗装

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺	1/50
			承認	図面名称	A棟 外部改修(屋根) 堅樋M+N受け・取付平面図	図番	A:2-17

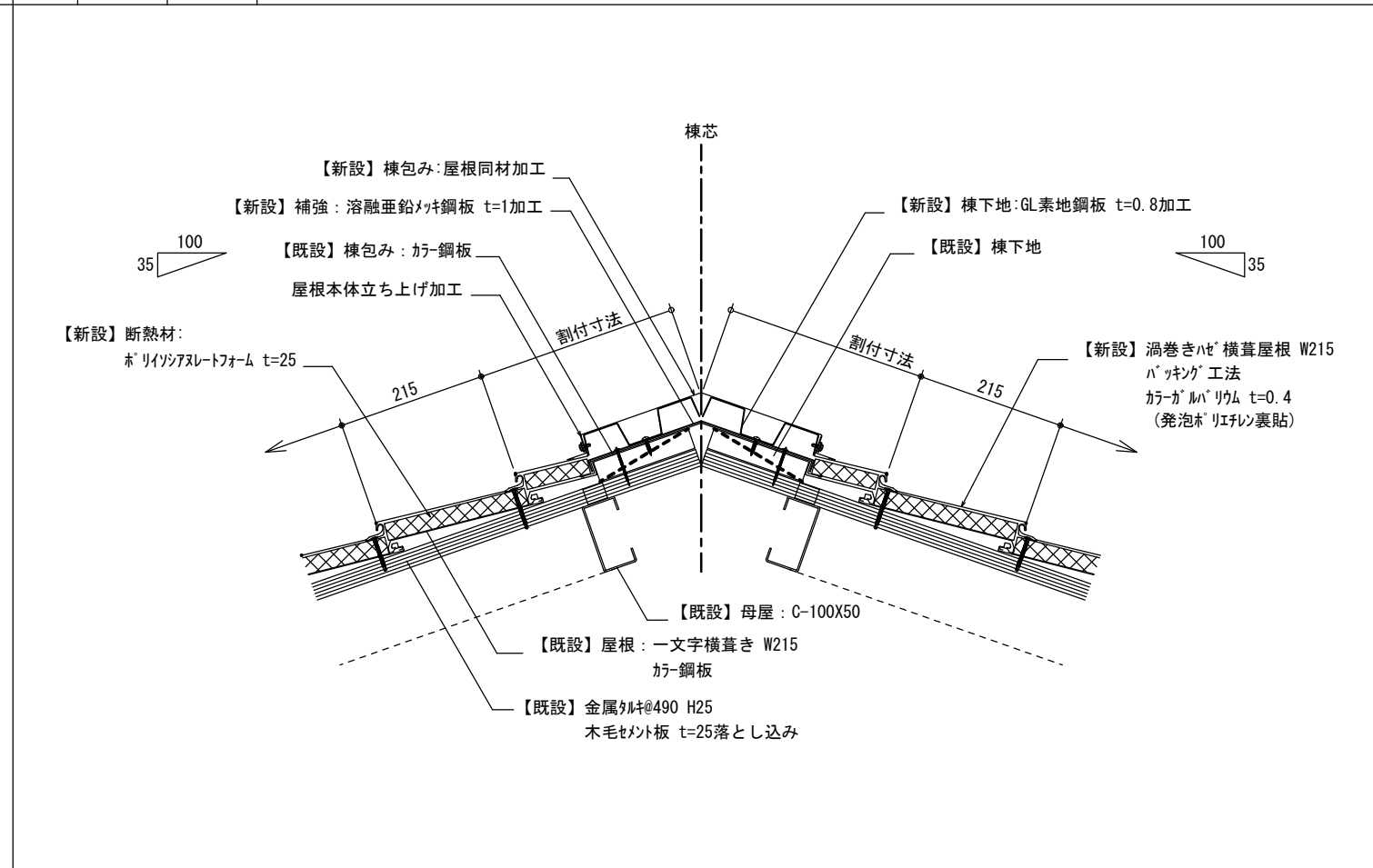


摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺	1/50
			図面名称	A棟 外部改修(屋根) 樋M+N受け梁取付矩計図	図番	A:2-18
		承認				

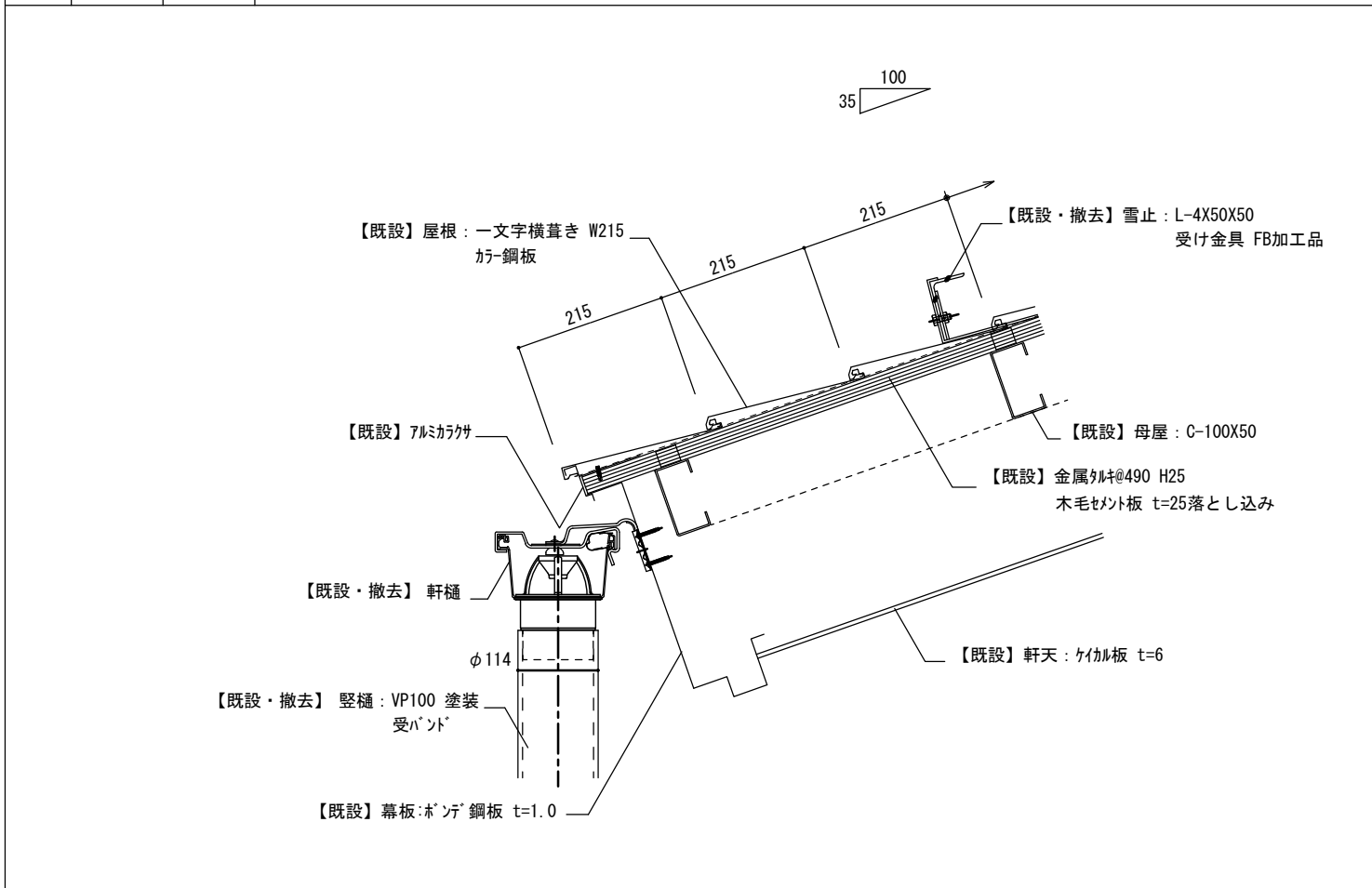
A棟 屋根A 改修後 軒先部分 詳細図



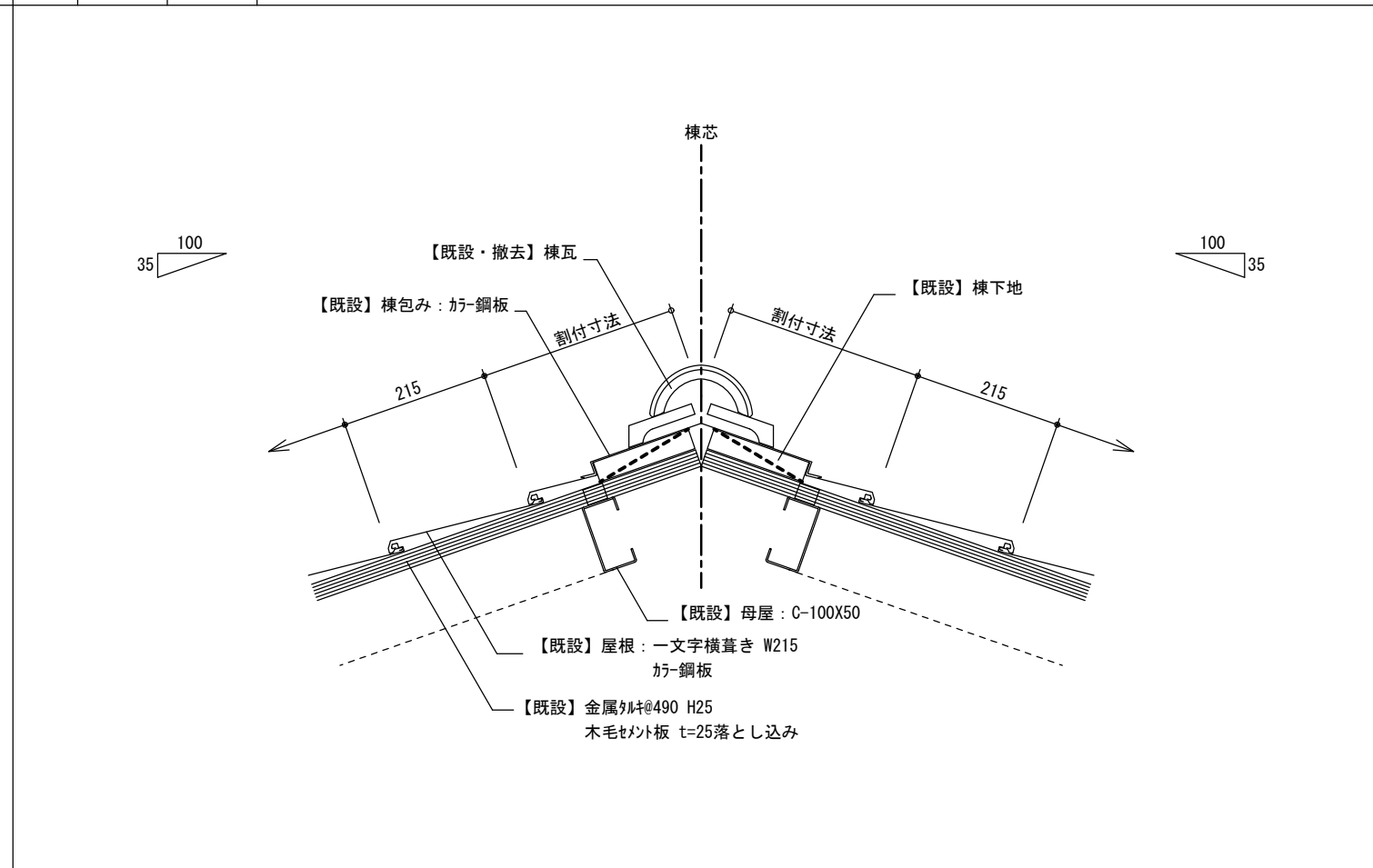
A棟 屋根A 改修後 棟部分 詳細図



A棟 屋根A 改修前 軒先部分 詳細図



A棟 屋根A 改修前 棟部分 詳細図



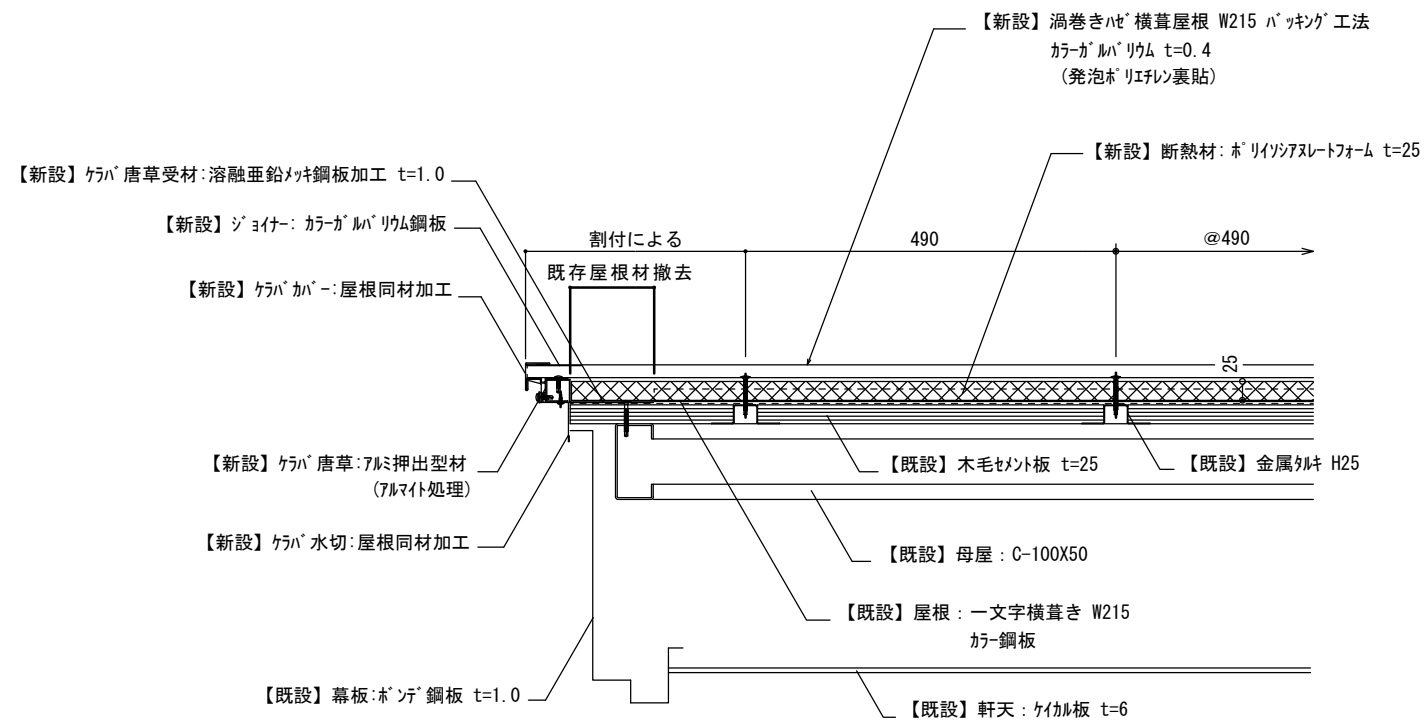
摘要

TIME	作成者
	承認

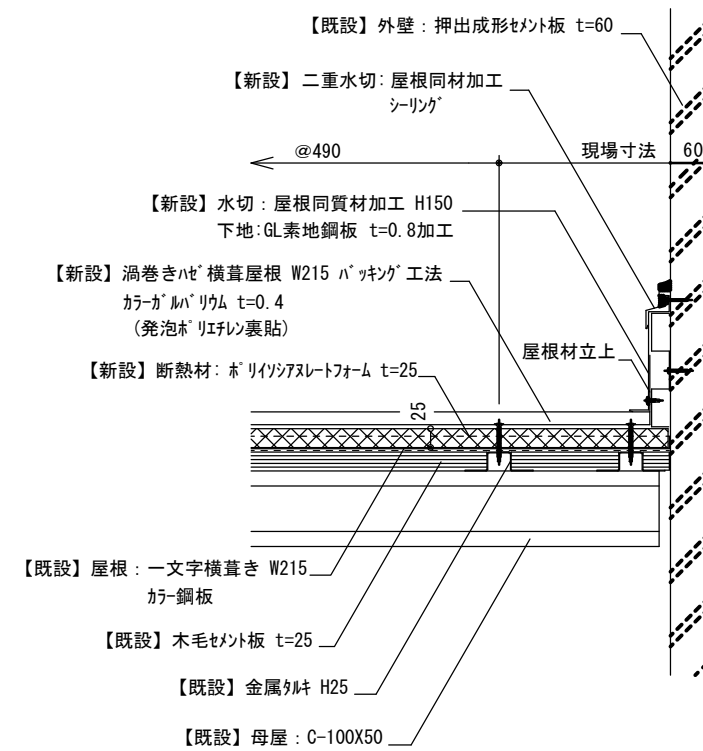
工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)
図面名称	A棟 外部改修(屋根)屋根A詳細図 1

縮尺	1/10
図番	A:2-19

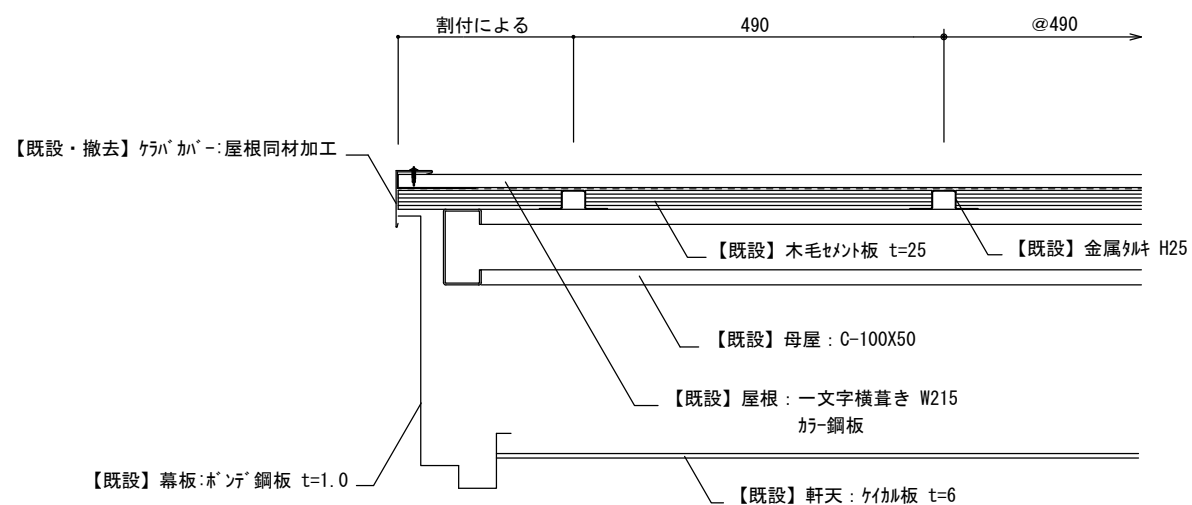
A棟 屋根A 改修後 ケラバ部分 詳細図



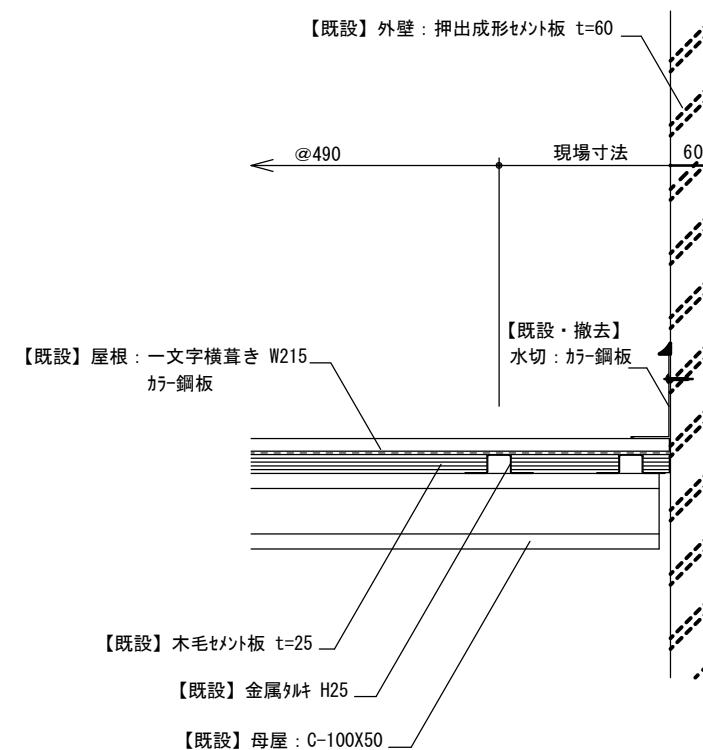
A棟 屋根A 改修後 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図



A棟 屋根A 改修前 ケラバ部分 詳細図



A棟 屋根A 改修前 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)

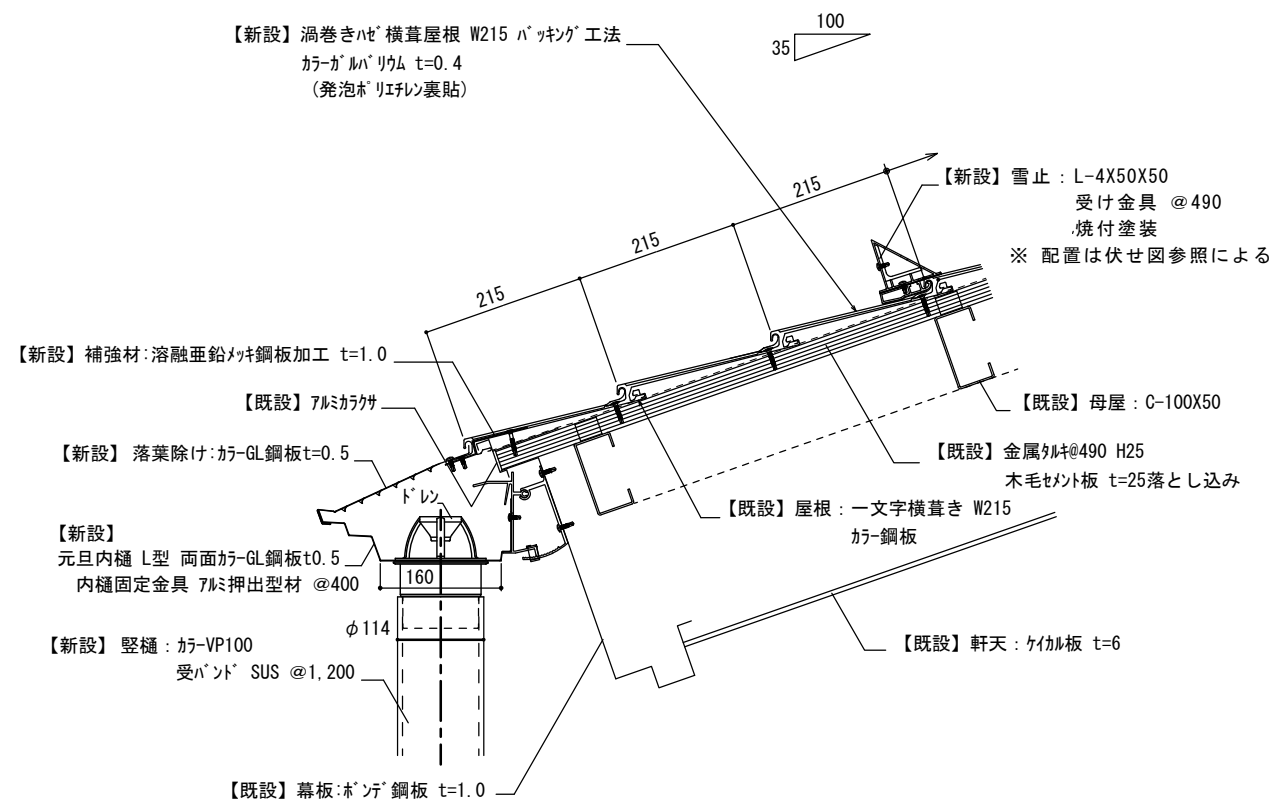
縮尺 1/50

図面名称 A棟 外部改修(屋根)屋根A詳細図 2

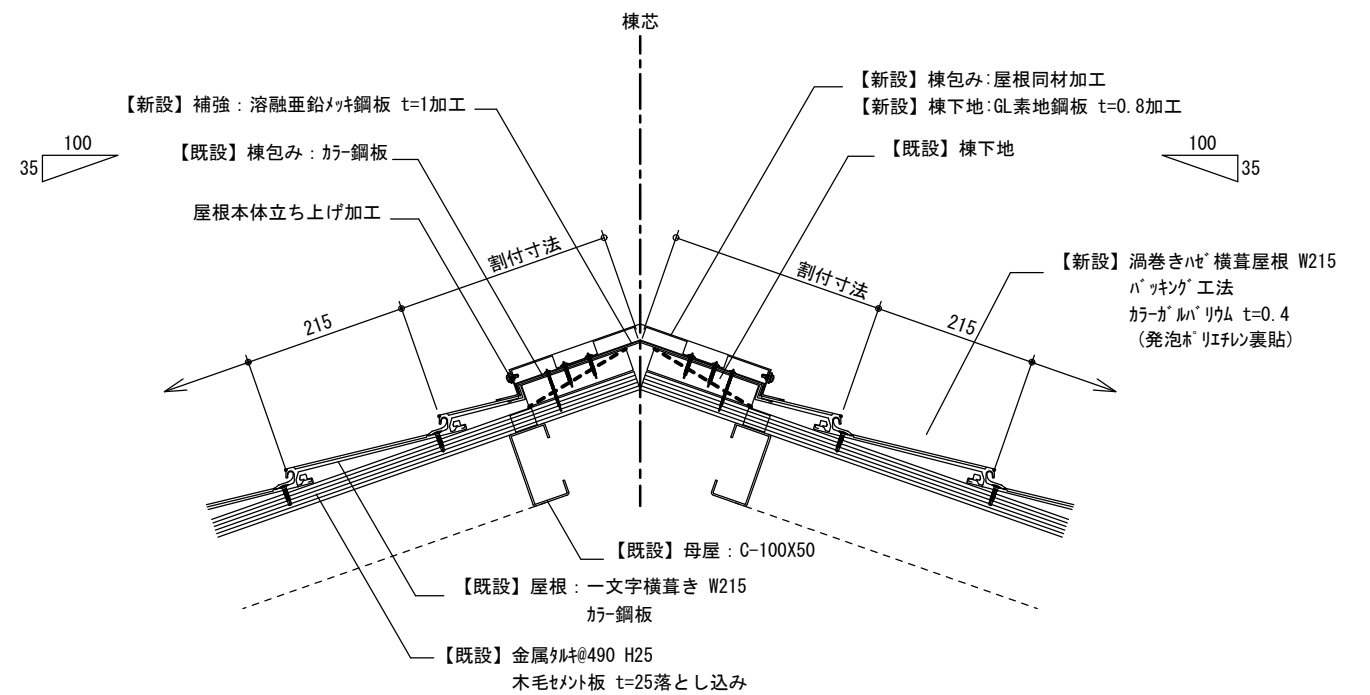
図番 A:2-20

承認

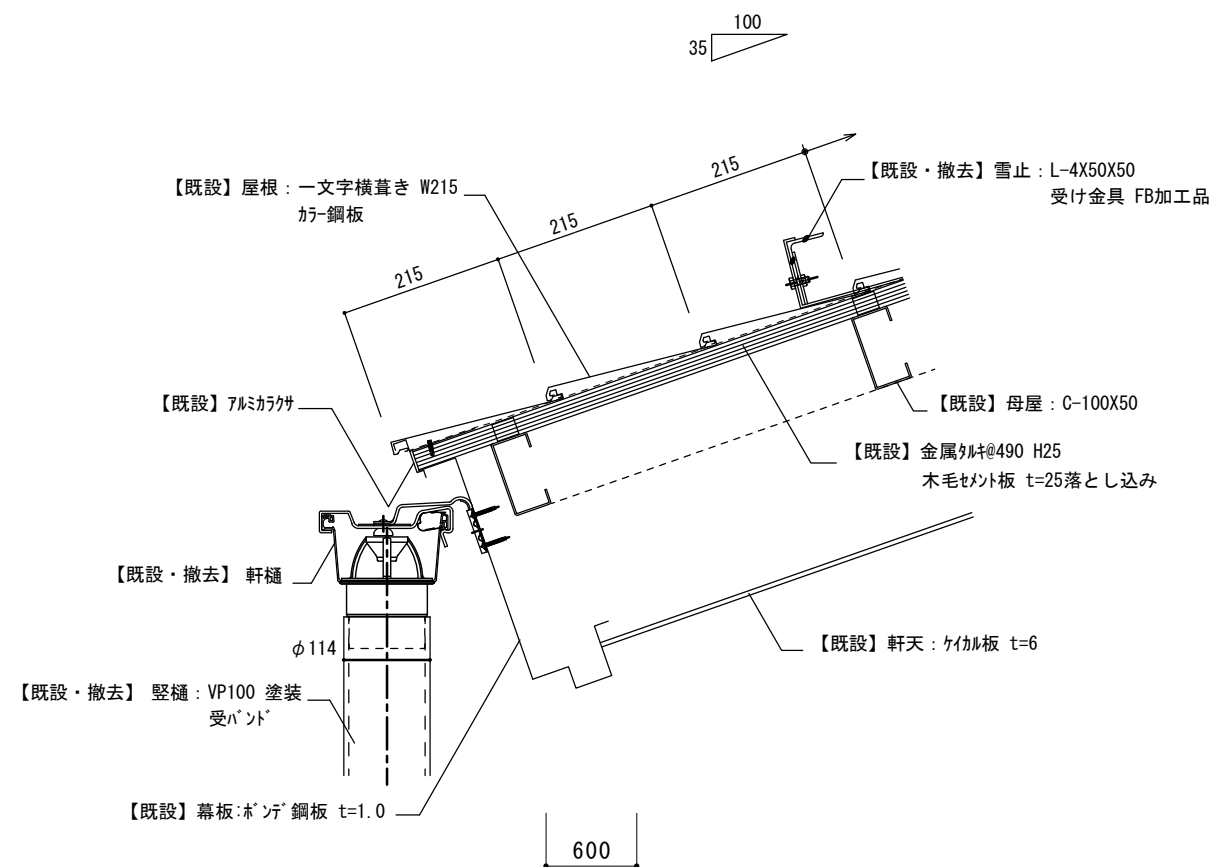
A棟 屋根B 改修後 軒先部分 詳細図



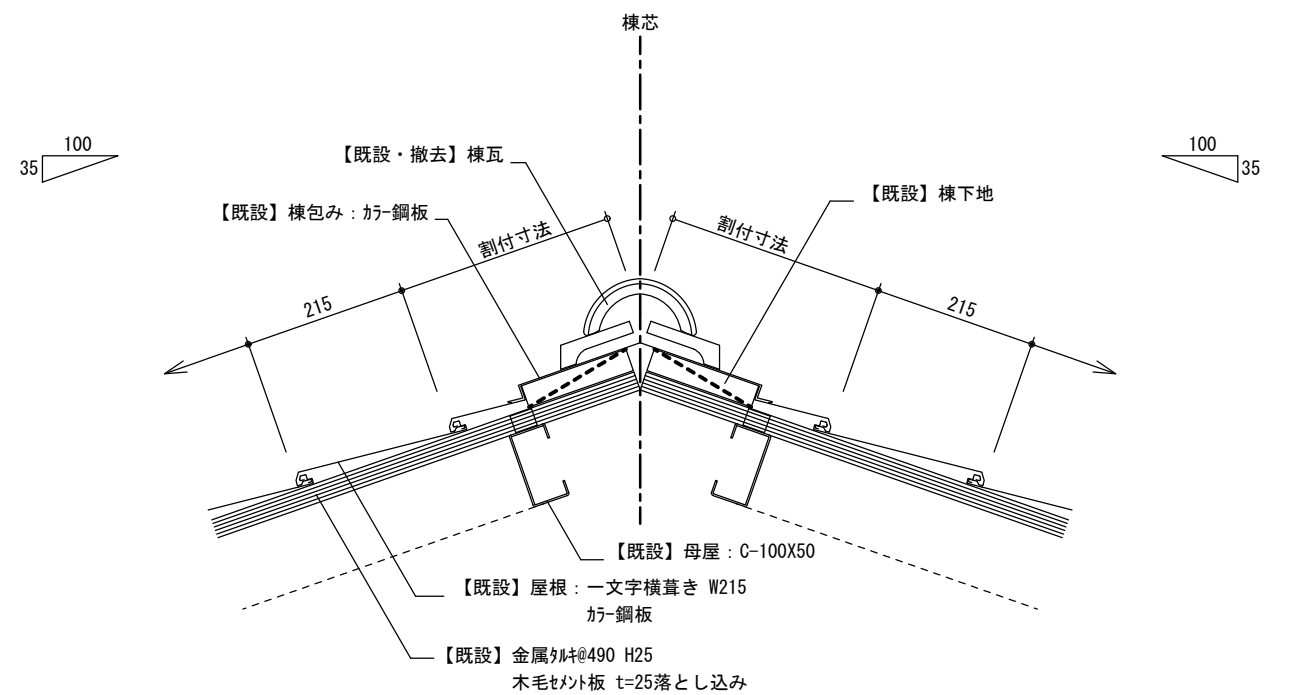
A棟 屋根B 改修後 棟部分 詳細図



A棟 屋根B 改修前 軒先部分 詳細図



A棟 屋根B 改修前 棟部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

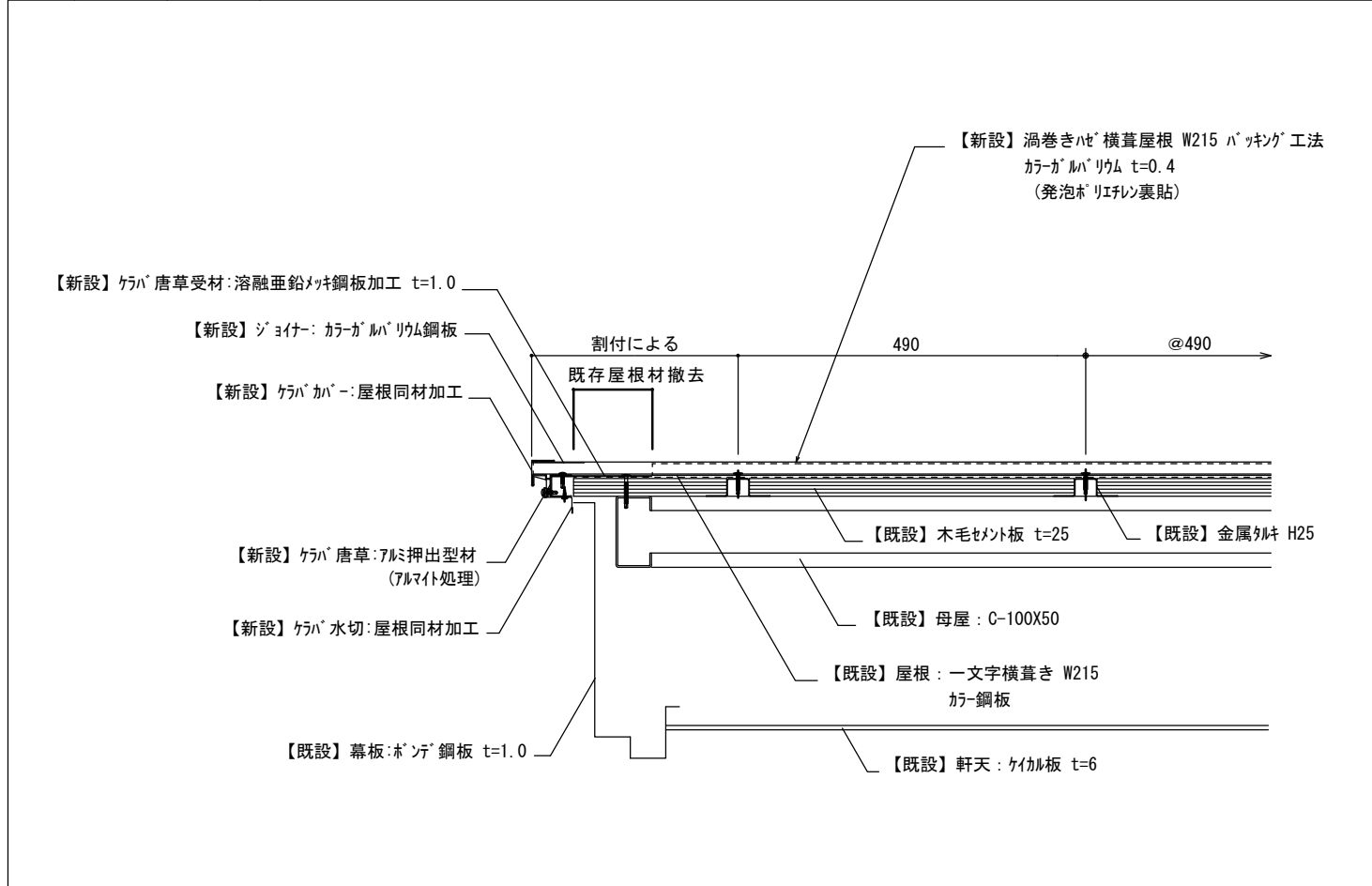
工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)

縮尺 1/10

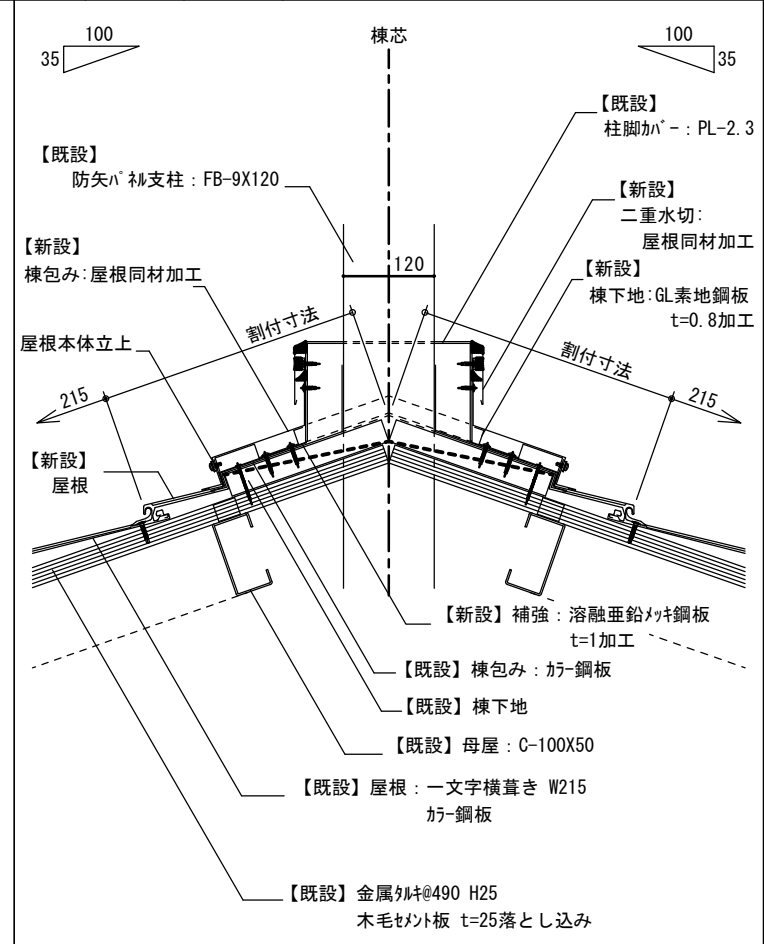
図面名称 A棟 外部改修(屋根)屋根B詳細図 1

図番 A:2-21

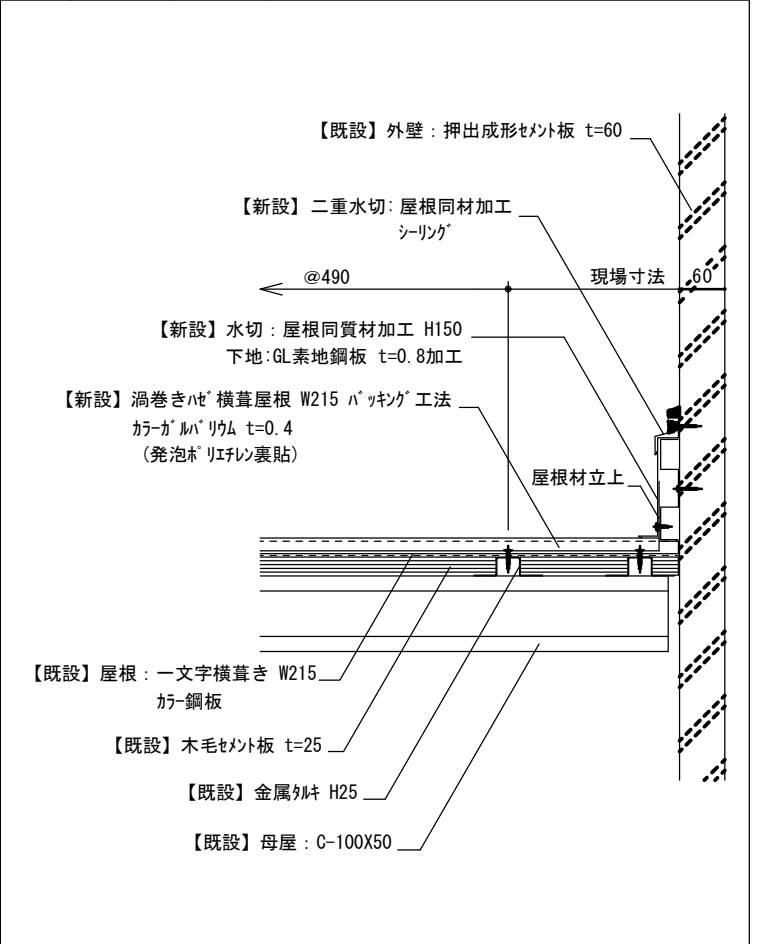
A棟 屋根B 改修後 ケラバ部分 詳細図



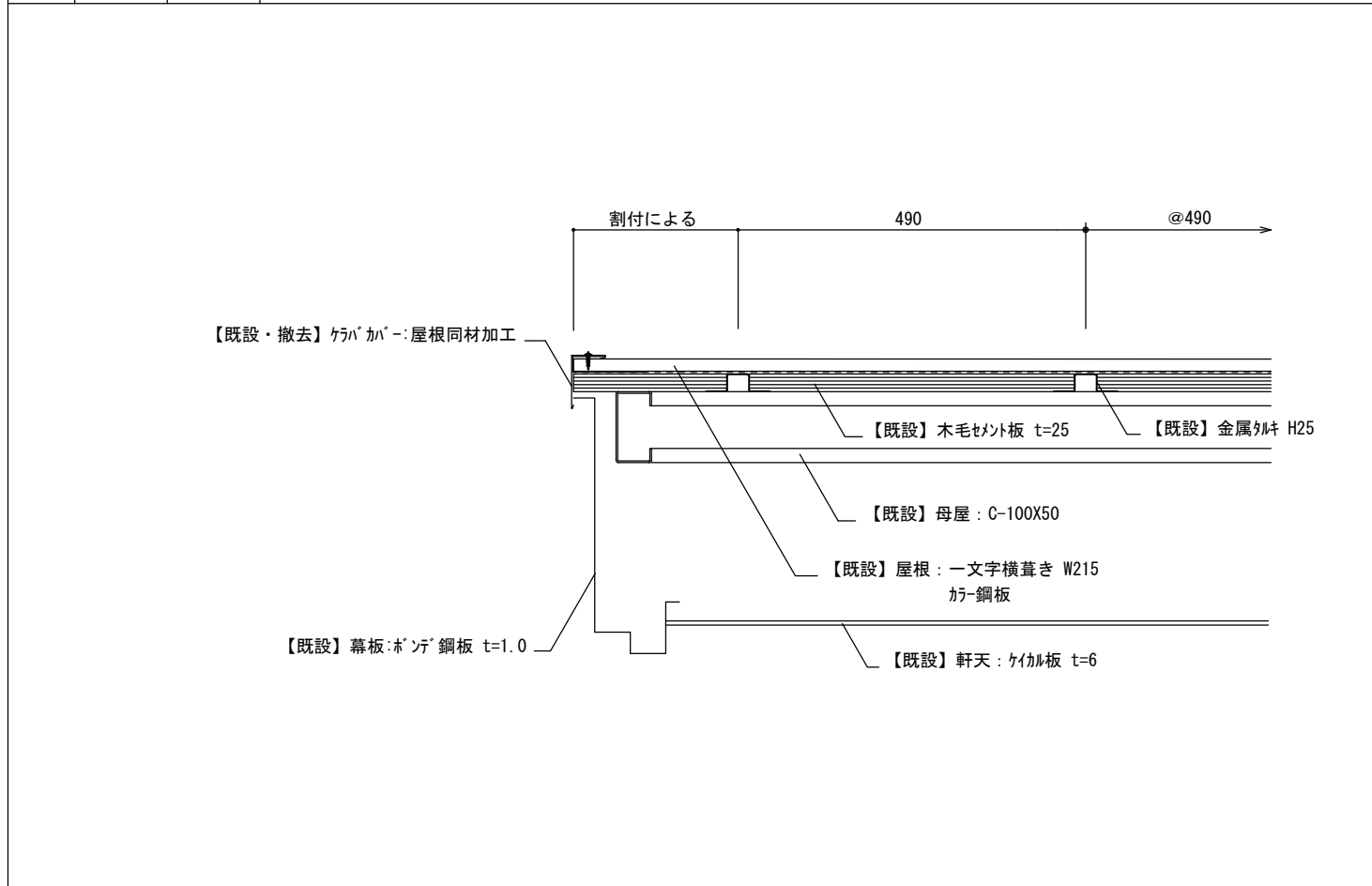
A棟 屋根B 改修後 棟 防矢パネル取り合い部分 詳細図



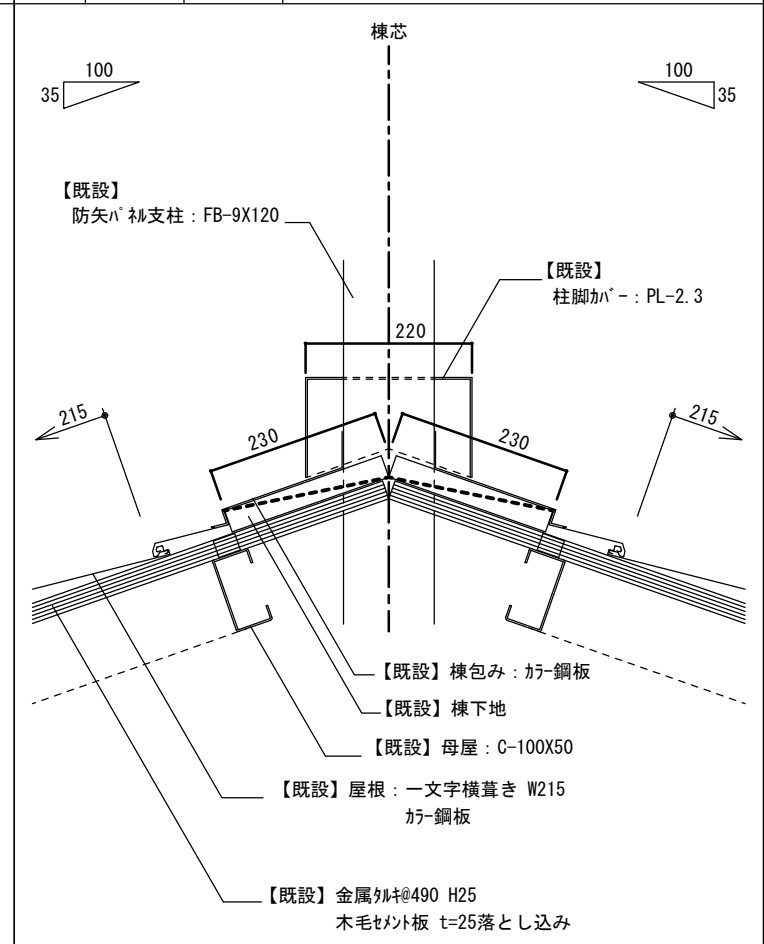
A棟 屋根B 改修後 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図



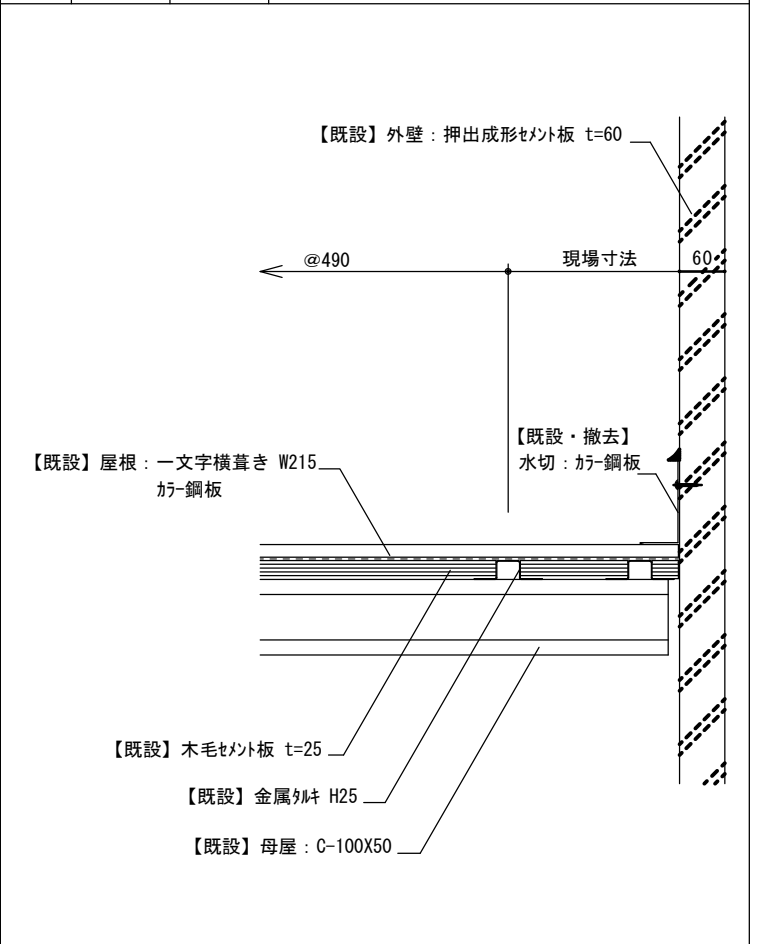
A棟 屋根B 改修前 ケラバ部分 詳細図



A棟 屋根B 改修前 棟 防矢パネル取り合い部分 詳細図



A棟 屋根B 改修前 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図



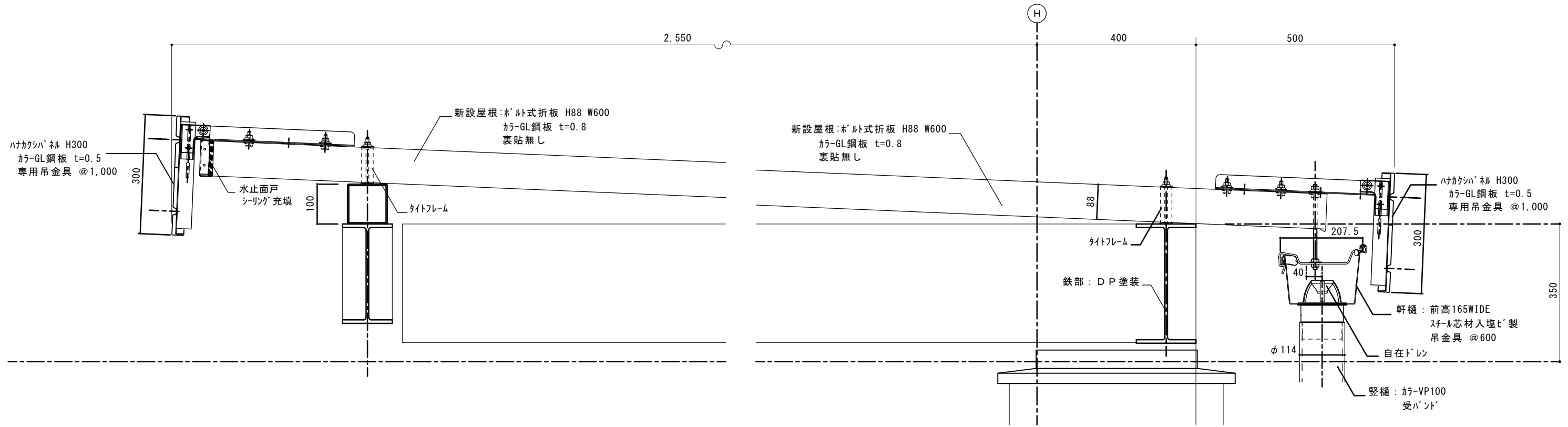
摘要

T I M E	作成者
	承認

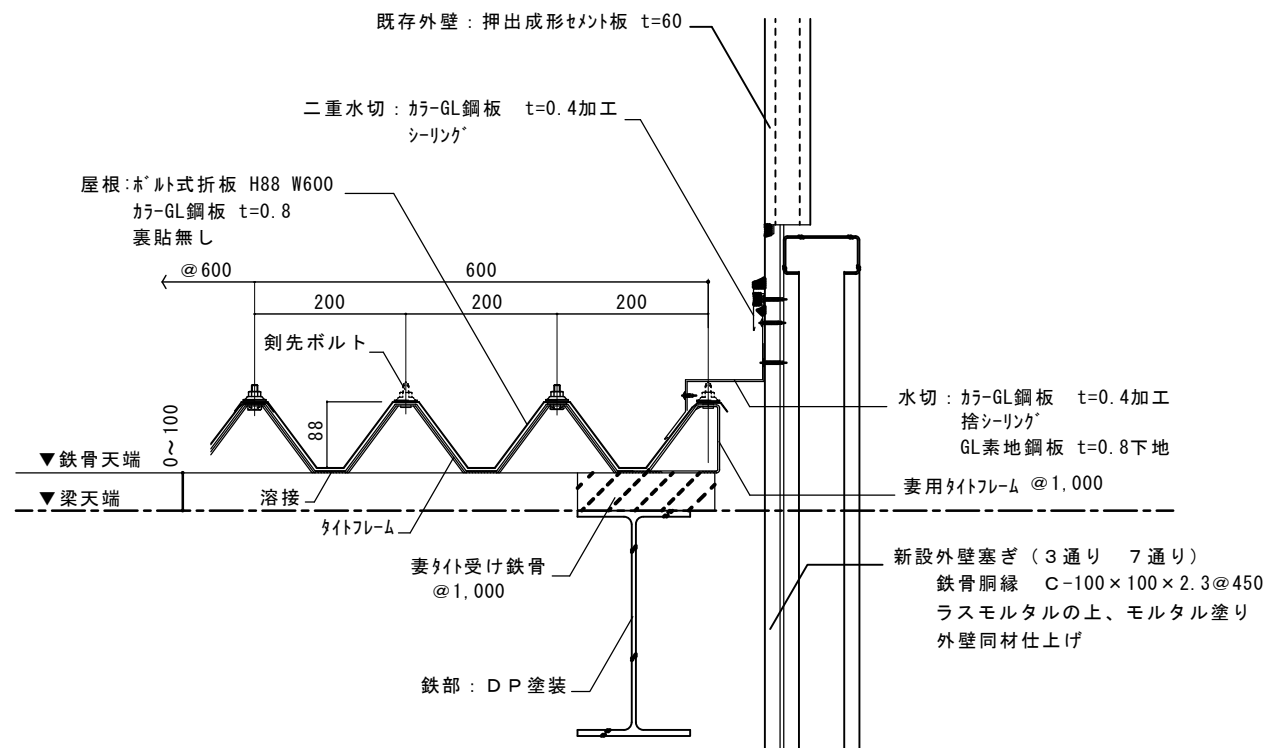
工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)
図面名称	A棟 外部改修(屋根)屋根B詳細図 2

縮尺	1/10
図番	A:2-22

A棟 屋根C 軒先・水上部分 詳細図



A棟 屋根C 流れ側 外壁取合い部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

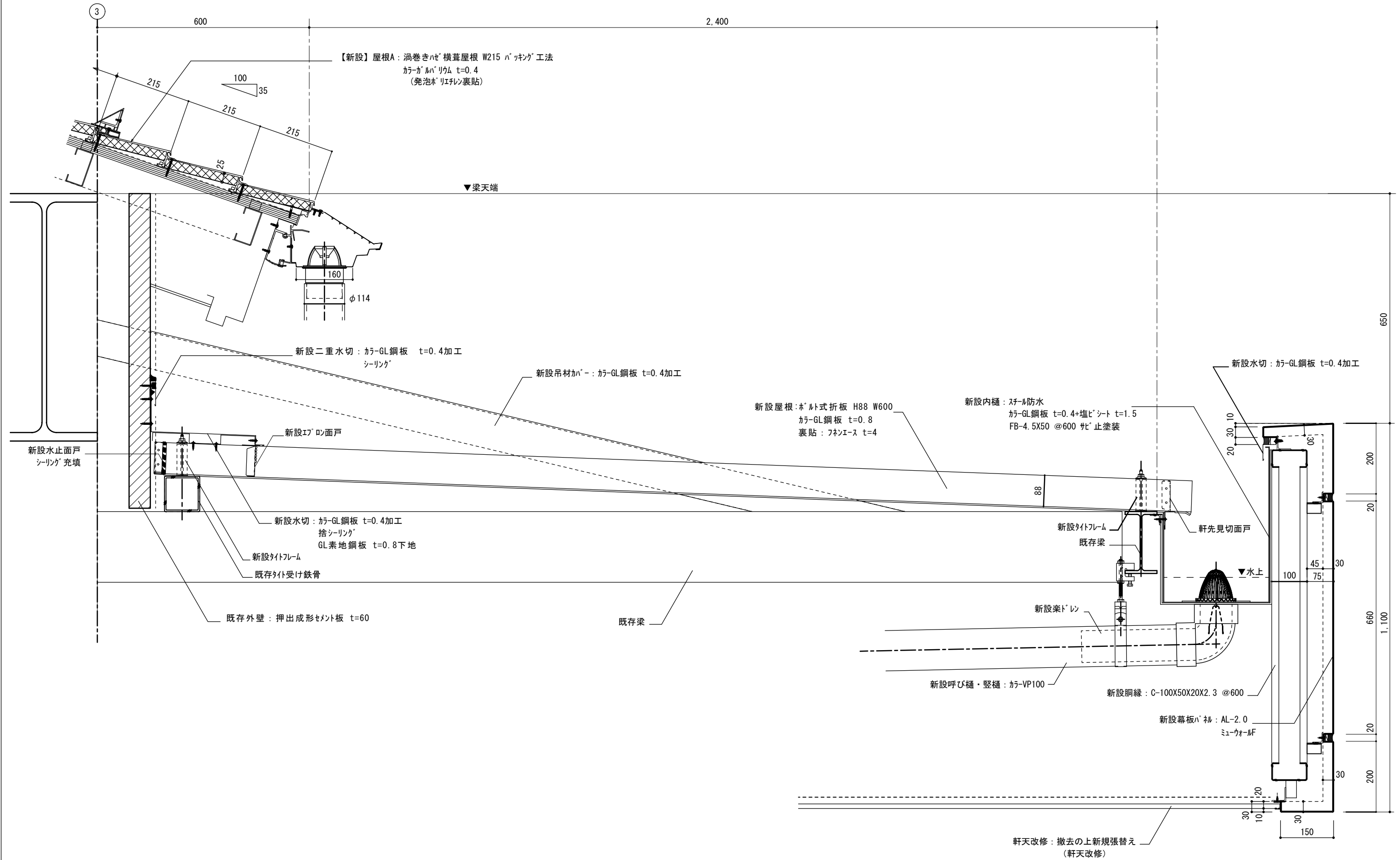
工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)

縮尺 1/10

図面名称 A棟 外部改修 (屋根) 屋根C詳細図

図番 A:2-23

承認

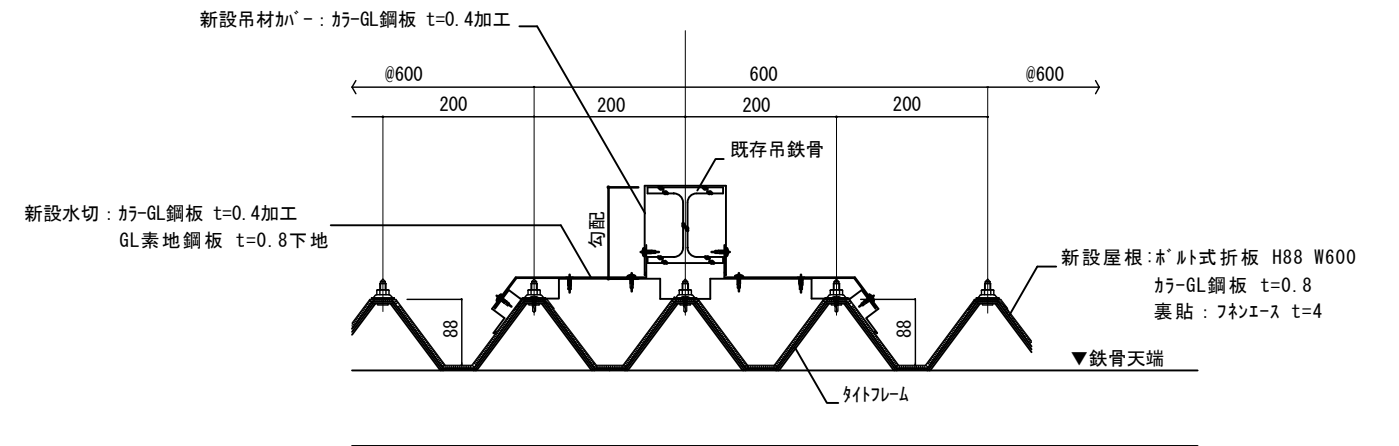
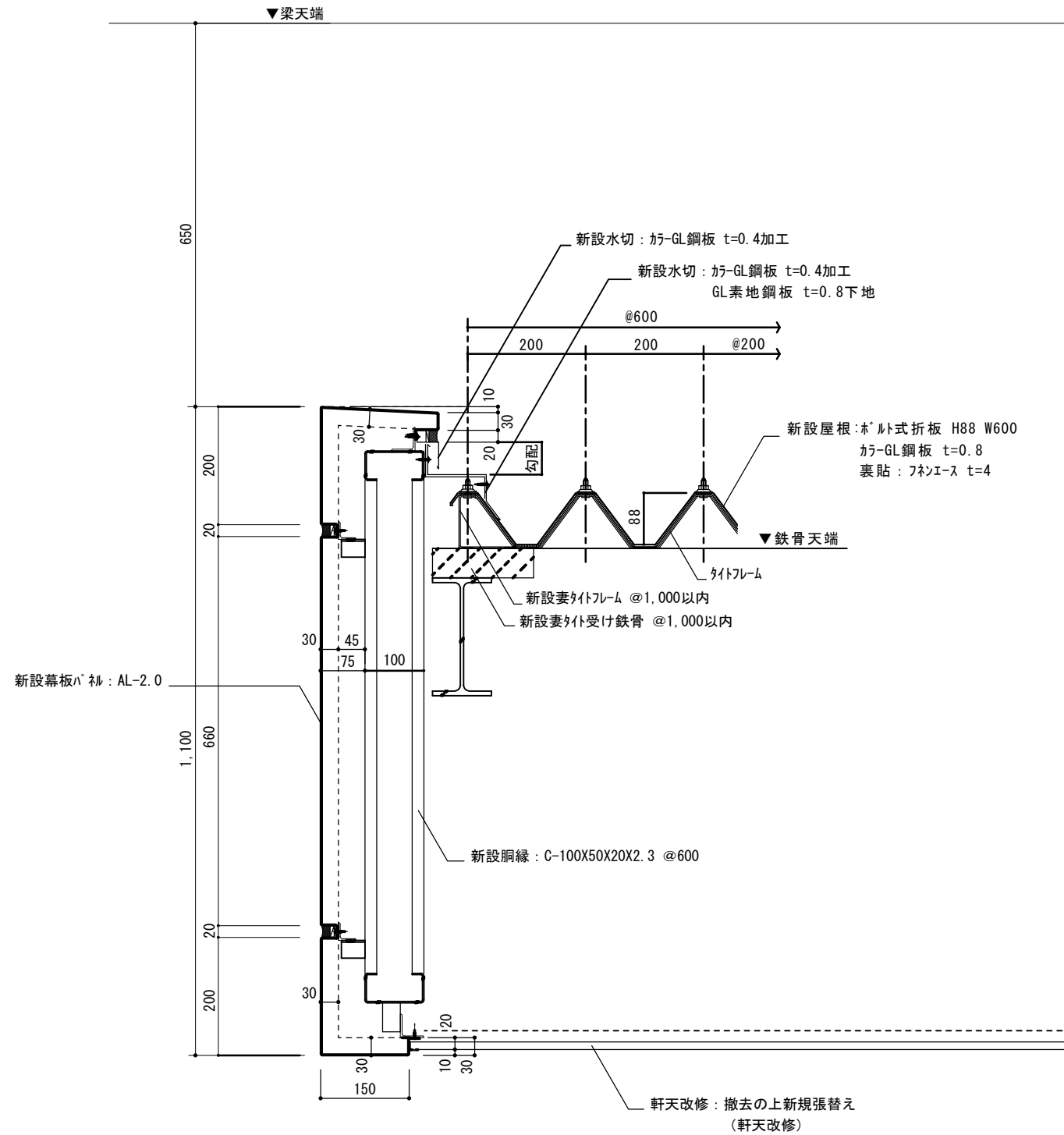


摘要

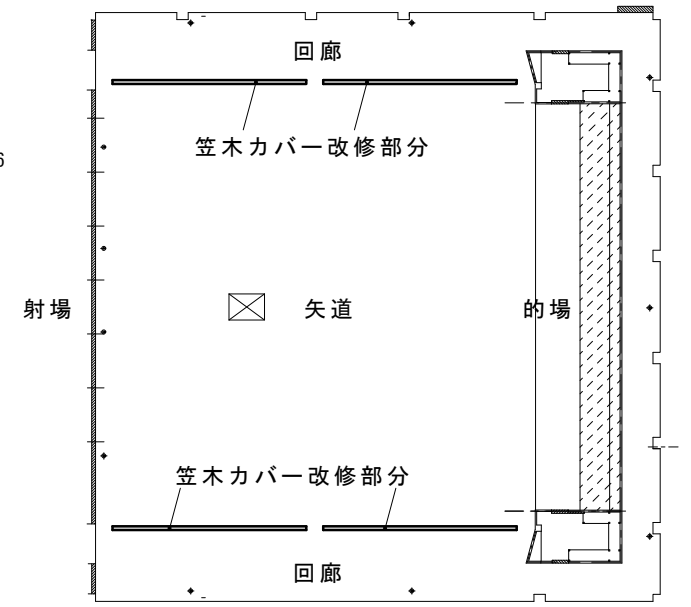
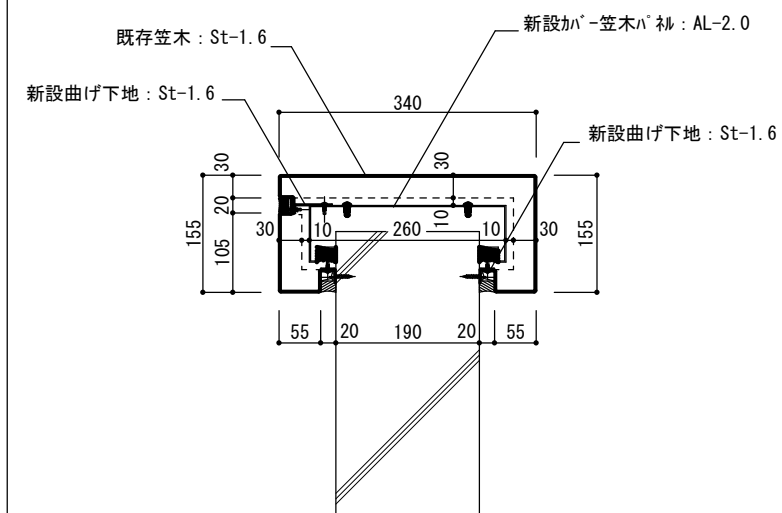
TIME	作成者
	承認

工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)
図面名称	A棟 外部改修(屋根)屋根C-2詳細図

縮尺	1/10
図番	A:2-24



笠木カバー部分 詳細図 (2階 回廊部)



笠木カバー部分 位置図 (2階 平面図)

摘要

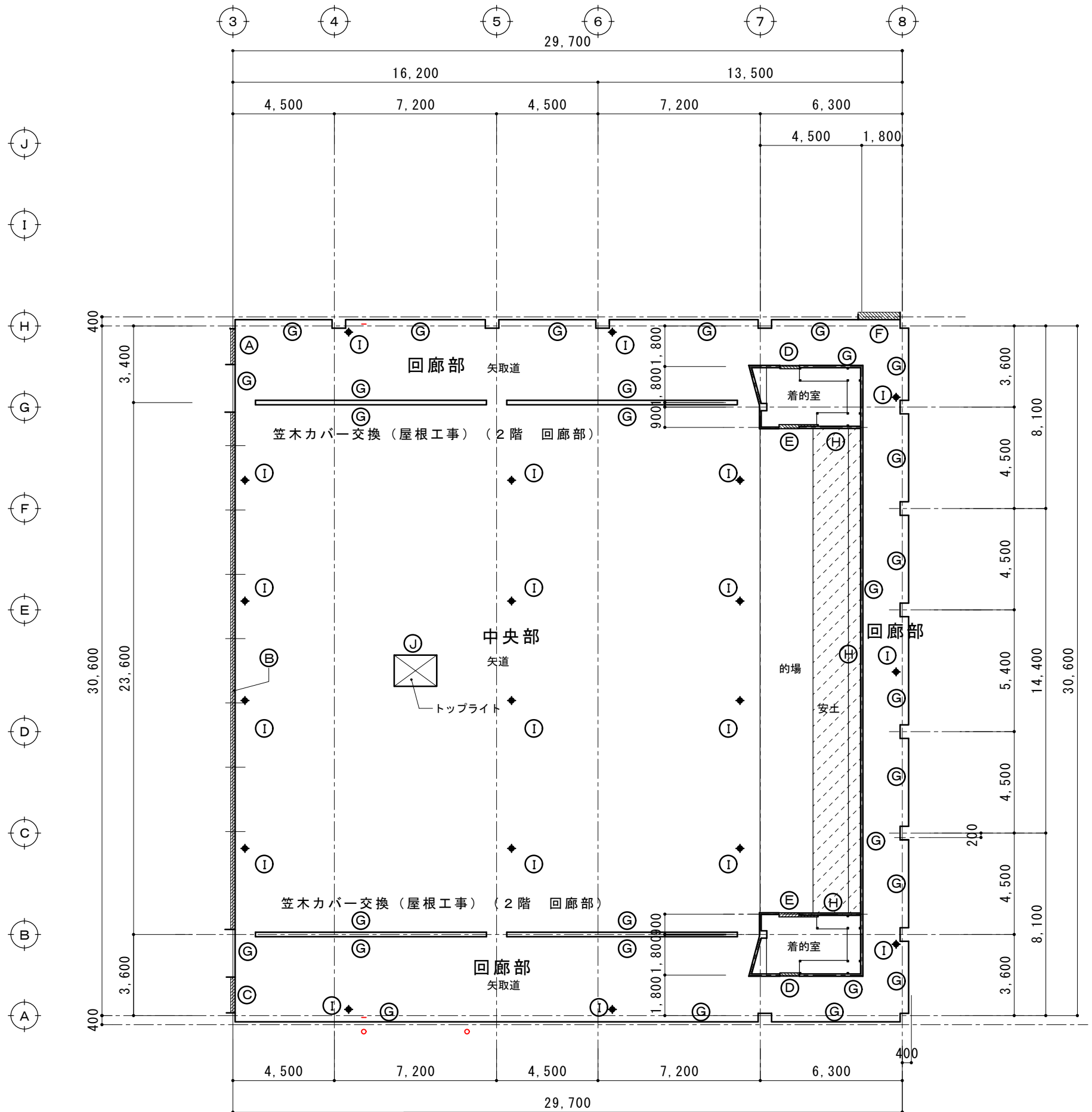
TIME	作成者
	承認

工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)
図面名称	A棟 外部改修 (屋根) 屋根C-2詳細図 2

縮尺	1/10
図番	A:2-25



- Ⓐ 3通り G-H間 ドア下立ち上がり部
- Ⓑ 3通り B-G間 シャッター下立ち上がり部
- Ⓒ 3通り A-B間 ドア下立ち上がり部
- Ⓓ 着的室（2箇所） ドア下立ち上がり部
- Ⓔ 着的室（2箇所） 引き戸下立ち上がり部
- Ⓕ H通り 屋外階段出口部
- Ⓖ 壁際立ち上がり部
- Ⓗ 安土土部分立ち上がり
- Ⓘ ルーフドレン
- Ⓙ トップライト



摘要 <hr/> <hr/>		T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
		承認		図面名称 A棟 外部（屋上防水改修） 2階屋上防水伏図	図番 A : 2-26

中央部

- 人工芝張り 撤去
- 塩ビシート防水（機械固定） 撤去
- アルミ押さえ金物 撤去
- コンクリートスラブ

周囲回廊部

- ゴムシート防水（密着） 撤去
- アルミ押さえ金物 撤去
- コンクリートスラブ

改修

平部（中央部・回廊部共）

- 弾性モルタル（ゴムチップ）
- 弾性プライマー
- 防水保護層
- 防水材（3）
- 防水材（2）
- 防水材（1）+補強クロス
- 水性プライマー

11mm

立ち上がり部（中央部・回廊部共）

- 防水保護層
- 防水材（3）
- 防水材（2）
- 防水材（1）+補強クロス
- 水性プライマー

2mm

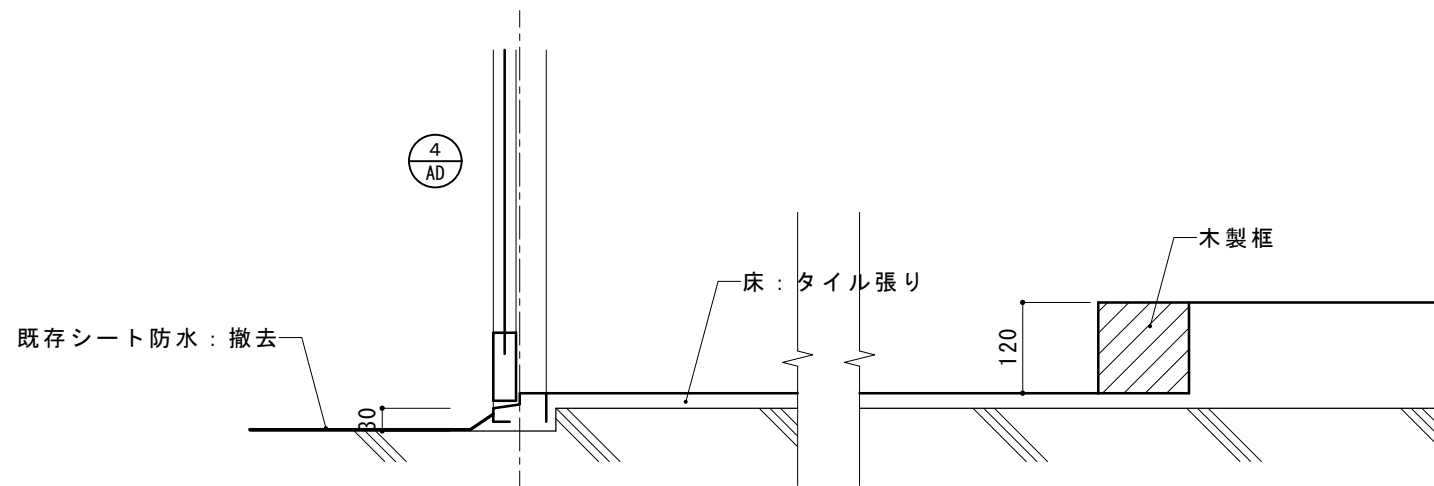
① ③ 詳細図 S=1/10

3通り G-H間 A-B間ドア下立ち上がり部

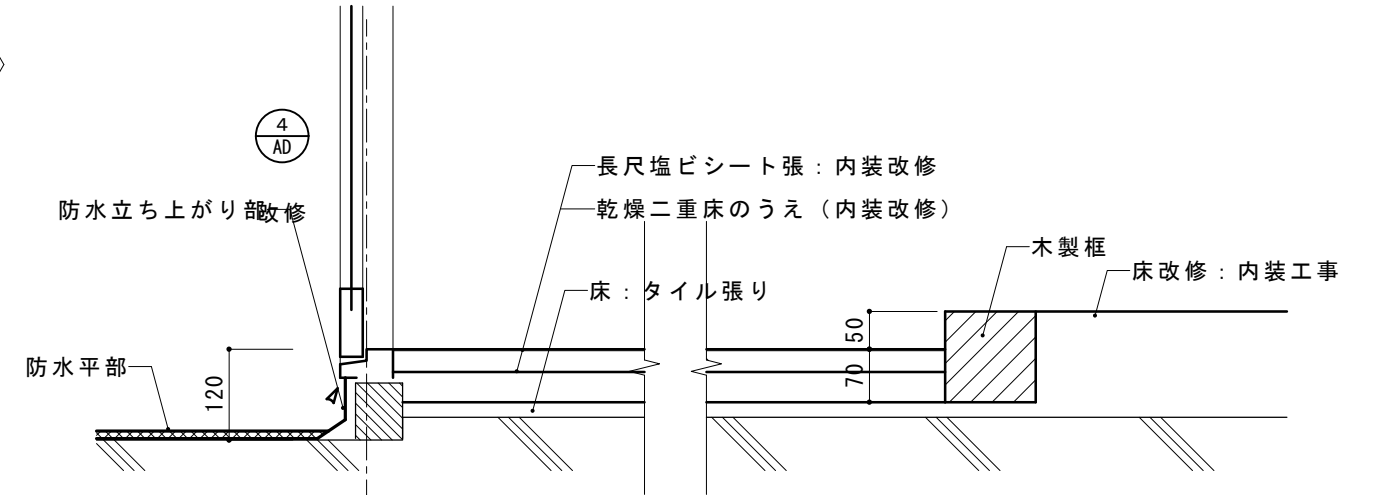
既存図

L: 1.6m × 2箇所

改修図



改修



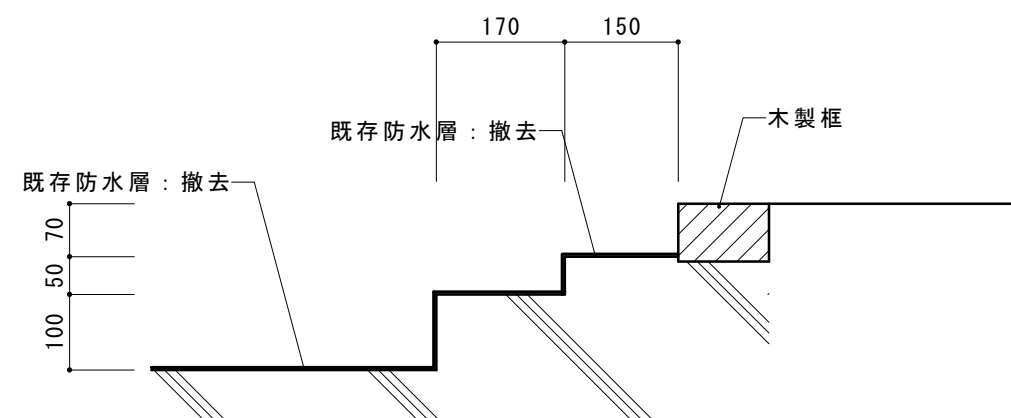
② 詳細図 S=1/10

3通り B-G間 シャッター下立ち上がり部

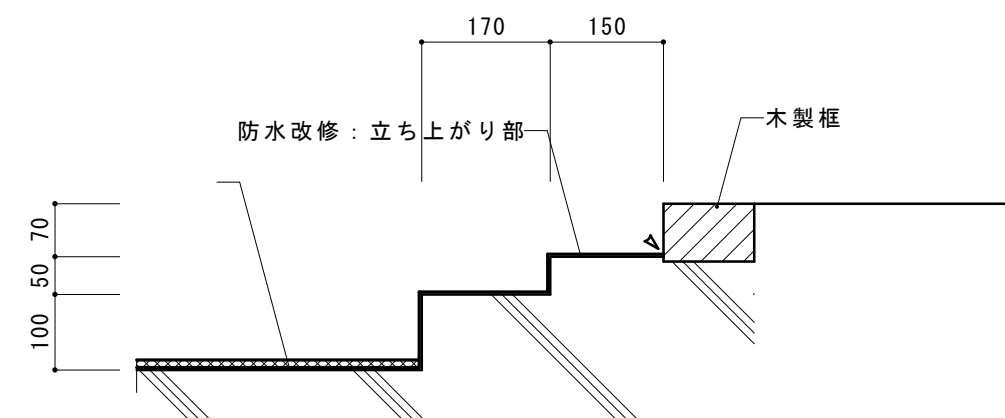
既存図

L: 22.8m

改修図



改修



摘要

TIME

作成者

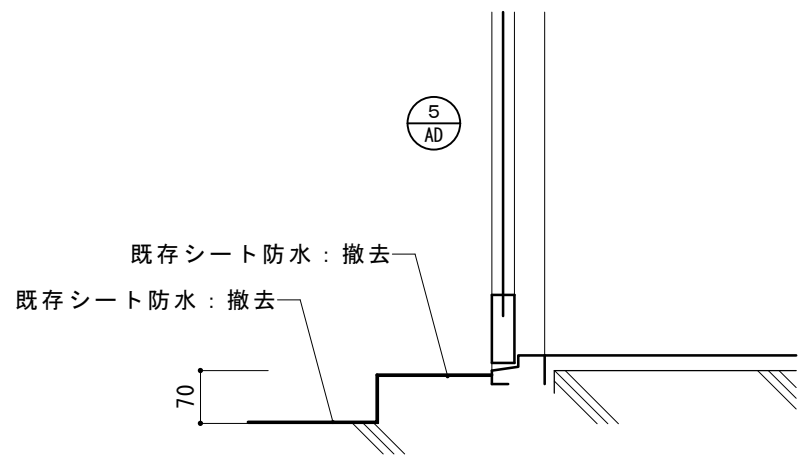
工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

縮尺 1/ 10

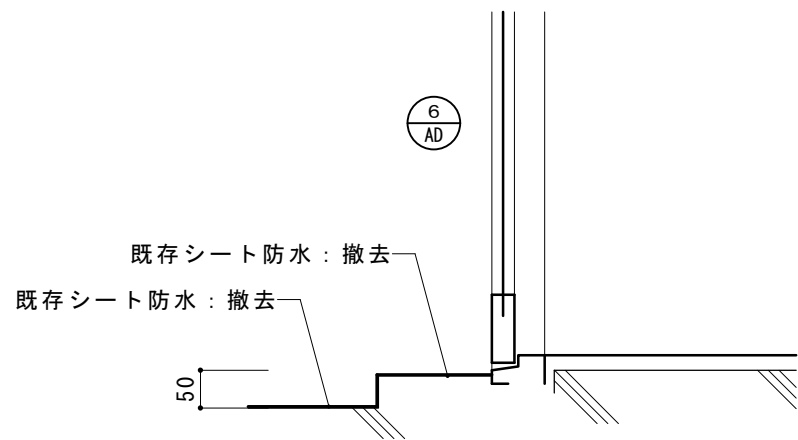
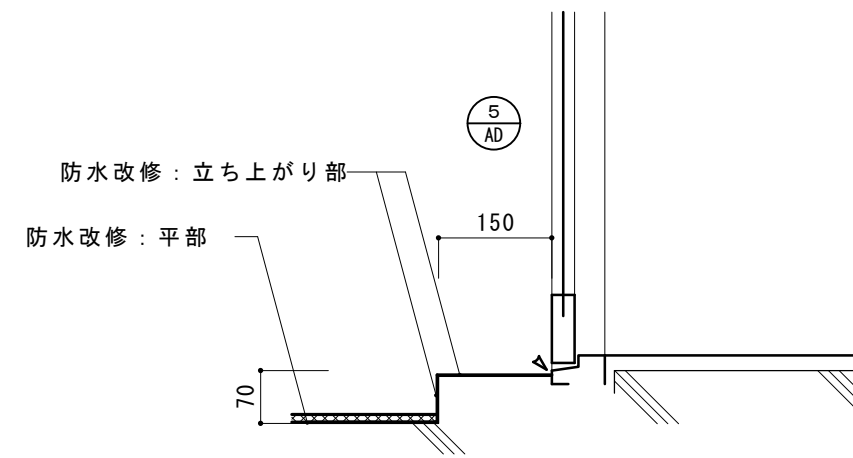
図面名称 A棟 外部（屋上防水改修）2階屋上防水改修リスト1

図番 A: 2-27

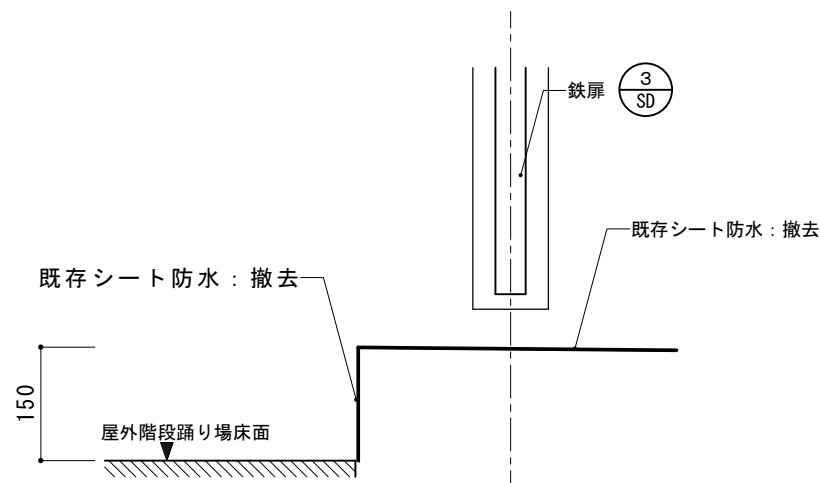
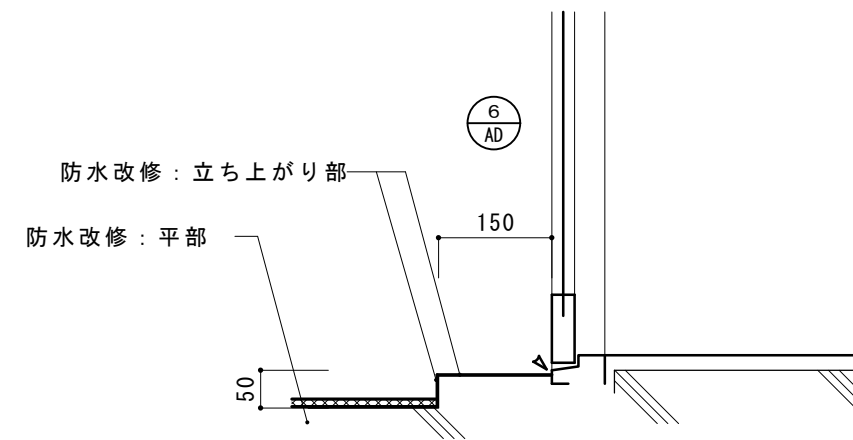
承認



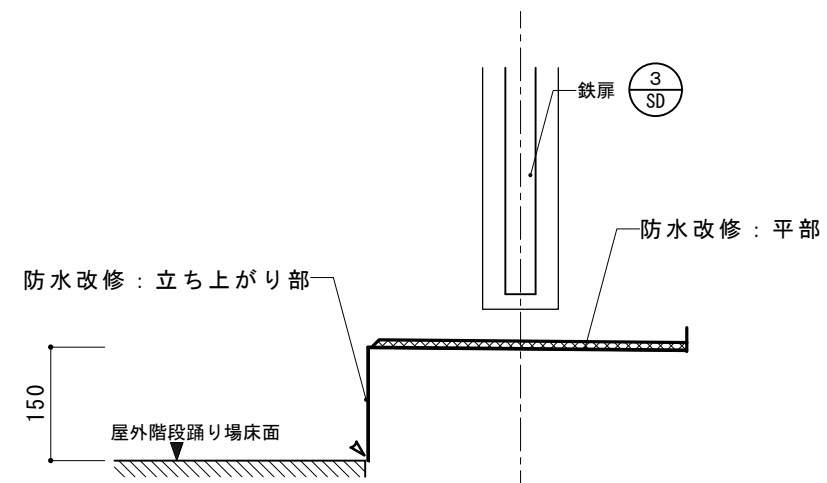
改修



改修



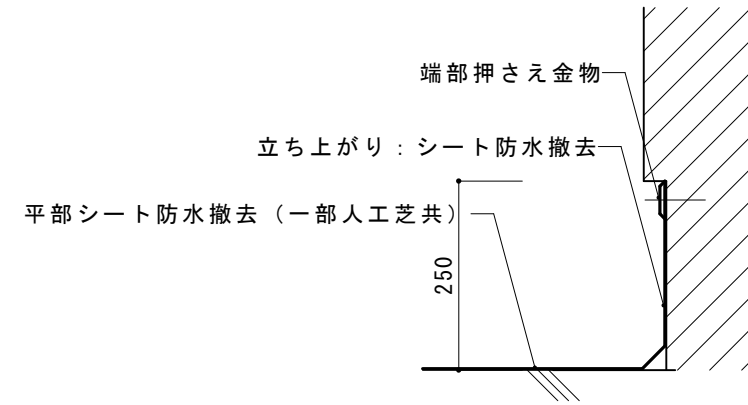
改修



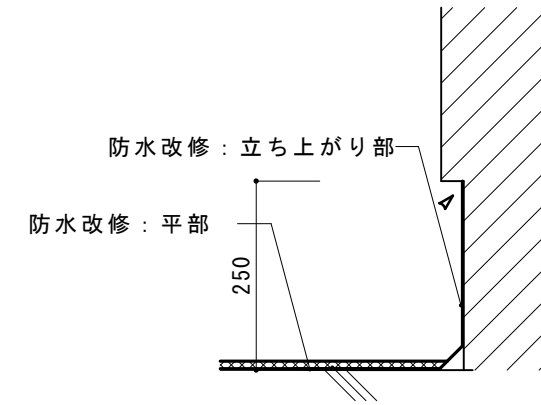
摘要 _____ _____ _____	
-------------------------------	--

T I M E	作成者
承認	

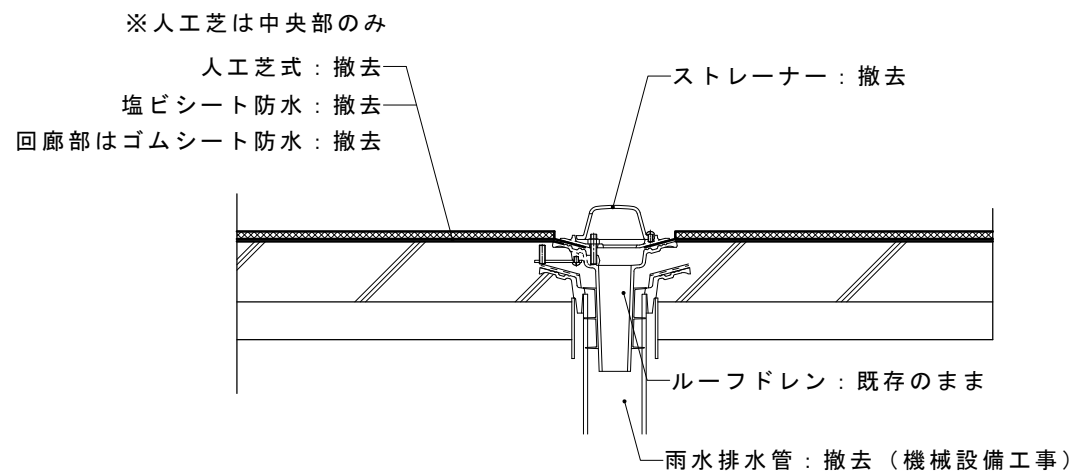
工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/ 10
図面名称 A棟 外部 (屋上防水改修) 2階屋上防水改修リスト2	図番 A : 2-28



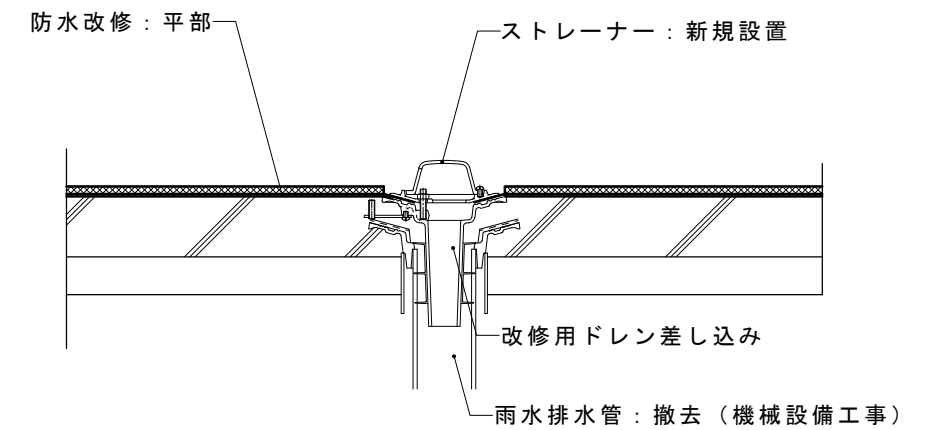
改修



改修



改修



摘要

--	--	--	--	--	--

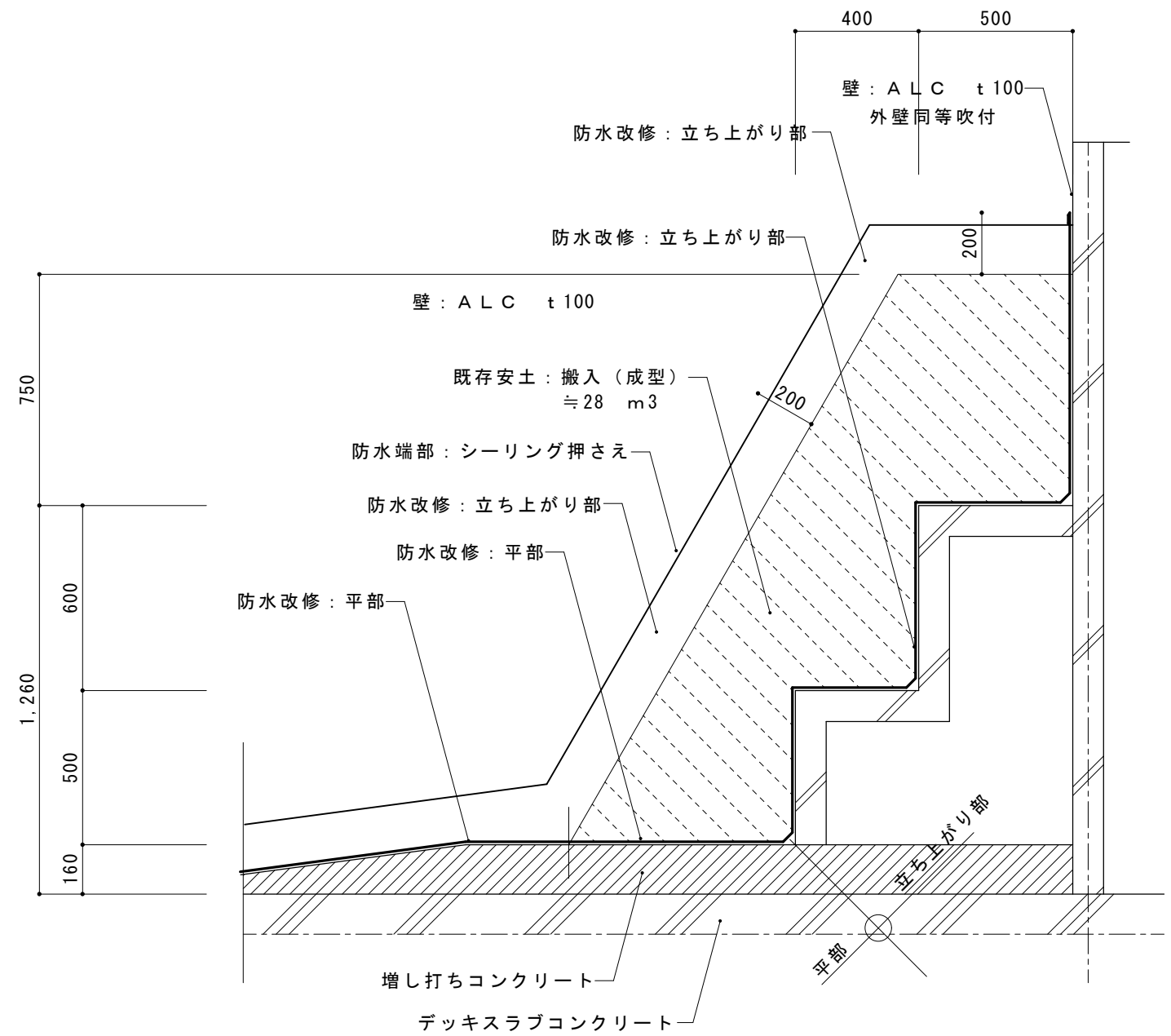
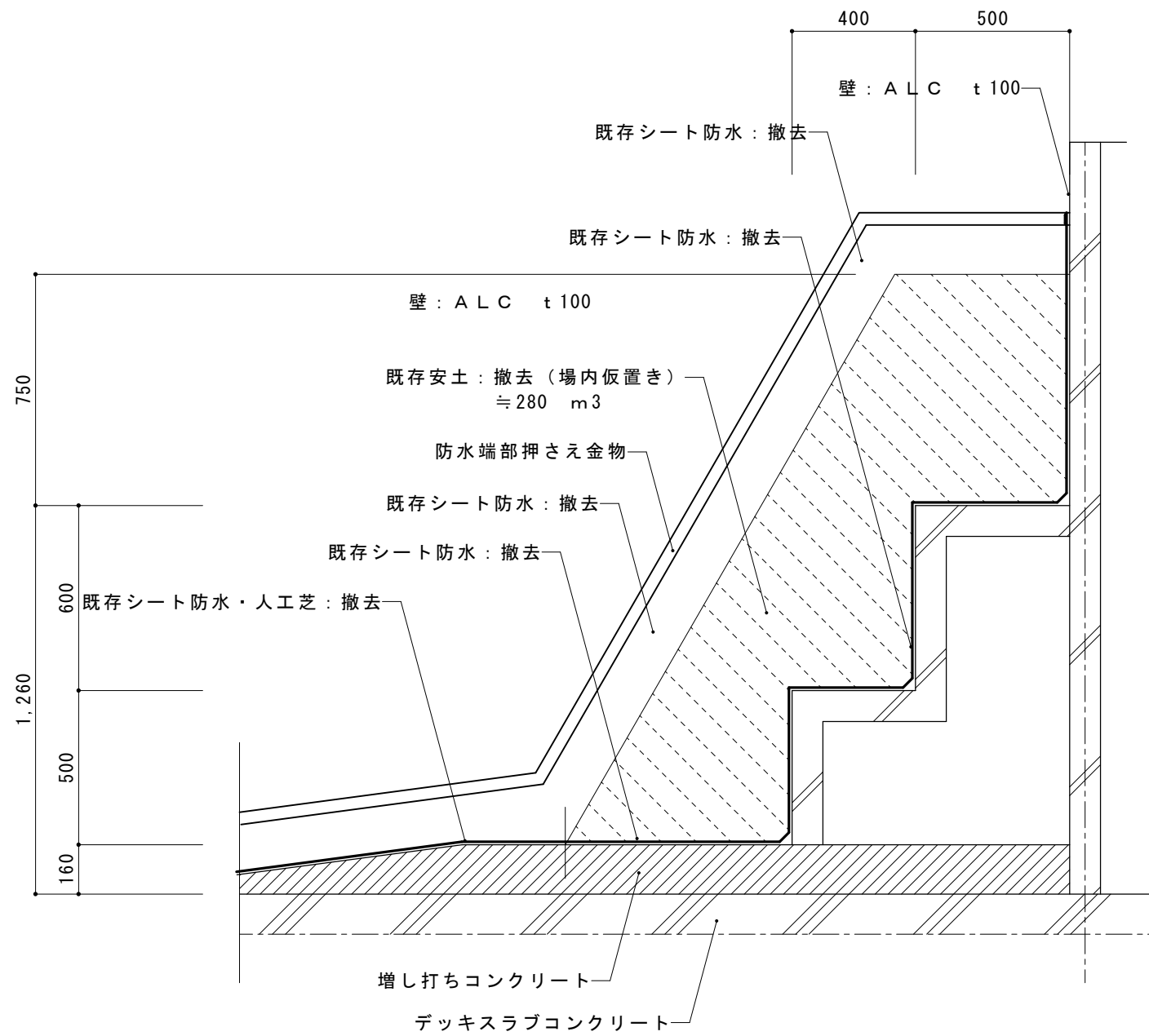
TIME

作成者
承認

工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)
図面名称	外部 (屋上防水改修) 2階屋上防水改修リスト3

縮尺	1/ 10
図番	A : 2-29

改修



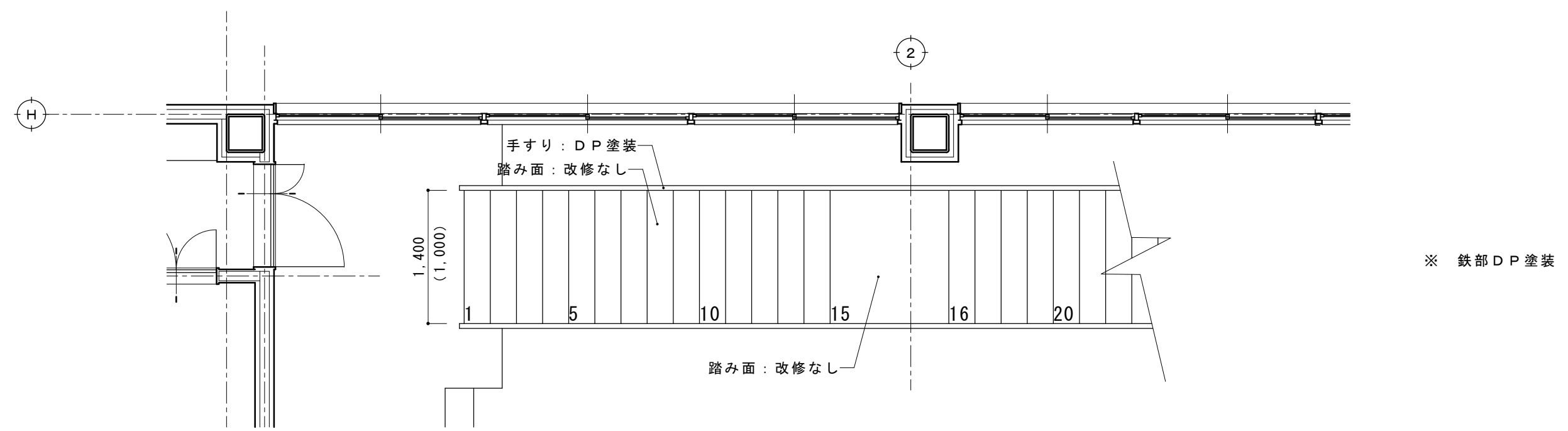
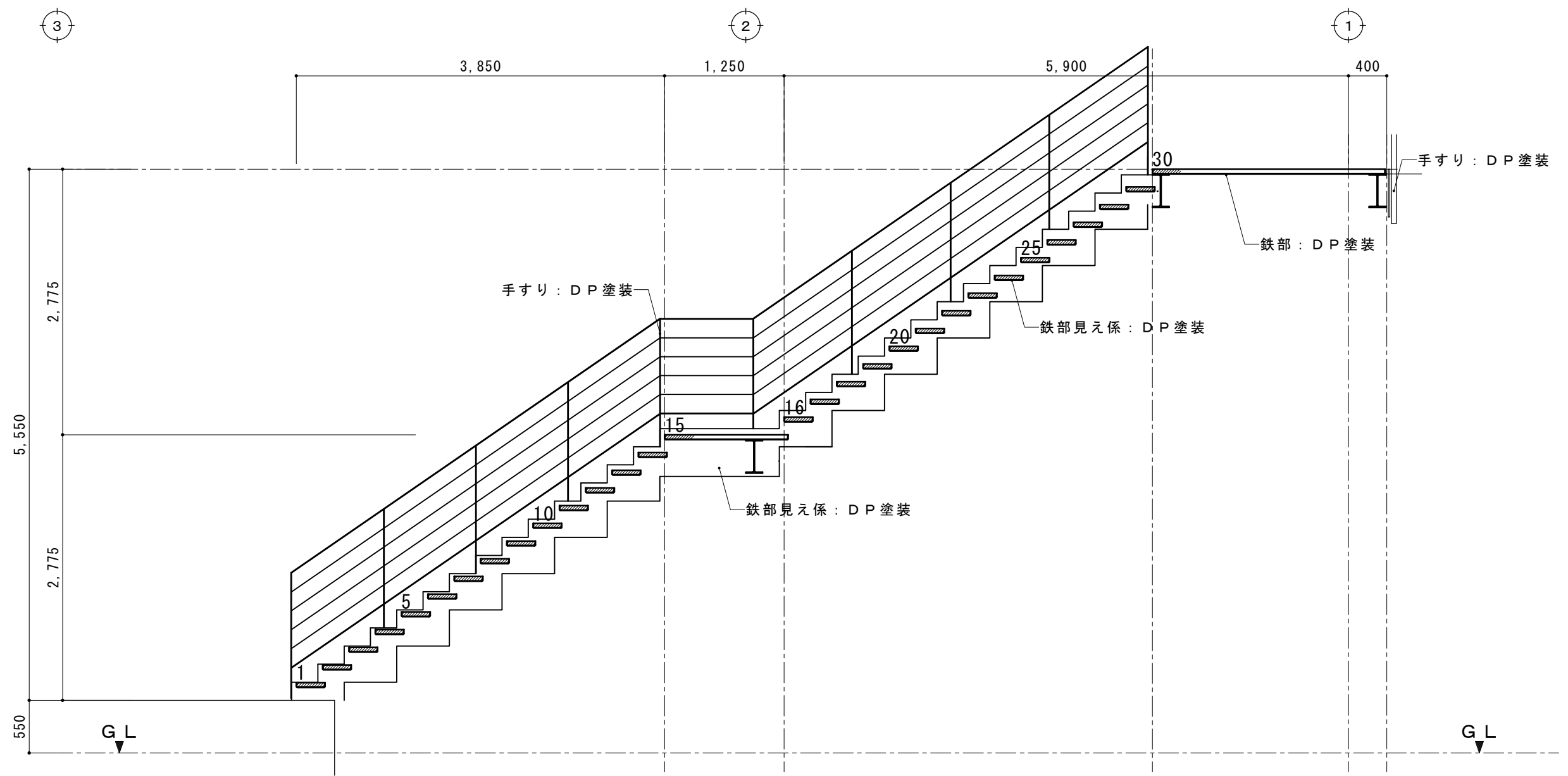
摘要

TIME

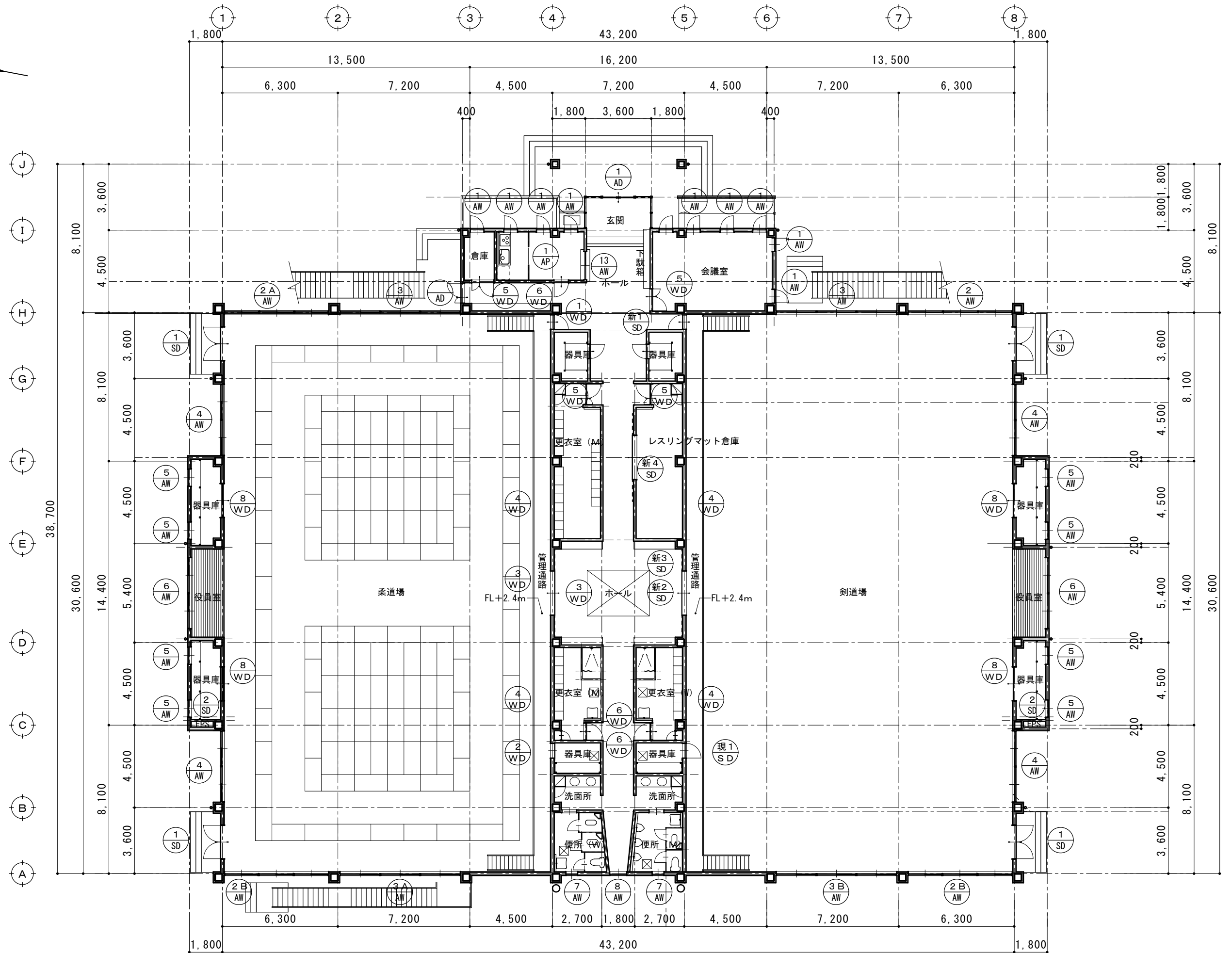
作成者
承認

工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）
図面名称	A棟 外部（屋上防水改修）2階屋上防水改修リスト4

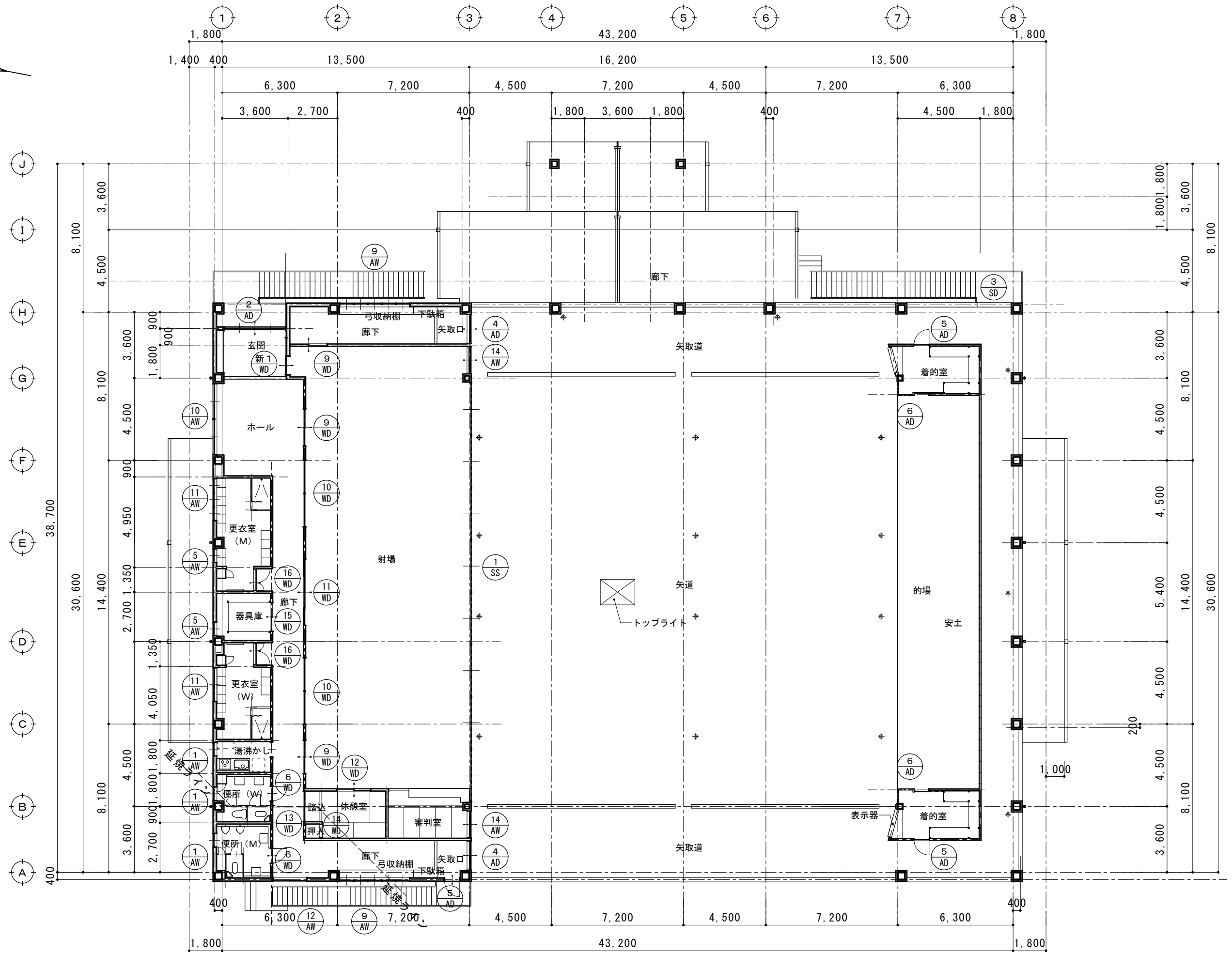
縮尺	1/ 10
図番	A : 2-30



摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/50
			承認	図面名称 A棟 外部改修 階段詳細図	図番 A:2-31



摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/200
			承認	図面名称 A棟 建具改修 1階建具配置図	図番 A-3-01



摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/200
				図面名称	A棟 建具改修 2階建具配置図	図番	A-3-02
			承認				

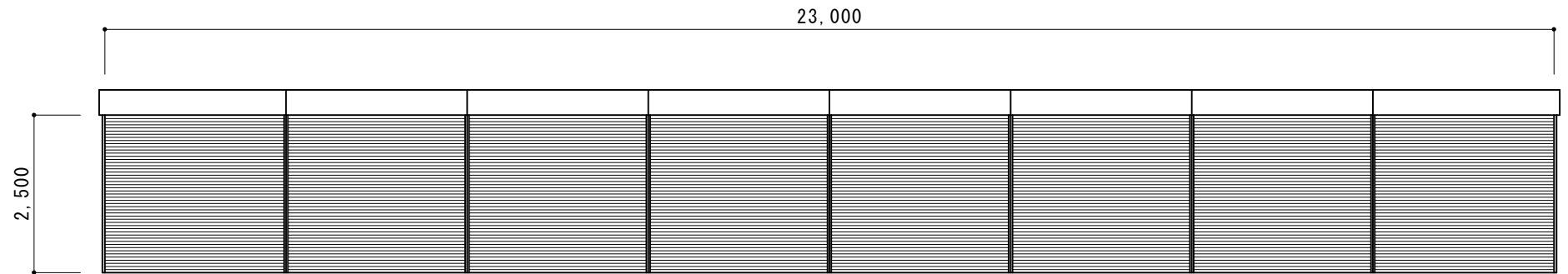
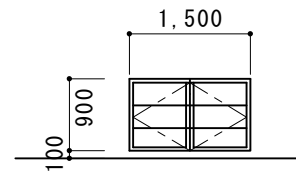
AD-1	既存仕様	アルミ引き戸（自動ドア）	AD-2	既存仕様	アルミ引き戸（自動ドア）	AD-3	既存仕様	アルミ親子ドア
1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装
<p>平面図 姿図 1階玄関</p>			<p>2階玄関</p>			<p>1階玄関廊下</p>		

AD-4 AD-4'	既存仕様	アルミドア DC シリンダー錠	AD-5	既存仕様	アルミドアOP DC シリンダー錠	AD-6	既存仕様	アルミドアOP DC シリンダー錠
各1箇所	改修内容	AW4：建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え AW4'：建具取り換え 額縁：OP塗装	3箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装
<p>AD-4 撤去 新設 1,610 650 1,900 100 1,820 2階廊下（東西）</p>			<p>2階着的室 2階廊下</p>			<p>2階着的室</p>		

AG-1	既存仕様	アルミ製ガラリ（FIX）	SD-1	既存仕様	スチールドアOP DC シリンダー錠	SD-2	既存仕様	スチールドアOP
38箇所	改修内容	AW4：建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え	4箇所	改修内容	DP塗装 額縁：UC塗装	2箇所	改修内容	DP塗装 額縁：UC塗装
			<p>1階 柔道場 剣道場</p>			<p>PS</p>		

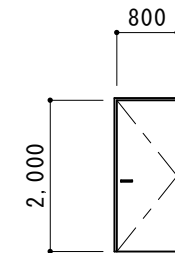
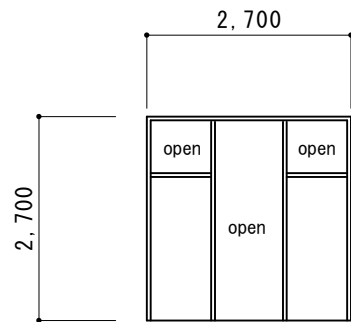
概要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 A棟 建具改修 建具表1（金属製建具）	図番 A-3-03

SD-3	既存仕様	スチール製格子戸 OP	SS-1	既存仕様	8連軽量スチールシャッター
1箇所	改修内容	DP塗装 動作確認の上調整	1箇所	改修内容	全撤去の上新規取付 軽量スチールシャッター 天井内収まり



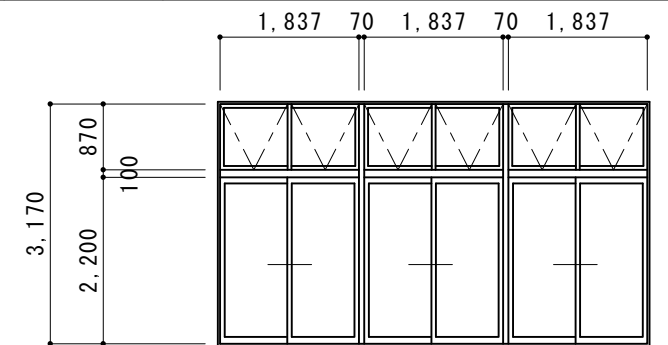
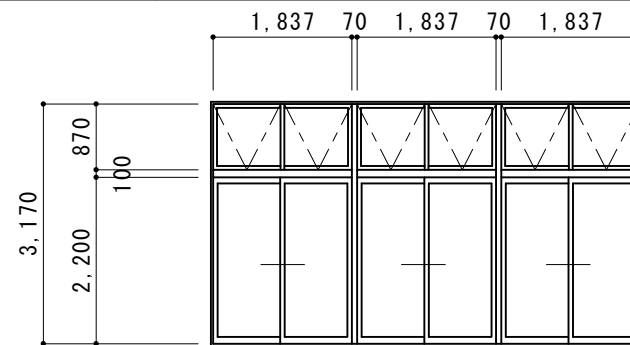
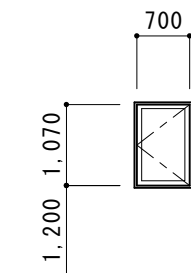
2階 射場

AP-1	既存仕様	アルミパーテーション				SD-現1	既存仕様	型開きスチールドア
1箇所	改修内容					1箇所	改修内容	両面・枠共 OP塗り



剣道場器具庫

AW-1	既存仕様	アルミ型開き窓 ハンドル アームストッパー他	AW-2	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	AW-2A	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8
12箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 遮光カーテン (3,000×3,200) 2台×1か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 張替え	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 遮光カーテン (3,000×3,200) 2台×か所所 撤去・新設 網戸：950×2,200 張替え



1階会議室 湯沸かし室 2階便所

1階 剣道場

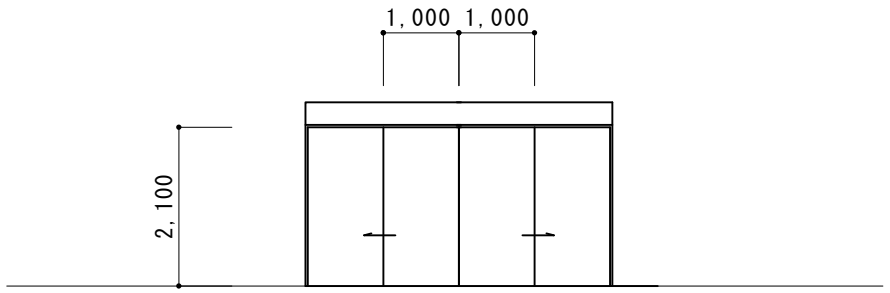
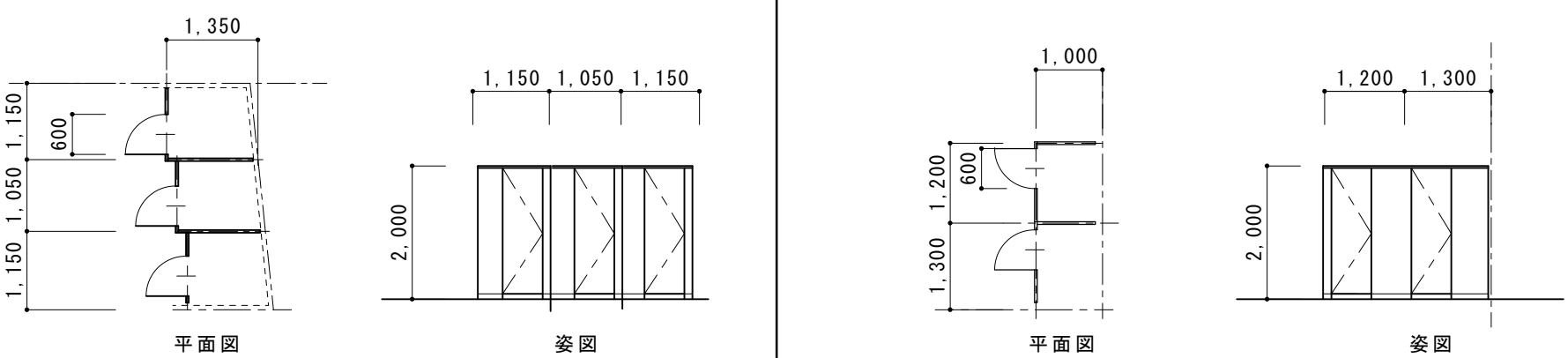
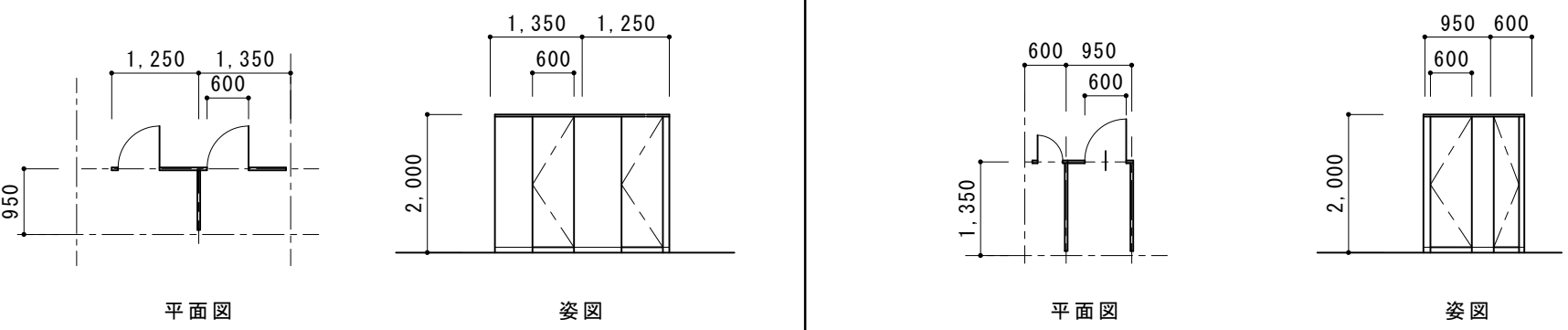
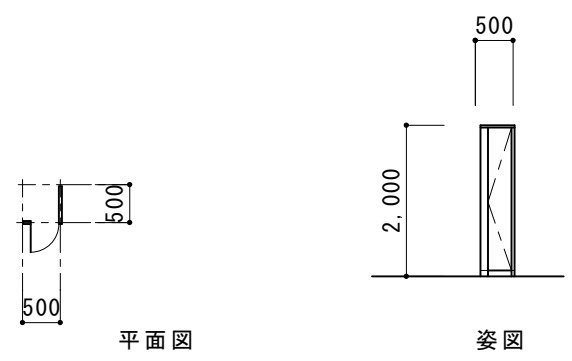
1階 柔道場

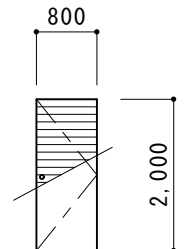
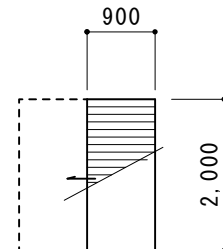
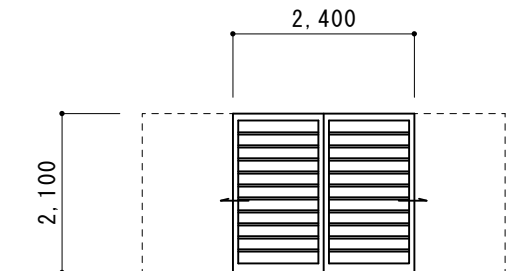

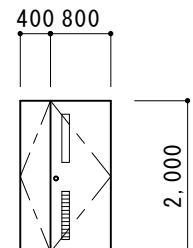
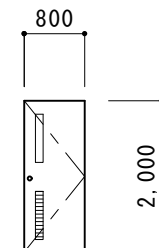
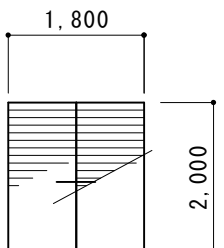
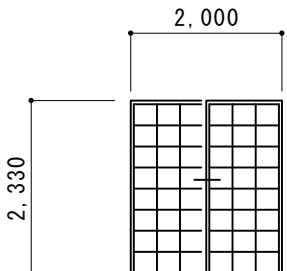
摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 建具改修 建具表2 (金属製建具)	図番	A-3-04

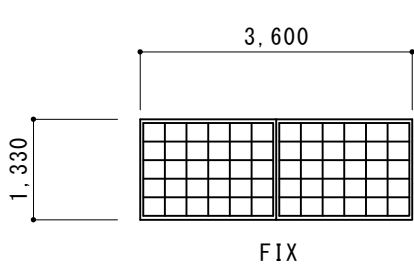
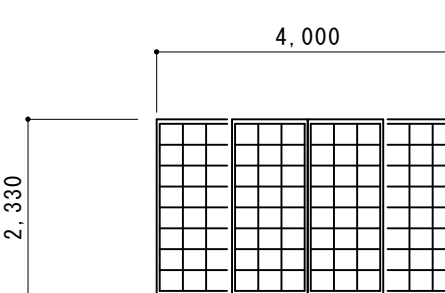
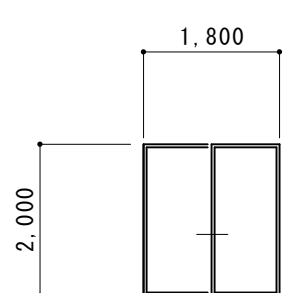
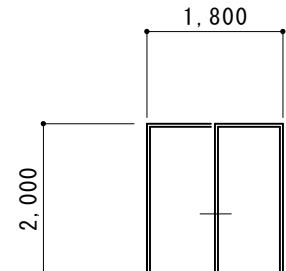
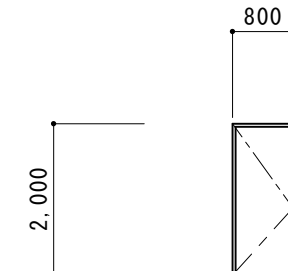
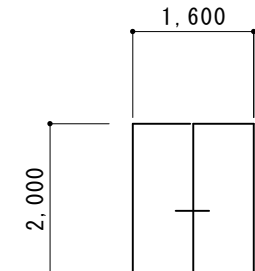
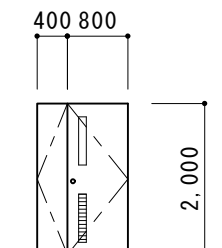
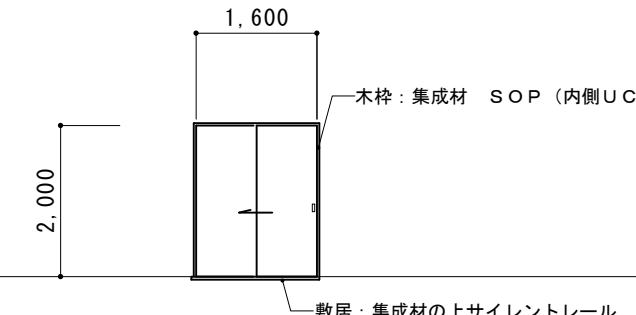
AW-2B	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	AW-3	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	AW-3A	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8
2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 遮光カーテン (3,000×3,200) 2台×2か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×2張替え	2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 遮光カーテン (3,400×3,200) 2台×2か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×2張替え	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 遮光カーテン (3,400×3,200) 2台×1か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×1張替え
1階 柔道場 剣道場			1階 柔道場 剣道場			1階 柔道場		
AW-3B	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	AW-4	既存仕様	アルミ 欄間外倒し 引き違い段窓 PWC6.8	AW-5	既存仕様	アルミ 外倒窓 PWC6.8
1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 遮光カーテン (3,400×3,200) 2台×1か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 3本×1張替え	4箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 遮光カーテン (2,000×3,200) 2台×1か所 撤去・新設 網戸：950×2,200 1本×4張替え	10箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装
1階 剣道場			1階 剣道場 柔道場			1階 柔道条剣道場 器具庫 2階更衣室		
AW-6	既存仕様	アルミ引き違い窓 クレセント他 PW6.8	AW-7	既存仕様	アルミ 片開き F I X段窓 F4	AW-8	既存仕様	アルミ 外倒し 引き違い段窓 F4
2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装	2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装
1階 柔道条剣道場 役員室			1階 便所			1階 廊下突き当り		

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 建具改修 建具表3 (金属製建具)	図番	A-3-05
			承認				

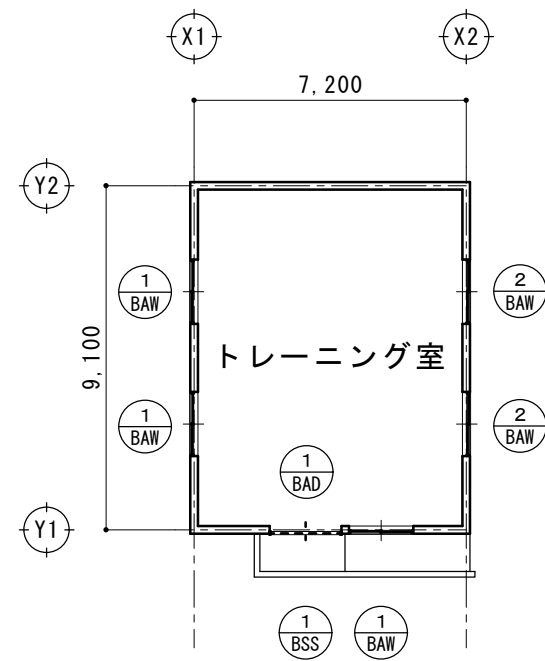
AW-9	既存仕様	アルミ 外倒し窓	AW-10	既存仕様	アルミ 引き違い段窓 FL3 FL5	AW-11	既存仕様	アルミ 外倒し窓
2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装 網戸：950×2,200 1本×1張替え	2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装
2階 廊下			2階 ホール			2階 更衣室		
AW-12	既存仕様	アルミ 引き違い段窓 FL3 FL5	AW-13	既存仕様	アルミ 引き違い窓 FL3	AW-14	既存仕様	アルミ 外倒窓 PWC6.8
1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	1箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：OP塗装	2箇所	改修内容	建具清掃 建具周りシーリング撤去・打ち換え 額縁：UC塗装
2階 廊下			1階 管理室カウンター			2階 射場 審判室		
SD-新1	既存仕様	スチールドア(常時閉鎖特定防火設備)	SD-新2	既存仕様	スチール引き分け戸(常時閉鎖特定防火設備)ハンガー	SD-新3	既存仕様	スチール片引き戸(常時閉鎖特定防火設備)ハンガー
2箇所	改修内容	既存ドア撤去の上 新設 LSD 額縁：木製額縁取付 剣道場側UC 廊下側OP	1箇所	改修内容	既存ドア撤去の上 新設 LSD 額縁：木製額縁取付 剣道場側UC 廊下側OP	1箇所	改修内容	管理通路への廊下から階段を設置 LSD 額縁：木製額縁取付 剣道場側UC 廊下側OP
<p>常時閉鎖特定防火設備</p>			<p>常時閉鎖特定防火設備</p>			<p>常時閉鎖特定防火設備</p>		
1階 剣道場入り口 剣道場器具庫			1階 剣道場入り口			1階 剣道場入り口(廊下～管理通路へ)		
<p>概要</p>			<p>TIME</p>			<p>作成者</p>		
						<p>工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)</p>		
						<p>図面名称 A棟 建具改修 建具表4(金属製建具)</p>		
						<p>縮尺 1/100</p>		
						<p>図番 A-3-06</p>		

SD-新4	既存仕様	軽量スチール引き分け戸 (アウトセット) (ハンガー)						
1箇所	改修内容	レスリングマット倉庫						
 <p>1階 レスリングマット倉庫</p>								
TB-1	既存仕様	化粧鋼板 (焼付) 撤去	TB-2	既存仕様	化粧鋼板 (焼付) 撤去			
1箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式	1箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式			
 <p>1階 便所 (W)</p> <p>1階 便所 (M)</p>								
TB-3	既存仕様	化粧鋼板 (焼付) 撤去	TB-4	既存仕様	化粧鋼板 (焼付) 撤去	TB-5	既存仕様	化粧鋼板 (焼付) 撤去
1箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式	1箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式	1箇所	改修内容	メラミン化粧合板張り 新設 SUS巾木 付属品一式
 <p>2階 便所 (W)</p> <p>2階 便所 (M)</p>			 <p>2階 便所 (W)</p>					
<p>概要</p>			<p>TIME</p>			<p>作成者</p>		
<p>工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)</p>			<p>縮尺 1/100</p>			<p>図面名称 A棟 建具改修 建具表5 (トイレ-ス)</p>		
<p>図番 A-3-07</p>			<p>承認</p>			<p>図番 A-3-07</p>		

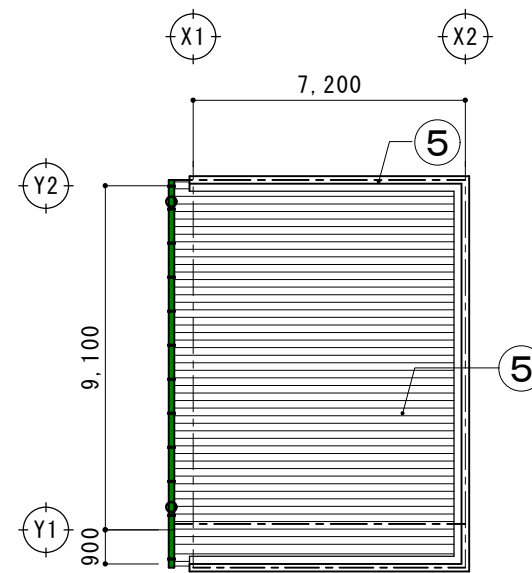
WD-1	既存仕様	木製フラッシュ片開き戸 両面合板張り	WD-2	既存仕様	木製フラッシュ片引き戸 両面合板張り	WD-3	既存仕様	木製引き分け格子戸	
1箇所	改修内容	撤去 4方枠：UC塗装 新設：両面シナ合板 t5.5 UC・SOP DC 握り玉 附属品一式	1箇所	改修内容	4方枠：SOP塗装 SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	1箇所	改修内容	建具・4方枠：UC塗装 廊下側SOP SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	
見込み35 									
柔道場			1階器具庫			1階柔道場			
WD-4	既存仕様	木製フラッシュ引き分け戸 両面合板張り	WD-5	既存仕様	木製フラッシュ親子開き戸 両面合板張り	WD-6	既存仕様	木製フラッシュ片開き戸 両面合板張り	
4箇所	改修内容	改修なし 4方枠取り換え：UC	4箇所	改修内容	撤去 新設：両面シナ合板 t5.5 UC 4方枠：SOP DC 握り玉 附属品一式	4箇所	改修内容	撤去 新設：両面シナ合板 t5.5 UC 4方枠：SOP DC 握り玉 附属品一式	
									
剣道場 柔道場			1階更衣室			1階更衣室 2階便所			
	既存仕様		WD-8	既存仕様	木製フラッシュ引き違い戸 両面合板張り	WD-9	既存仕様	木製引き違い障子	
	改修内容		4箇所	改修内容	4方枠：UC塗装 SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	3箇所	改修内容	4方枠 UC塗装（内側SOP） SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	
									
			1階 柔道場 剣道場 器具庫			2階射場			
摘要					TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）		縮尺 1/100
						承認	図面名称 A棟 建具改修 建具表6（木製建具）		図番 A-3-08

WD-10	既存仕様	木製引き違い障子	WD-11	既存仕様	木製4本建て引き分け障子	WD-12	既存仕様	木製引き違い戸襖
2箇所	改修内容	建具・4方枠：UC塗装（内側SOP）	1箇所	改修内容	建具・4方枠 UC塗装（内側SOP） SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	1箇所	改修内容	片面襖紙張替え SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車
								
2階射場			2階射場					
WD-13	既存仕様	木製引き違い戸襖	WD-14	既存仕様	木製片開き戸襖	WD-15	既存仕様	木製フラッシュ引き違い戸
1箇所	改修内容	片面襖紙張替え SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車	1箇所	改修内容	片面襖紙張替え	1箇所	改修内容	4方枠 UC塗装（内側SOP） SUS製サイレントレール 戸車交換：SUSサイレント戸車
								
2階休憩室			2階休憩室			2階器具庫		
WD-16	既存仕様	木製フラッシュ親子開き戸 両面合板張り	WD-新1					
2箇所	改修内容	撤去 3方枠 SOP 新設：両面シナ合板 t5.5 UC DC 握り玉 附属品一式	1箇所	新設	木製アウトセット片引き戸 両面シナ合板 t5.5 UC SUS製サイレントレール 再サイレント戸車			
								
2階更衣室								

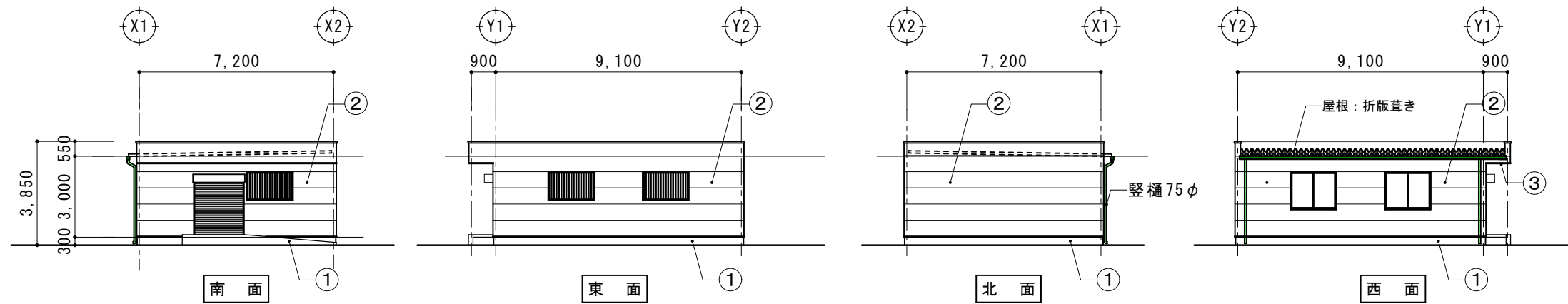
摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺	1/100
				図面名称	A棟 建具改修 建具表7（木製建具）	図番	A-3-09



平面図 S = 1/200

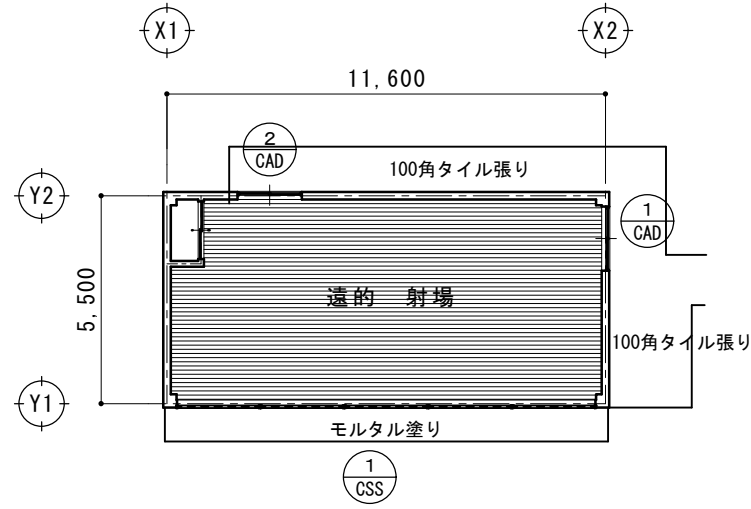


屋根伏図 S = 1/200

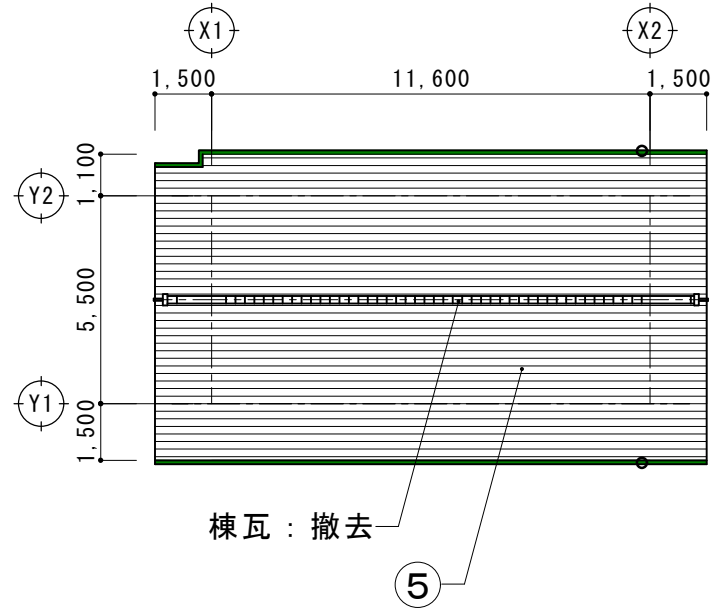


立面図 S = 1/200

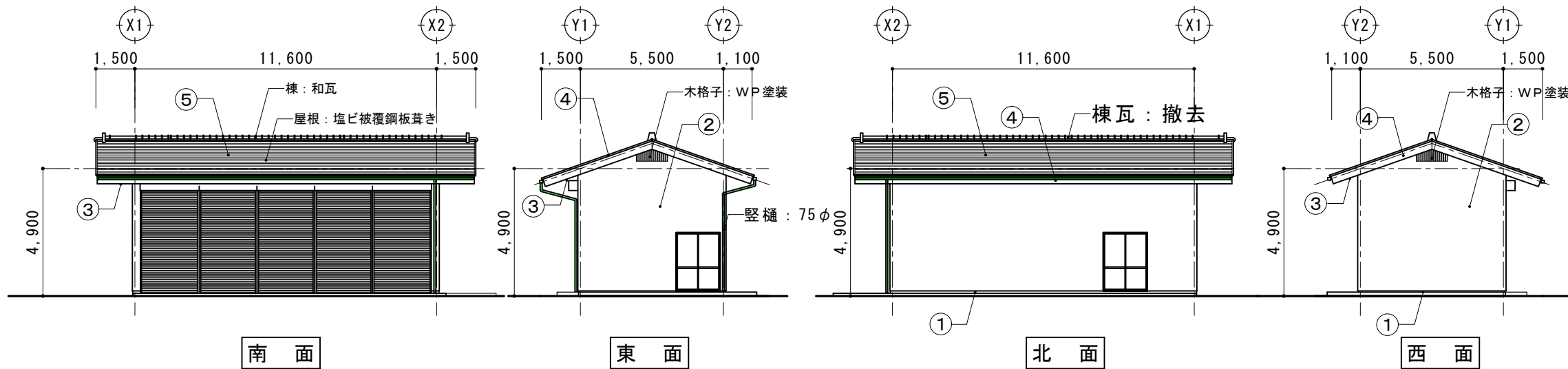
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
			承認		



平面図 S = 1/200



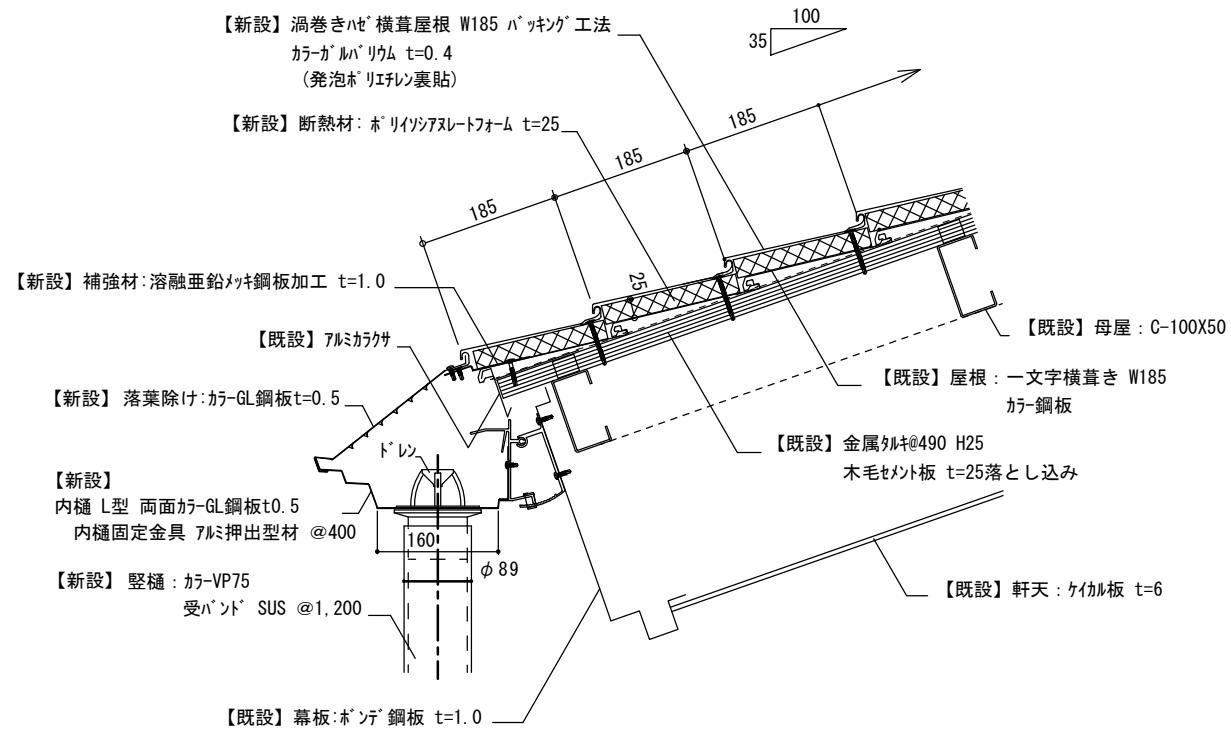
屋根伏図 S = 1/200



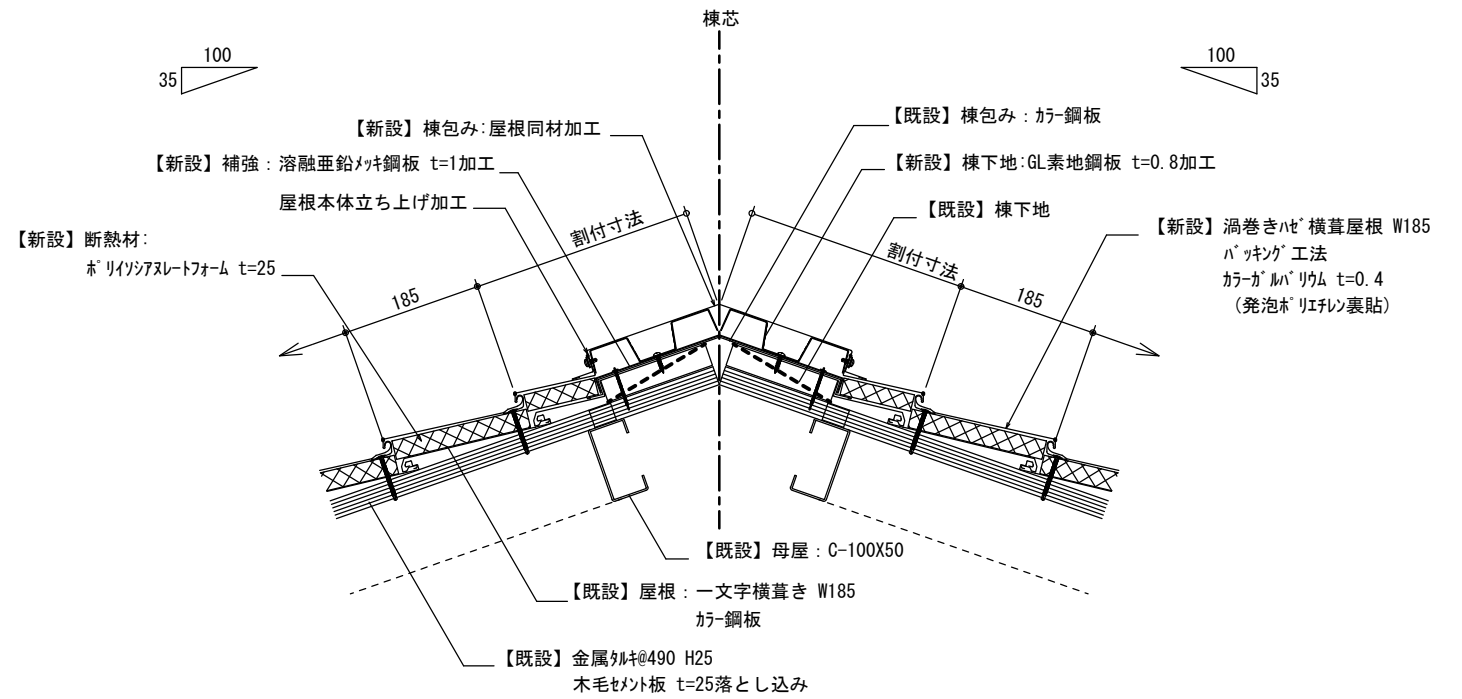
立面図 S = 1/200

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
			承認		

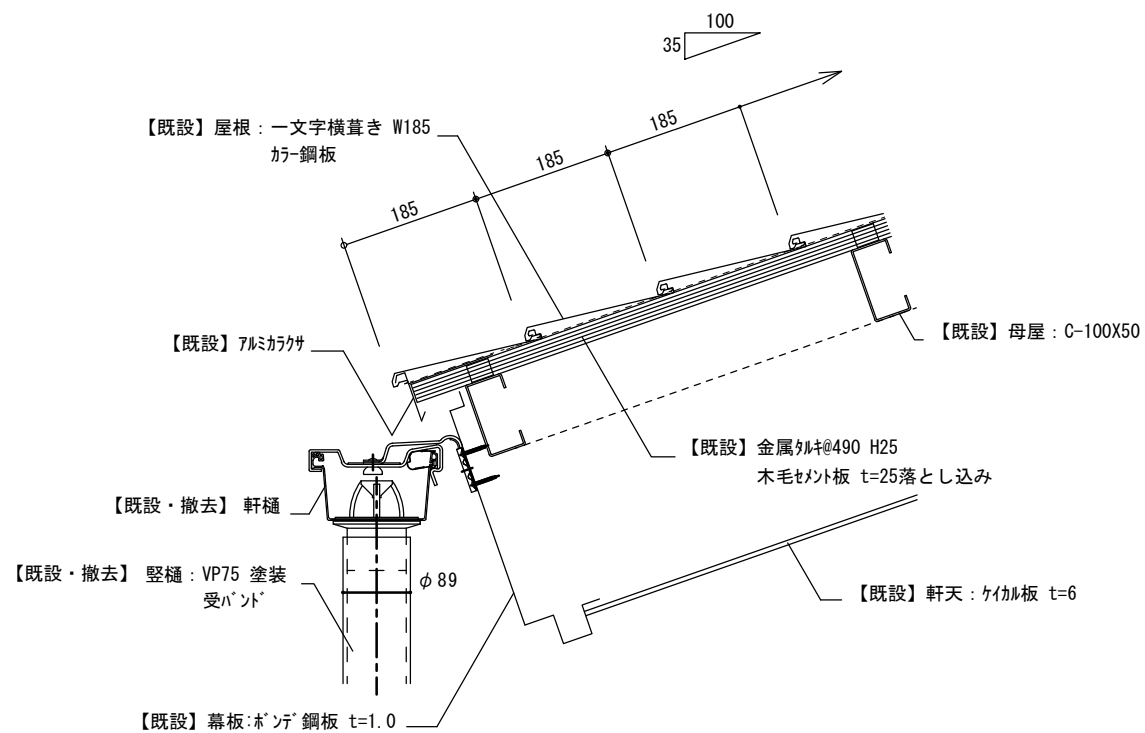
C棟 屋根 A 改修後 軒先部分 詳細図



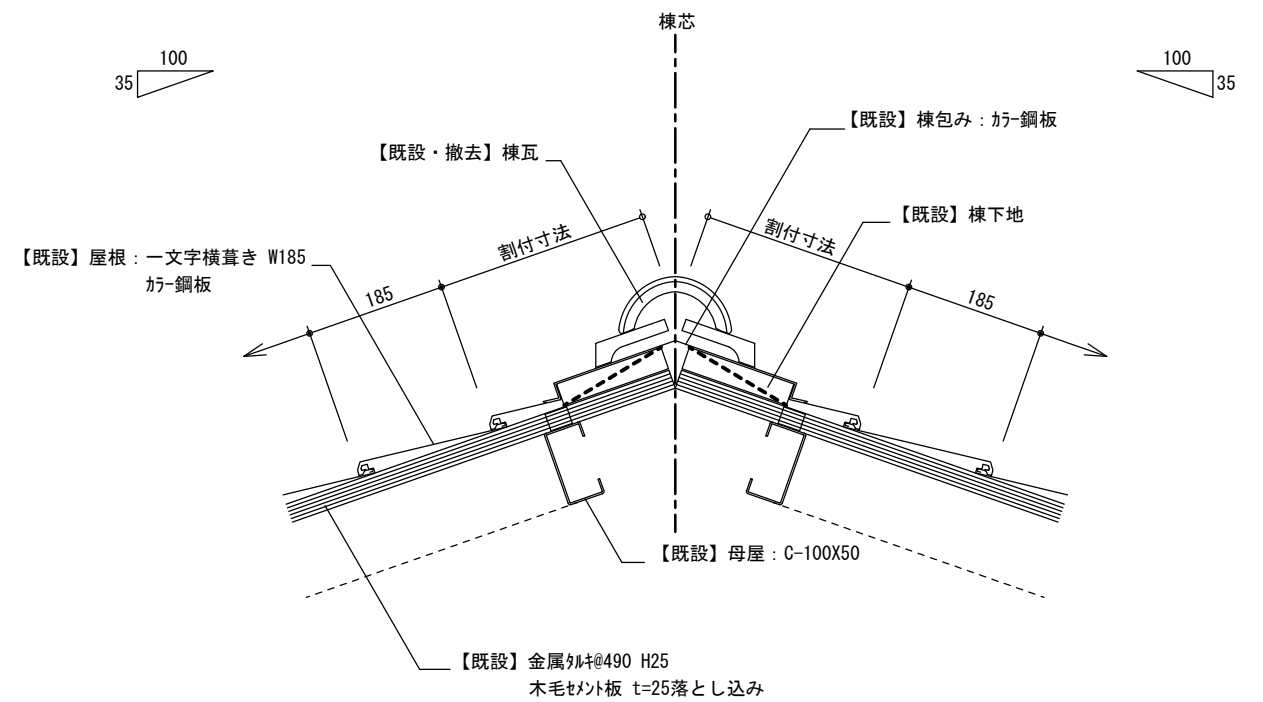
C棟 屋根 A 改修後 棟部分 詳細図



C棟 屋根 A 改修前 軒先部分 詳細図



C棟 屋根 A 改修前 棟部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)

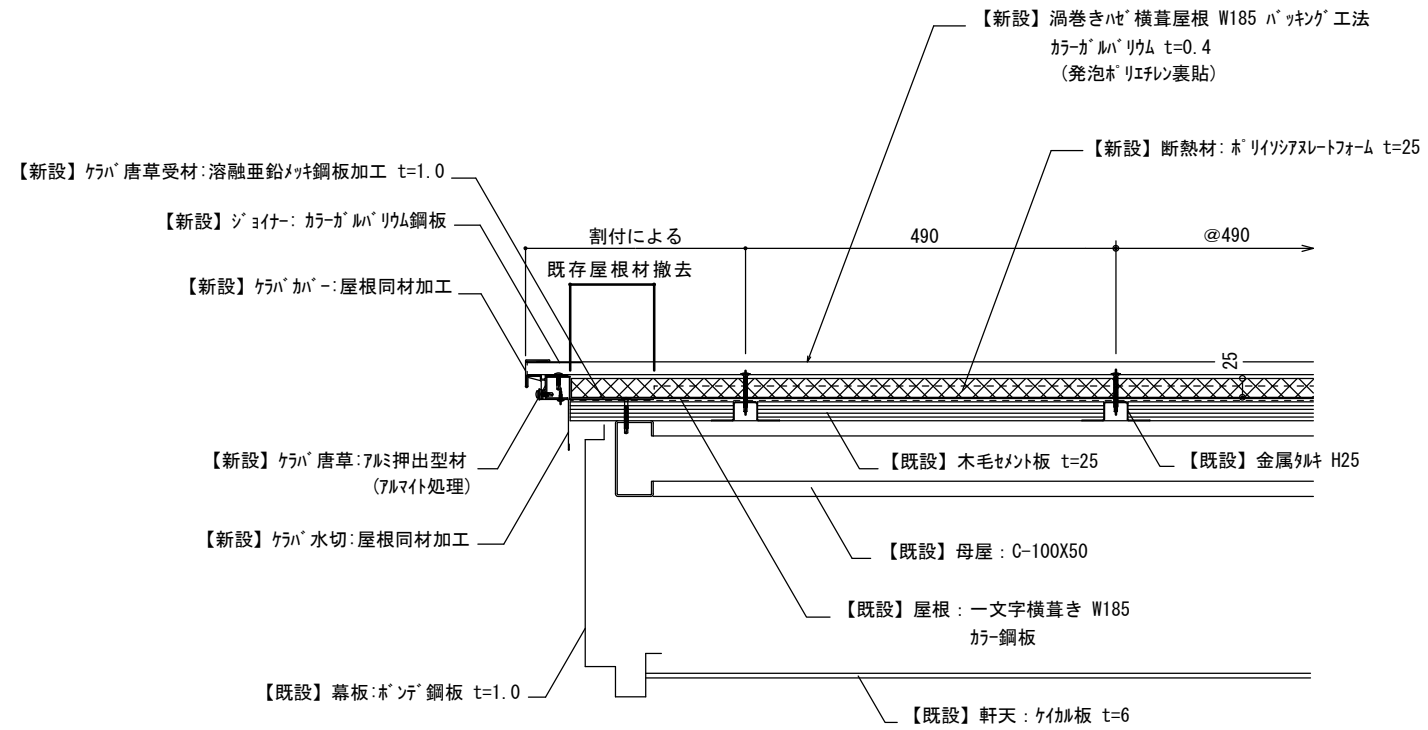
縮尺 1/10

図面名称 C棟 (遠の場・射場) 屋根改修図 1

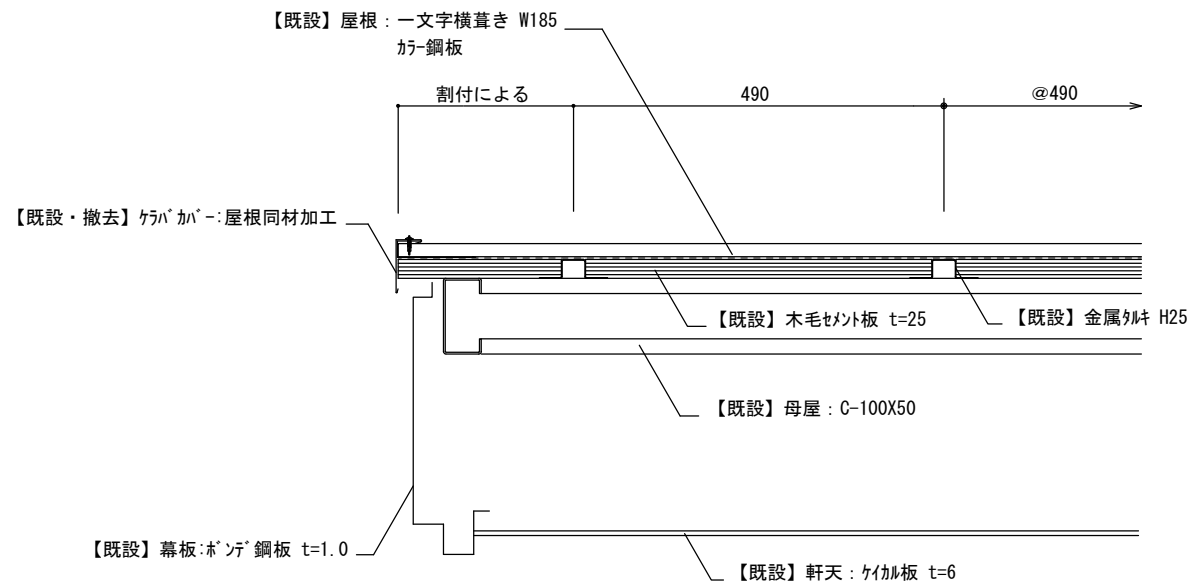
図番 C-03

承認

C棟 屋根A 改修後 ケラバ部分 詳細図



C棟 屋根A 改修前 ケラバ部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

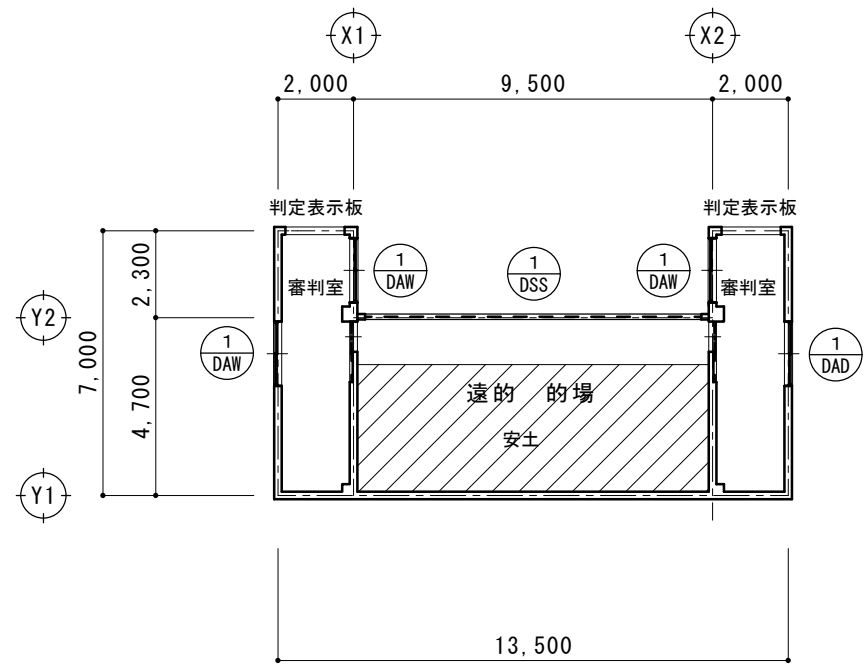
工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

縮尺 1/ 10

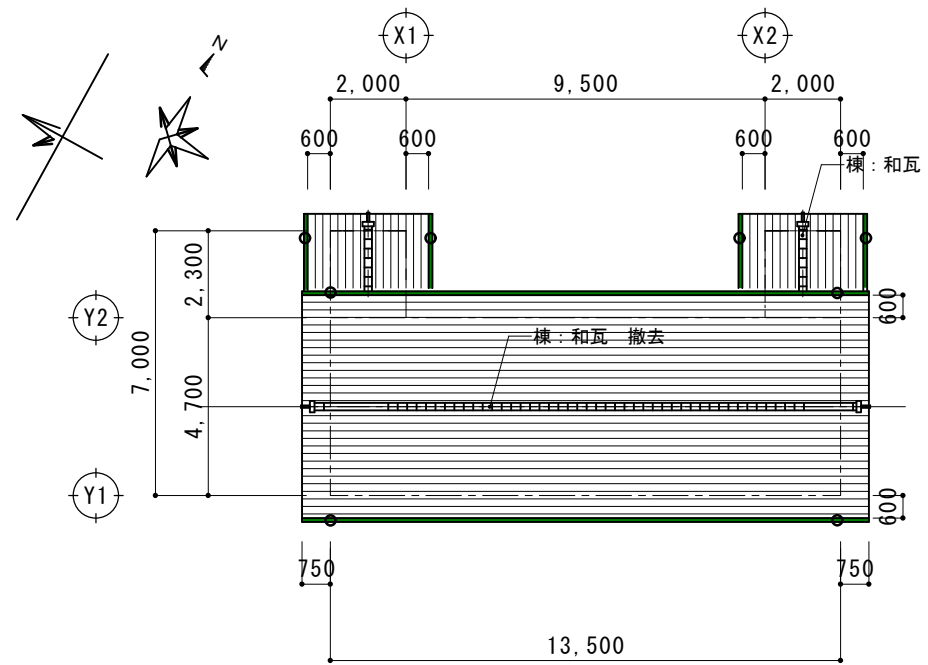
図面名称 B棟（スポーツ練習場）屋根改修図 2

図番 C-04

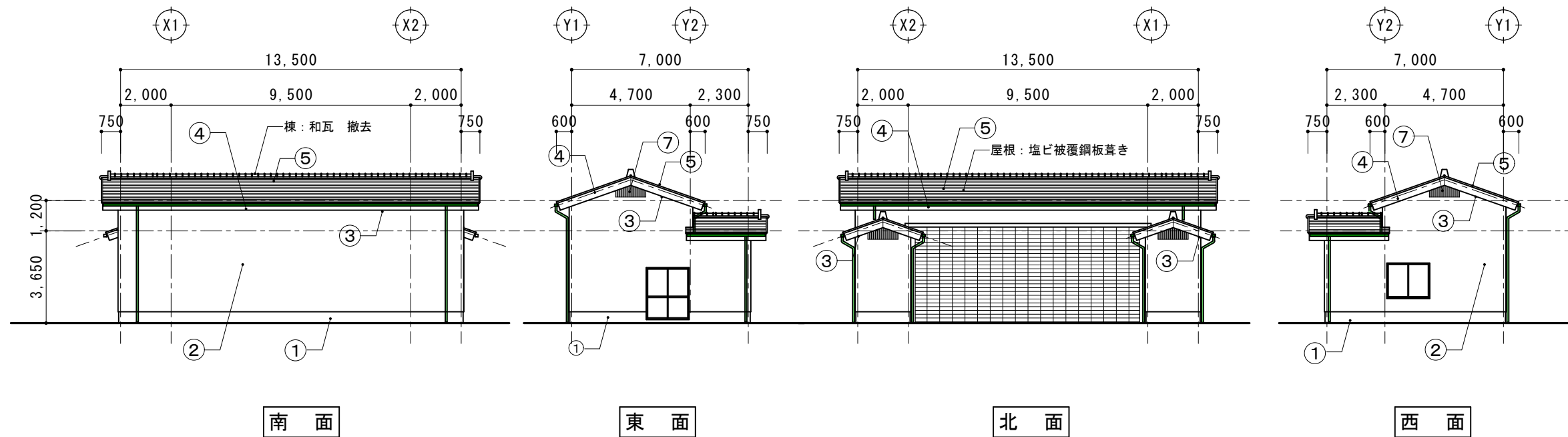
承認



平面図 S = 1/200



屋根伏図 S = 1/200



立面図 S = 1/200

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)	縮尺 1/200
			承認		

事前調査概要
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する
調査対象部分
下図表に示す他

的場安土改修内容
既存安土取り壊し（材再使用）
おがくず混合の上、表面成型

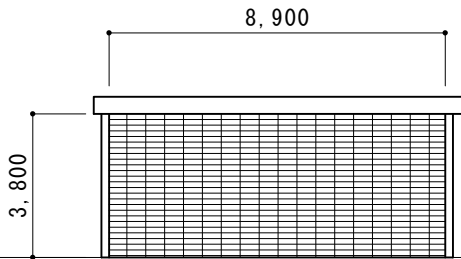
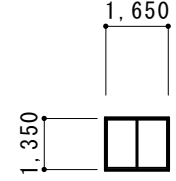
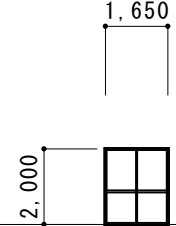
改修内容 AS：アスベスト調査の結果

部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
① 基礎部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし (事前調査により必要があれば改修)	
② 外壁部	○	押し出しセメント版 t60 吹付塗装 版間・端部 シーリング	有	水洗い工法 撤去	防水型複層塗材E シーリング (MS2)	
③ 軒天部	○	ケイカル版 t6 AEP塗装			AEP塗装【新】	
④ 破風・鼻隠し	○	ボンデ鋼板 SOP塗装		撤去なし 撤去なし	DPP塗装	
⑤ 屋根・樋		塩ビ被覆鋼板 t0.4 一文字葺き 軒樋・竖樋 棟；瓦葺		撤去 撤去	カラーGL鋼板 t0.4カバー工法 断熱材なし 詳細図参照 屋根同材	

改修内容 AS：アスベスト調査の結果

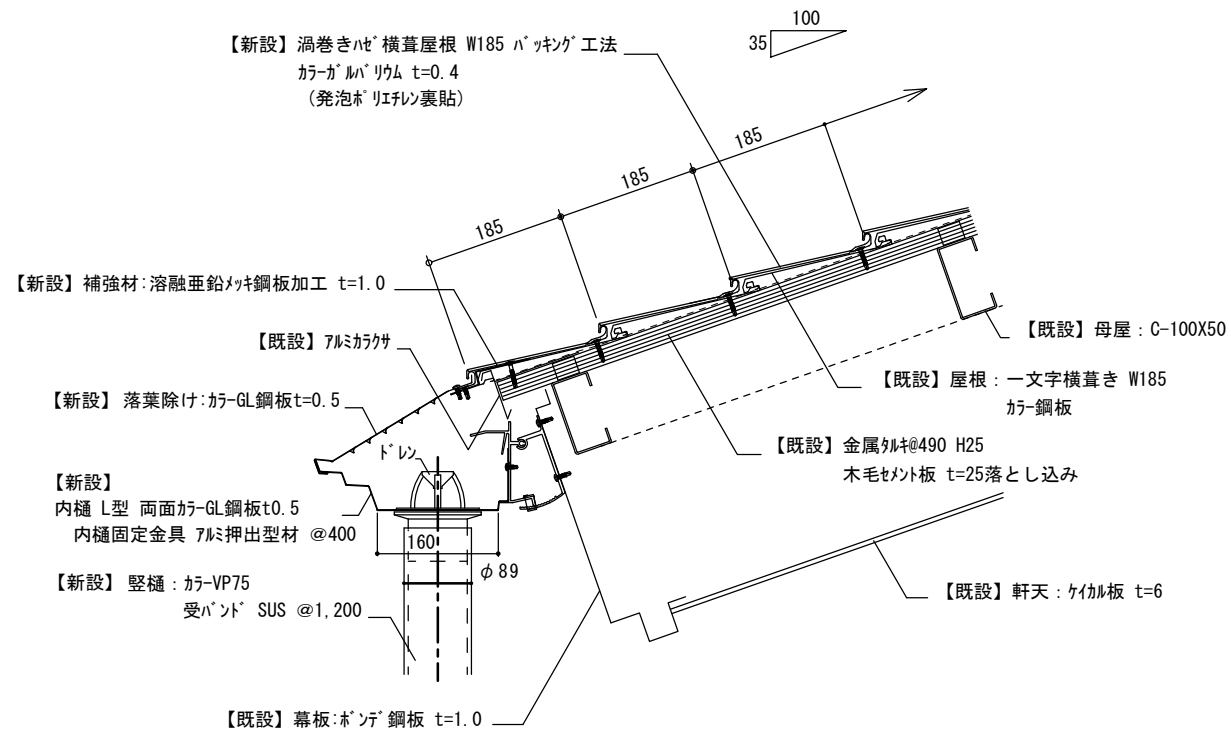
部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
⑥ 建具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング (MS2)	
⑦ その他 木製矢切格子					WP塗装	
内装改修		シャッター上天井 LGSの上化粧合板 W600×延長9.4m		撤去 撤去	シャッター上天井 LGSの上化粧合板【新規】 W600×延長9.4m	

建具表 S=1/200

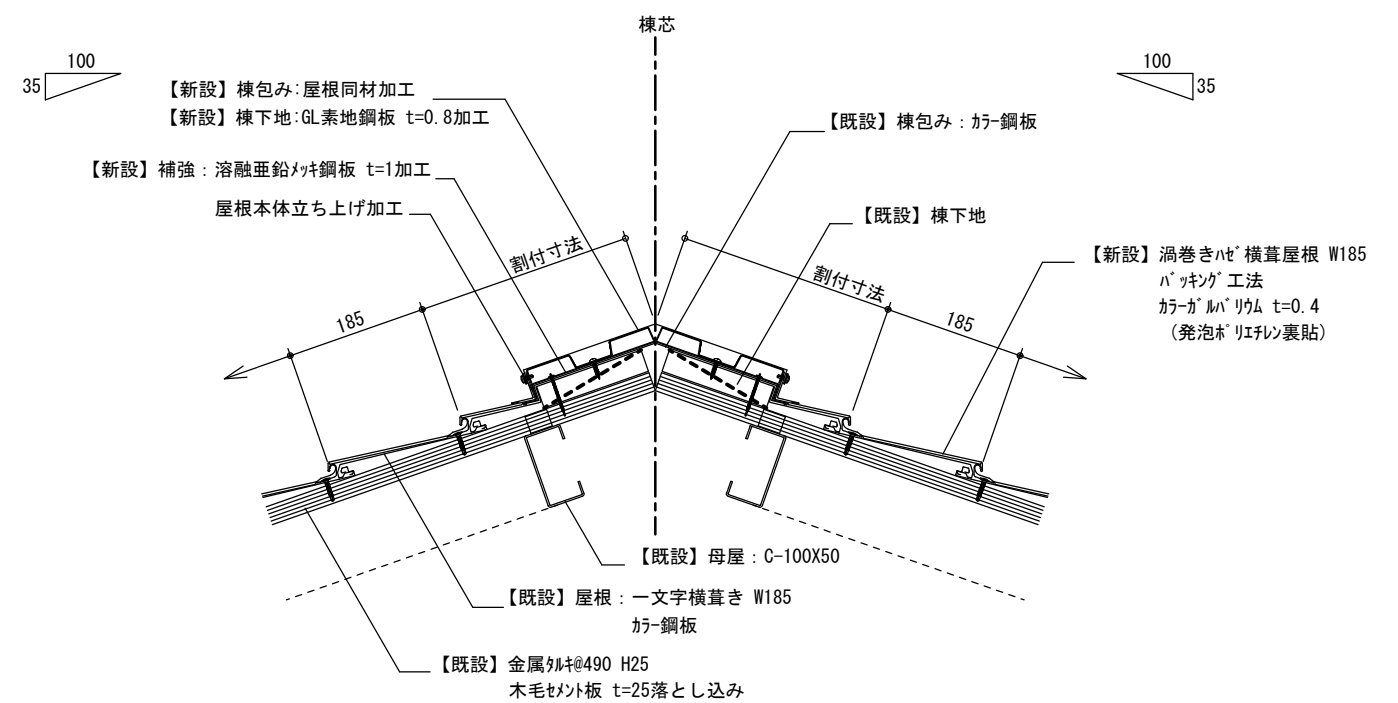
1 DSS	既存仕様	電動スチールグリルシャッター	1 DAW	既存仕様	アルミ引き違窓	1 DAD	既存仕様	アルミ引き違戸
1箇所	改修内容	全撤去の上・電動ステンレスグリルシャッター	3箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え (MS2)	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え (MS2)
								

摘要	TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
			図面名称	D棟（遠的場・的場）改修内容	

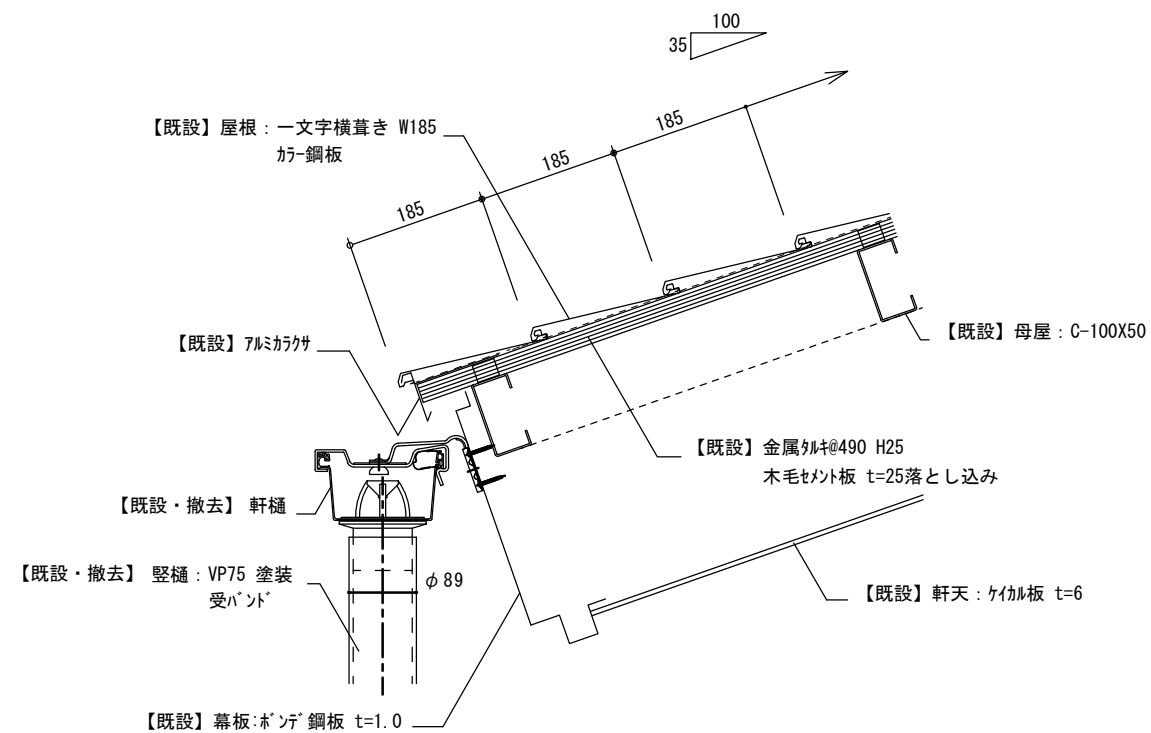
D棟 屋根B 改修後 軒先部分 詳細図



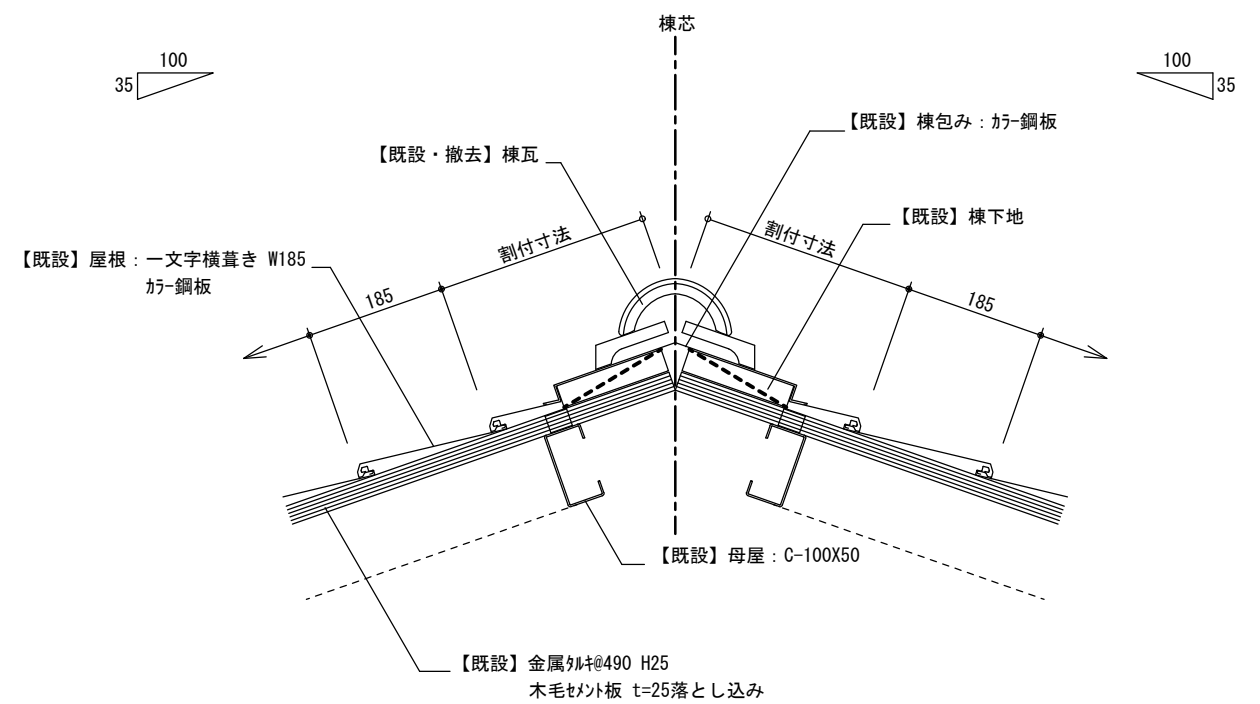
D棟 屋根B 改修後 棟部分 詳細図



D棟 屋根B 改修前 軒先部分 詳細図



D棟 屋根B 改修前 棟部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)

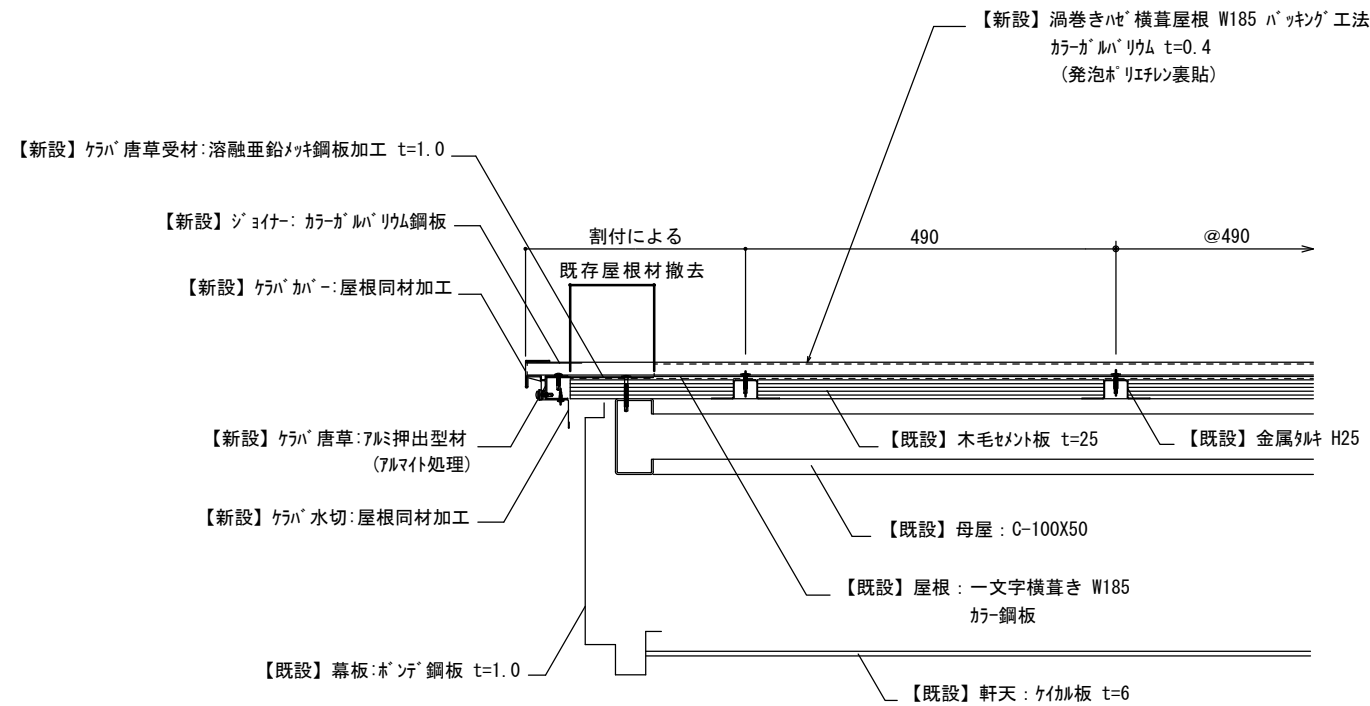
縮尺 1/10

図面名称 D棟 (遠の場・的場) 屋根改修図 1

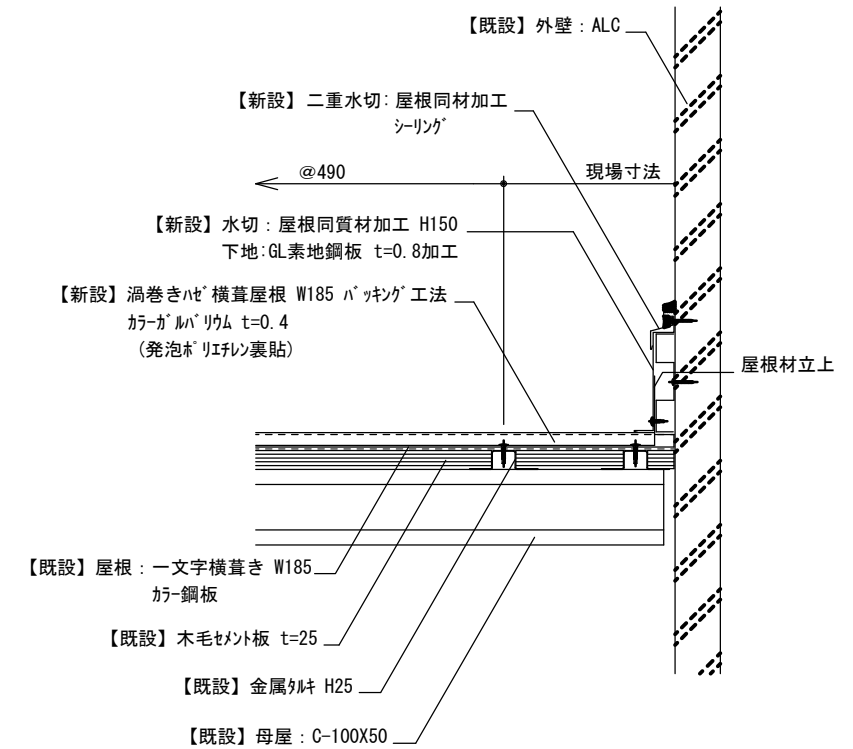
図番 D-03

承認

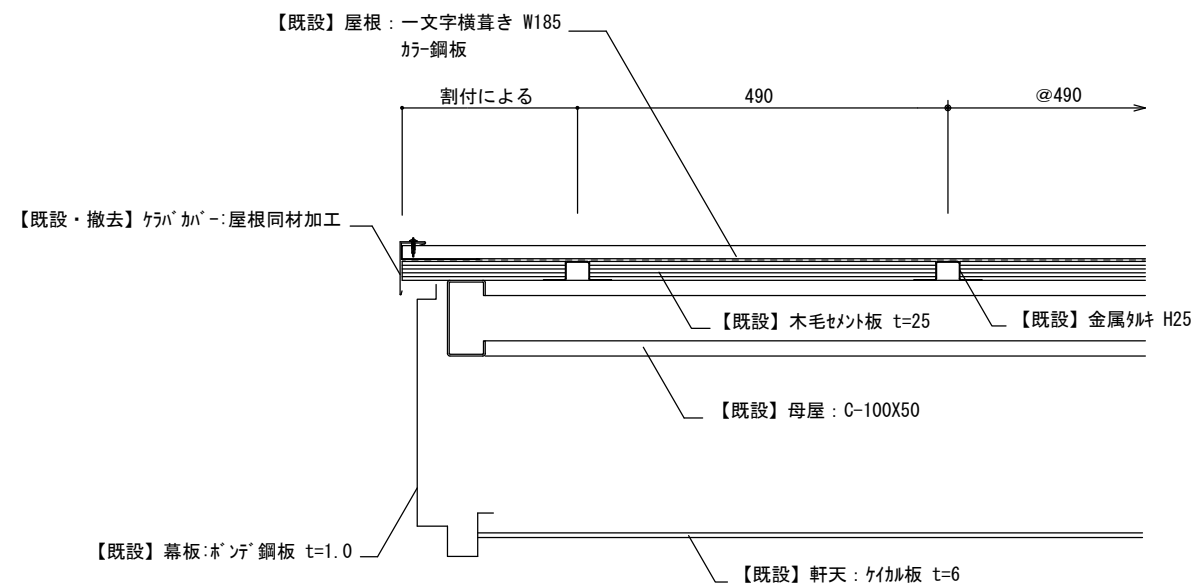
D棟 屋根B 改修後 ケラバ部分 詳細図



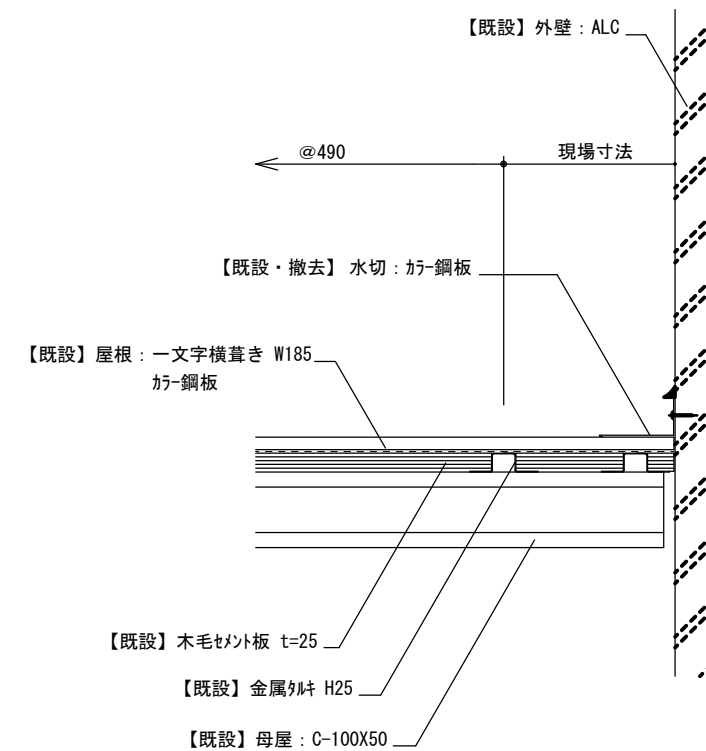
D棟 屋根B 改修後 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図



D棟 屋根B 改修前 ケラバ部分 詳細図



D棟 屋根B 改修前 流れ側 外壁取り合い部分 詳細図

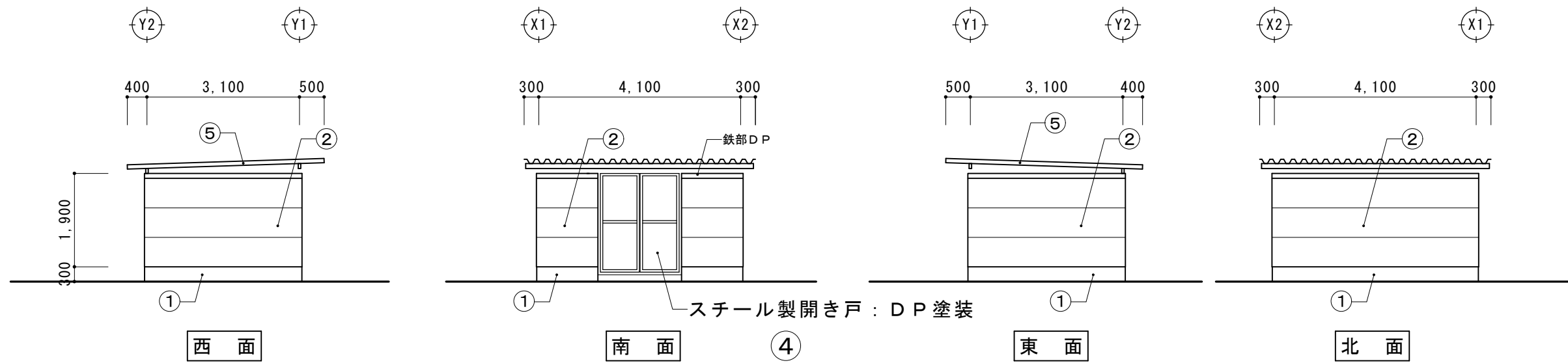
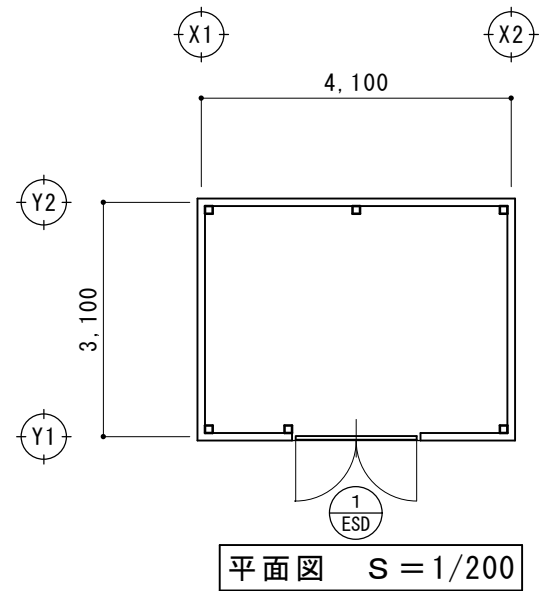


摘要

TIME	作成者
	承認

工事名称	石和清流館整備工事(建築主体)(債務)
図面名称	D棟 (遠の場・の場) 屋根改修図 2

縮尺	1/10
図番	D-04



摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
			承認		

事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

改修内容

AS : アスベスト調査の結果

	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基礎部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	モルタル浮き部あり 撤去の上樹脂モルタル塗り (500×200程度)	
②	外壁部	○	窯業系サイディング 吹付塗装	有	水洗い工法	防水型複層塗材E	
③	軒天部	○	ルーフデッキ葺き			DP塗装	
④	破風・鼻隠し	○					
⑤	屋根・樋		ルーフデッキ葺き 軒樋・堅樋		撤去なし	改修なし 改修なし	

改修内容

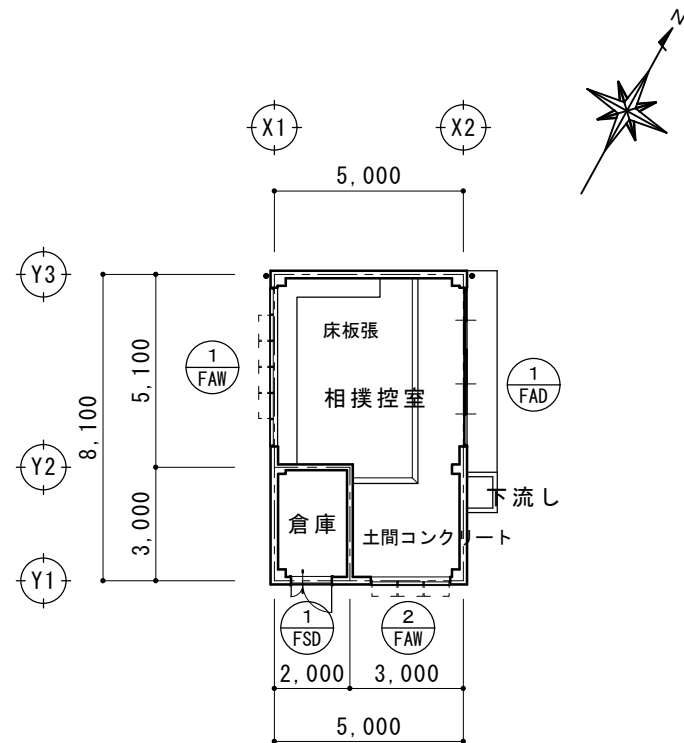
AS : アスベスト調査の結果

	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
⑥	建具	○	鉄扉 OP塗装 建具周囲シーリング		撤去	DP塗装 建具周囲シーリング (MS2)	
⑦	外部 鉄部見え係	○				DP塗装	

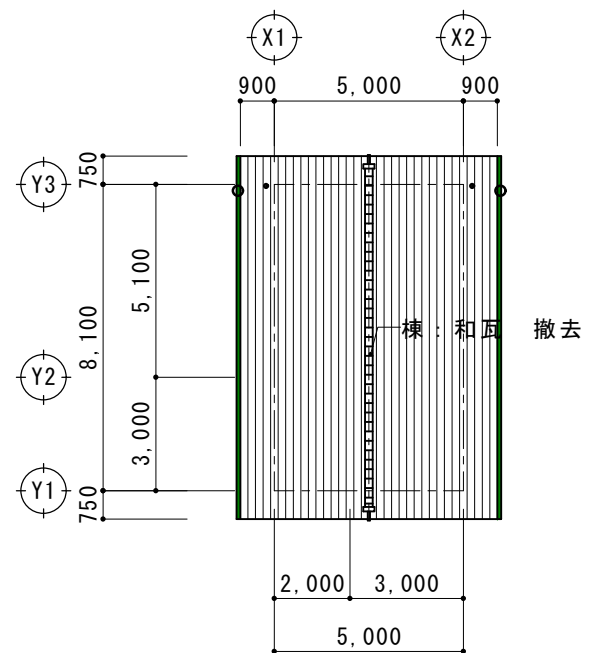
建具表 S = 1/200

1 ESD	既存仕様	スチール製ドア	既存仕様	既存仕様	既存仕様
1箇所	改修内容	DP塗装 (両面)	改修内容	改修内容	改修内容
					

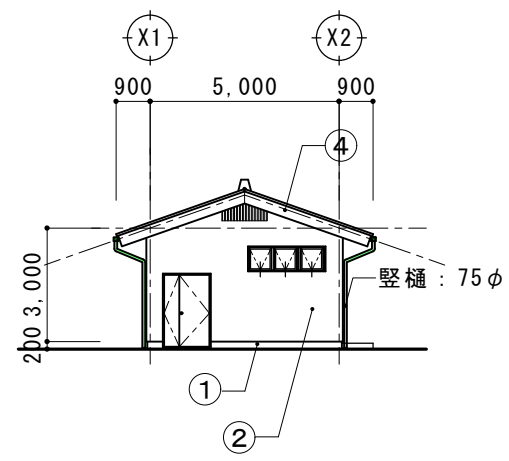
摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
			承認		



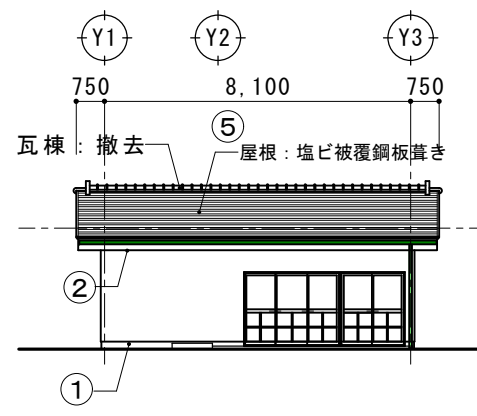
平面図 S = 1/200



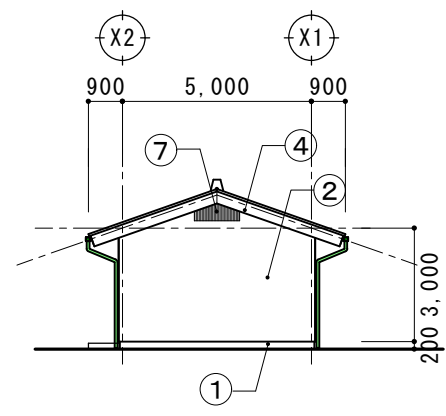
屋根伏図 S = 1/200



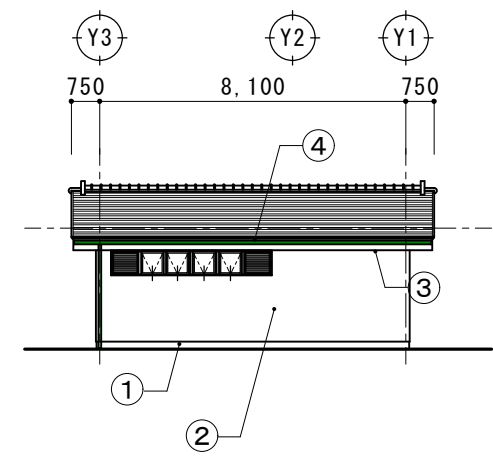
南面



東面



北面



西面

立面図 S = 1/200

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/200
			承認		

事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

改修内容

AS : アスベスト調査の結果

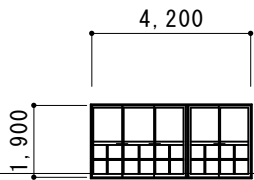
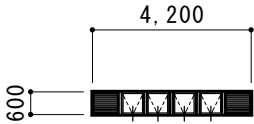
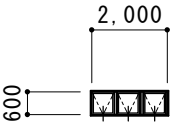
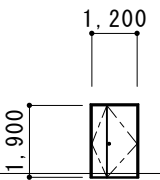
	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基礎部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし (事前調査により必要があれば改修)	
②	外壁部	○	押し出しセメント版 t60 吹付塗装 版間・端部 シーリング	有	水洗い工法 撤去	防水型複層塗材E シーリング (MS2)	
③	軒天部	○	ケイカル版 t6 AEP塗装			AEP塗装【新】	
④	破風・鼻隠し	○	ボンデ鋼板 SOP塗装		撤去なし 撤去なし	DPP塗装	
⑤	屋根・樋		塩ビ被覆鋼板 t0.4 一文字葺き 軒樋・竖樋 棟；瓦葺		撤去 撤去	カラーGL鋼板 t0.4カバー工法 断熱材あり 詳細図参照 屋根同材	

改修内容

AS : アスベスト調査の結果

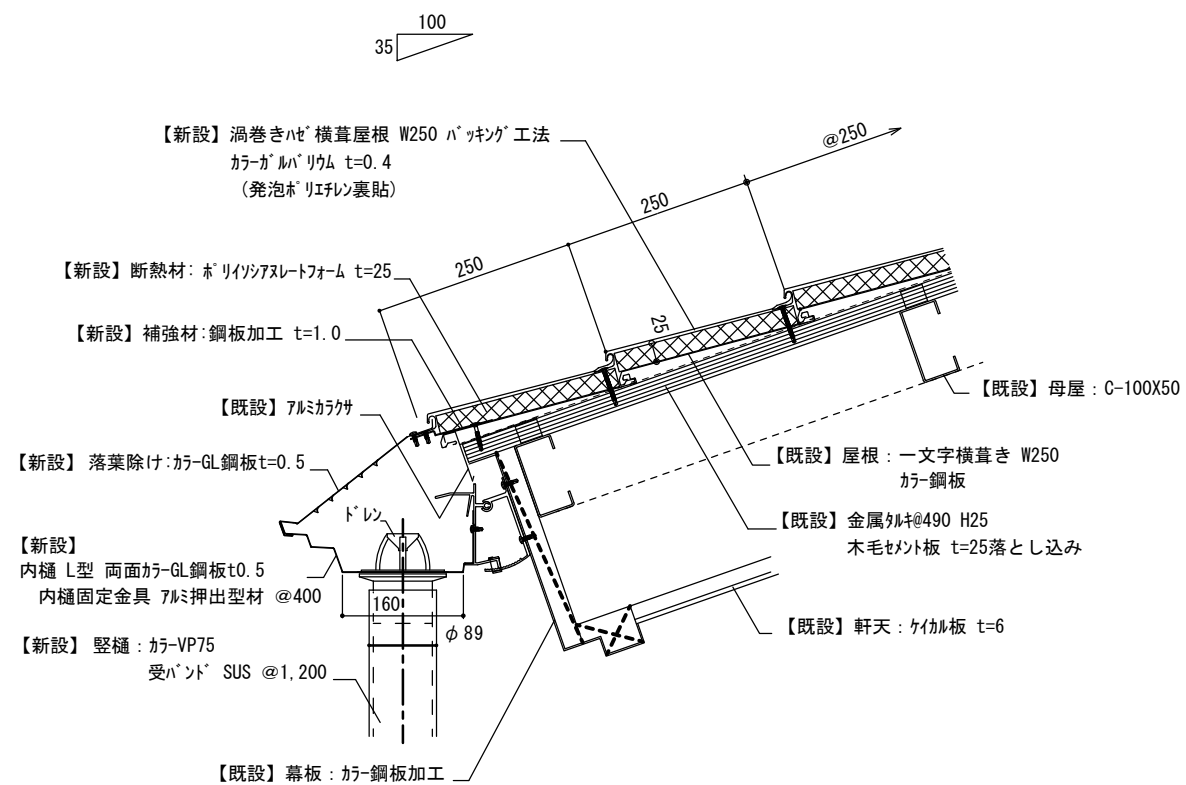
	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
⑥	建具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング (MS2)	
⑦	その他 木製矢切格子					WP塗装	
	内装改修		シャッター上天井 LGSの上化粧合板 W600×延長9.4m		撤去 撤去	シャッター上天井 LGSの上化粧合板【新規】 W600×延長9.4m	

建具表 S=1/200

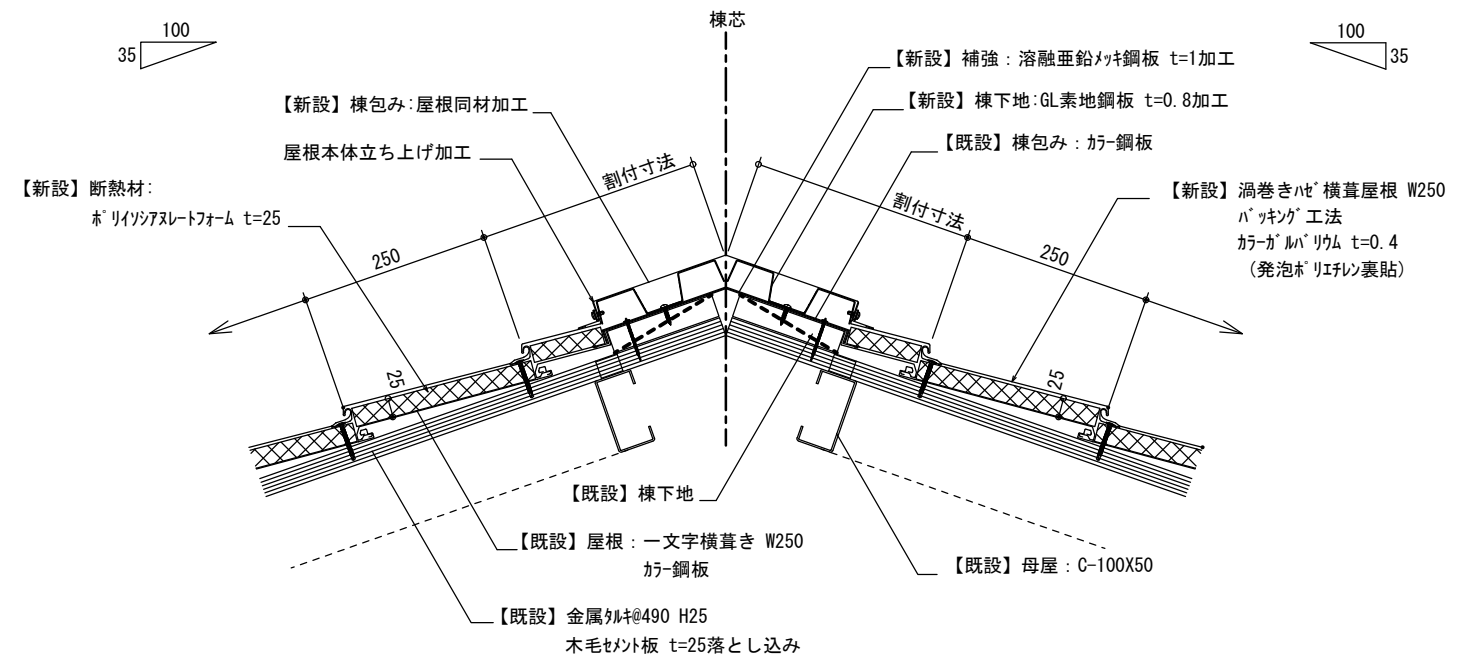
① FAD	既存仕様	アルミ製2連引き違い戸	① FAW	既存仕様	アルミ外倒し窓	② FAW	既存仕様	アルミ外倒し窓	② FSD	既存仕様	スチール製親子開きドア	
1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え (MS2)	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え (MS2)	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去・打ち換え (MS2)	1箇所	改修内容	DPP塗装 建具周囲シーリング撤去・打ち換え (MS2)	
												

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
				図面名称	F棟 (相撲控室) 改修内容	

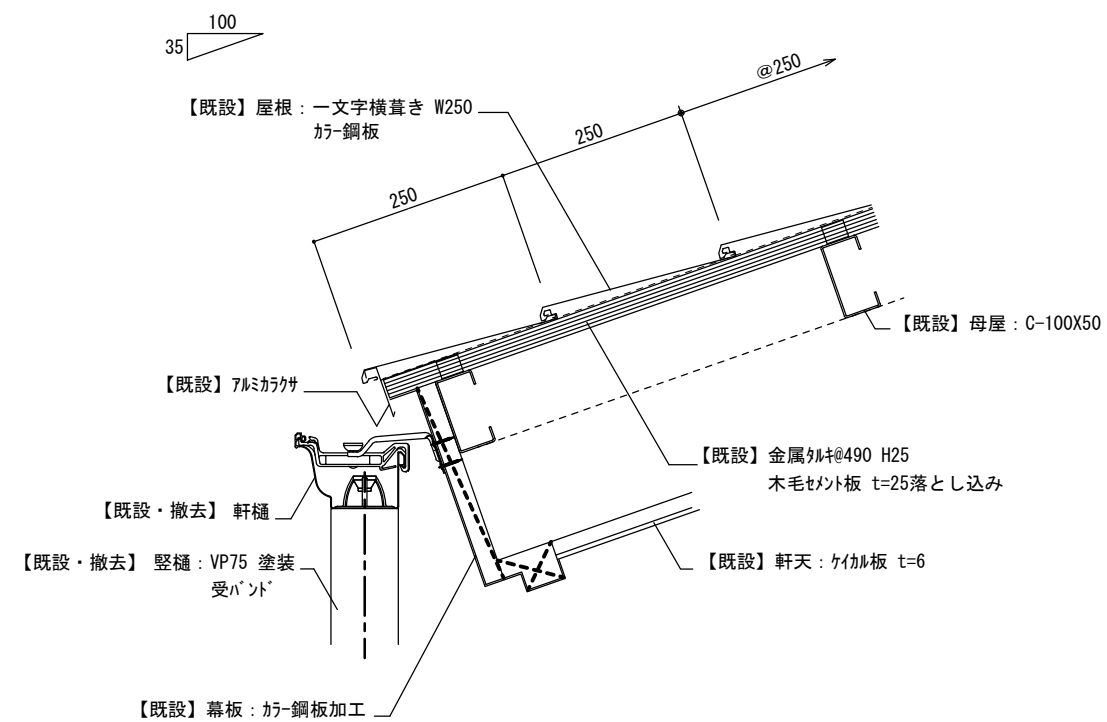
F棟 H棟 屋根A 改修後 軒先部分 詳細図



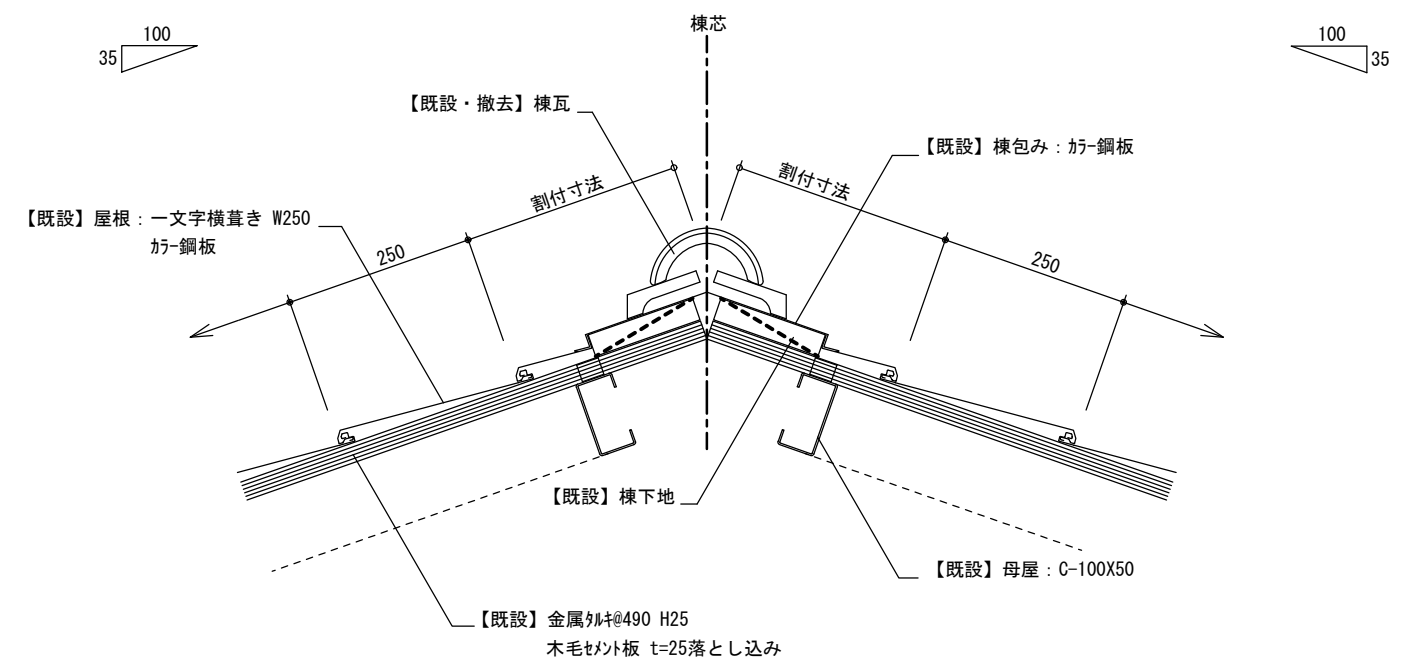
F棟 H棟 屋根A 改修後 棟部分 詳細図



F棟 H棟 屋根A 改修前 軒先部分 詳細図



F棟 H棟 屋根A 改修前 棟部分 詳細図



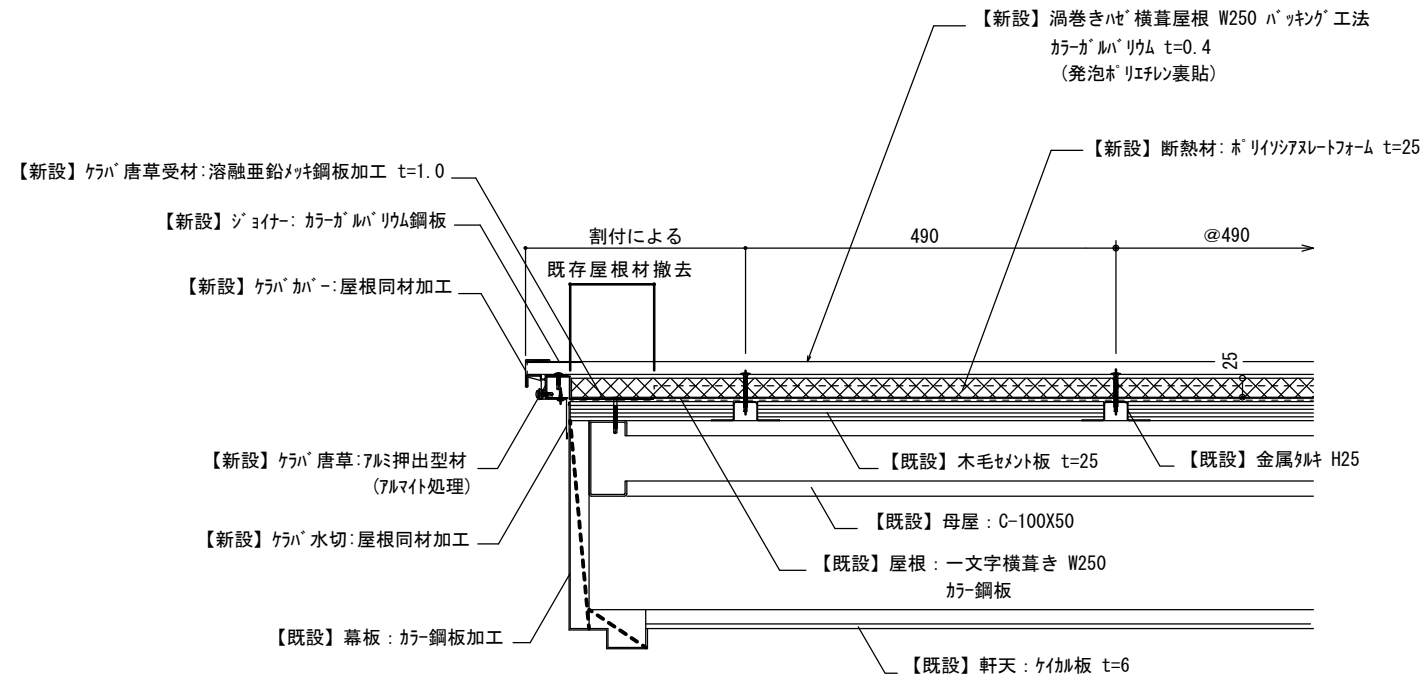
摘要

TIME	作成者
	承認

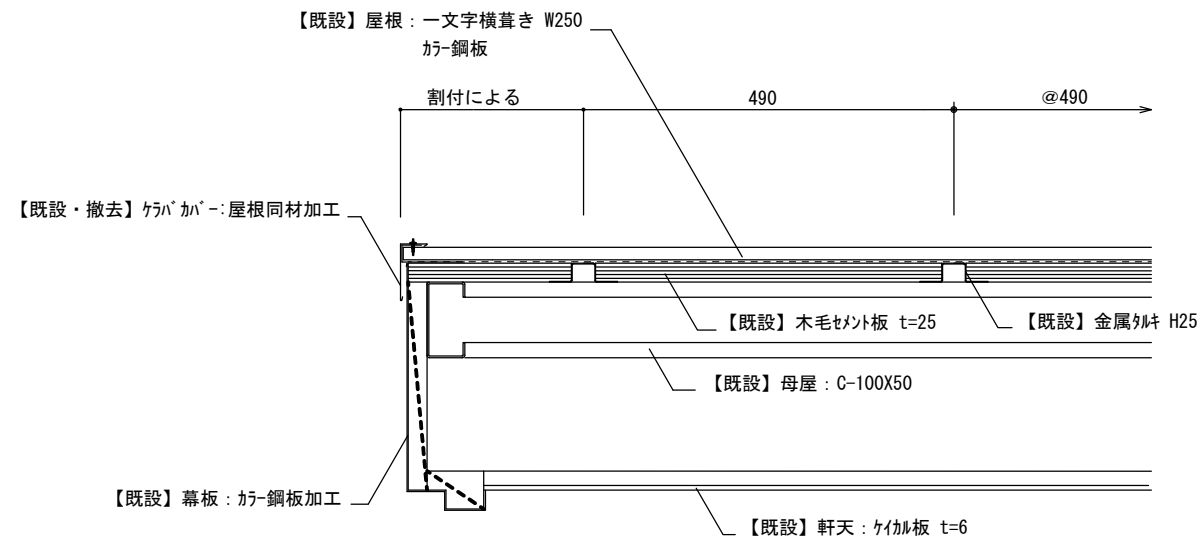
工事名称	石和清流館整備工事（建築主体）（債務）
図面名称	F棟（相撲控室）屋根改修図 1

縮尺	1/10
図番	F-03

F棟 H棟 屋根A 改修後 ケラバ部分 詳細図



F棟 H棟 屋根A 改修前 ケラバ部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

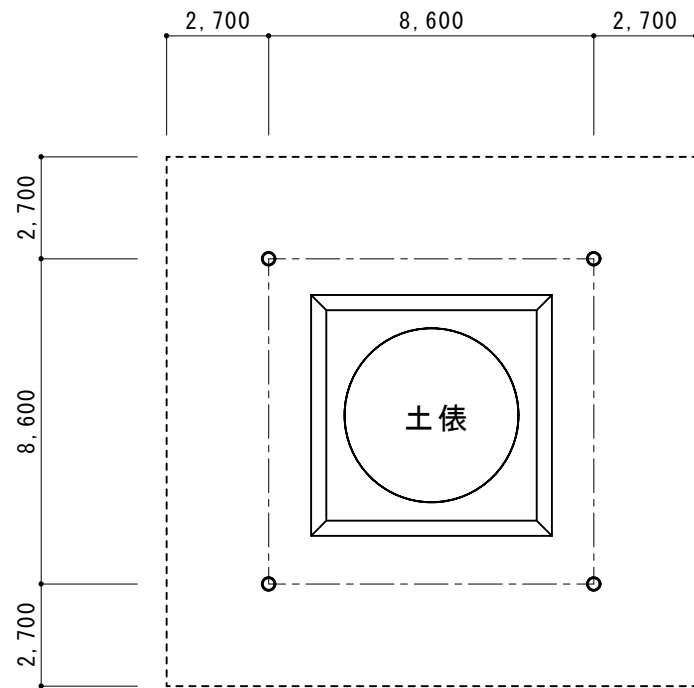
工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)

縮尺 1/10

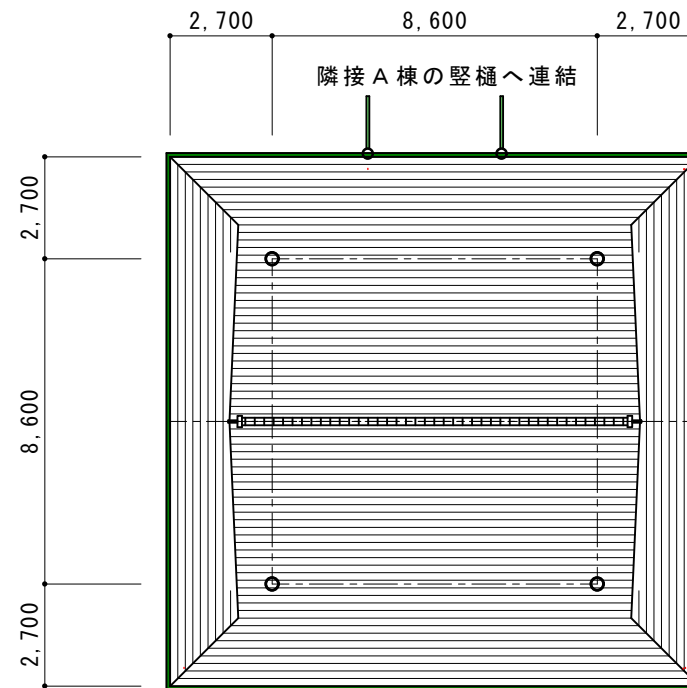
図面名称 F棟(相撲控室)屋根改修図 2

図番 F-04

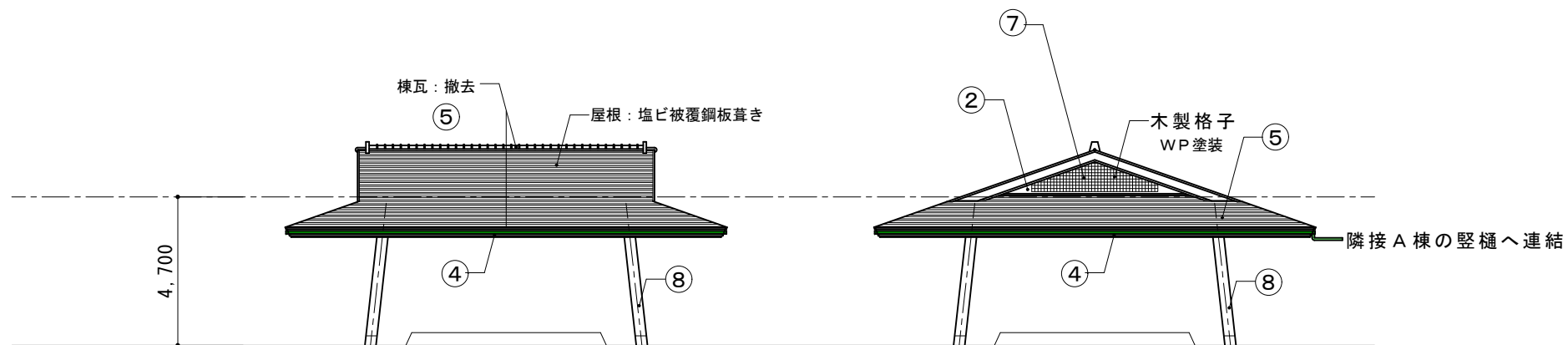
承認



平面図 S = 1/200



屋根伏図 S = 1/200



南面

東面

立面図 S = 1/200

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺	1/200
				図面名称	G棟 (相撲場) 既存図	図番	G-01

事前調査概要
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する
調査対象部分
下図表に示す他

土俵改修内容
既存土俵掘り起こし締固め
簡易俵作成・据付 72
仕切り板塗装

改修内容

AS：アスベスト調査の結果

	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①							
②							
③	軒天部	○	LGS天井下地（全面）土俵上共 ケイカル版 t6（全面）土俵上共 AEP塗装 土俵上共		撤去 撤去	LGS天井下地（25型） 土俵上共 ケイカル版 t6 土俵上共 AEP塗装【新】 土俵上共	
④	破風・鼻隠し	○	ボンデ鋼板 SOP塗装		撤去なし 撤去なし	DPP塗装	
⑤	屋根・樋		塩ビ被覆鋼板 t0.4 一文字葺き 軒樋・堅樋 棟；瓦葺		撤去 撤去	カラーGL鋼板 t0.4カバー工法 断熱材なし 詳細図参照 屋根同材	

改修内容

AS：アスベスト調査の結果

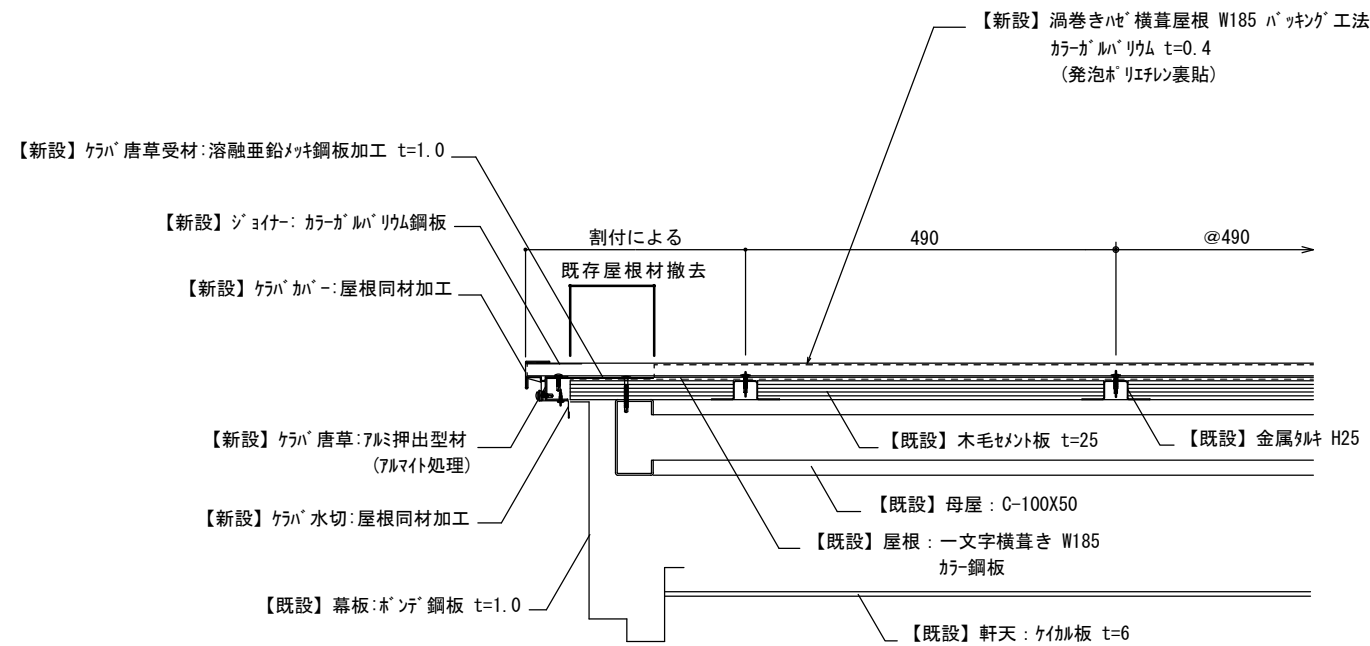
	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
⑥	建具						
⑦	その他 木製矢切格子					WP塗装	
⑧	その他 鉄骨柱					WP塗装	
	内装改修		軒天と同じ			DP塗装	

建具表 S=1/200

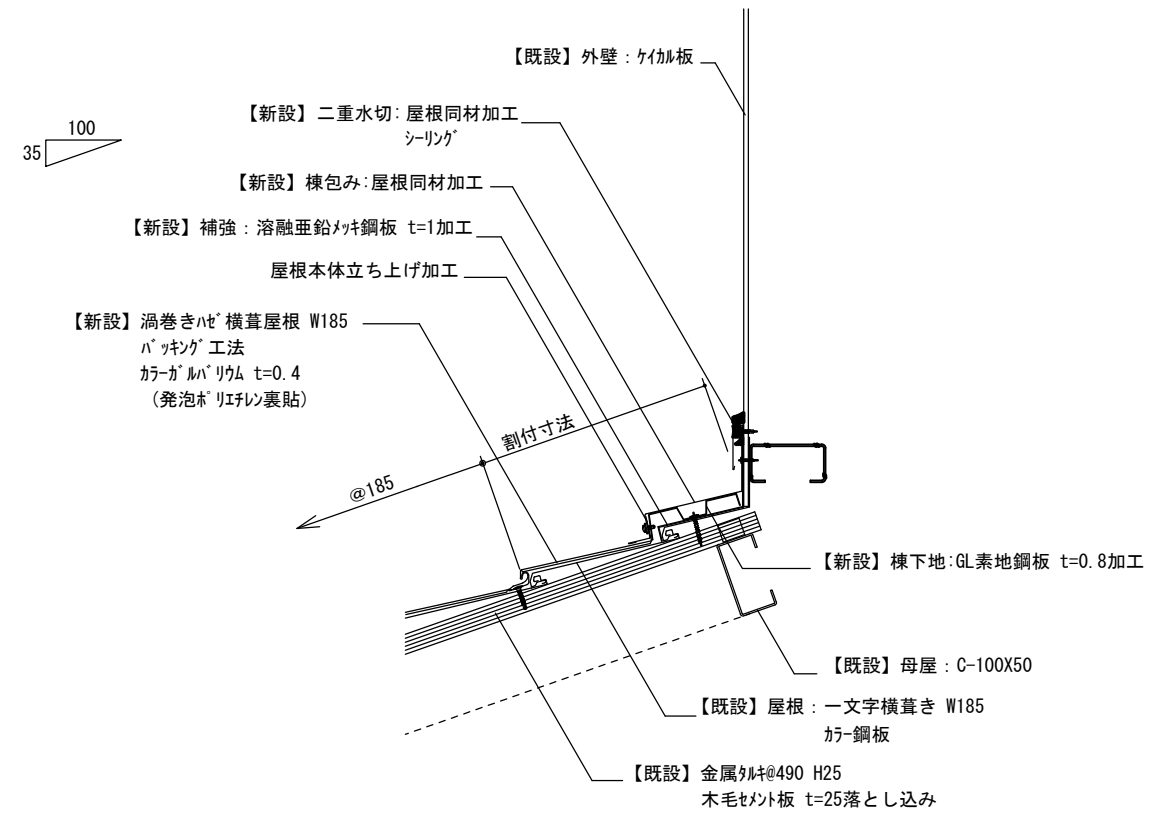
既存仕様	改修内容	既存仕様	改修内容	既存仕様	改修内容	既存仕様	改修内容

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺
			承認		

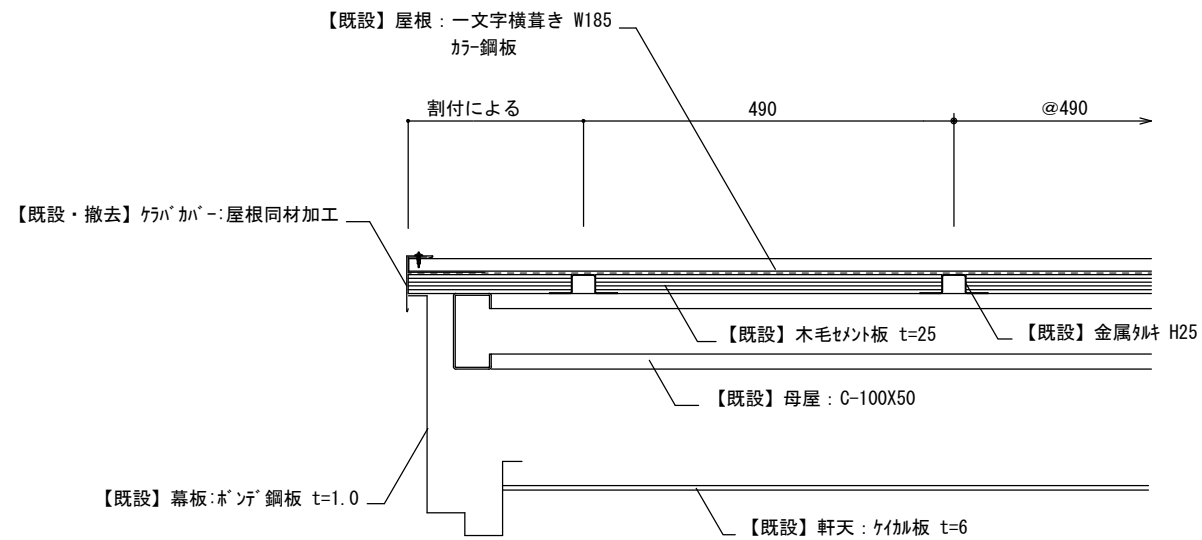
G棟 屋根B 改修後 ケラバ部分 詳細図



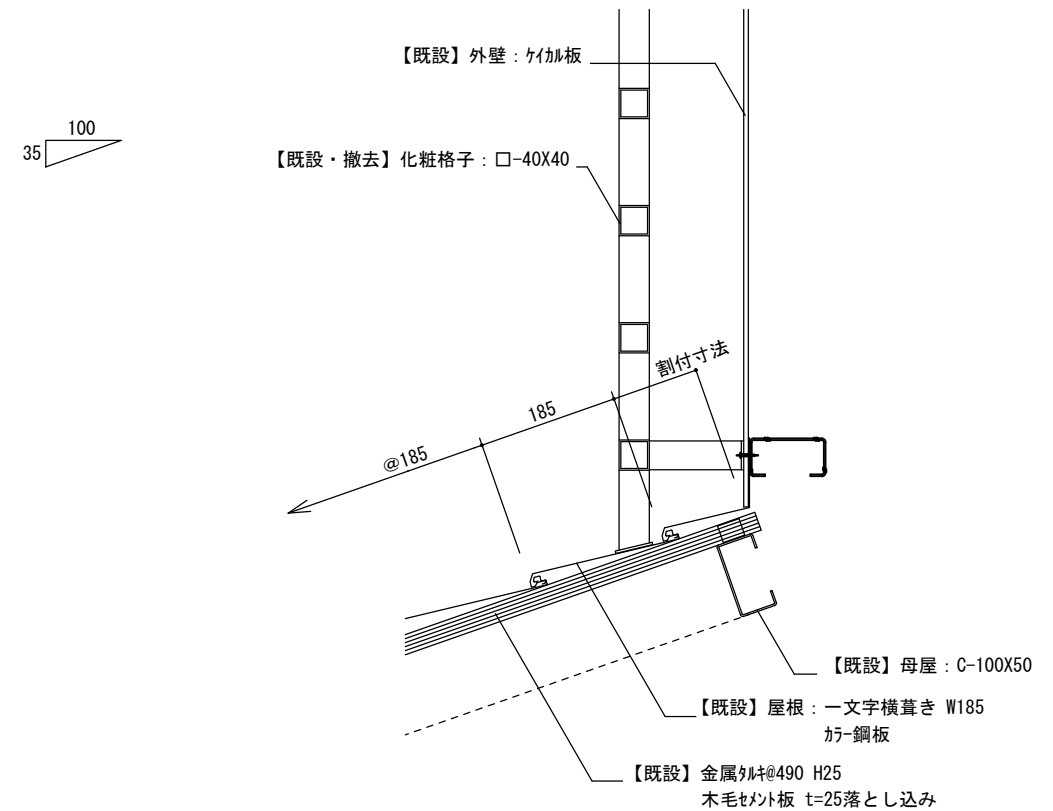
G棟 屋根B 改修後 水上 外壁取り合い部分 詳細図



G棟 屋根B 改修前 ケラバ部分 詳細図



G棟 屋根B 改修前 水上 外壁取り合い部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

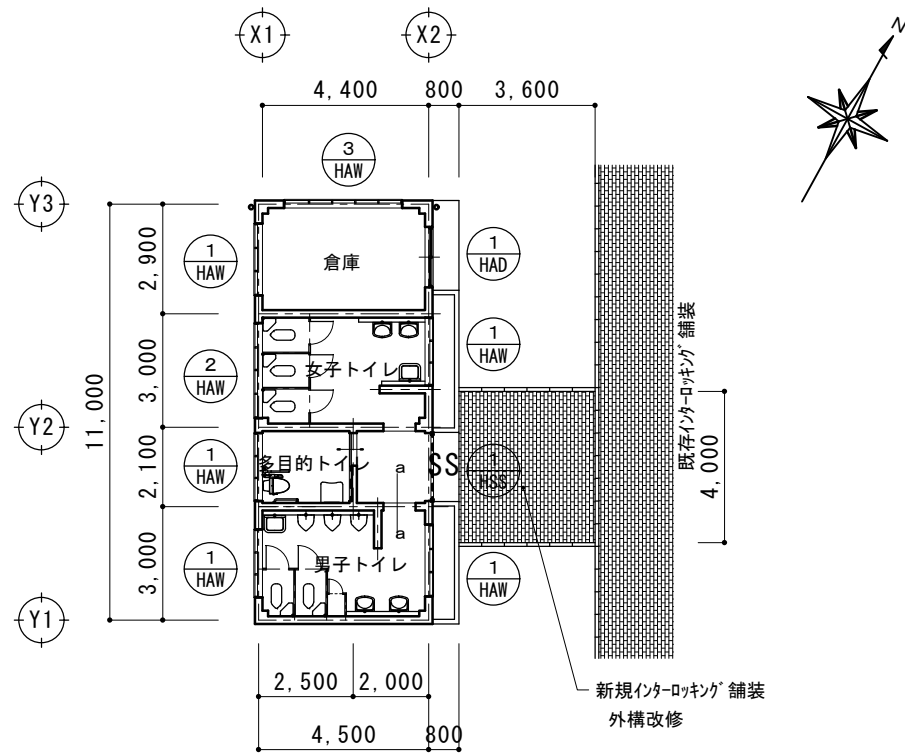
工事名称 石和清流館整備工事(建築主体)(債務)

縮尺 1/10

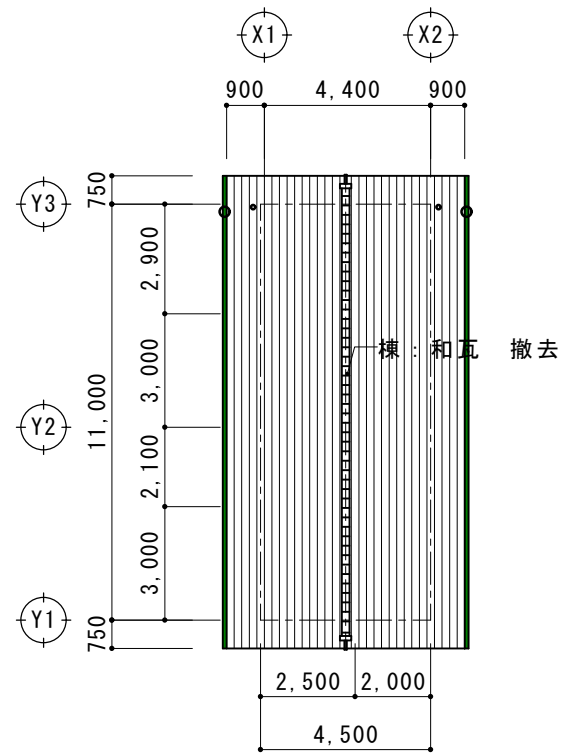
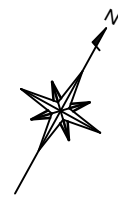
図面名称 G棟(相撲場)屋根改修図 2

図番 G-04

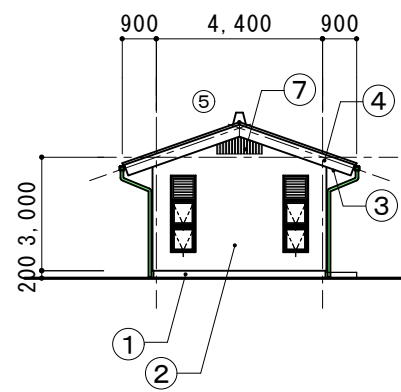
承認



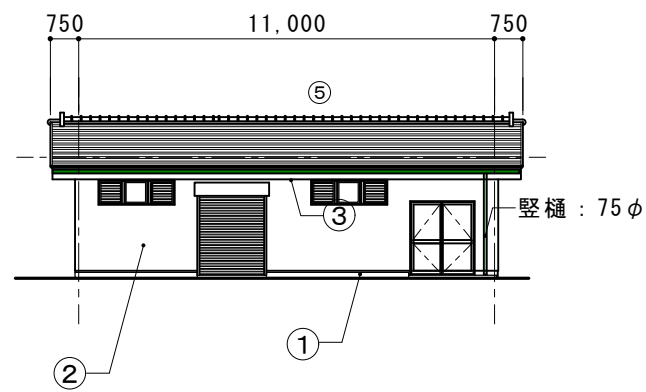
平面図 S = 1/200



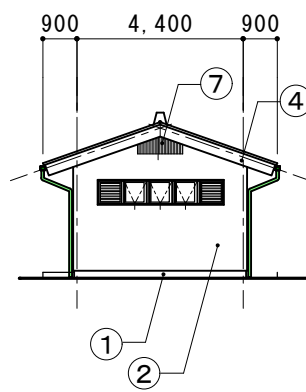
屋根伏図 S = 1/200



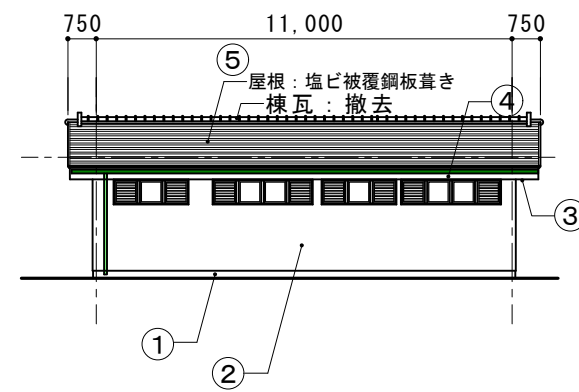
南面



東面



北面



西面

立面図 S = 1/200

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/200
			承認	図面名称 H棟（屋外便所）既存図	図番 H-01

事前調査概要	
足場設置後にクラック、浮き、剥離部の調査を行い、図面記載の上報告する	
調査対象部分	
下図表に示す他	

改修内容

AS : アスベスト調査の結果

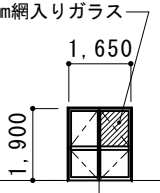
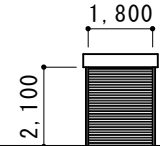
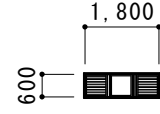
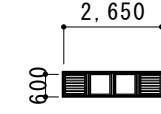
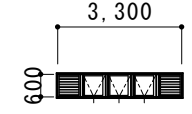
	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
①	基礎部	○	コンクリート基礎 モルタル塗り		水洗い工法	改修なし (事前調査により必要があれば改修)	
②	外壁部	○	押し出しセメント版 t60 吹付塗装 版間・端部 シーリング	有	水洗い工法 撤去	防水型複層塗材E シーリング (MS2)	
③	軒天部	○	ケイカル版 t6 AEP塗装			AEP塗装【新】	
④	破風・鼻隠し	○	ボンデ鋼板 SOP塗装		撤去なし 撤去なし	DPP塗装	
⑤	屋根・樋		塩ビ被覆鋼板 t0.4 一文字葺き 軒樋・堅樋 棟；瓦葺		撤去 撤去	カラーGL鋼板 t0.4カバー工法 断熱材あり 詳細図参照 屋根同材	

改修内容

AS : アスベスト調査の結果

	部位	事前調査	現況	AS	撤去の別	改修内容	AS
⑥	建具	○	建具表による 建具周囲シーリング		撤去	建具周囲シーリング (MS2)	
⑦	その他 木製矢切格子					WP塗装	
	内装改修		シャッター上天井 LGSの上化粧合板 W600×延長9.4m		撤去 撤去	シャッター上天井 LGSの上化粧合板【新規】 W600×延長9.4m	

建具表 S=1/200

① HAD	既存仕様	アルミ製観音開き戸	① HSS	既存仕様	軽量スチールシャッター	① HAW	既存仕様	アルミ外倒し窓	② HAW	既存仕様	アルミ外倒し窓	③ HAW	既存仕様	アルミ外倒し窓
1箇所	改修内容	ガラス交換 (1箇所) 建具周囲シーリング撤去 打ち換え (MS2)	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え (MS2)	5箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え (MS2)	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え (MS2)	1箇所	改修内容	改修なし 建具周囲シーリング撤去 打ち換え (MS2)
<p>ガラス交換 : 6.8mm網入りガラス</p> 														

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
			承認		

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
男子トイレ	既存	100角磁器タイル張り	100角タイル張り H:100	窯業系サイディング張りの上吹付タイル 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m 小便前3.2m×1.1m	LGS下地 ケイカル版 t6 EP塗装	塩ビ製	
	撤去	床タイル全面撤去	巾木タイル 全撤去	全面水洗い ひび割れ部シーリング 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m撤去 小便前3.2m×1.1m撤去	撤去なし	撤去なし	
	改修	モルタル下地の上、100角磁器質タイル張り	モルタル下地 タイル張り H:100	サイディング部 防水型複層塗材E 一部タイル張り:磁器質タイル100角 洗面前2.1m×0.9m 小便前3.2m×1.1m	AEP塗装		

室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
多目的トイレ	既存	100角磁器タイル張り		窯業系サイディング張りの上吹付タイル 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m SK前1.4m×1.1m	LGS下地 ケイカル版 t6 EP塗装	塩ビ製	
	撤去	撤去なし 水洗い	撤去・改修なし	全面水洗い 一部タイル張り 洗面前2.1m×0.9m 撤去 SK前1.4m×1.1m 撤去	撤去なし	撤去なし	
	改修			サイディング部 防水型複層塗材E 一部タイル張り:磁器質タイル100角 洗面前2.1m×0.9m SK前1.4m×1.1m	AEP塗装		

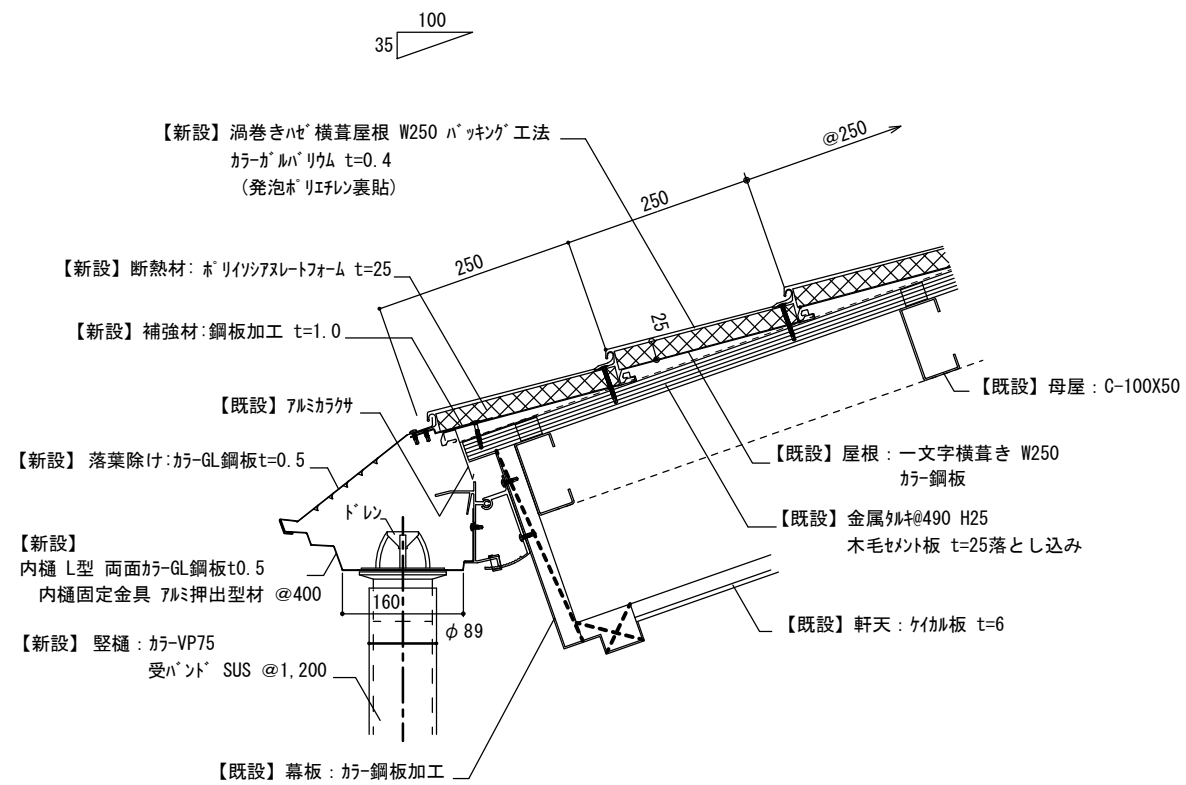
室名		床	巾木	腰壁 壁	天井	廻り縁	備考
女子トイレ	既存	100角磁器タイル張り	100角タイル張り H:100	窯業系サイディング張りの上吹付タイル	LGS下地 ケイカル版 t6 EP塗装	塩ビ製	
	撤去	床タイル全面撤去	巾木タイル 全撤去	全面水洗い ひび割れ部シーリング	撤去なし	撤去なし	
	改修	モルタル下地の上、100角磁器質タイル張り	モルタル下地 タイル張り H:100	防水型複層塗材E	AEP塗装		

建具表 S=1/200

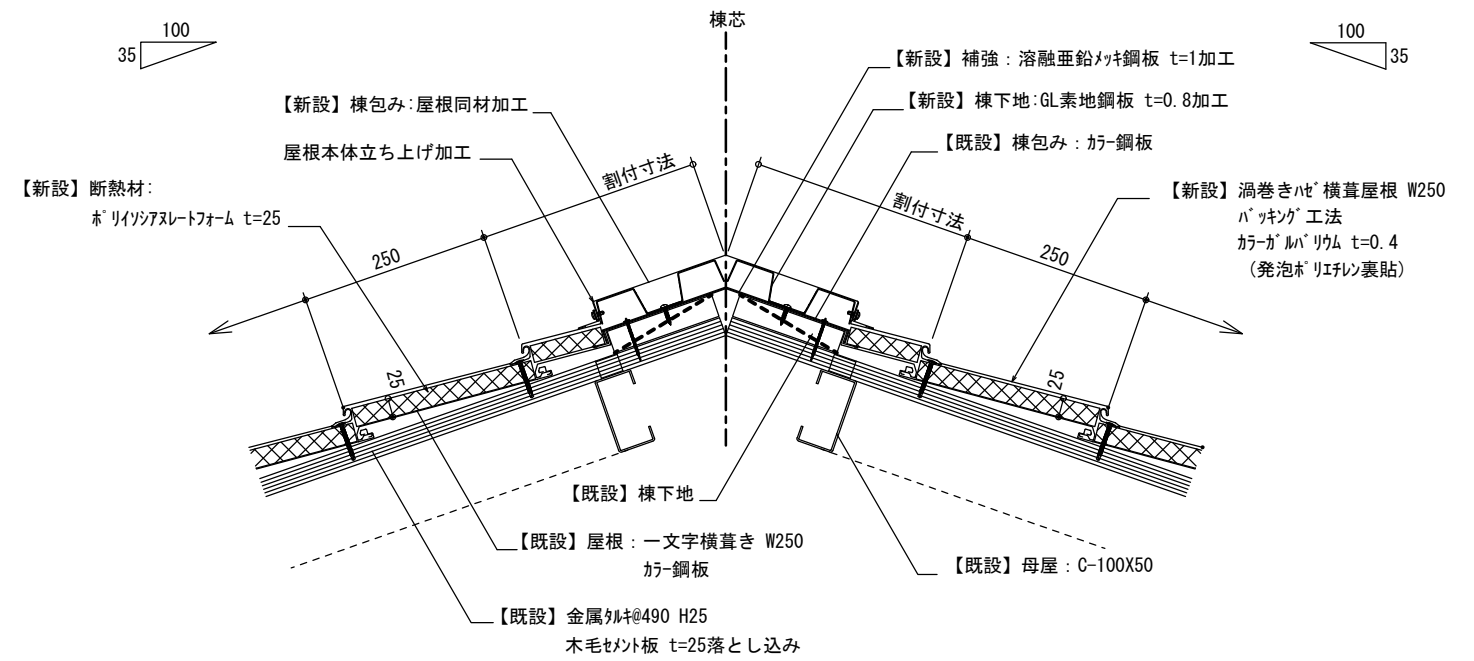
1 HTB	既存仕様	トイレブース (男子トイレ)	2 HTB	既存仕様	トイレブース (女子トイレ)	スチール製格子			
1箇所	改修内容	既存撤去 新規設置 メラミン化粧合板 付属品一式	1箇所	改修内容	既存撤去 新規設置 メラミン化粧合板 付属品一式	各2箇所	改修内容	SOP塗り	
		SUS巾木							

摘要		TIME	作成者	工事名称	石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺
				図面名称	H棟 (屋外便所) 内装改修	

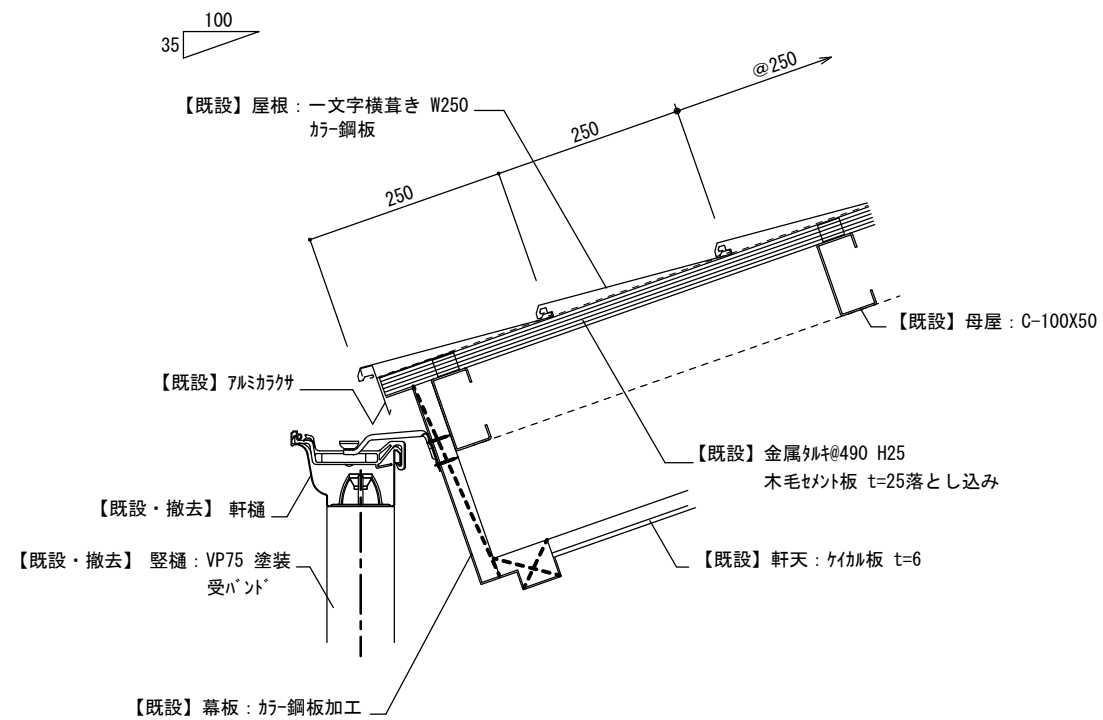
F棟 H棟 屋根A 改修後 軒先部分 詳細図



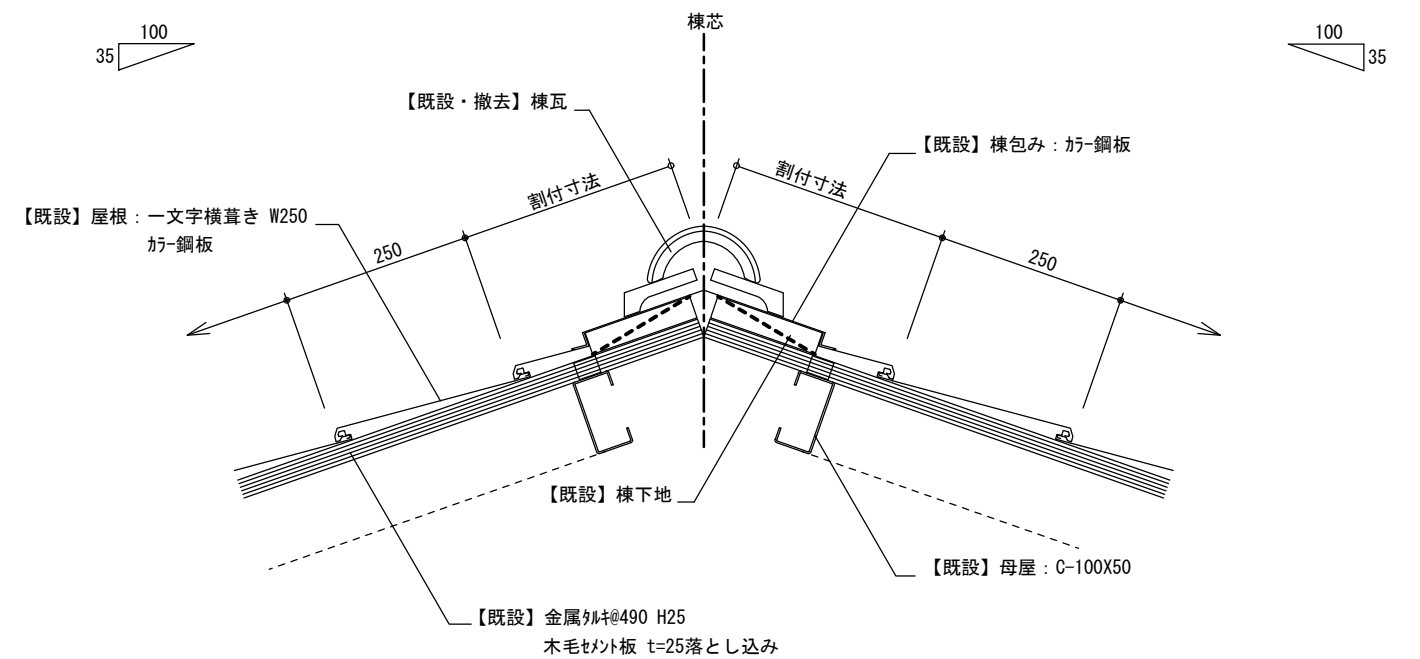
F棟 H棟 屋根A 改修後 棟部分 詳細図



F棟 H棟 屋根A 改修前 軒先部分 詳細図



F棟 H棟 屋根A 改修前 棟部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

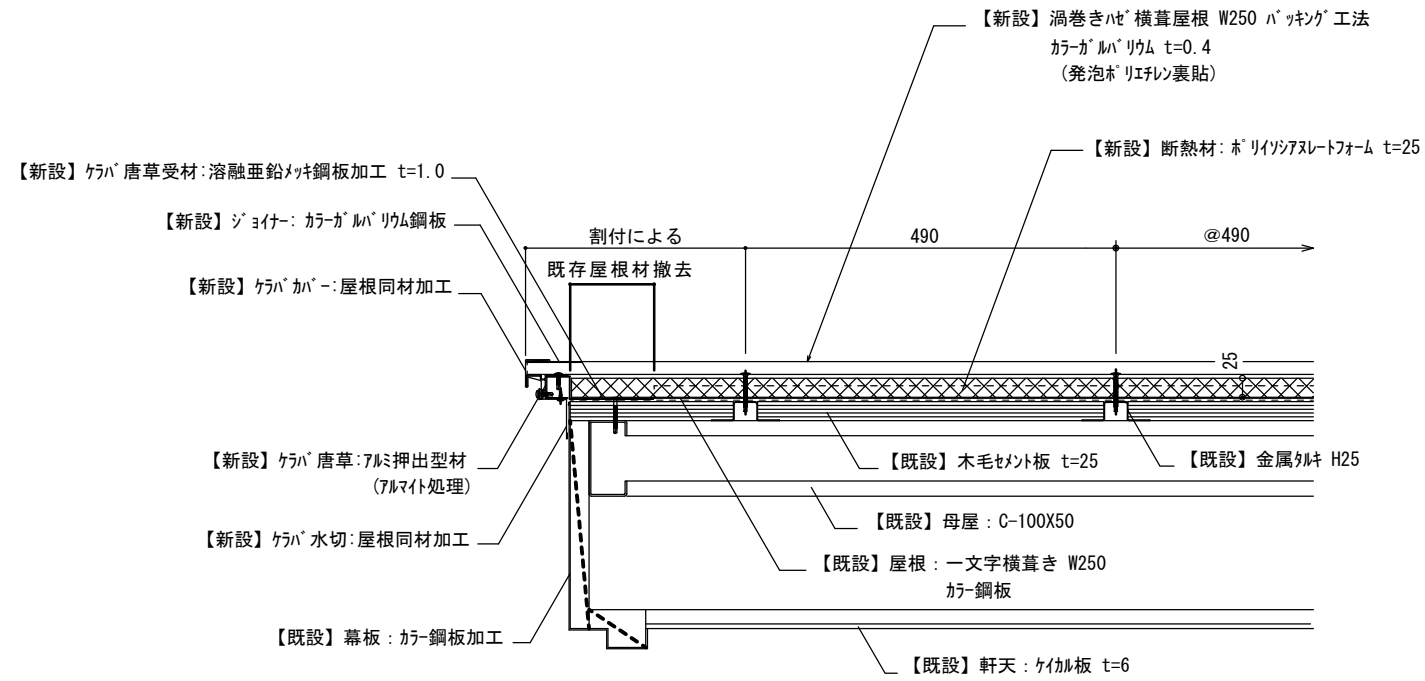
工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

縮尺 1/ 10

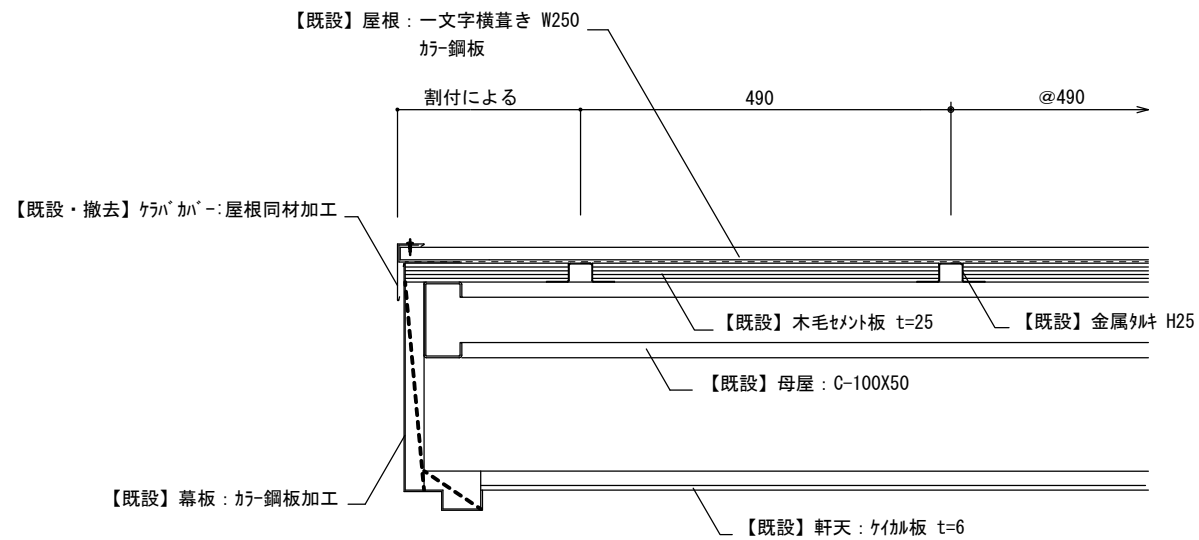
図面名称 H棟（屋外便所）屋根改修図 1

図番 H-04

F棟 H棟 屋根A 改修後 ケラバ部分 詳細図



F棟 H棟 屋根A 改修前 ケラバ部分 詳細図



摘要

TIME

作成者

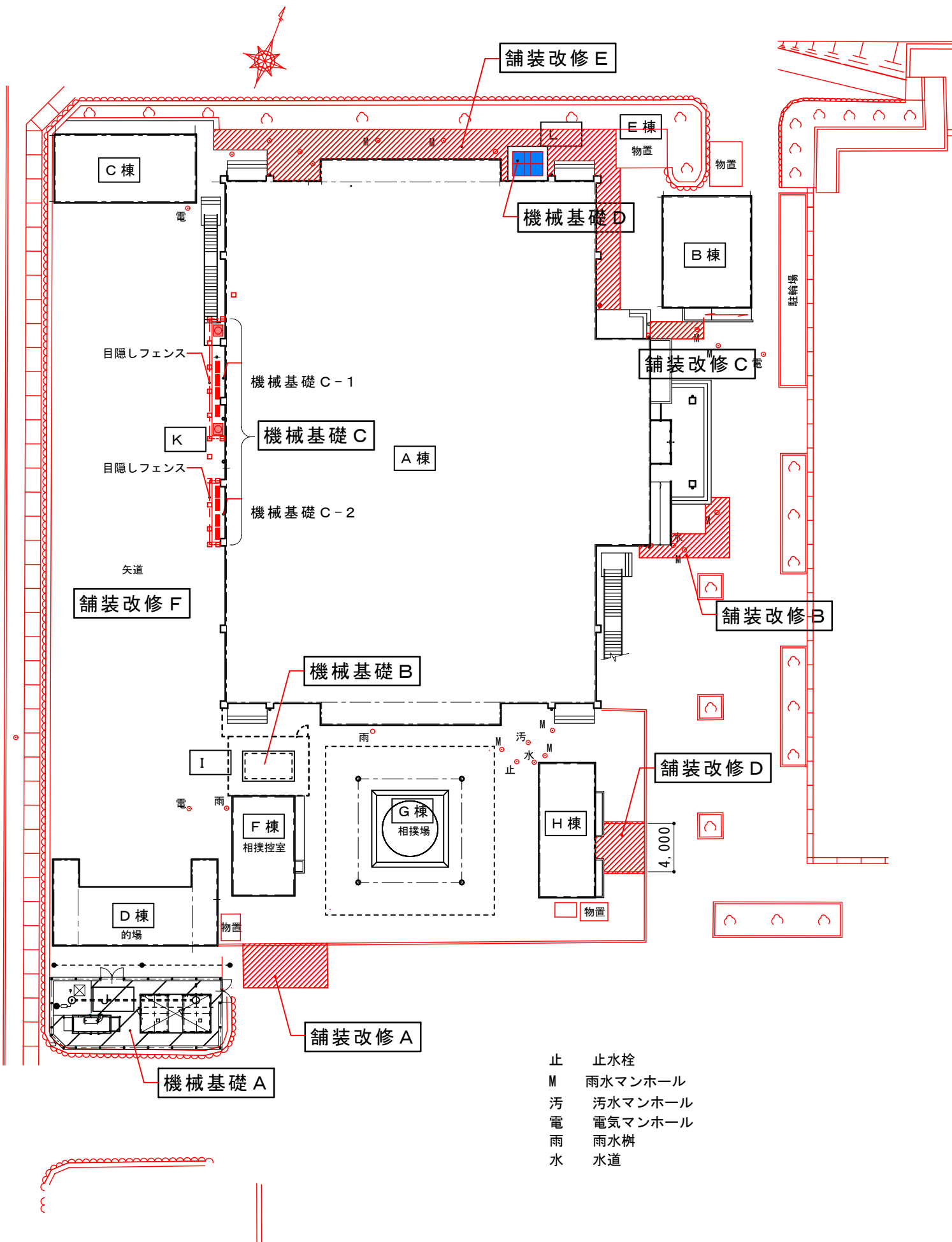
工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）

縮尺 1/ 10

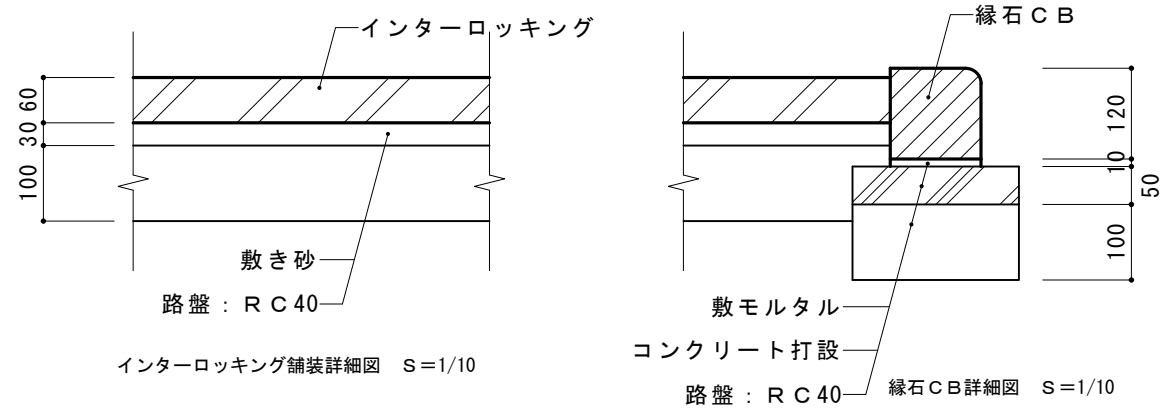
図面名称 H棟 （屋外便所）屋根改修図 2

図番 H-05

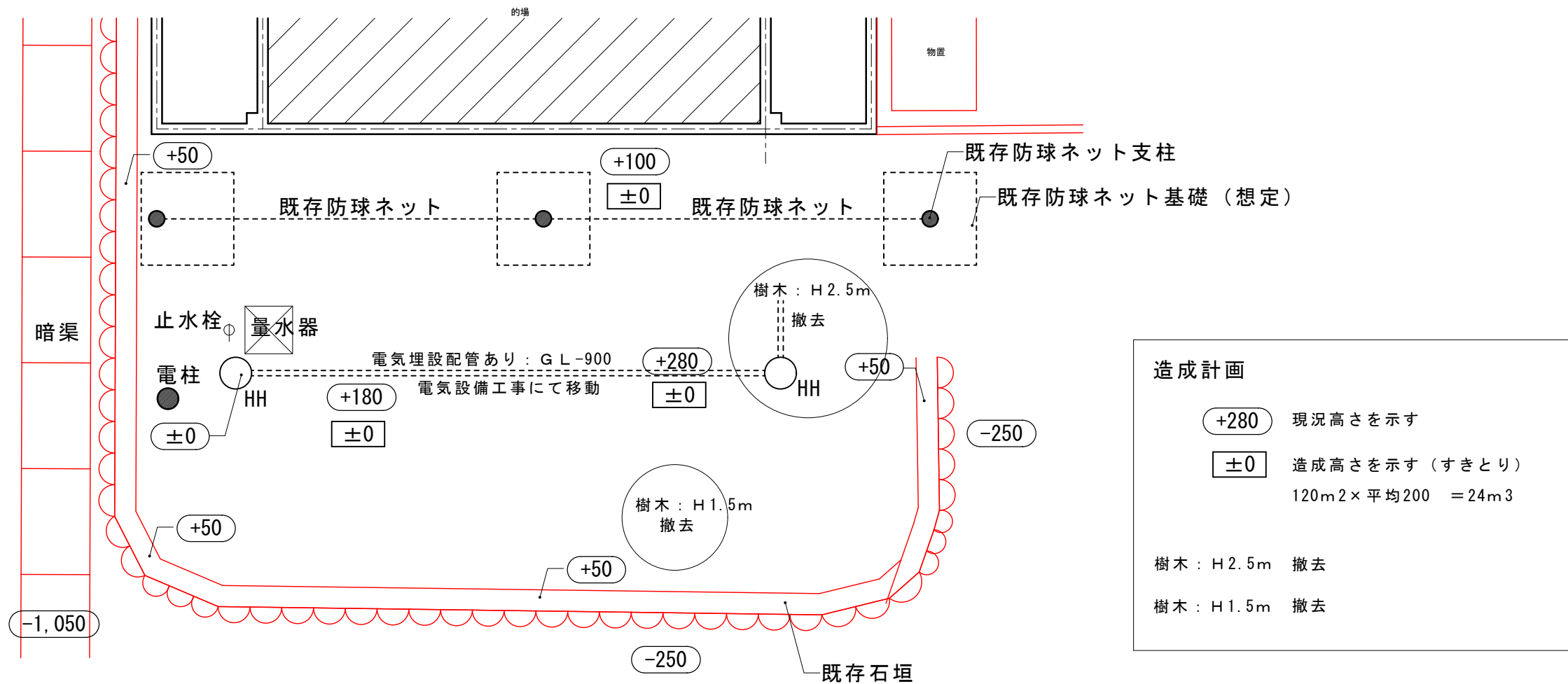
承認



改修記号	理由	内容	数量
舗装改修 A	電気設備用 電気幹線埋設	既存インターロッキング* 撤去 (材再使用)	25 m ²
		既存縁石 C B 撤去 (材再使用)	8 m
舗装改修 B	機械設備用 雨水配管替え (機械設備)	既存インターロッキング* 再設置	25 m ²
		既存縁石 C B 再設置	8 m
舗装改修 C	機械設備用 雨水配管替え	既存インターロッキング* 撤去 (材再使用)	6.2 m ²
		階段一部撤去	1 式
舗装改修 D	便所アプローチ	既存インターロッキング* 再設置	6.2 m ²
		階段一部設置 (モルタル塗り)	1 式
舗装改修 E	便所アプローチ	新規縁石 C B	6.7 m
舗装改修 F	遠的場アプローチ	新規インターロッキング* 舗装	14.5 m ²
舗装改修 G	遠的場 矢道	新規インターロッキング* 舗装	113 m ²
舗装改修 H	遠的場 矢道	整地・すきとりの上砂地業程度	782 m ²
構内舗装改修	上記のほか 既存インターロッキング* 舗装部不陸あり	既存インターロッキング* 撤去 (材再使用) 既存インターロッキング* 再設置	10 m ² 見込み
機械基礎 A	電気設備用 発電機・油庫基礎	詳細図参照	
機械基礎 B	電気設備用 キュービクル 基礎	詳細図参照	
機械基礎 C	機械設備用 エアコン屋外機基礎	詳細図参照	
機械基礎 D	機械設備用 受水槽用基礎	詳細図参照	



摘要	T・L・A・W・R	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/400
			承認		

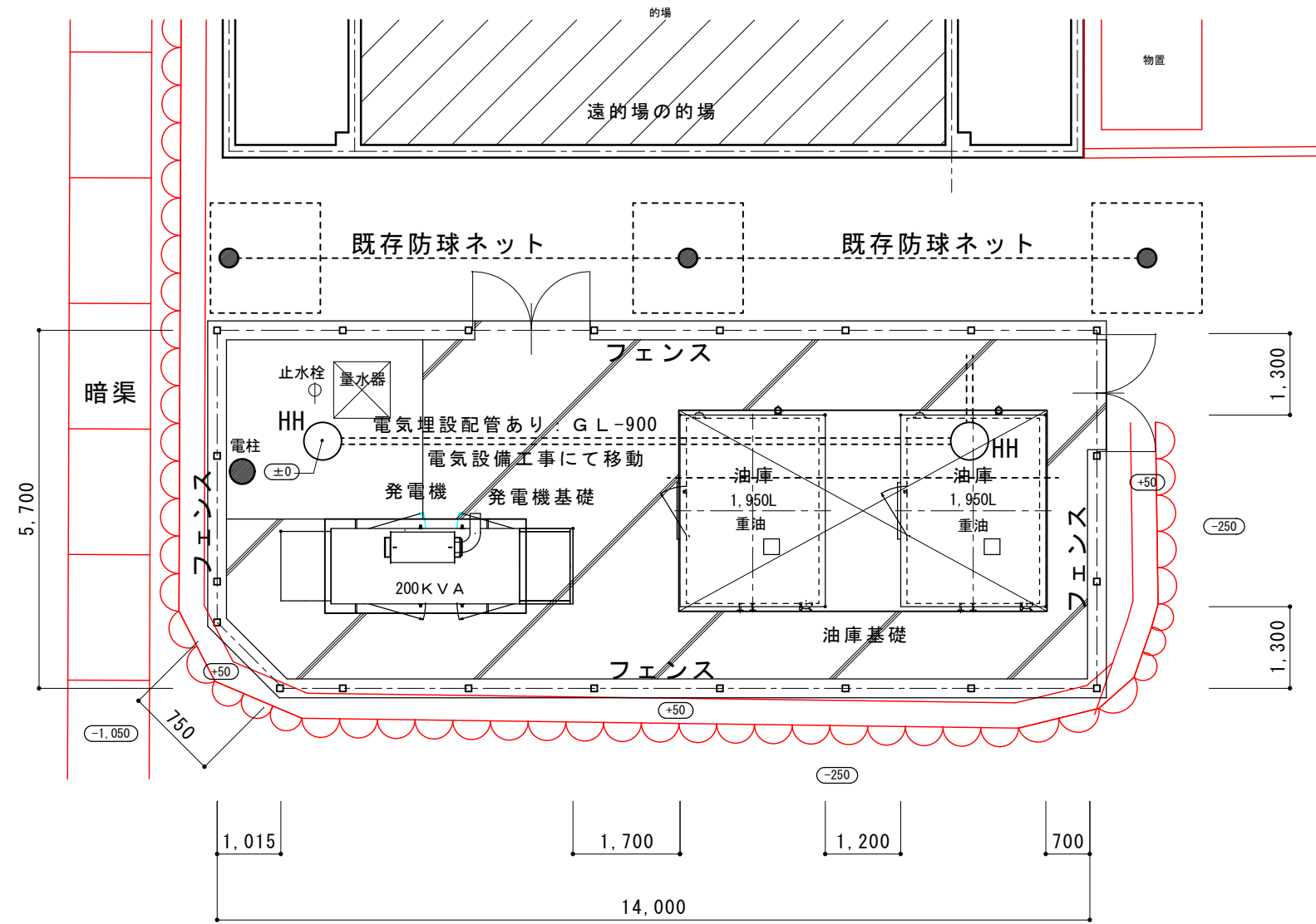


造成計画

+280 現況高さを示す
±0 造成高さを示す (すきとり)
 120m² × 平均200 = 24m³

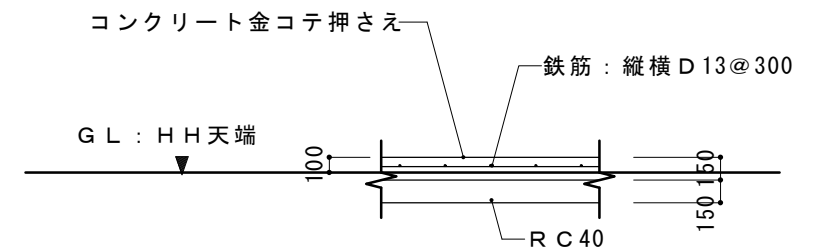
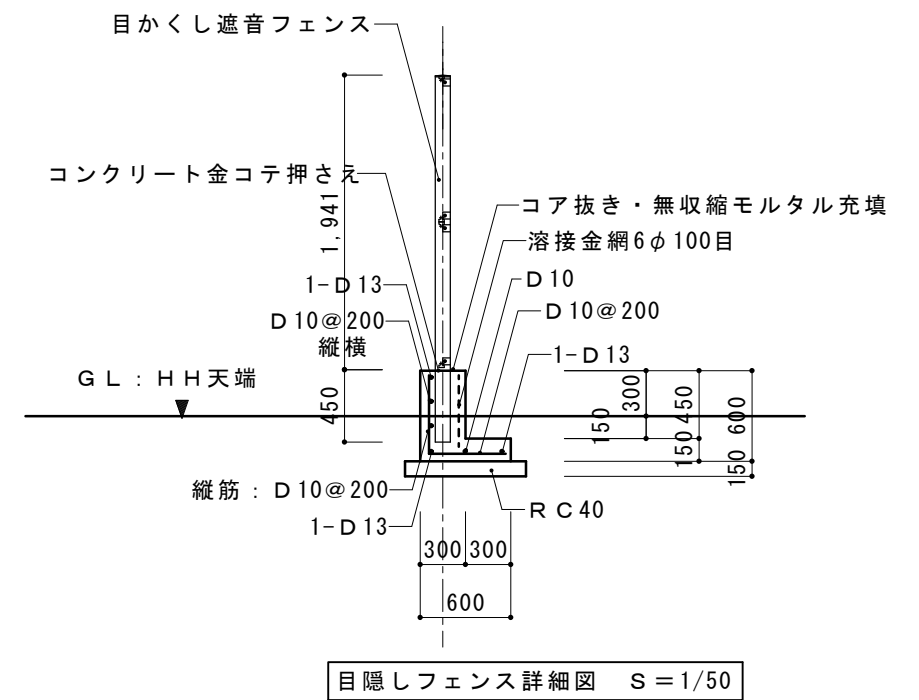
樹木: H2.5m 撤去
 樹木: H1.5m 撤去

摘要 <hr/> <hr/>	T・L・A・W・R	T I M E	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務) 図面名称 外構改修 基礎リスト (機械基礎A) 現況図	縮尺 1/100 図番 A : 5-02
			承認		

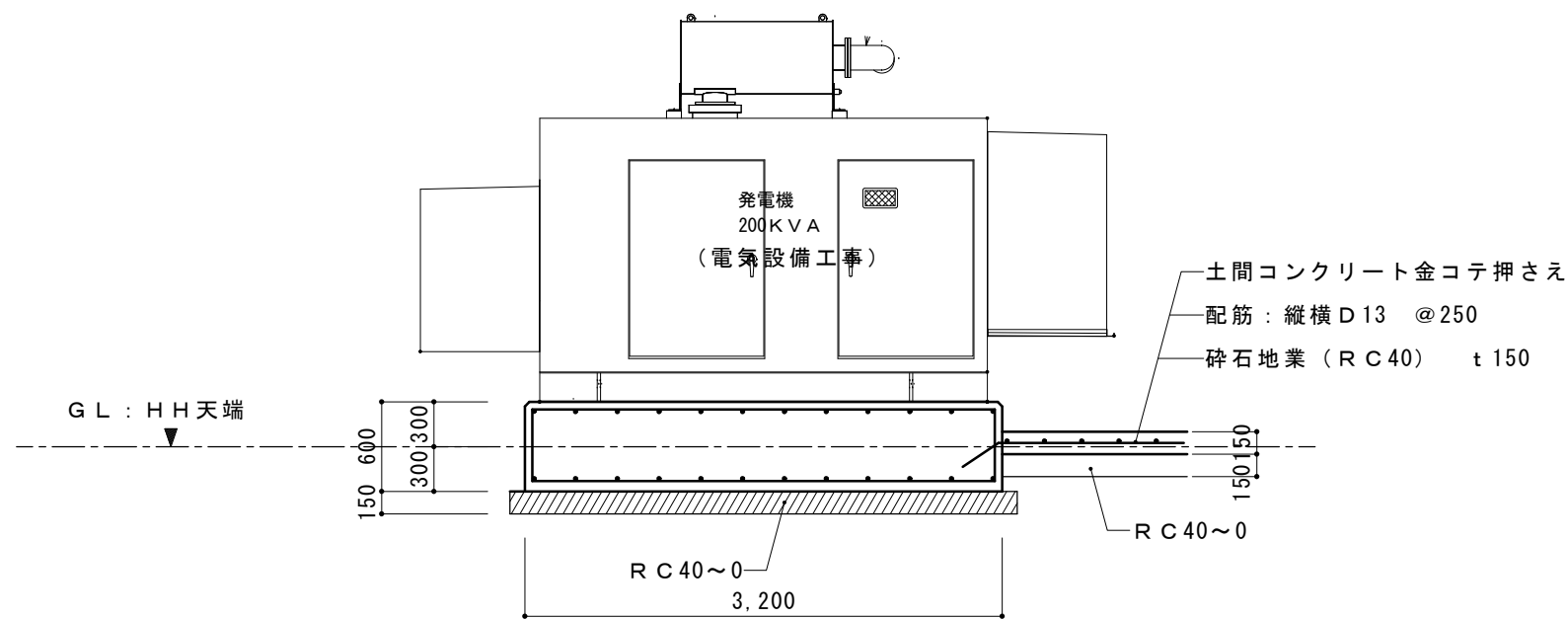


※ 電気埋設配管あり
別途工事（電気設備工事）にて移動

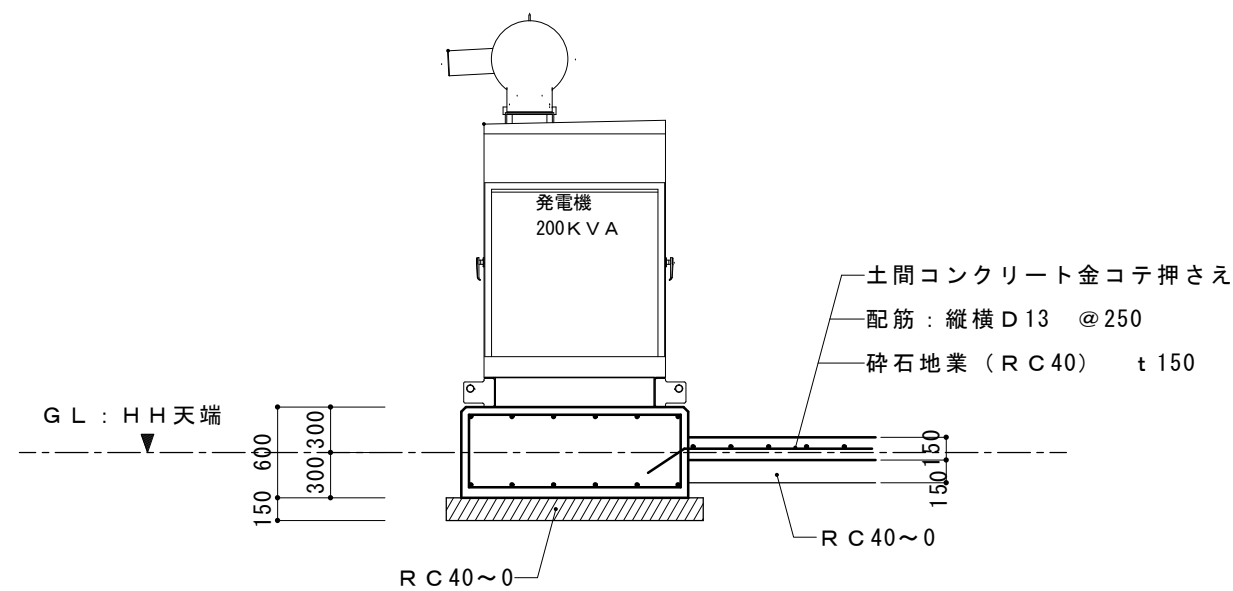
使用材料
鉄筋 : SD295A
コンクリート : 24-15-25



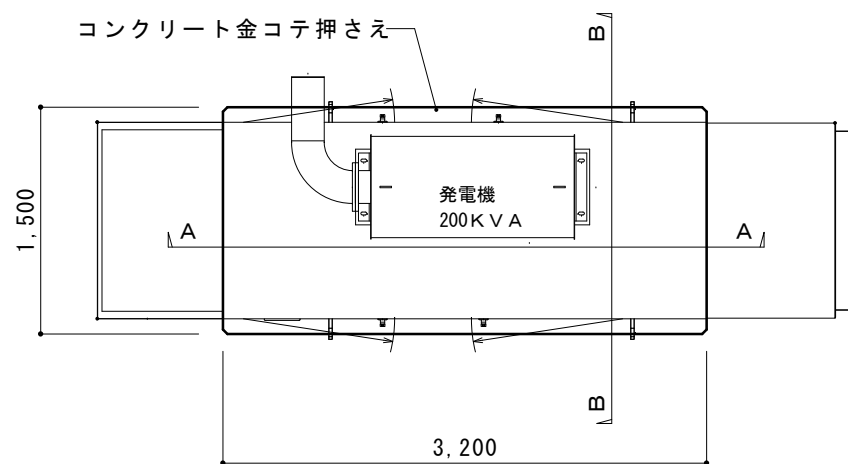
摘要	T・L・A・W・R	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事（建築主体）（債務）	縮尺 1/100
			承認	図面名称 外構改修 基礎リスト（機械基礎A）配置計画図	図番 A : 5-03



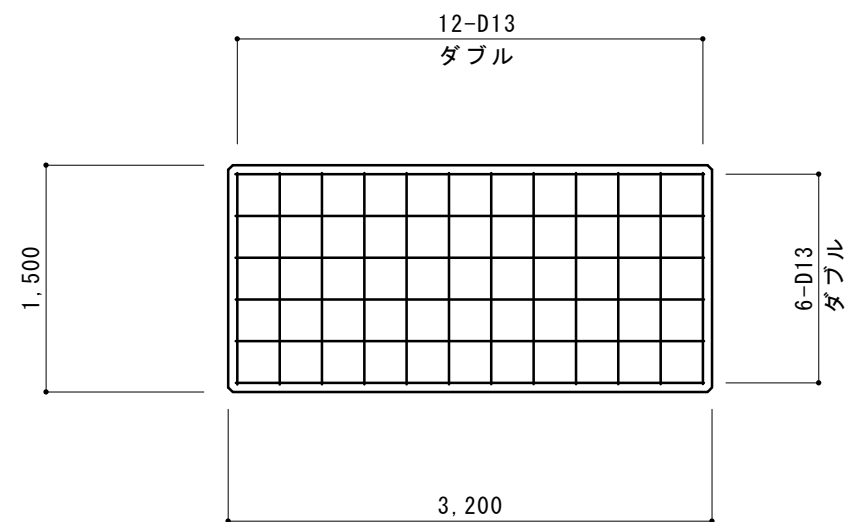
発電機基礎 A-A 断面図 S = 1/50



発電機基礎 B-B 断面図 S = 1/50



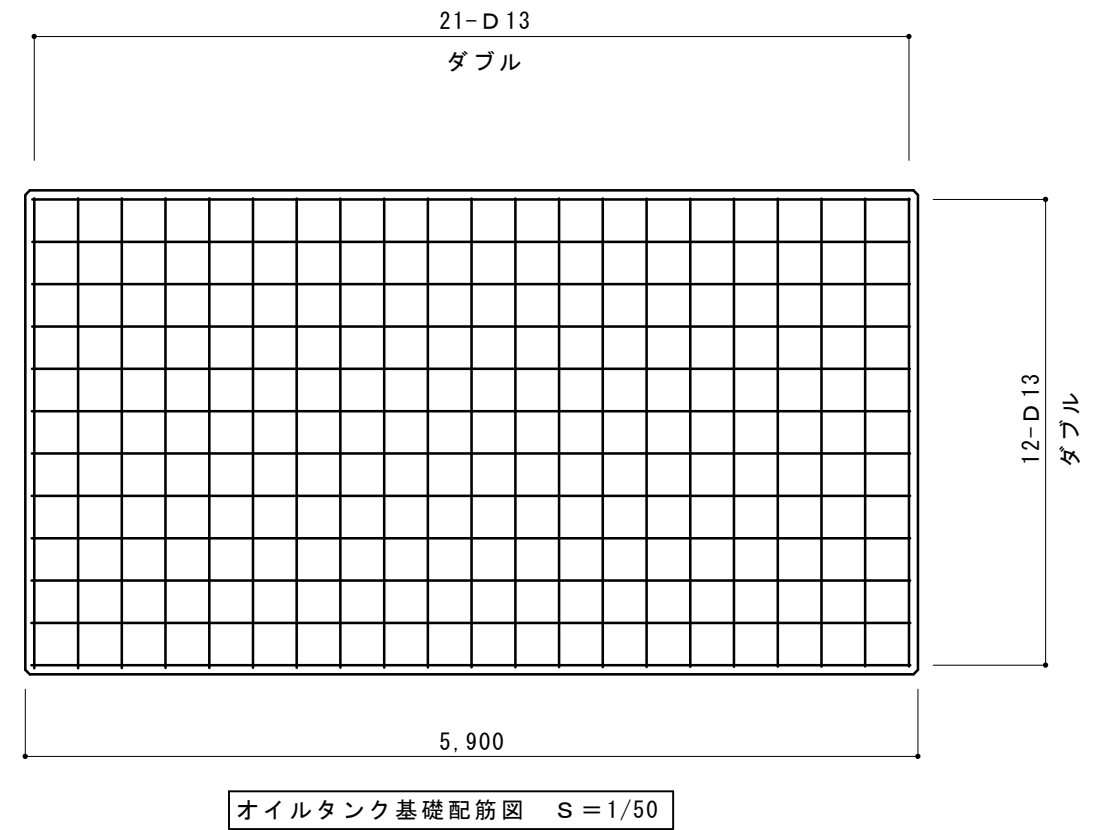
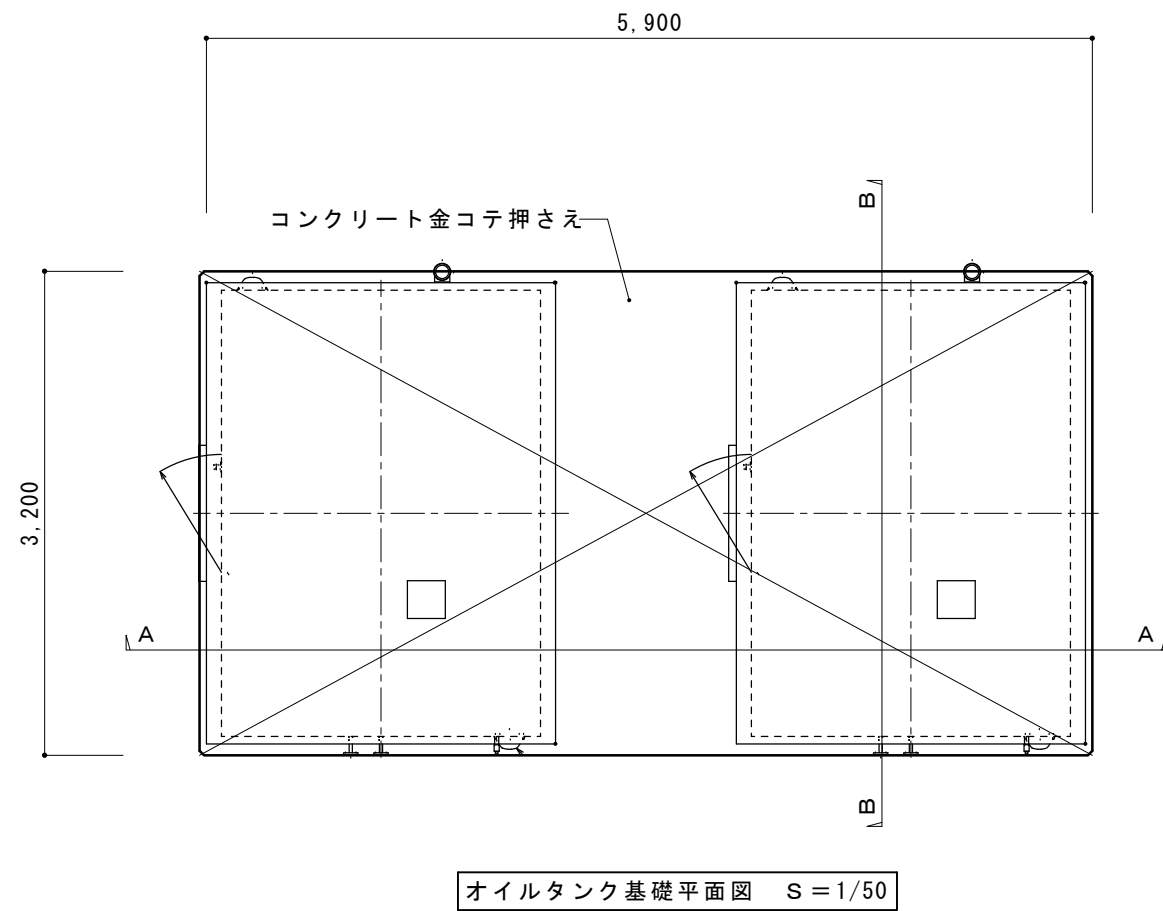
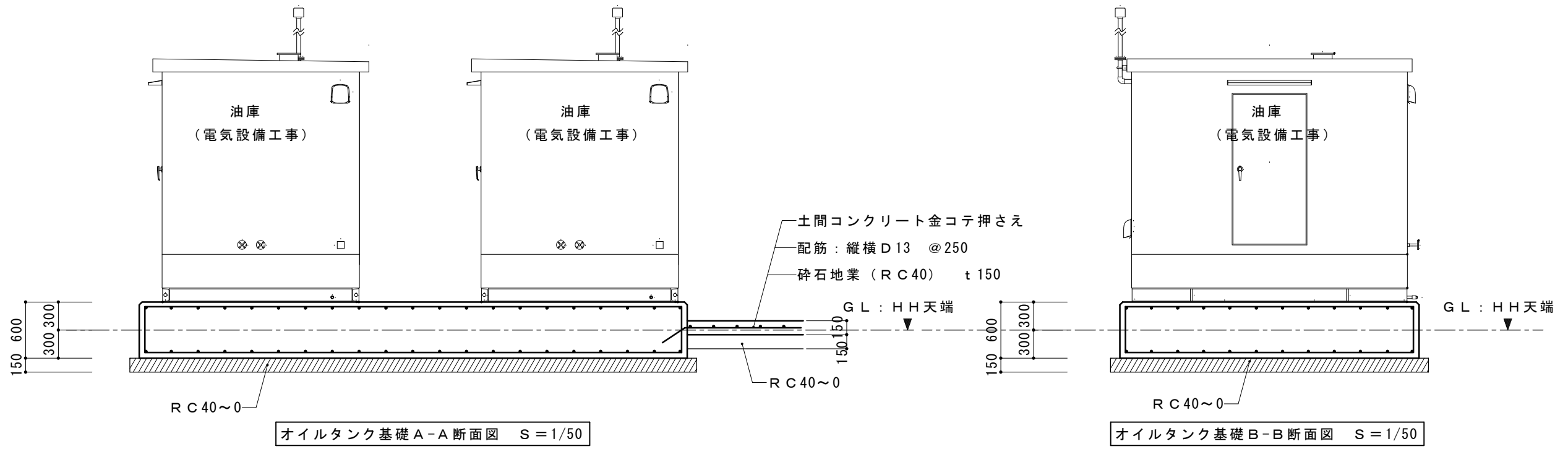
発電機基礎平面図 S = 1/50



発電機基礎配筋図 S = 1/50

使用材料
 鉄筋 : SD295A
 コンクリート : 24-15-25

摘要	T・L・A・W・R	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/100
			承認		図面名称 外構改修 基礎リスト (機械基礎 A) 発電機基礎
					図番 A : 5-04

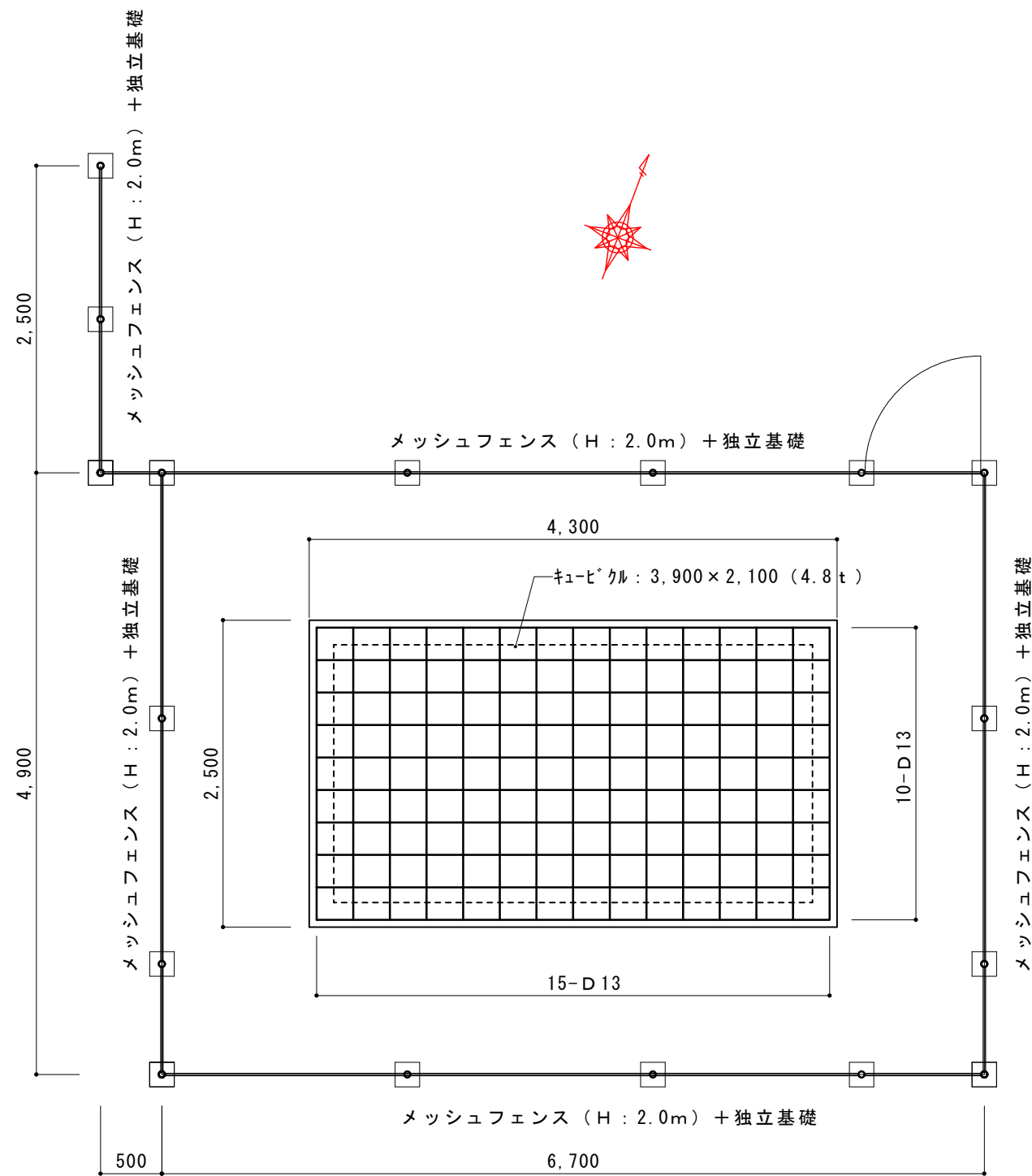


使用材料

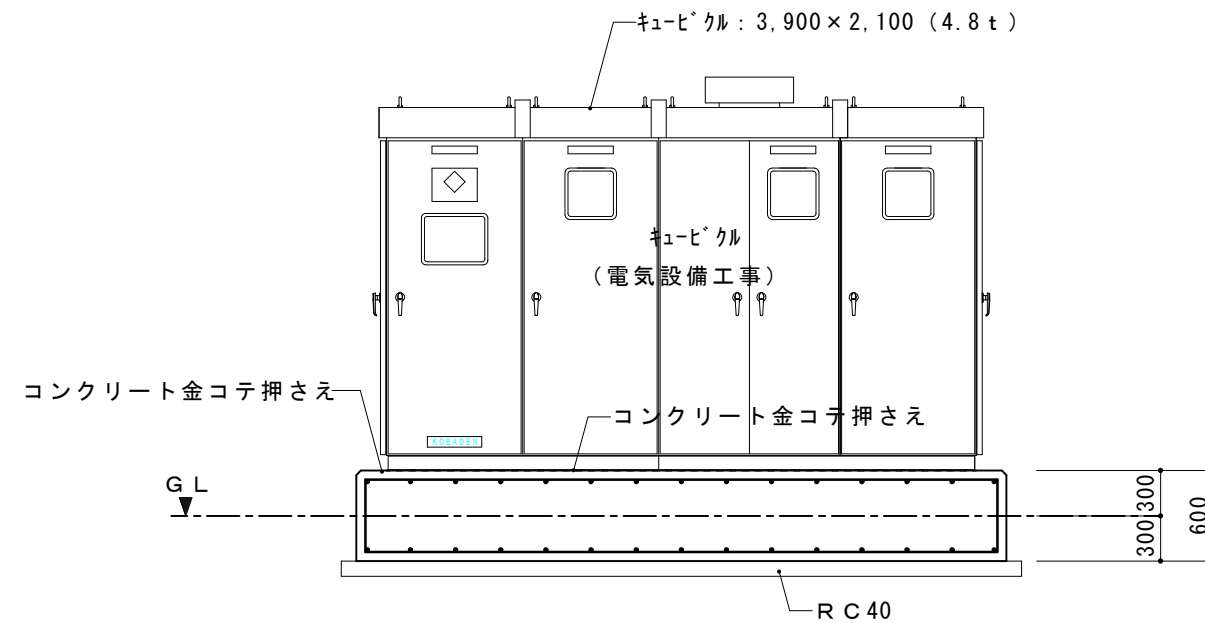
鉄筋 : SD295A

コンクリート : 24-15-25

摘要	T・L・A・W・R	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/50
			承認	図面名称 外構改修 基礎リスト (機械基礎A) 油庫基礎	図番 A : 5-05



平面図



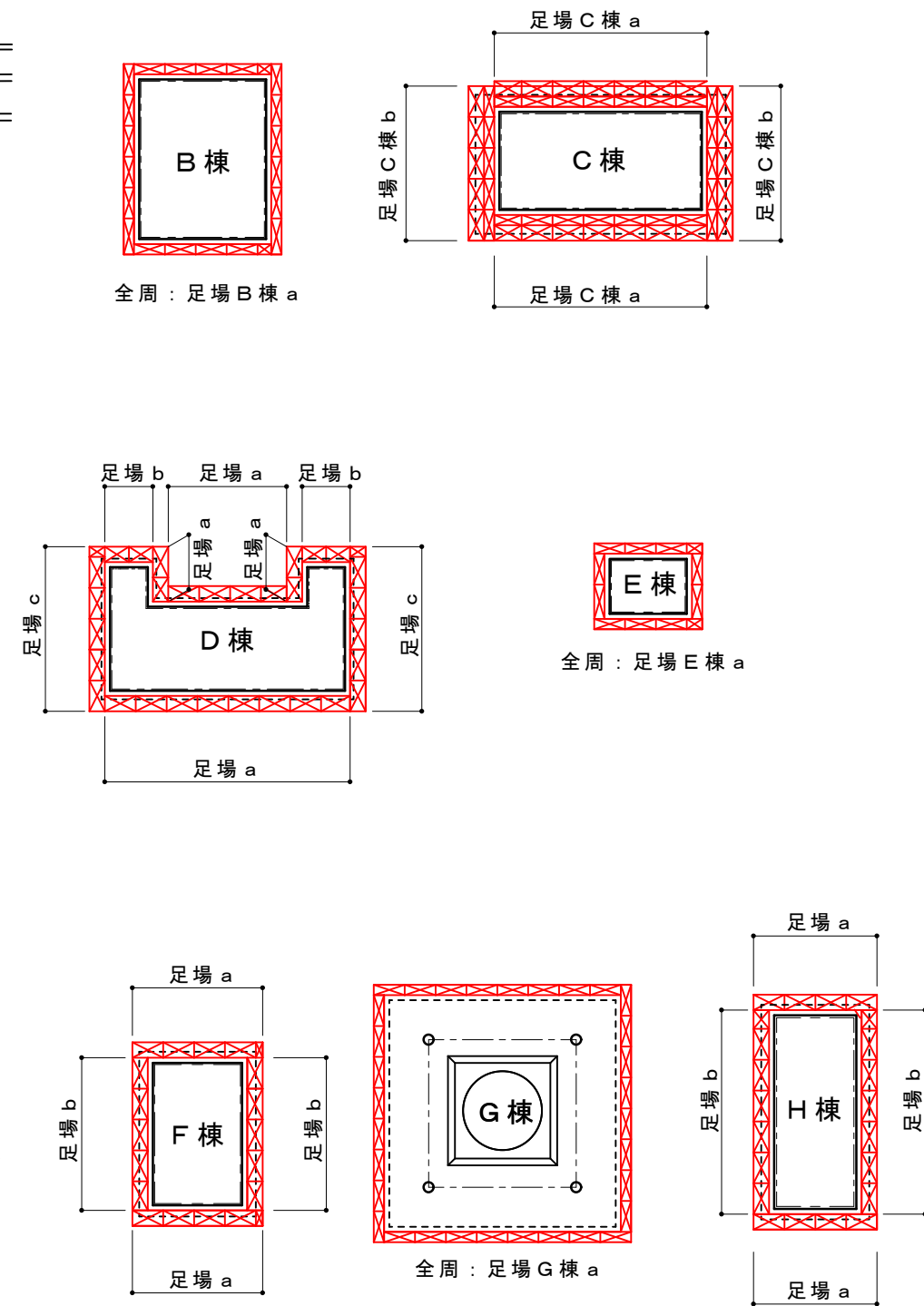
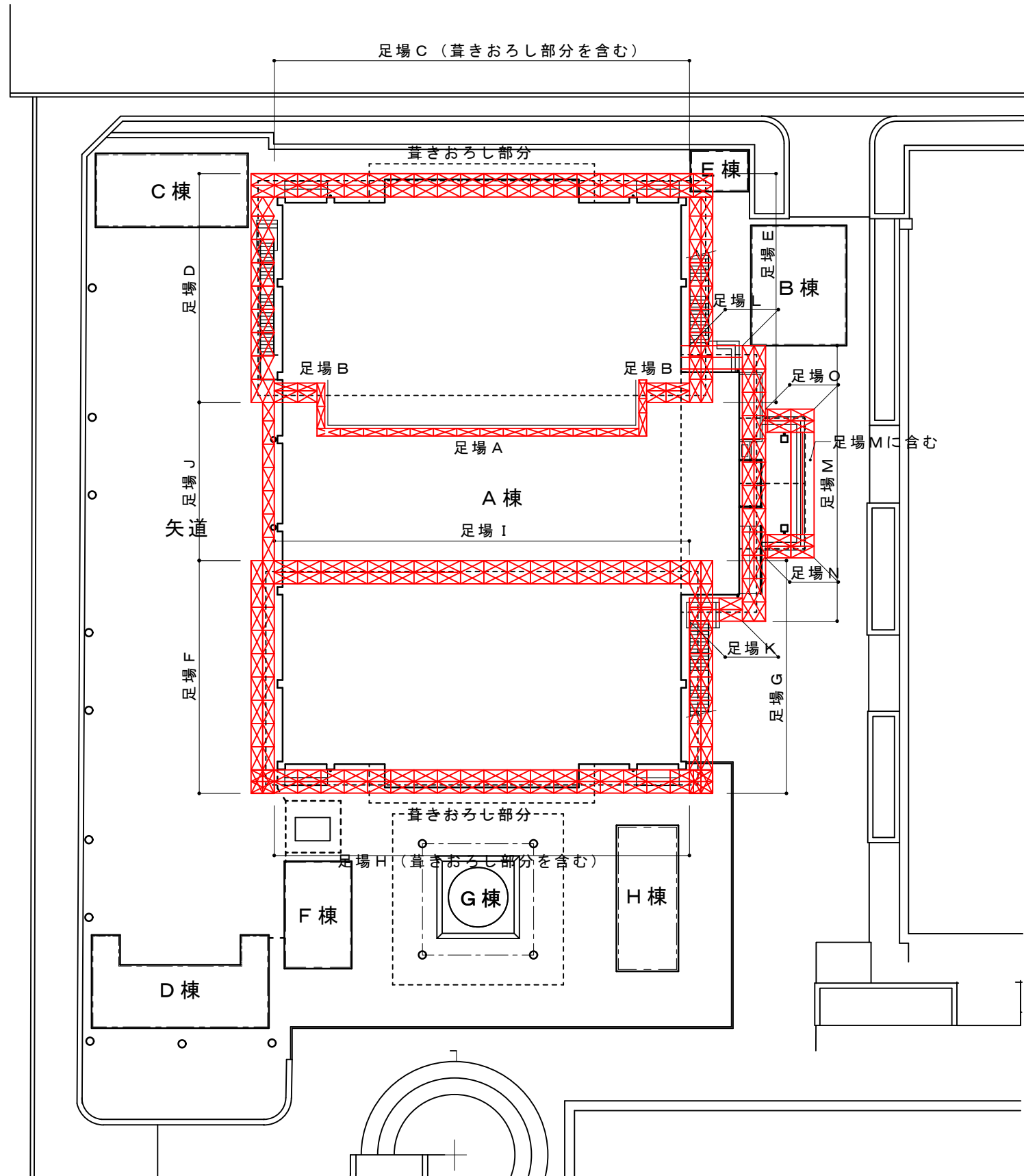
断面図

使用材料

鉄筋 : S D 2 9 5 A
 コンクリート : 24-15-25

キュービクル基礎詳細図 S=1/50

摘要 _____ _____ _____	T・L・A・W・R	TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/50
		承認	図面名称 外構改修 基礎リスト (機械基礎B)	図番 A: 5-06	



共通仮設 (見込み)
 仮設間仕切り (見込み) LGS100+GBR t12.5両面張り 100m²
 交通誘導員 100人 (見込み)

摘要		TIME	作成者	工事名称 石和清流館整備工事 (建築主体) (債務)	縮尺 1/400
			承認		

